

田原市市民意識調査 報告書

平成 25 年 12 月

田 原 市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	2
II	田原市市民意識調査	3
1	回答者属性	3
2	幸福感について	7
3	田原市の住みよさについて	35
4	田原市からの情報提供について	52
5	各分野での市の取り組みについて	57
6	市民活動への参画について	80
7	公共施設の利用について	89
8	自由意見	96
III	市内事業者アンケート調査	105
1	会社（事業所）について	105
2	田原市の事業環境について	108
3	会社（事業所）の事業について	111
4	市の施策について	116
5	従業員の雇用環境について	120
6	従業員の市内定住対策について	121
7	土地利用について	121
8	農業分野での事業展開について	122
9	環境共生について	123
10	男女共同参画について	124
11	地域社会への貢献活動について	125
12	市政に対するご意見	127

IV	市内農業者アンケート調査	129
1	事業について.....	129
2	田原市の農業全般について.....	131
3	あなたの農業経営について.....	133
4	農地の保全・活用について.....	137
5	農業基盤の整備について.....	138
6	交流・食育の推進について.....	139
7	農業経営の活性化について.....	140
8	担い手づくりの推進について.....	141
9	環境保全型農業の推進について.....	143
10	市の政策の満足度と重要度によるポートフォリオ分析.....	144
11	自由意見.....	146
V	市内漁業者アンケート調査	147
1	事業について.....	147
2	田原市の漁業全般について.....	149
3	あなたの漁業経営について.....	150
4	水産資源の確保について.....	153
5	漁業経営の活性化について.....	155
6	水産施設の充実について.....	158
7	市の政策の満足度と重要度によるポートフォリオ分析.....	159
8	自由意見.....	160
VI	市内団体アンケート調査	161
1	団体の概要について.....	161
2	団体の活動について.....	172
3	市との連携・協力について.....	182
4	市の政策の満足度と重要度によるポートフォリオ分析.....	186
5	市と連携して実施したいこと.....	187
6	自由意見.....	189
	付録 調査票	191

■ I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、改定版第1次田原市総合計画で定めた「みんなが幸福を実現できるまち」の理念のもと、将来都市像「うるおいと活力のあるガーデンシティ」の実現を目指し、市民意識の市政への反映と、総合計画の着実な推進を図ることを目的に実施しました。

2 調査対象

市民意識調査：田原市に居住する満20歳以上の3,500人

市内事業者調査：田原市内の事業者100人

農業者調査：田原市内の農業従事者100人

漁業者調査：田原市内の漁業従事者100人

市内団体調査：田原市内の団体100団体

3 調査期間

平成25年7月1日から平成25年7月22日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

	配布数	有効回収数	有効回収率
市民	3,500通	1,285通	36.7%
市内事業者	100通	42通	42.0%
農業者	100通	27通	27.0%
漁業者	100通	38通	38.0%
市内団体	100通	57通	57.0%

6 調査結果の表示方法

- 回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- 調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）
- ポートフォリオによる分析の考え方は57～58ページに記載しています。

■ II 田原市市民意識調査

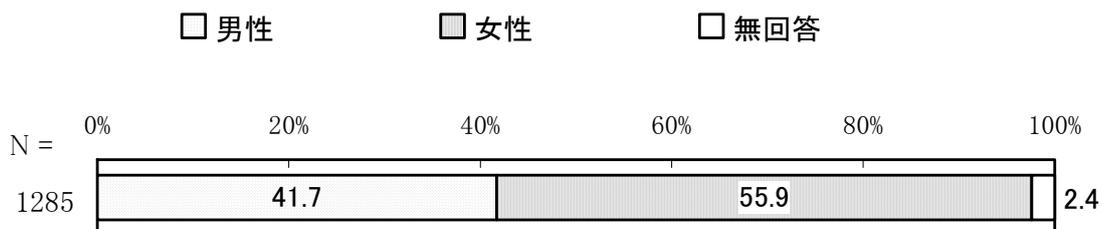
II 田原市市民意識調査

1 回答者属性

問1 あなた自身の平成25年7月1日現在の状況についてうかがいます。
(あてはまるもの1つに○)

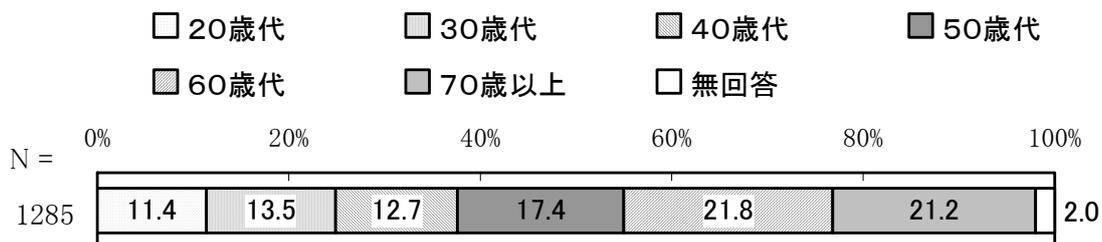
① 性別

「男性」の割合が41.7%、「女性」の割合が55.9%となっています。



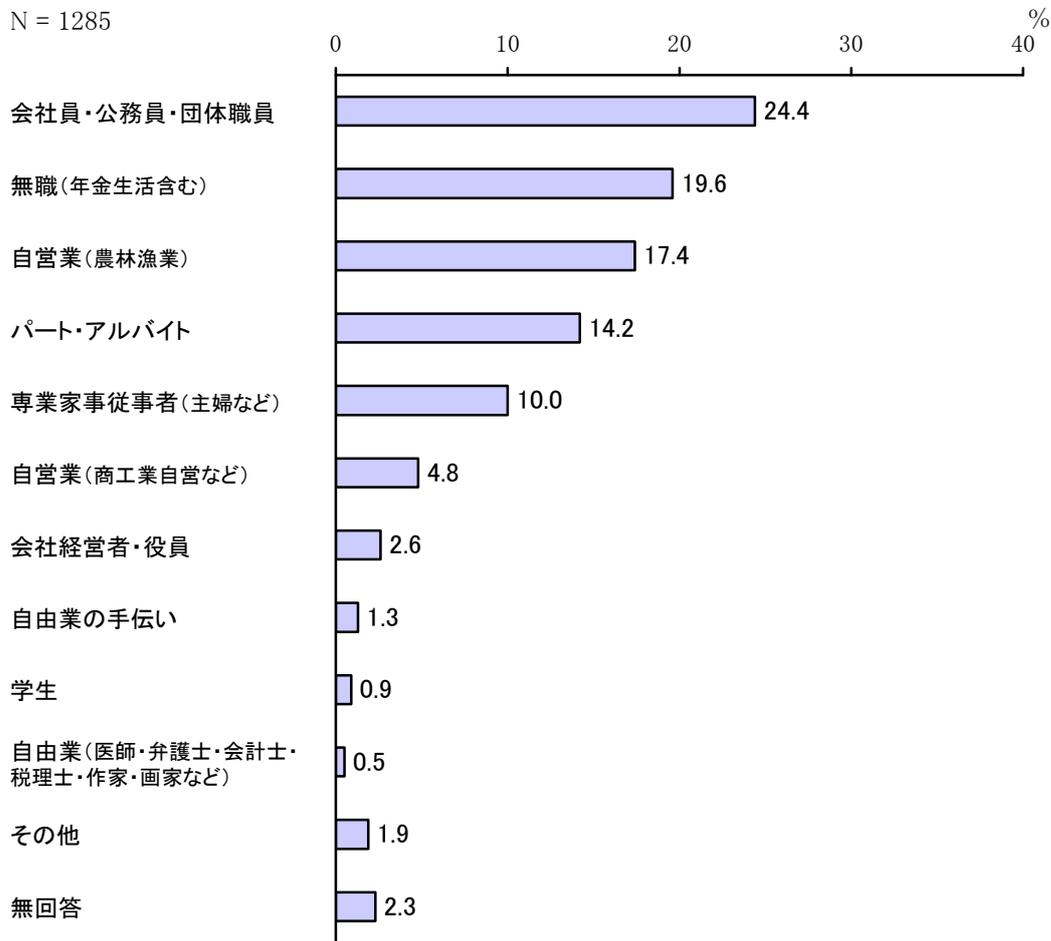
② 年齢

「60歳代」の割合が21.8%と最も高く、次いで「70歳以上」の割合が21.2%、「50歳代」の割合が17.4%となっています。



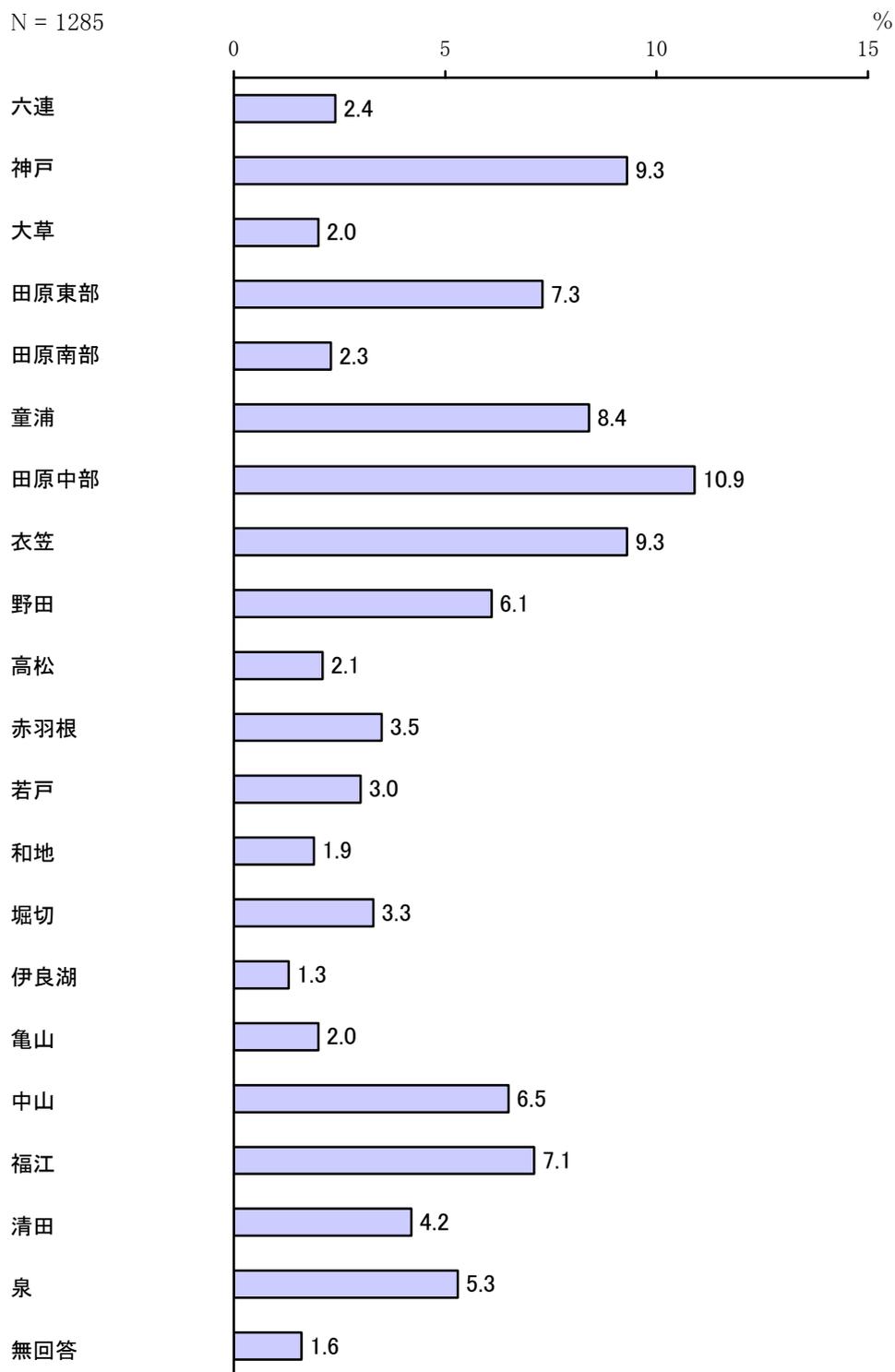
③ 職種など

「会社員・公務員・団体職員」の割合が24.4%と最も高く、次いで「無職（年金生活含む）」の割合が19.6%、「自営業（農林漁業）」の割合が17.4%となっています。



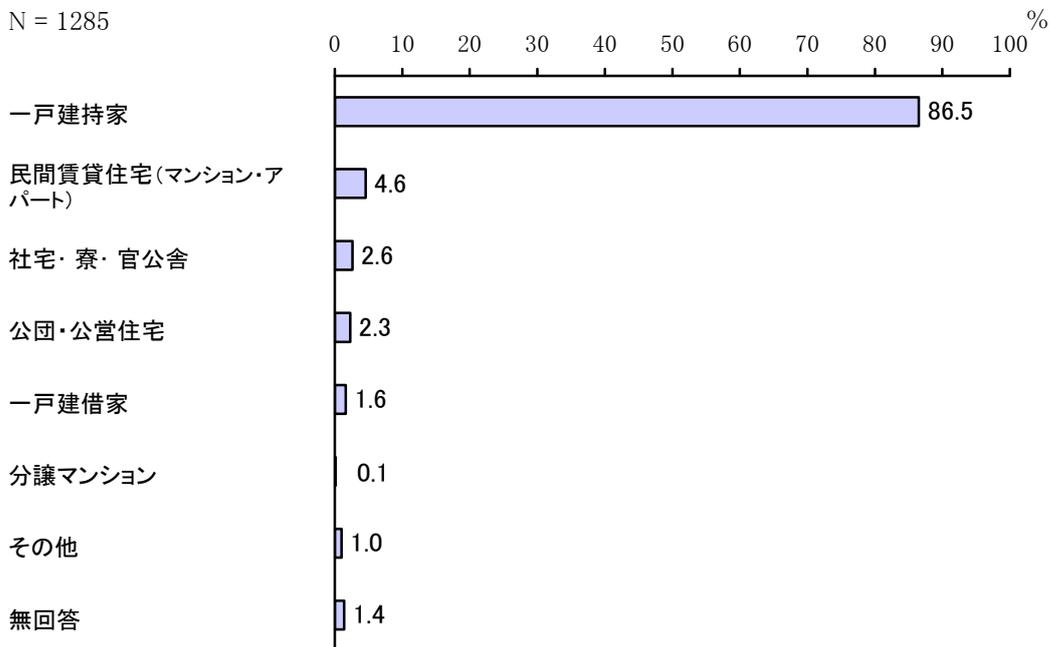
④ 居住地区（小学校区別）

「田原中部」の割合が10.9%と最も高く、次いで「神戸」「衣笠」の割合が9.3%となっています。



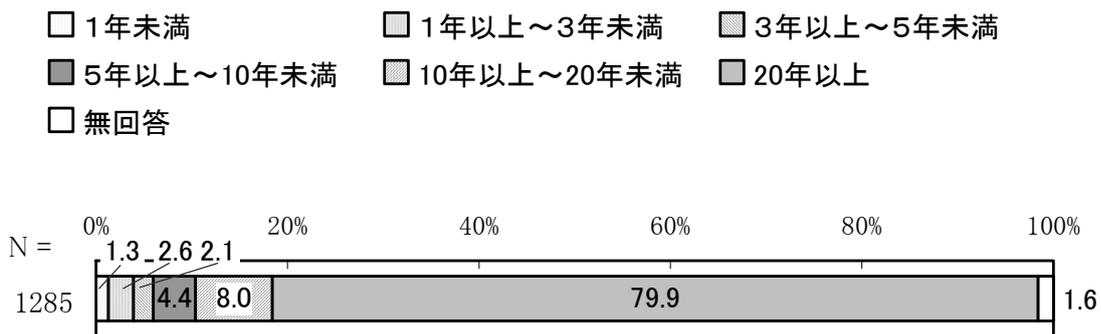
⑤ 居住環境

「一戸建持家」の割合が86.5%と最も高くなっています。



⑥ 居住年数

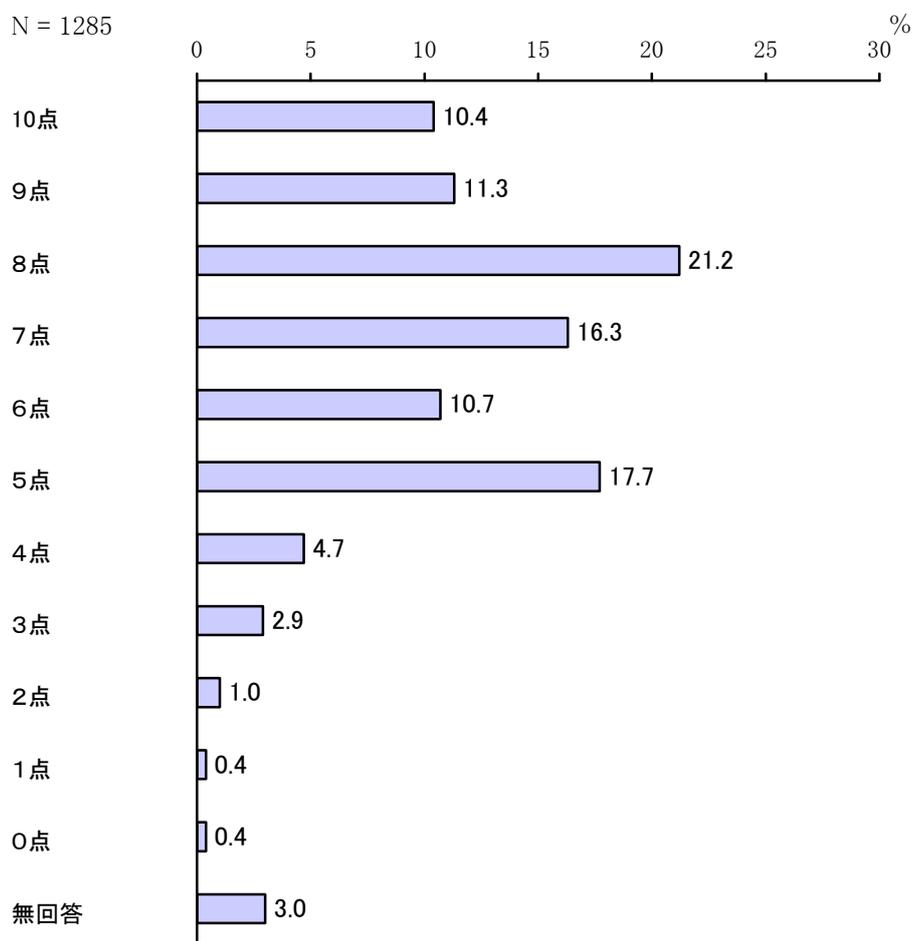
「20年以上」の割合が79.9%と最も高くなっています。



2 幸福感について

問2 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。(いずれかの数字を1つだけ○)

平均点は6.93点であり、8点以上が約4割となっています。



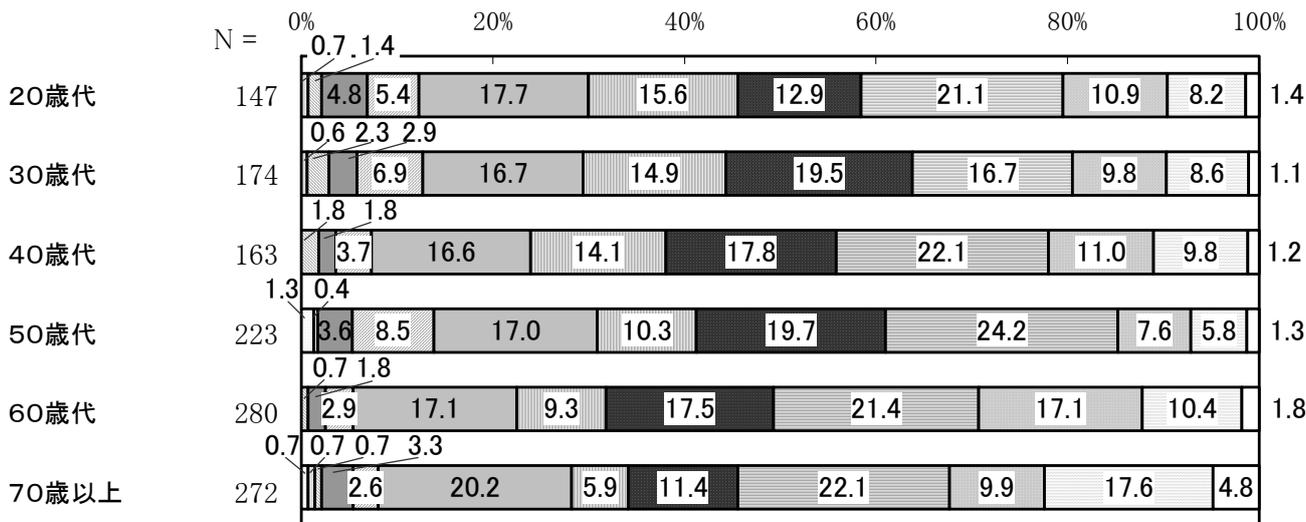
【性別】

性別にみると、男性に比べ女性で“9点以上”の割合が高く、約3割となっています。



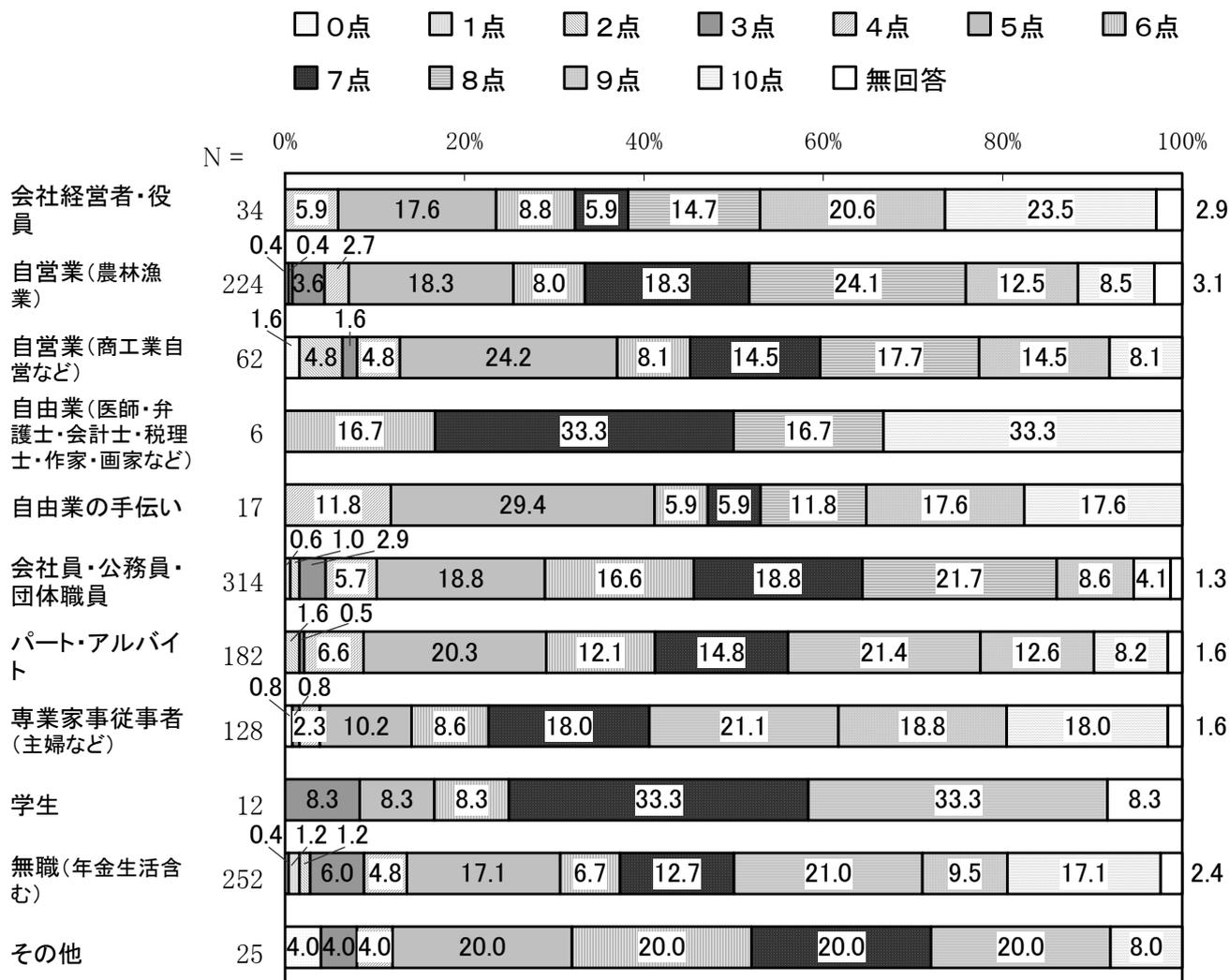
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて、「8点」「9点」「10点」の割合が高くなっています。



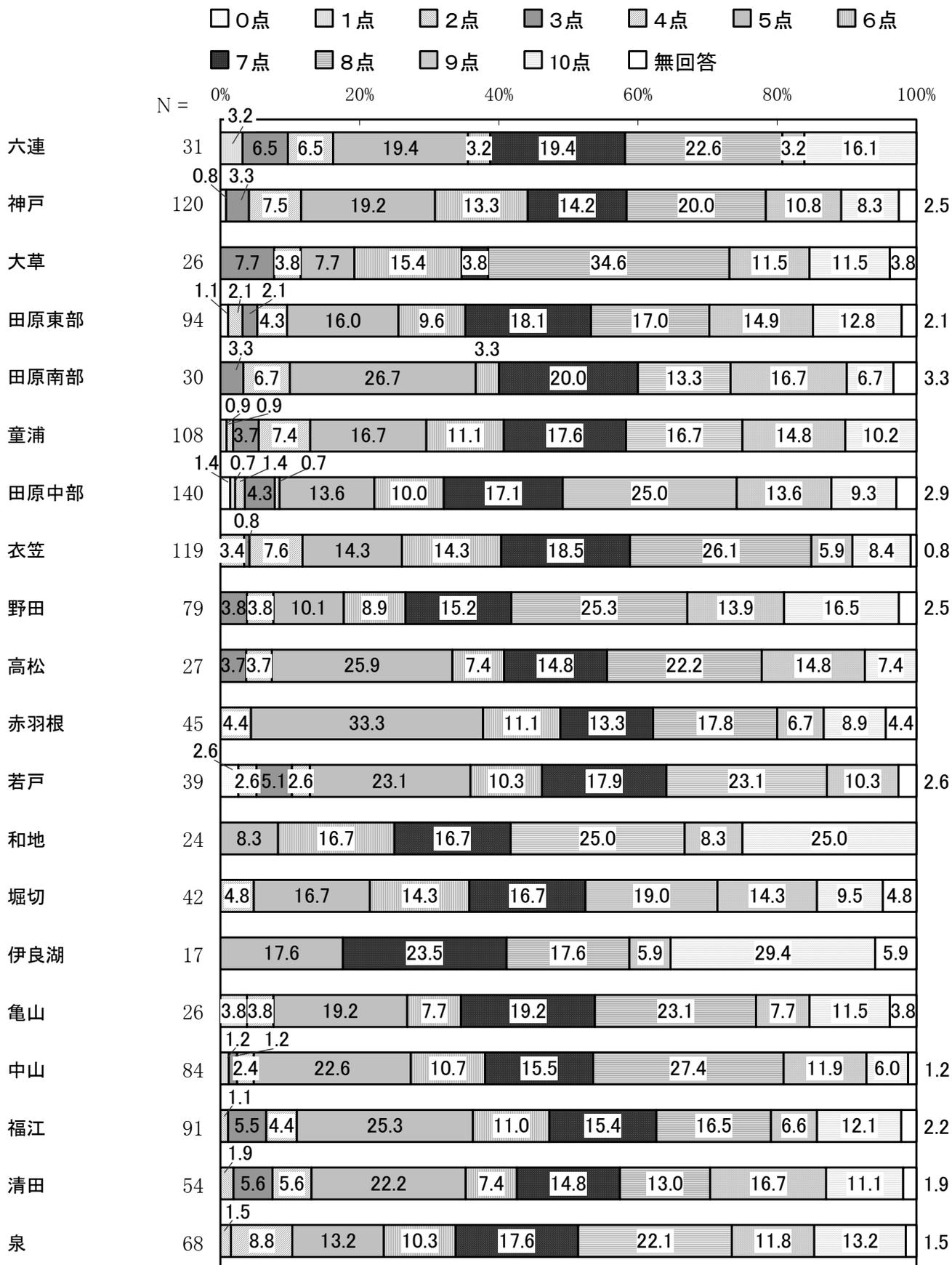
【職業別】

職業別にみると、会社経営者・役員で“9点以上”の割合が高く、4割を超えています。



【小学校区別】

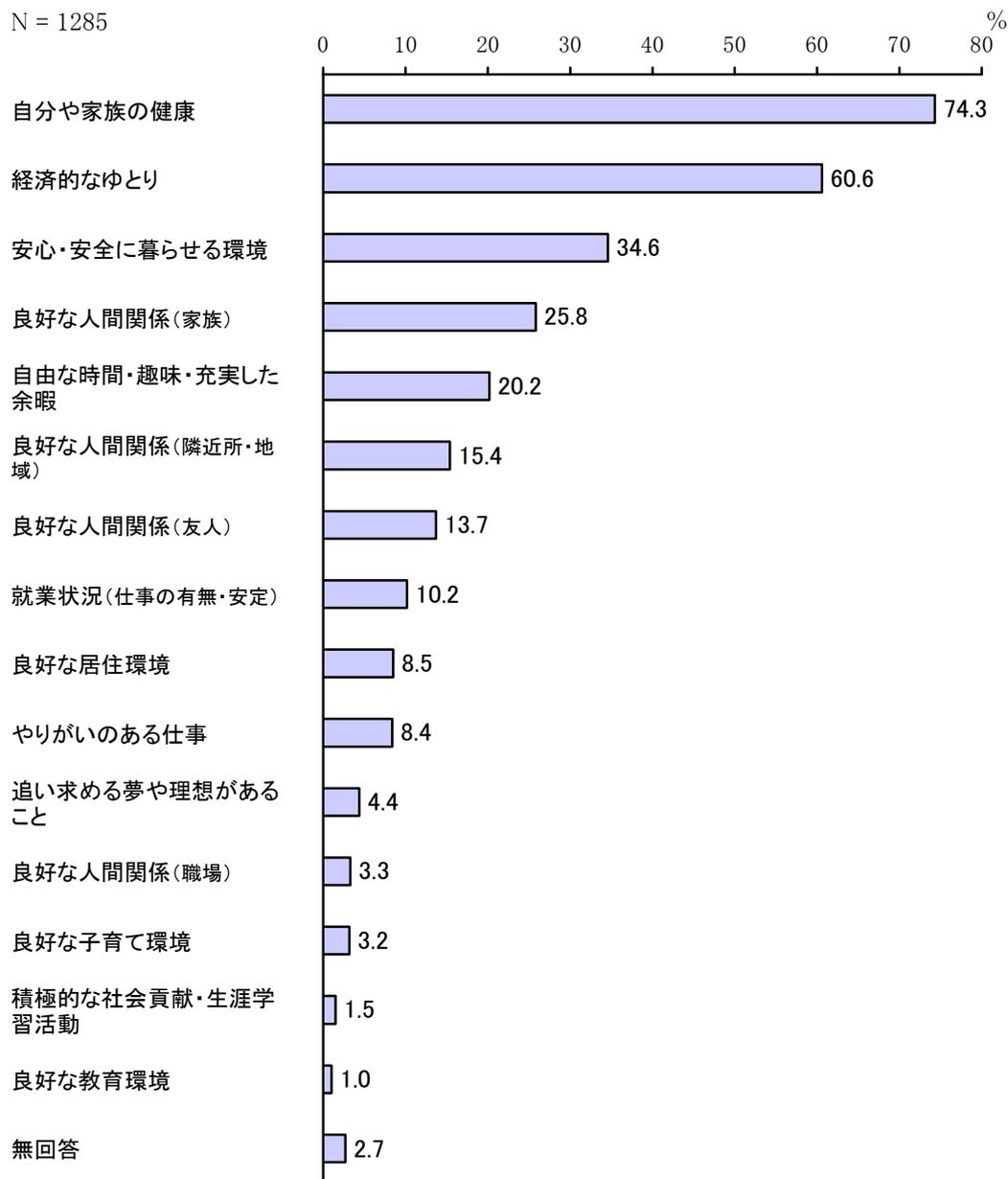
小学校区別にみると、和地、伊良湖で「10点」の割合が高く、2割を超えています。



問3 あなたが「幸せ」でいるために、重要だと思う事項は何ですか。
(あてはまるもの3つに○)

「自分や家族の健康」の割合が74.3%と最も高く、次いで「経済的なゆとり」の割合が60.6%となっており、この2項目で回答数全体の5割弱を占めています。

N = 1285



【性別】

性別にみると、男性に比べ女性で「自分や家族の健康」「良好な人間関係（家族）」の割合が高くなっています。

上段：実数（件）、下段：割合（%）

区分	全体	経済的なゆとり	就業状況 (仕事の有無・安定)	自分や家族の健康	自由な時間・趣味・ 充実した余暇	やりがいのある仕事	積極的な社会貢献・ 生涯学習活動	良好な人間関係 (家族)	良好な人間関係 (友人)
男性	536 100.0	344 64.2	68 12.7	380 70.9	122 22.8	54 10.1	8 1.5	99 18.5	68 12.7
女性	718 100.0	427 59.5	62 8.6	560 78.0	134 18.7	52 7.2	11 1.5	227 31.6	105 14.6

区分	良好な人間関係 (職場)	良好な人間関係 (隣近所・地域)	良好な子育て環境	良好な教育環境	良好な居住環境	安心・安全に暮らせる 環境	追い求める夢や理想が あること	無回答
男性	23 4.3	79 14.7	17 3.2	6 1.1	48 9.0	192 35.8	35 6.5	9 1.7
女性	19 2.6	113 15.7	24 3.3	7 1.0	60 8.4	248 34.5	21 2.9	14 1.9

【年齢別】

年齢別にみると、他の年齢に比べ、20歳代で「良好な人間関係（友人）」の割合が高くなっています。一方で年代が高くなるにつれて「良好な人間関係（隣近所・地域）」の割合が高くなっており、特に70歳以上で3割以上となっています。

上段：実数（件）、下段：割合（％）

区分	全体	経済的なゆとり	就業状況 (仕事の有無・安定)	自分や家族の健康	自由な時間・趣味・ 充実した余暇	やりがいのある仕事	積極的な社会貢献・ 生涯学習活動	良好な人間関係 (家族)	良好な人間関係 (友人)
20歳代	147 100.0	87 59.2	19 12.9	86 58.5	56 38.1	14 9.5	1 0.7	27 18.4	48 32.7
30歳代	174 100.0	113 64.9	23 13.2	124 71.3	30 17.2	19 10.9	1 0.6	54 31.0	26 14.9
40歳代	163 100.0	104 63.8	26 16.0	128 78.5	30 18.4	18 11.0	2 1.2	50 30.7	25 15.3
50歳代	223 100.0	159 71.3	32 14.3	183 82.1	35 15.7	18 8.1	5 2.2	54 24.2	16 7.2
60歳代	280 100.0	179 63.9	22 7.9	219 78.2	59 21.1	17 6.1	3 1.1	67 23.9	28 10.0
70歳以上	272 100.0	128 47.1	8 2.9	203 74.6	47 17.3	19 7.0	7 2.6	77 28.3	31 11.4

区分	良好な人間関係 (職場)	良好な人間関係 (隣近所・地域)	良好な子育て環境	良好な教育環境	良好な居住環境	安心・安全に暮らせる 環境	追い求める夢や理想が あること	無回答
20歳代	19 12.9	7 4.8	10 6.8	4 2.7	11 7.5	26 17.7	12 8.2	4 2.7
30歳代	3 1.7	10 5.7	20 11.5	1 0.6	16 9.2	53 30.5	9 5.2	3 1.7
40歳代	8 4.9	16 9.8	5 3.1	2 1.2	10 6.1	56 34.4	2 1.2	0 0.0
50歳代	7 3.1	22 9.9	1 0.4	3 1.3	16 7.2	91 40.8	13 5.8	2 0.9
60歳代	4 1.4	55 19.6	2 0.7	2 0.7	24 8.6	121 43.2	12 4.3	6 2.1
70歳以上	1 0.4	86 31.6	3 1.1	1 0.4	32 11.8	93 34.2	7 2.6	8 2.9

【職業別】

職業別にみると、他の職業に比べ、自営業（商工業自営など）、自由業の手伝い、専業家事従事者（主婦など）で「自分や家族の健康」の割合が高く8割を超えています。

上段：実数（件）、下段：割合（%）

区分	全体	経済的なゆとり	就業状況 (仕事の有無・安定)	自分や家族の健康	自由な時間・趣味・ 充実した余暇	やりがいのある仕事	積極的な社会貢献・ 生涯学習活動	良好な人間関係 (家族)	良好な人間関係 (友人)
会社経営者・役員	34 100.0	17 50.0	6 17.6	25 73.5	5 14.7	3 8.8	1 2.9	8 23.5	6 17.6
自営業(農林漁業)	224 100.0	151 67.4	18 8.0	173 77.2	40 17.9	27 12.1	4 1.8	61 27.2	26 11.6
自営業(商工業自営など)	62 100.0	36 58.1	7 11.3	52 83.9	6 9.7	8 12.9	1 1.6	22 35.5	11 17.7
自由業(医師・弁護士・会計士・税理士・作家・画家など)	6 100.0	5 83.3	0 0.0	4 66.7	2 33.3	4 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
自由業の手伝い	17 100.0	5 29.4	3 17.6	14 82.4	2 11.8	3 17.6	0 0.0	8 47.1	1 5.9
会社員・公務員・ 団体職員	314 100.0	208 66.2	48 15.3	219 69.7	88 28.0	35 11.1	2 0.6	61 19.4	53 16.9
パート・アルバイト	182 100.0	119 65.4	21 11.5	144 79.1	30 16.5	12 6.6	4 2.2	46 25.3	24 13.2
専業家事従事者 (主婦など)	128 100.0	75 58.6	9 7.0	105 82.0	17 13.3	2 1.6	1 0.8	45 35.2	17 13.3
学生	12 100.0	7 58.3	2 16.7	8 66.7	3 25.0	2 16.7	0 0.0	1 8.3	5 41.7
無職(年金生活含む)	252 100.0	132 52.4	9 3.6	182 72.2	58 23.0	8 3.2	5 2.0	71 28.2	28 11.1
その他	25 100.0	17 68.0	5 20.0	17 68.0	6 24.0	3 12.0	1 4.0	3 12.0	4 16.0

【職業別（つづき）】

上段：実数（件）、下段：割合（％）

区分	良好な人間関係 (職場)	良好な人間関係 (隣近所・地域)	良好な子育て環境	良好な教育環境	良好な居住環境	安心・安全に暮らせる 環境	追い求める夢や理想が あること	無回答
会社経営者・役員	0 0.0	3 8.8	2 5.9	0 0.0	5 14.7	8 23.5	5 14.7	2 5.9
自営業(農林漁業)	1 0.4	28 12.5	10 4.5	5 2.2	14 6.3	79 35.3	9 4.0	3 1.3
自営業(商工業自営など)	1 1.6	12 19.4	1 1.6	0 0.0	4 6.5	20 32.3	1 1.6	0 0.0
自由業(医師・弁護士・会計士・税理士・作家・画家など)	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0
自由業の手伝い	0 0.0	3 17.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 35.3	1 5.9	1 5.9
会社員・公務員・ 団体職員	27 8.6	20 6.4	10 3.2	4 1.3	29 9.2	101 32.2	20 6.4	3 1.0
パート・アルバイト	10 5.5	29 15.9	5 2.7	1 0.5	11 6.0	69 37.9	4 2.2	4 2.2
専業家事従事者 (主婦など)	0 0.0	15 11.7	12 9.4	2 1.6	12 9.4	53 41.4	6 4.7	3 2.3
学生	2 16.7	1 8.3	0 0.0	1 8.3	1 8.3	1 8.3	2 16.7	0 0.0
無職(年金生活含む)	0 0.0	74 29.4	1 0.4	0 0.0	28 11.1	95 37.7	8 3.2	6 2.4
その他	1 4.0	8 32.0	0 0.0	0 0.0	4 16.0	6 24.0	0 0.0	0 0.0

【小学校区別】

小学校区別にみると、他の小学校区に比べ、田原東部、亀山、泉で「安心・安全に暮らせる環境」の割合が高く、約5割となっています。

上段：実数（件）、下段：割合（%）

区分	全 体	経 済 的 な ゆ と り	就 業 状 況 （ 仕 事 の 有 無 ・ 安 定 ）	自 分 や 家 族 の 健 康	充 実 し た 余 暇	自 由 な 時 間 ・ 趣 味 ・ 興 味	や り が い の あ る 仕 事	生 涯 学 習 活 動	積 極 的 な 社 会 貢 献 ・ （ 家 族 ）	良 好 な 人 間 関 係 （ 友 人 ）
六連	31 100.0	18 58.1	2 6.5	25 80.6	9 29.0	4 12.9	2 6.5	5 16.1	8 25.8	
神戸	120 100.0	79 65.8	13 10.8	98 81.7	22 18.3	8 6.7	3 2.5	37 30.8	15 12.5	
大草	26 100.0	15 57.7	4 15.4	19 73.1	5 19.2	3 11.5	1 3.8	10 38.5	2 7.7	
田原東部	94 100.0	56 59.6	11 11.7	75 79.8	19 20.2	3 3.2	0 0.0	19 20.2	12 12.8	
田原南部	30 100.0	19 63.3	3 10.0	21 70.0	4 13.3	2 6.7	0 0.0	13 43.3	5 16.7	
童浦	108 100.0	68 63.0	13 12.0	80 74.1	28 25.9	8 7.4	1 0.9	28 25.9	13 12.0	
田原中部	140 100.0	82 58.6	9 6.4	103 73.6	38 27.1	15 10.7	2 1.4	31 22.1	26 18.6	
衣笠	119 100.0	71 59.7	13 10.9	90 75.6	27 22.7	8 6.7	2 1.7	24 20.2	14 11.8	
野田	79 100.0	46 58.2	8 10.1	61 77.2	13 16.5	8 10.1	1 1.3	29 36.7	8 10.1	
高松	27 100.0	21 77.8	2 7.4	22 81.5	7 25.9	2 7.4	1 3.7	5 18.5	2 7.4	
赤羽根	45 100.0	25 55.6	3 6.7	32 71.1	9 20.0	7 15.6	1 2.2	13 28.9	11 24.4	
若戸	39 100.0	24 61.5	5 12.8	33 84.6	10 25.6	6 15.4	0 0.0	8 20.5	3 7.7	
和地	24 100.0	17 70.8	0 0.0	16 66.7	2 8.3	4 16.7	0 0.0	12 50.0	4 16.7	
堀切	42 100.0	29 69.0	5 11.9	30 71.4	4 9.5	4 9.5	0 0.0	13 31.0	2 4.8	
伊良湖	17 100.0	8 47.1	2 11.8	12 70.6	0 0.0	2 11.8	0 0.0	5 29.4	0 0.0	
亀山	26 100.0	16 61.5	3 11.5	19 73.1	5 19.2	3 11.5	0 0.0	6 23.1	3 11.5	
中山	84 100.0	59 70.2	10 11.9	66 78.6	14 16.7	9 10.7	0 0.0	17 20.2	10 11.9	
福江	91 100.0	51 56.0	15 16.5	60 65.9	16 17.6	2 2.2	3 3.3	27 29.7	16 17.6	
清田	54 100.0	31 57.4	3 5.6	39 72.2	14 25.9	2 3.7	1 1.9	13 24.1	13 24.1	
泉	68 100.0	40 58.8	7 10.3	49 72.1	14 20.6	8 11.8	1 1.5	12 17.6	7 10.3	

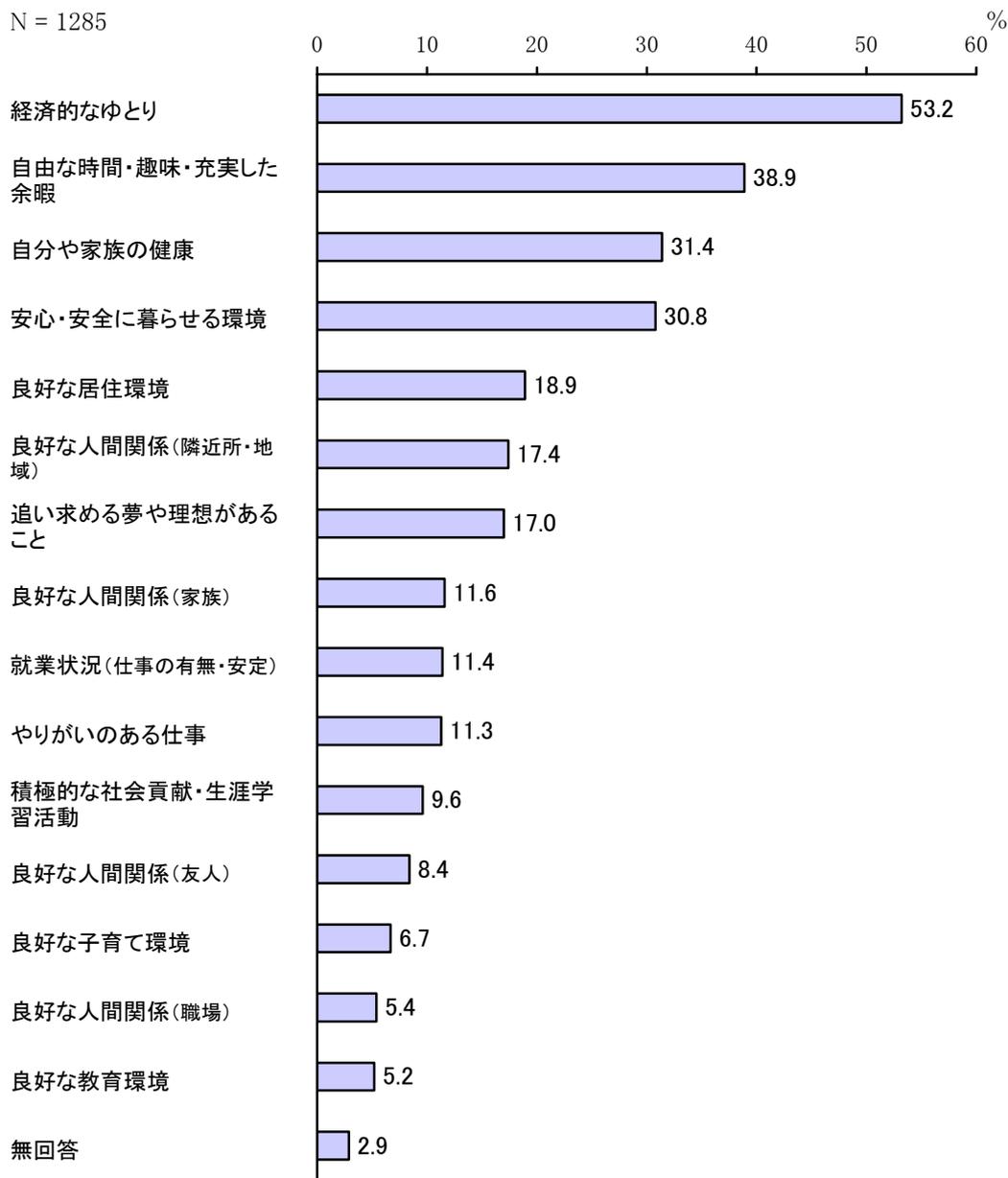
【小学校区別（つづき）】

上段：実数（件）、下段：割合（％）

区分	良好な人間関係 （職場）	良好な人間関係 （隣近所・地域）	良好な子育て環境	良好な教育環境	良好な居住環境	安心・安全に暮らせる 環境	追い求める夢や理想が あること	無回答
六連	1 3.2	4 12.9	1 3.2	0 0.0	2 6.5	10 32.3	2 6.5	0 0.0
神戸	3 2.5	16 13.3	0 0.0	0 0.0	14 11.7	45 37.5	4 3.3	0 0.0
大草	1 3.8	5 19.2	2 7.7	0 0.0	2 7.7	7 26.9	2 7.7	0 0.0
田原東部	3 3.2	17 18.1	4 4.3	1 1.1	8 8.5	44 46.8	2 2.1	1 1.1
田原南部	0 0.0	5 16.7	2 6.7	0 0.0	3 10.0	7 23.3	2 6.7	0 0.0
童浦	3 2.8	7 6.5	4 3.7	3 2.8	8 7.4	33 30.6	7 6.5	4 3.7
田原中部	7 5.0	23 16.4	6 4.3	1 0.7	17 12.1	42 30.0	8 5.7	2 1.4
衣笠	5 4.2	17 14.3	3 2.5	3 2.5	18 15.1	42 35.3	6 5.0	2 1.7
野田	2 2.5	14 17.7	4 5.1	0 0.0	3 3.8	32 40.5	2 2.5	0 0.0
高松	1 3.7	2 7.4	2 7.4	0 0.0	0 0.0	7 25.9	3 11.1	1 3.7
赤羽根	2 4.4	4 8.9	1 2.2	0 0.0	0 0.0	17 37.8	2 4.4	2 4.4
若戸	1 2.6	9 23.1	0 0.0	0 0.0	2 5.1	11 28.2	3 7.7	0 0.0
和地	0 0.0	2 8.3	2 8.3	3 12.5	0 0.0	10 41.7	0 0.0	0 0.0
堀切	3 7.1	9 21.4	1 2.4	0 0.0	2 4.8	15 35.7	1 2.4	1 2.4
伊良湖	1 5.9	6 35.3	1 5.9	1 5.9	2 11.8	3 17.6	0 0.0	1 5.9
亀山	1 3.8	3 11.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	12 46.2	1 3.8	0 0.0
中山	2 2.4	14 16.7	2 2.4	0 0.0	7 8.3	31 36.9	2 2.4	1 1.2
福江	3 3.3	19 20.9	3 3.3	1 1.1	12 13.2	26 28.6	3 3.3	3 3.3
清田	1 1.9	9 16.7	0 0.0	0 0.0	4 7.4	17 31.5	3 5.6	1 1.9
泉	2 2.9	12 17.6	2 2.9	0 0.0	4 5.9	31 45.6	3 4.4	3 4.4

問4 あなたの幸福感をさらに高めるために、今足りていない（さらに高めたい）と思う事項は何ですか。（あてはまるもの3つに○）

「経済的なゆとり」の割合が53.2%と最も高く、次いで「自由な時間・趣味・充実した余暇」の割合が38.9%、「自分や家族の健康」の割合が31.4%、「安心・安全に暮らせる環境」の割合が30.8%となっており、この4項目が回答数全体の5割強を占めています。



【性別】

性別にみると、女性に比べ男性で「経済的なゆとり」の割合がやや高くなっています。

上段：実数（件）、下段：割合（%）

区分	全 体	経済的なゆとり	就業状況 (仕事の有無・安定)	自分や家族の健康	自由な時間・趣味・ 充実した余暇	やりがいのある仕事	積極的な社会貢献・ 生涯学習活動	良好な人間関係 (家族)	良好な人間関係 (友人)
男性	536 100.0	309 57.6	68 12.7	159 29.7	204 38.1	67 12.5	47 8.8	48 9.0	44 8.2
女性	718 100.0	368 51.3	79 11.0	231 32.2	289 40.3	76 10.6	75 10.4	98 13.6	63 8.8

区分	良好な人間関係 (職場)	良好な人間関係 (隣近所・地域)	良好な子育て環境	良好な教育環境	良好な居住環境	安心・安全に暮らせる 環境	追い求める夢や理想が あること	無回答
男性	27 5.0	92 17.2	36 6.7	30 5.6	117 21.8	168 31.3	91 17.0	9 1.7
女性	42 5.8	130 18.1	50 7.0	37 5.2	124 17.3	218 30.4	126 17.5	16 2.2

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「自分や家族の健康」「良好な人間関係（隣近所・地域）」「安心・安全に暮らせる環境」の割合が高くなっています。また、年齢が低くなるにつれて「良好な人間関係（職場）」「良好な子育て環境」の割合が高くなっています。

上段：実数（件）、下段：割合（%）

区分	全体	経済的なゆとり	就業状況 (仕事の有無・安定)	自分や家族の健康	充実した余暇 自由な時間・趣味・	やりがいのある仕事	積極的な社会貢献・ 生涯学習活動	良好な人間関係 (家族)	良好な人間関係 (友人)
20歳代	147 100.0	85 57.8	26 17.7	15 10.2	64 43.5	26 17.7	11 7.5	10 6.8	25 17.0
30歳代	174 100.0	111 63.8	31 17.8	27 15.5	80 46.0	29 16.7	12 6.9	11 6.3	9 5.2
40歳代	163 100.0	98 60.1	23 14.1	42 25.8	76 46.6	31 19.0	15 9.2	15 9.2	6 3.7
50歳代	223 100.0	129 57.8	29 13.0	69 30.9	98 43.9	23 10.3	28 12.6	32 14.3	21 9.4
60歳代	280 100.0	131 46.8	29 10.4	106 37.9	111 39.6	22 7.9	38 13.6	27 9.6	18 6.4
70歳以上	272 100.0	123 45.2	7 2.6	134 49.3	67 24.6	10 3.7	19 7.0	52 19.1	28 10.3

区分	良好な人間関係 (職場)	良好な人間関係 (隣近所・地域)	良好な子育て環境	良好な教育環境	良好な居住環境	安心・安全に暮らせる 環境	追い求める夢や理想が あること	無回答
20歳代	17 11.6	10 6.8	19 12.9	9 6.1	33 22.4	28 19.0	42 28.6	1 0.7
30歳代	14 8.0	16 9.2	31 17.8	18 10.3	47 27.0	33 19.0	23 13.2	2 1.1
40歳代	12 7.4	23 14.1	14 8.6	15 9.2	31 19.0	33 20.2	28 17.2	2 1.2
50歳代	12 5.4	40 17.9	10 4.5	6 2.7	33 14.8	67 30.0	45 20.2	1 0.4
60歳代	11 3.9	70 25.0	9 3.2	11 3.9	57 20.4	103 36.8	47 16.8	7 2.5
70歳以上	4 1.5	64 23.5	3 1.1	8 2.9	40 14.7	126 46.3	32 11.8	12 4.4

【職業別】

職業別にみると、他の職業に比べ、自営業（農林漁業）、会社員・公務員・団体職員で「自由な時間・趣味・充実した余暇」の割合が約5割となっています。

上段：実数（件）、下段：割合（%）

区分	全 体	経済的なゆとり	就業状況 (仕事の有無・安定)	自分や家族の健康	自由な時間・趣味・ 充実した余暇	やりがいのある仕事	積極的な社会貢献・ 生涯学習活動	良好な人間関係 (家族)	良好な人間関係 (友人)
会社経営者・役員	34 100.0	12 35.3	6 17.6	3 8.8	13 38.2	6 17.6	7 20.6	3 8.8	0 0.0
自営業(農林漁業)	224 100.0	123 54.9	22 9.8	86 38.4	107 47.8	24 10.7	17 7.6	30 13.4	14 6.3
自営業(商工業自営など)	62 100.0	32 51.6	11 17.7	22 35.5	20 32.3	5 8.1	9 14.5	10 16.1	9 14.5
自由業(医師・弁護士・会計士・税理士・作家・画家など)	6 100.0	2 33.3	1 16.7	0 0.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
自由業の手伝い	17 100.0	8 47.1	3 17.6	10 58.8	3 17.6	3 17.6	1 5.9	5 29.4	1 5.9
会社員・公務員・団体職員	314 100.0	181 57.6	34 10.8	61 19.4	153 48.7	52 16.6	31 9.9	19 6.1	27 8.6
パート・アルバイト	182 100.0	113 62.1	31 17.0	48 26.4	76 41.8	26 14.3	15 8.2	23 12.6	21 11.5
専業家事従事者(主婦など)	128 100.0	60 46.9	13 10.2	38 29.7	53 41.4	10 7.8	18 14.1	16 12.5	9 7.0
学生	12 100.0	7 58.3	5 41.7	1 8.3	1 8.3	1 8.3	3 25.0	0 0.0	2 16.7
無職(年金生活含む)	252 100.0	121 48.0	15 6.0	126 50.0	55 21.8	11 4.4	19 7.5	37 14.7	23 9.1
その他	25 100.0	17 68.0	4 16.0	4 16.0	10 40.0	4 16.0	2 8.0	3 12.0	1 4.0

II 田原市市民意識調査

【職業別（つづき）】

上段：実数（件）、下段：割合（％）

区分	良好な人間関係 (職場)	良好な人間関係 (隣近所・地域)	良好な子育て環境	良好な教育環境	良好な居住環境	安心・安全に暮らせる 環境	追い求める夢や理想が あること	無回答
会社経営者・役員	3 8.8	4 11.8	0 0.0	1 2.9	8 23.5	15 44.1	11 32.4	1 2.9
自営業(農林漁業)	5 2.2	42 18.8	11 4.9	13 5.8	36 16.1	63 28.1	29 12.9	6 2.7
自営業(商工業自営など)	5 8.1	10 16.1	3 4.8	1 1.6	9 14.5	20 32.3	8 12.9	0 0.0
自由業(医師・弁護士・会計士・税理士・作家・画家など)	0 0.0	3 50.0	1 16.7	0 0.0	1 16.7	2 33.3	1 16.7	0 0.0
自由業の手伝い	0 0.0	0 0.0	1 5.9	1 5.9	0 0.0	7 41.2	1 5.9	0 0.0
会社員・公務員・団体職員	37 11.8	42 13.4	34 10.8	24 7.6	70 22.3	74 23.6	66 21.0	1 0.3
パート・アルバイト	16 8.8	26 14.3	8 4.4	5 2.7	37 20.3	41 22.5	33 18.1	2 1.1
専業家事従事者(主婦など)	2 1.6	23 18.0	21 16.4	13 10.2	20 15.6	39 30.5	26 20.3	3 2.3
学生	1 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 25.0	4 33.3	6 50.0	0 0.0
無職(年金生活含む)	0 0.0	68 27.0	4 1.6	8 3.2	52 20.6	117 46.4	32 12.7	9 3.6
その他	1 4.0	4 16.0	3 12.0	1 4.0	5 20.0	10 40.0	4 16.0	0 0.0

【小学校区別】

小学校区別にみると、他の小学校区に比べ、赤羽根で「自由な時間・趣味・充実した余暇」の割合が高く、約5割となっています。また、田原南部で「追い求める夢や理想があること」の割合が高く約4割となっています。

上段：実数（件）、下段：割合（％）

区分	全 体	経 済 的 な ゆ と り	就 業 状 況 （ 仕 事 の 有 無 ・ 安 定 ）	自 分 や 家 族 の 健 康	自 由 な 時 間 ・ 趣 味 ・ 充 実 し た 余 暇	や り が い の あ る 仕 事	積 極 的 な 社 会 貢 献 ・ 生 涯 学 習 活 動	良 好 な 人 間 関 係 （ 家 族 ）	良 好 な 人 間 関 係 （ 友 人 ）
六連	31 100.0	19 61.3	2 6.5	11 35.5	10 32.3	4 12.9	2 6.5	3 9.7	4 12.9
神戸	120 100.0	75 62.5	16 13.3	30 25.0	51 42.5	13 10.8	11 9.2	11 9.2	9 7.5
大草	26 100.0	15 57.7	2 7.7	11 42.3	6 23.1	1 3.8	6 23.1	4 15.4	3 11.5
田原東部	94 100.0	56 59.6	8 8.5	35 37.2	35 37.2	9 9.6	6 6.4	11 11.7	8 8.5
田原南部	30 100.0	15 50.0	2 6.7	9 30.0	12 40.0	3 10.0	3 10.0	4 13.3	4 13.3
童浦	108 100.0	62 57.4	16 14.8	23 21.3	51 47.2	11 10.2	13 12.0	10 9.3	7 6.5
田原中部	140 100.0	67 47.9	18 12.9	35 25.0	55 39.3	17 12.1	18 12.9	19 13.6	14 10.0
衣笠	119 100.0	55 46.2	13 10.9	51 42.9	45 37.8	18 15.1	10 8.4	10 8.4	5 4.2
野田	79 100.0	38 48.1	5 6.3	26 32.9	34 43.0	9 11.4	12 15.2	11 13.9	10 12.7
高松	27 100.0	12 44.4	4 14.8	8 29.6	10 37.0	4 14.8	4 14.8	2 7.4	3 11.1
赤羽根	45 100.0	26 57.8	4 8.9	12 26.7	24 53.3	3 6.7	7 15.6	3 6.7	3 6.7
若戸	39 100.0	20 51.3	3 7.7	12 30.8	17 43.6	6 15.4	5 12.8	5 12.8	4 10.3
和地	24 100.0	14 58.3	4 16.7	10 41.7	11 45.8	4 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
堀切	42 100.0	23 54.8	5 11.9	20 47.6	15 35.7	1 2.4	2 4.8	4 9.5	0 0.0
伊良湖	17 100.0	8 47.1	2 11.8	8 47.1	7 41.2	1 5.9	1 5.9	4 23.5	4 23.5
亀山	26 100.0	15 57.7	0 0.0	10 38.5	11 42.3	6 23.1	3 11.5	4 15.4	1 3.8
中山	84 100.0	41 48.8	9 10.7	29 34.5	28 33.3	11 13.1	8 9.5	12 14.3	5 6.0
福江	91 100.0	50 54.9	17 18.7	29 31.9	30 33.0	6 6.6	4 4.4	13 14.3	13 14.3
清田	54 100.0	26 48.1	9 16.7	13 24.1	18 33.3	9 16.7	3 5.6	8 14.8	7 13.0
泉	68 100.0	42 61.8	7 10.3	20 29.4	27 39.7	9 13.2	6 8.8	8 11.8	3 4.4

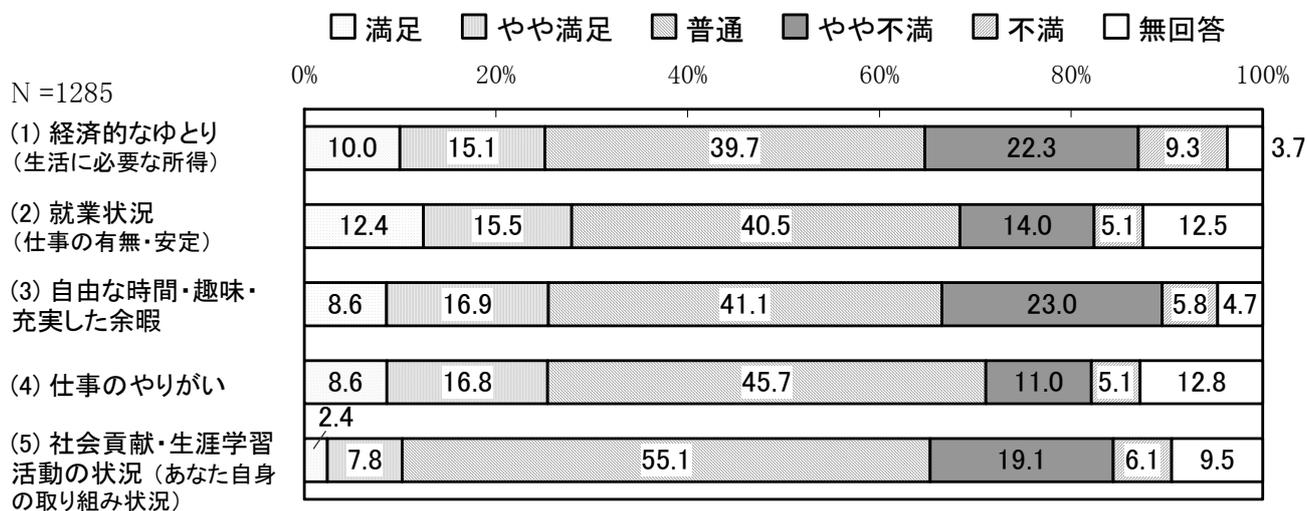
【小学校区別（つづき）】

上段：実数（件）、下段：割合（％）

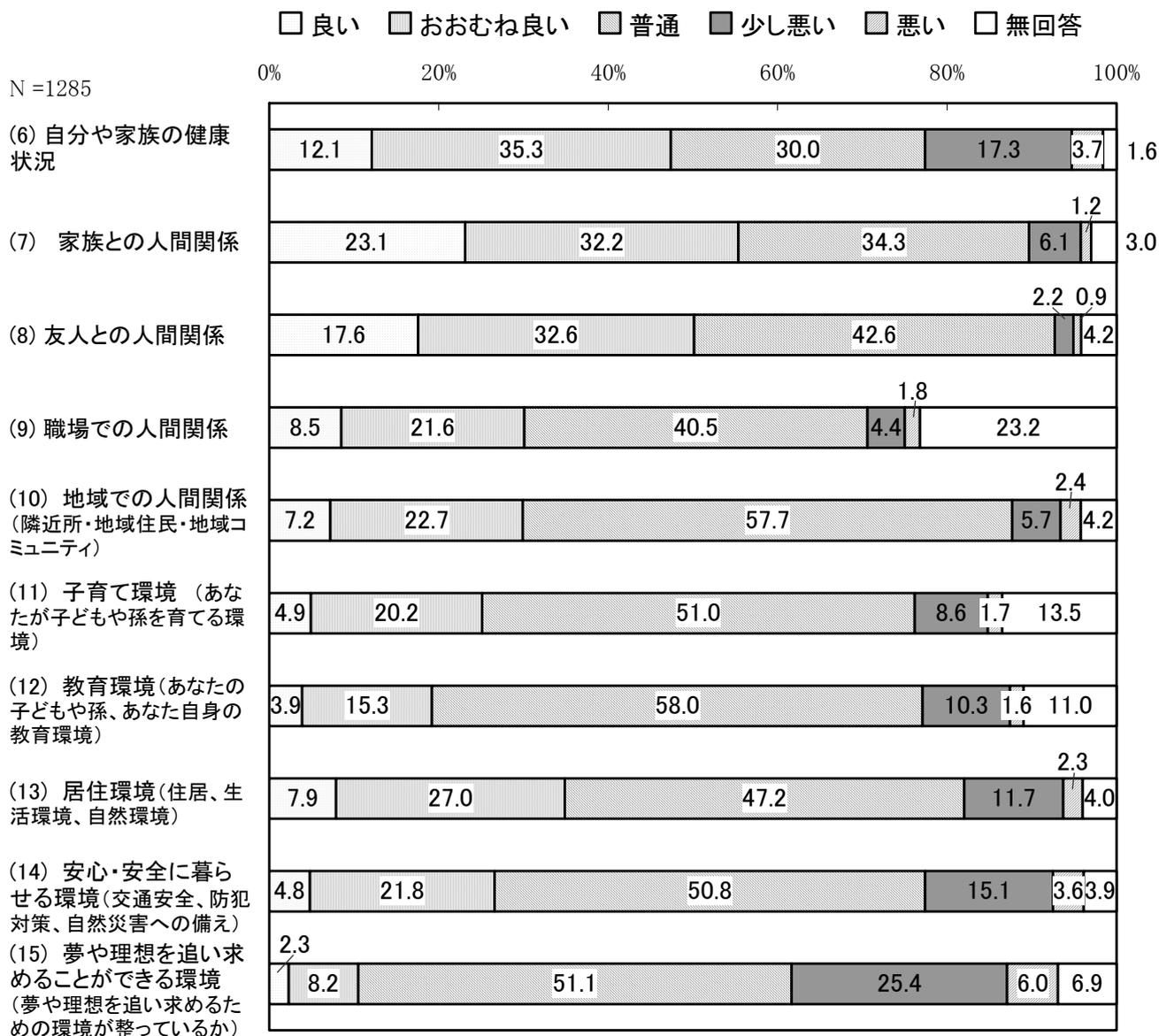
区分	良好な人間関係 （職場）	良好な人間関係 （隣近所・地域）	良好な子育て環境	良好な教育環境	良好な居住環境	安心・安全に暮らせる環境	追い求める夢や理想があること	無回答
六連	1 3.2	6 19.4	2 6.5	2 6.5	6 19.4	13 41.9	5 16.1	0 0.0
神戸	4 3.3	23 19.2	9 7.5	5 4.2	27 22.5	37 30.8	24 20.0	1 0.8
大草	1 3.8	6 23.1	2 7.7	0 0.0	5 19.2	2 7.7	6 23.1	1 3.8
田原東部	7 7.4	16 17.0	7 7.4	7 7.4	16 17.0	35 37.2	12 12.8	1 1.1
田原南部	1 3.3	4 13.3	1 3.3	0 0.0	5 16.7	5 16.7	12 40.0	1 3.3
童浦	8 7.4	18 16.7	14 13.0	7 6.5	22 20.4	28 25.9	21 19.4	1 0.9
田原中部	3 2.1	26 18.6	6 4.3	8 5.7	39 27.9	50 35.7	29 20.7	1 0.7
衣笠	10 8.4	23 19.3	10 8.4	6 5.0	20 16.8	41 34.5	23 19.3	1 0.8
野田	5 6.3	10 12.7	6 7.6	4 5.1	8 10.1	29 36.7	16 20.3	2 2.5
高松	2 7.4	7 25.9	2 7.4	1 3.7	2 7.4	9 33.3	6 22.2	1 3.7
赤羽根	3 6.7	9 20.0	4 8.9	2 4.4	8 17.8	11 24.4	7 15.6	0 0.0
若戸	3 7.7	5 12.8	1 2.6	2 5.1	10 25.6	6 15.4	10 25.6	1 2.6
和地	0 0.0	6 25.0	1 4.2	3 12.5	4 16.7	9 37.5	3 12.5	1 4.2
堀切	1 2.4	6 14.3	2 4.8	1 2.4	9 21.4	17 40.5	5 11.9	2 4.8
伊良湖	0 0.0	2 11.8	1 5.9	1 5.9	2 11.8	4 23.5	4 23.5	0 0.0
亀山	1 3.8	3 11.5	0 0.0	1 3.8	2 7.7	8 30.8	3 11.5	1 3.8
中山	3 3.6	16 19.0	9 10.7	7 8.3	16 19.0	34 40.5	11 13.1	0 0.0
福江	7 7.7	16 17.6	5 5.5	4 4.4	19 20.9	31 34.1	8 8.8	2 2.2
清田	6 11.1	8 14.8	2 3.7	1 1.9	11 20.4	14 25.9	3 5.6	4 7.4
泉	4 5.9	13 19.1	1 1.5	3 4.4	11 16.2	12 17.6	10 14.7	3 4.4

問5 あなたの状況について伺います。
 (下表の欄に、項目ごとに評価し該当する番号に○をつけてください。)

(1) 経済的なゆとり、(3) 自由な時間・趣味・充実した余暇で「不満」と「やや不満」を合わせた“不満を感じる人”の割合が高く約3割となっています。



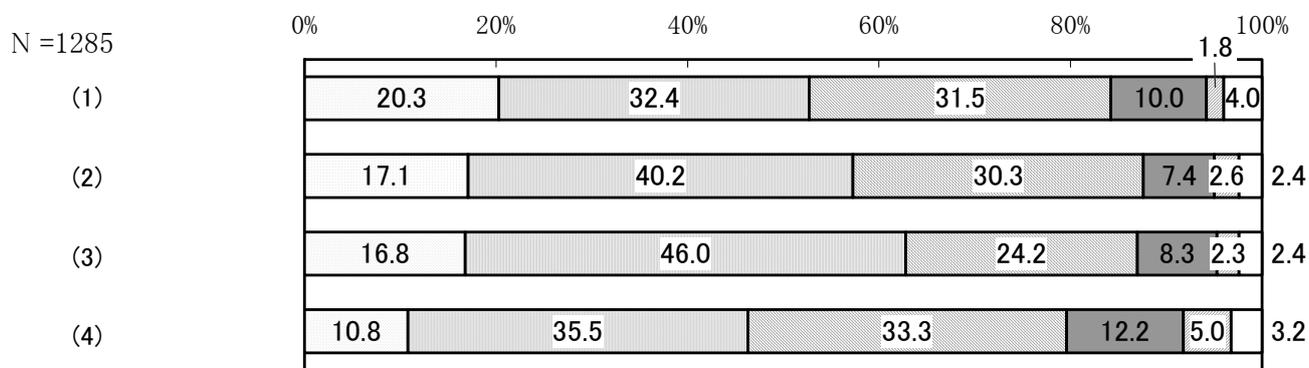
(6) 自分や家族の健康状況、(7) 家族との人間関係、(8) 友人との人間関係で「良い」と「おおむね良い」を合わせた“良いと感じる人”の割合が高くなっています。



問6 あなたは、あなた自身の「幸せ」や、あなたの周囲の人などの「幸せ」を高めることについて、どの程度意識し、どの程度取り組みを行なっていますか。
 (下表の欄に、項目ごとに評価し該当する番号に○をつけてください。)

(2) あなたは、普段から自分が「幸せ」になるための努力をしていますか、(3) あなたは、普段から自分だけでなく周囲が「幸せ」になるよう意識していますかで「している」と「ややしている」をあわせた“している”人の割合が高く、約5割以上となっています。一方、(4) あなたは、あなたが行なう仕事や活動、普段の生活などを通じて、周囲を「幸せ」にする取り組みを行なっていますかで、“している”人の割合が低く、5割未満となっています。

している ややしている あまりしていない
 していない わからない 無回答



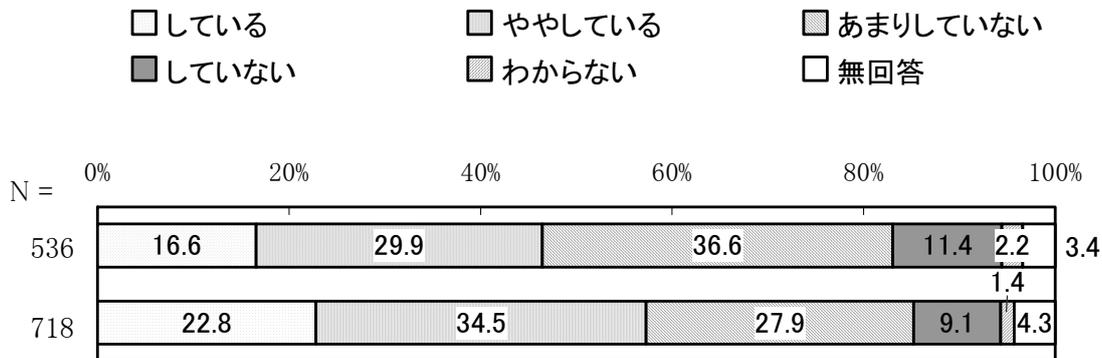
<設問>

- (1) あなたは、普段から自分にとっての「幸せ」とは何かを考えていますか。
- (2) あなたは、普段から自分が「幸せ」になるための努力をしていますか。
- (3) あなたは、普段から自分だけでなく周囲が「幸せ」になるよう意識していますか。
 (家族の笑顔を増やすことで、家族を幸せにしている)(美味しい野菜を作って、消費者を幸せにしている) など
- (4) あなたは、あなたが行なう仕事や活動、普段の生活などを通じて、周囲を「幸せ」にする取り組みを行なっていますか。

(1) あなたは、普段から自分にとっての「幸せ」とは何かを考えていますか。

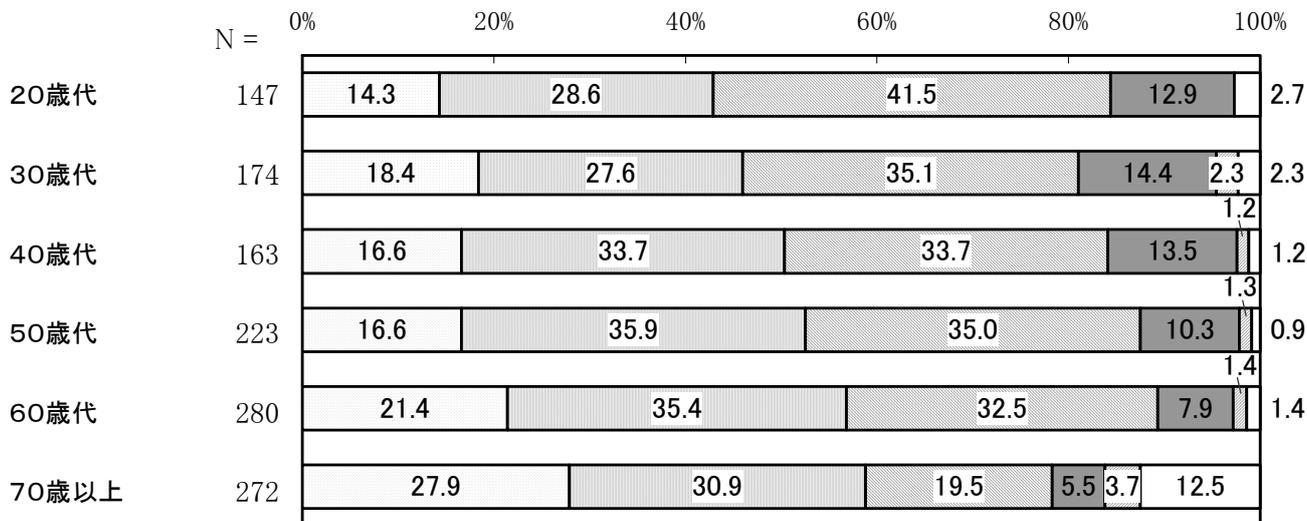
【性別】

性別にみると、男性に比べ女性で“している”人の割合が高く、約6割となっています。一方、男性で「あまりしていない」と「していない」をあわせた“していない”人の割合が高く、約5割となっています。



【年齢別】

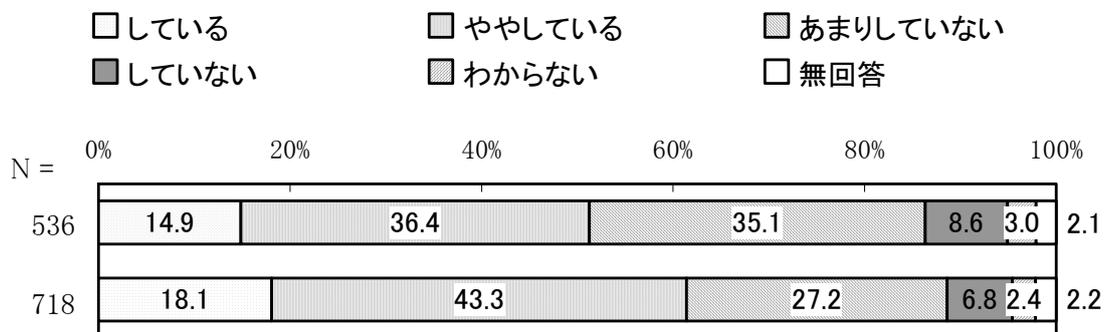
年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて“している”人の割合が高くなっています。



(2) あなたは、普段から自分が「幸せ」になるための努力をしていますか。

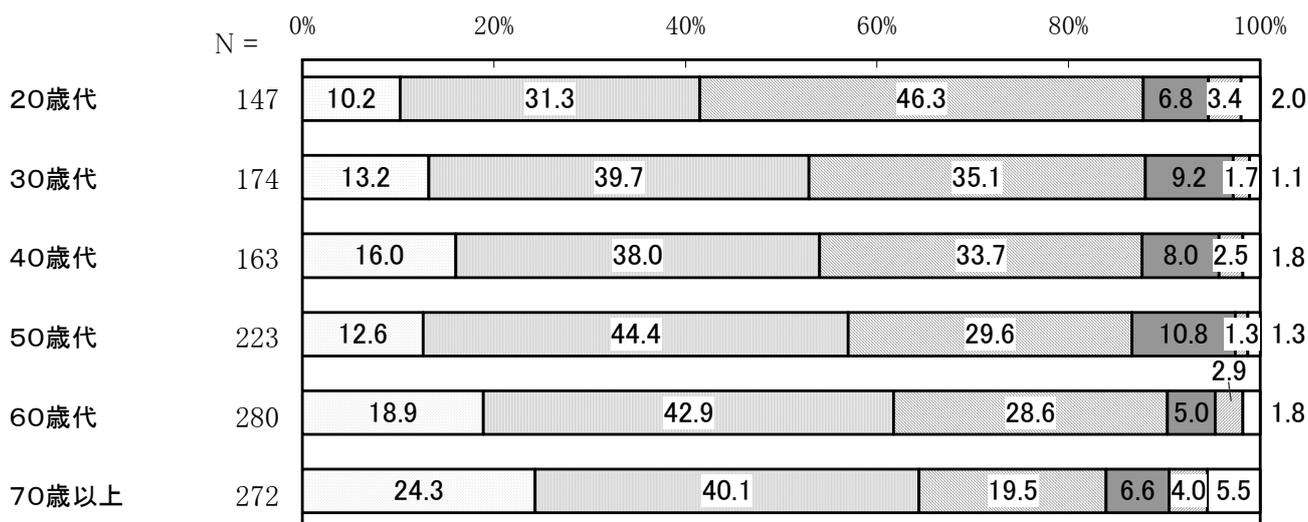
【性別】

性別にみると、男性に比べ女性で“している”人の割合高く、約6割となっています。



【年齢別】

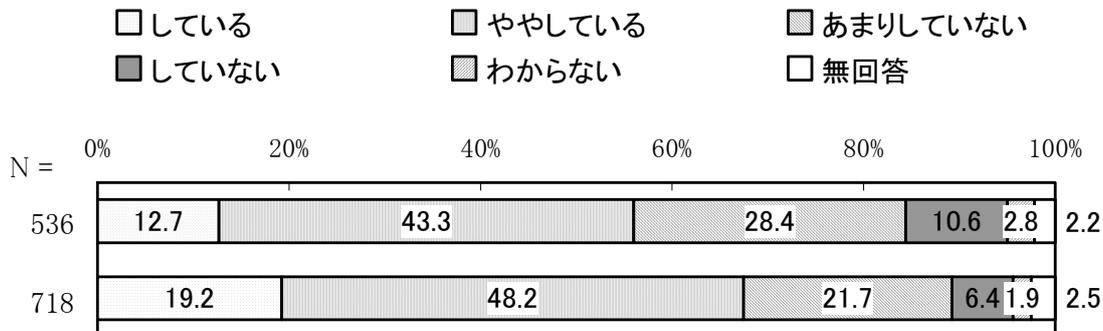
年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて“している”人の割合が高くなっています。



(3) あなたは、普段から自分だけでなく周囲が「幸せ」になるよう意識していますか。
 (家族の笑顔を増やすことで、家族を幸せにしている) など

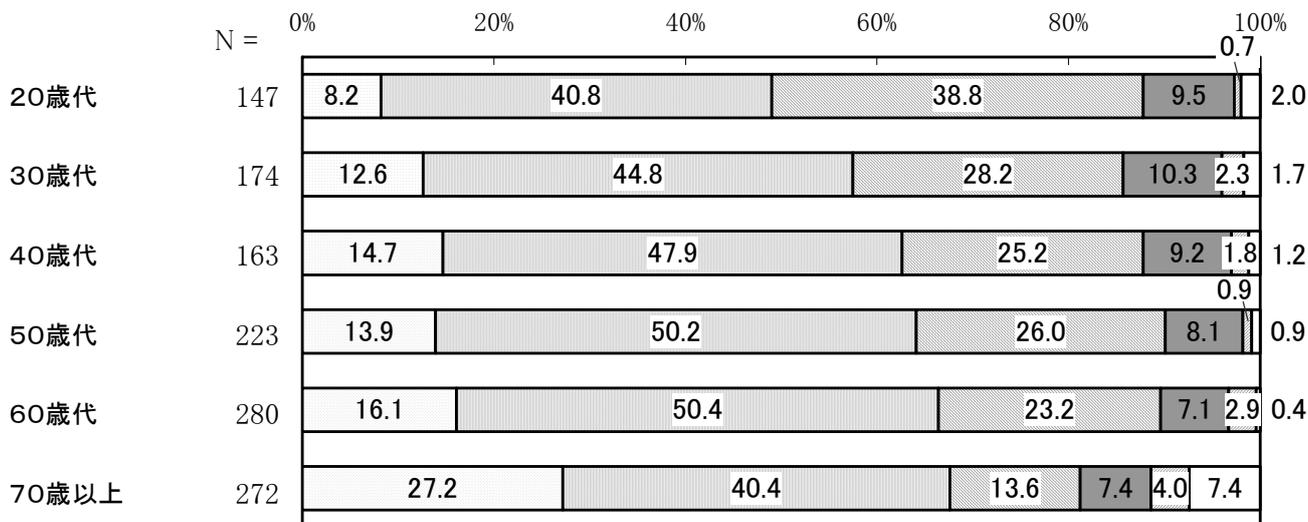
【性別】

性別にみると、男性に比べ女性で“している”人の割合が高く、約7割となっています。



【年齢別】

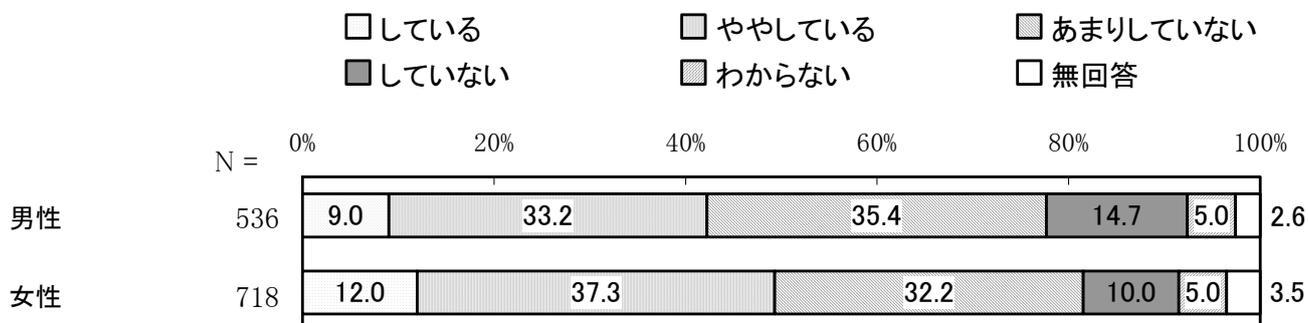
年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて“している”人の割合が高くなっています。



(4) あなたは、あなたが行う仕事や活動、普段の生活などを通じて、周囲を「幸せ」にする取り組みを行なっていますか。

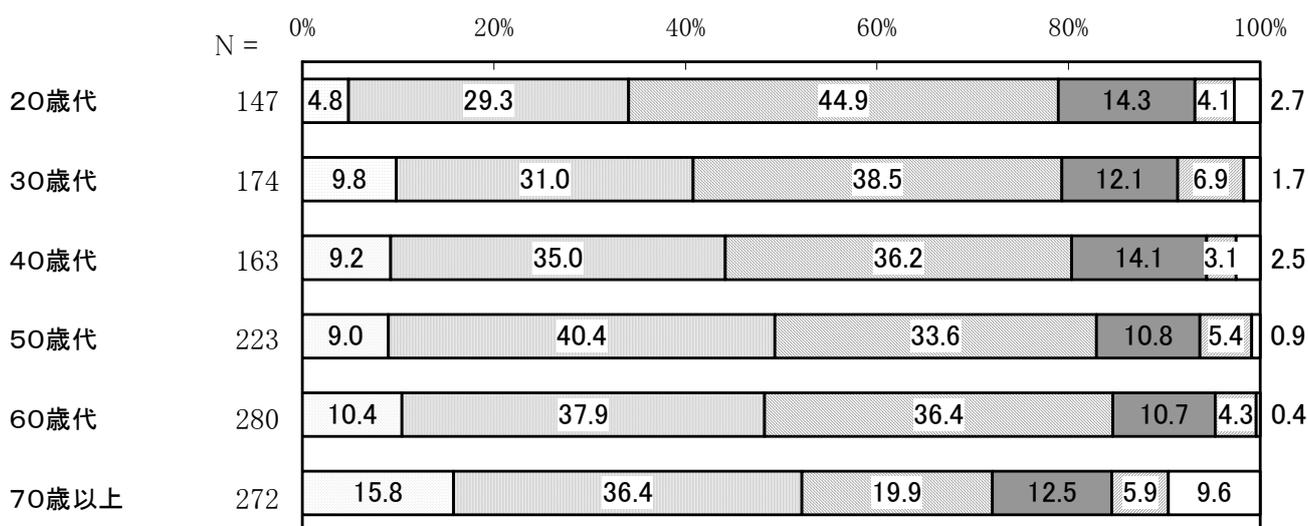
【性別】

性別にみると、男性に比べ女性で“している”人の割合が高く、約5割となっています。



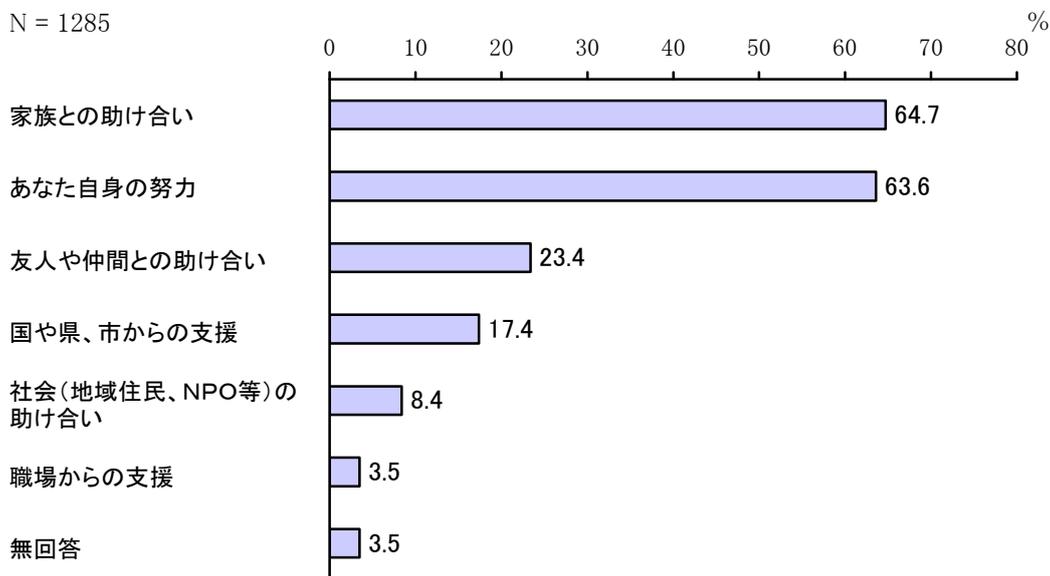
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて“している”人の割合が高くなる傾向がみられます。



**問7 あなたの幸福感を高めるために有効な手立ては何ですか。
(あなたの考えに最も近いもの2つまでに○)**

「家族との助け合い」の割合が64.7%と最も高く、次いで「あなた自身の努力」の割合が63.6%となっており、この2項目で回答数全体の約7割を占めています。



【性別】

性別にみると、女性に比べ男性で「社会（地域住民、NPO等）の助け合い」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ女性で「家族との助け合い」の割合が高くなっています。

上段：実数（件）、下段：割合（%）

区分	全体	手立て						
		あなた自身の努力	家族との助け合い	友人や仲間との助け合い	社会(地域住民、NPO等)の助け合い	職場からの支援	国や県、市からの支援	無回答
男性	536 100.0	348 64.9	302 56.3	122 22.8	65 12.1	23 4.3	111 20.7	17 3.2
女性	718 100.0	450 62.7	509 70.9	176 24.5	42 5.8	22 3.1	109 15.2	25 3.5

【年齢別】

年齢別にみると、他の年齢に比べ、60歳代、70歳以上で「家族との助け合い」の割合が高く、7割を超えています。また、20歳代で「友人や仲間との助け合い」の割合が高く、約4割となっています。

上段：実数（件）、下段：割合（%）

区分	全 体	あなた自身の努力	家族との助け合い	友人や仲間との助け 合い	社会（地域住民、NPO 等）の助け合い	職場からの支援	国や県、市からの支援	無回答
20歳代	147 100.0	102 69.4	59 40.1	60 40.8	7 4.8	11 7.5	28 19.0	4 2.7
30歳代	174 100.0	104 59.8	110 63.2	30 17.2	8 4.6	18 10.3	45 25.9	5 2.9
40歳代	163 100.0	103 63.2	101 62.0	36 22.1	13 8.0	13 8.0	30 18.4	4 2.5
50歳代	223 100.0	144 64.6	142 63.7	50 22.4	20 9.0	2 0.9	50 22.4	8 3.6
60歳代	280 100.0	190 67.9	210 75.0	56 20.0	30 10.7	1 0.4	35 12.5	5 1.8
70歳以上	272 100.0	157 57.7	194 71.3	64 23.5	30 11.0	0 0.0	32 11.8	17 6.3

【職業別】

職業別にみると、他の職業に比べ、自営業（農林漁業）、自由業の手伝い、パート・アルバイト、専業家事従事者（主婦など）で「家族との助け合い」の割合が高く、7割を超えています。また、学生で「あなた自身の努力」の割合が高く、9割を超えています。

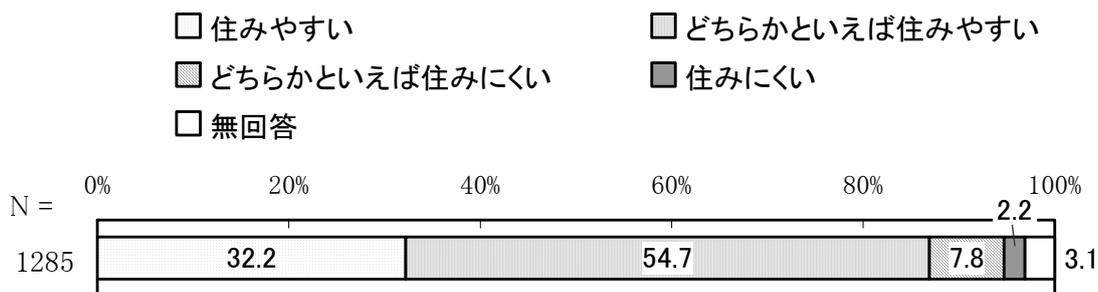
上段：実数（件）、下段：割合（％）

区分	全 体	あなた自身の 努力	家族との助け 合い	友人や仲間との 助け 合い	社会（地域住民、 NPO 等）の助け 合い	職場からの 支援	国や県、 市からの 支援	無 回 答
会社経営者・役員	34 100.0	26 76.5	17 50.0	10 29.4	2 5.9	0 0.0	2 5.9	2 5.9
自営業（農林漁業）	224 100.0	141 62.9	168 75.0	50 22.3	11 4.9	1 0.4	37 16.5	6 2.7
自営業（商工業自営など）	62 100.0	42 67.7	39 62.9	16 25.8	8 12.9	0 0.0	7 11.3	3 4.8
自由業（医師・弁護士・会計士・ 税理士・作家・画家など）	6 100.0	5 83.3	5 83.3	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
自由業の手伝い	17 100.0	10 58.8	14 82.4	4 23.5	0 0.0	0 0.0	1 5.9	1 5.9
会社員・公務員・団体職員	314 100.0	208 66.2	165 52.5	85 27.1	23 7.3	30 9.6	67 21.3	8 2.5
パート・アルバイト	182 100.0	114 62.6	132 72.5	42 23.1	6 3.3	9 4.9	37 20.3	2 1.1
専業家事従事者（主婦など）	128 100.0	78 60.9	94 73.4	23 18.0	11 8.6	2 1.6	25 19.5	6 4.7
学生	12 100.0	11 91.7	2 16.7	4 33.3	1 8.3	1 8.3	1 8.3	0 0.0
無職（年金生活含む）	252 100.0	151 59.9	167 66.3	54 21.4	41 16.3	1 0.4	35 13.9	12 4.8
その他	25 100.0	16 64.0	10 40.0	5 20.0	4 16.0	1 4.0	10 40.0	0 0.0

3 田原市の住みよさについて

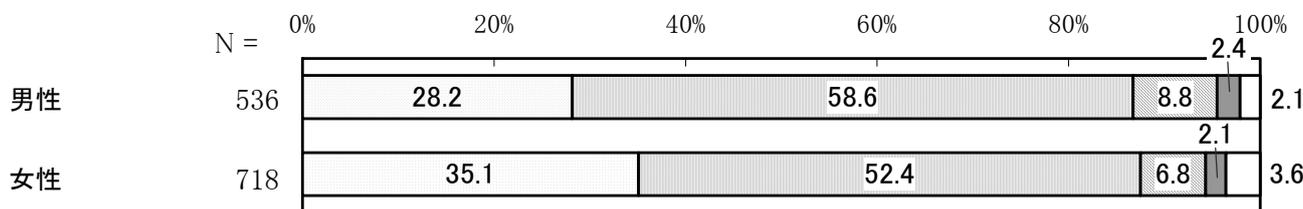
問8 田原市は住みよいまちだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」をあわせた“住みやすい”と思う人の割合が86.9%、「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」をあわせた“住みにくい”と思う人の割合が10.0%となっており、“住みやすい”と思う人の割合が“住みにくい”と思う人の割合を大きく上回っています。



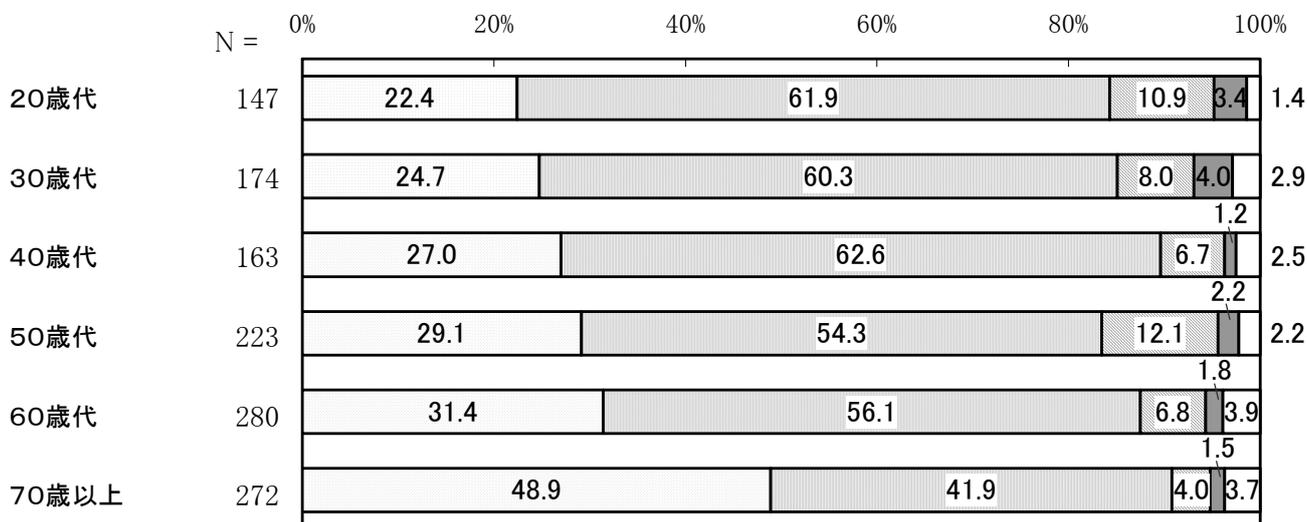
【性別】

性別にみると、男性に比べ女性で「住みやすい」の割合が高くなっています。



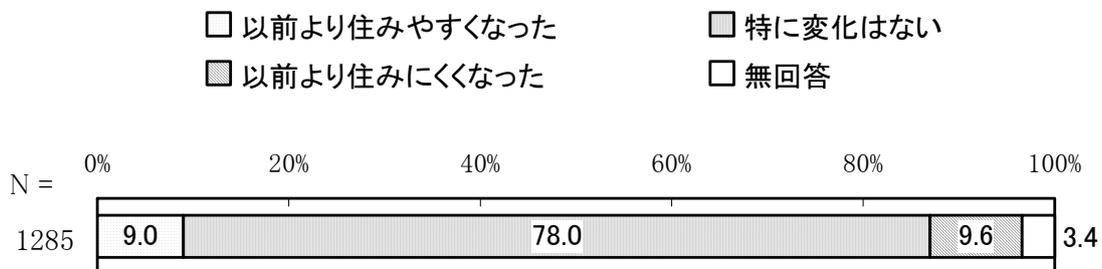
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が高くなるにつれ「住みやすい」の割合が高くなっており、70歳以上で約5割となっています。



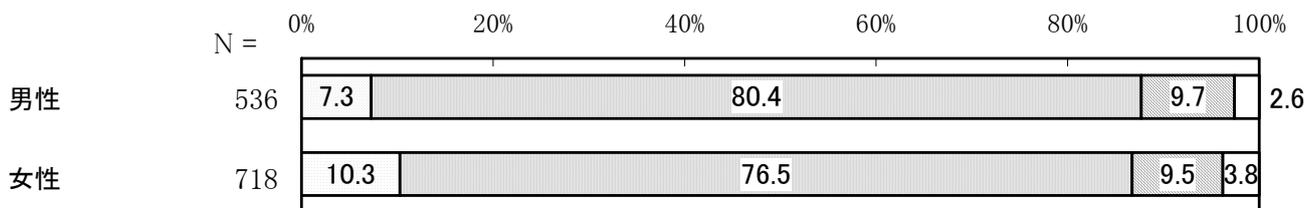
問9 ここ数年の間に、住みごちに変化がありましたか。(あてはまるもの1つに○)

「特に変化はない」の割合が78.0%と最も高くなっています。また、「以前より住みにくくなった」の割合が9.6%、「以前より住みやすくなった」の割合が9.0%となっており、「以前より住みやすくなった」と「以前より住みにくくなった」の割合が同程度となっています。



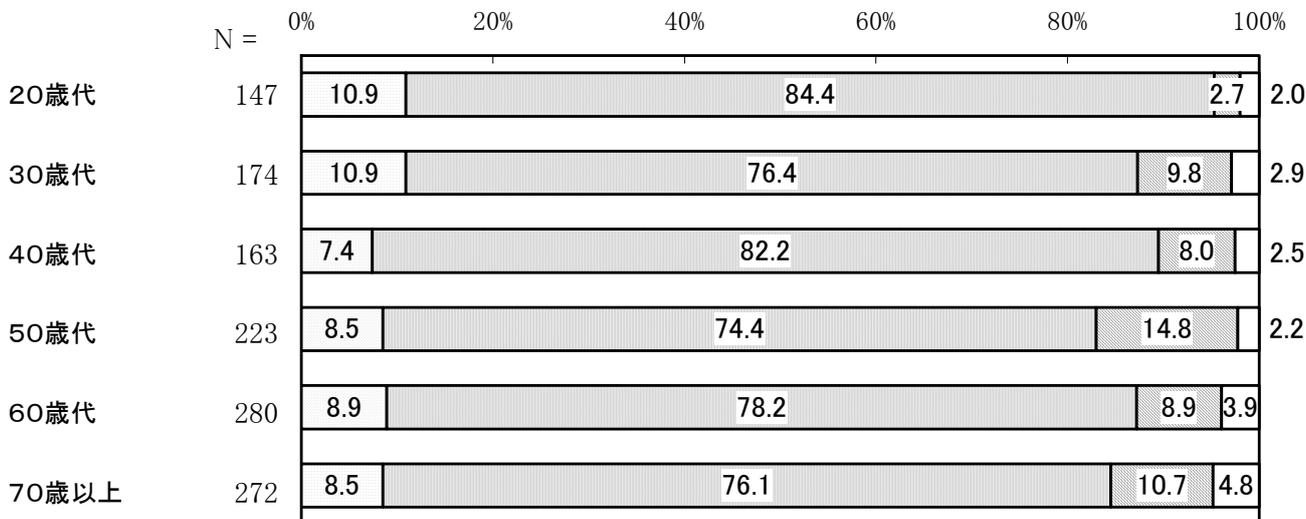
【性別】

性別にみると、大きな差異はみられません。



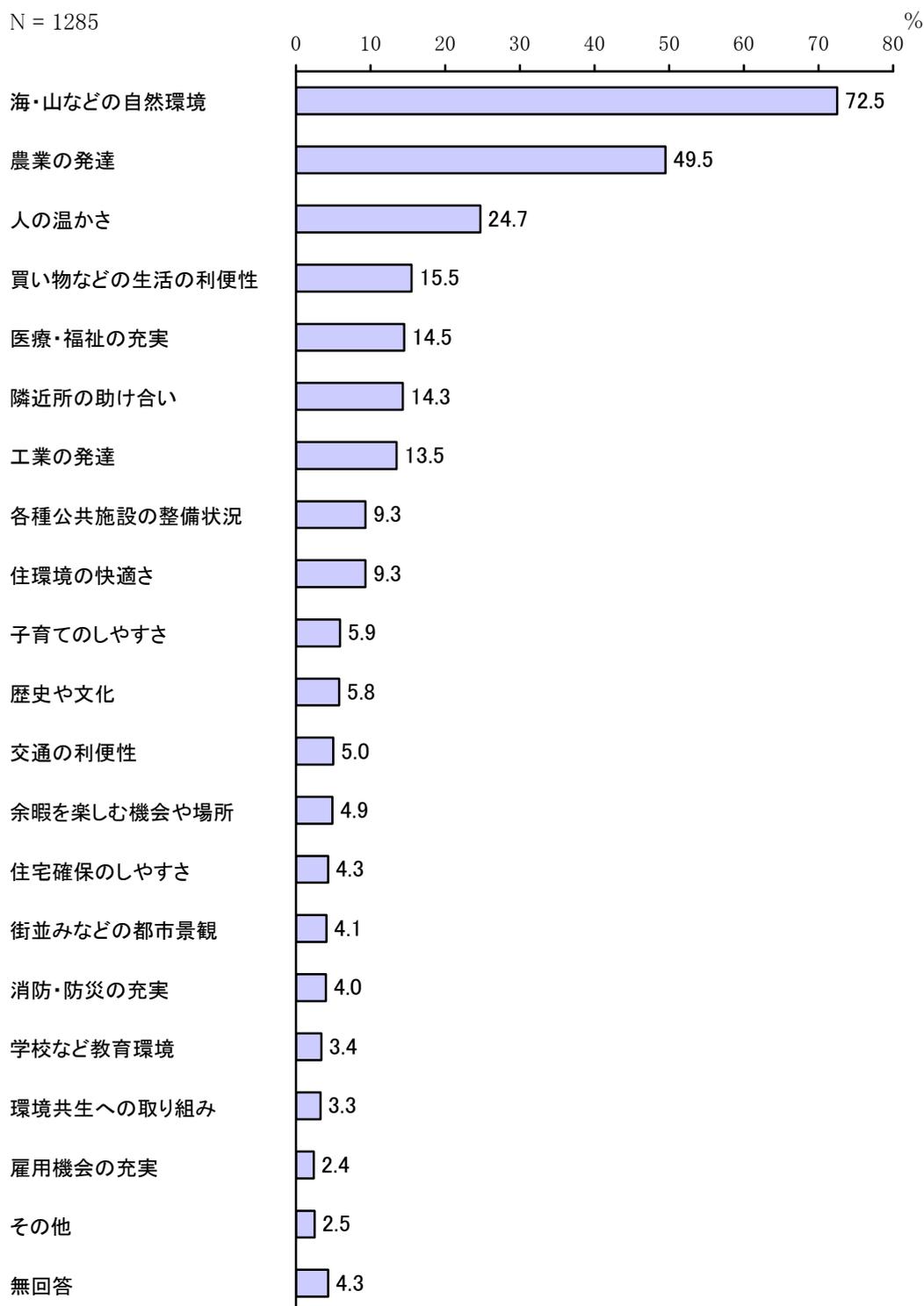
【年齢別】

年齢別にみると、他の年齢に比べ、50歳代で「以前より住みにくくなった」の割合が高くなっています。



問 10 田原市が優れていると感じることは何ですか。(あてはまるもの3つに○)

「海・山などの自然環境」の割合が72.5%と最も高く、次いで「農業の発達」の割合が49.5%、「人の温かさ」の割合が24.7%となっており、上位3項目が回答数全体の過半数となっています。



【性別】

性別にみると、女性に比べ男性で「工業の発達」の割合が、男性に比べ女性で「医療・福祉の充実」の割合が高くなっています。

上段：実数（件）、下段：割合（%）

区分	全 体	海・山などの自然環境	街並みなどの都市景観	農業の発達	工業の発達	買い物などの生活の利便性	雇用機会の充実	各種公共施設の整備状況	交通の利便性	住宅確保のしやすさ	住環境の快適さ
男性	536 100.0	405 75.6	15 2.8	263 49.1	90 16.8	78 14.6	20 3.7	53 9.9	27 5.0	18 3.4	57 10.6
女性	718 100.0	510 71.0	36 5.0	361 50.3	83 11.6	109 15.2	11 1.5	63 8.8	36 5.0	37 5.2	59 8.2

区分	余暇を楽しむ機会や場所	歴史や文化	学校など教育環境	医療・福祉の充実	環境共生への取り組み	消防・防災の充実	子育てのしやすさ	人の温かさ	隣近所の助け合い	その他	無回答
男性	34 6.3	39 7.3	15 2.8	55 10.3	24 4.5	25 4.7	25 4.7	126 23.5	69 12.9	12 2.2	19 3.5
女性	28 3.9	35 4.9	28 3.9	124 17.3	19 2.6	25 3.5	49 6.8	186 25.9	108 15.0	19 2.6	33 4.6

【年齢別】

年齢別にみると、他の年齢に比べ、20歳代で「農業の発達」「工業の発達」の割合が高くなっています。また、30歳代、40歳代で「子育てのしやすさ」の割合が、70歳以上で「買い物などの生活の利便性」「交通の利便性」「医療・福祉の充実」の割合が高くなっています。

上段：実数（件）、下段：割合（％）

区分	全 体	海・山などの自然環境	街並みなどの都市景観	農業の発達	工業の発達	買い物などの生活の利便性	雇用機会の充実	各種公共施設の整備状況	交通の利便性	住宅確保のしやすさ	住環境の快適さ
20歳代	147 100.0	120 81.6	8 5.4	101 68.7	42 28.6	13 8.8	10 6.8	8 5.4	5 3.4	6 4.1	14 9.5
30歳代	174 100.0	132 75.9	4 2.3	92 52.9	38 21.8	20 11.5	8 4.6	16 9.2	6 3.4	8 4.6	8 4.6
40歳代	163 100.0	114 69.9	10 6.1	82 50.3	16 9.8	17 10.4	4 2.5	24 14.7	4 2.5	8 4.9	15 9.2
50歳代	223 100.0	182 81.6	6 2.7	120 53.8	26 11.7	31 13.9	2 0.9	20 9.0	7 3.1	14 6.3	19 8.5
60歳代	280 100.0	198 70.7	14 5.0	134 47.9	33 11.8	45 16.1	6 2.1	26 9.3	10 3.6	15 5.4	34 12.1
70歳以上	272 100.0	168 61.8	9 3.3	97 35.7	17 6.3	67 24.6	1 0.4	22 8.1	31 11.4	4 1.5	26 9.6

区分	余暇を楽しむ機会や場所	歴史や文化	学校など教育環境	医療・福祉の充実	環境共生への取り組み	消防・防災の充実	子育てのしやすさ	人の温かさ	隣近所の助け合い	その他	無回答
20歳代	5 3.4	6 4.1	4 2.7	5 3.4	6 4.1	0 0.0	8 5.4	43 29.3	12 8.2	1 0.7	2 1.4
30歳代	5 2.9	13 7.5	8 4.6	28 16.1	7 4.0	5 2.9	27 15.5	32 18.4	21 12.1	3 1.7	6 3.4
40歳代	6 3.7	5 3.1	14 8.6	24 14.7	6 3.7	4 2.5	25 15.3	38 23.3	16 9.8	5 3.1	7 4.3
50歳代	5 2.2	16 7.2	5 2.2	24 10.8	9 4.0	10 4.5	6 2.7	61 27.4	35 15.7	9 4.0	5 2.2
60歳代	23 8.2	23 8.2	6 2.1	31 11.1	12 4.3	12 4.3	2 0.7	74 26.4	42 15.0	8 2.9	14 5.0
70歳以上	19 7.0	12 4.4	6 2.2	70 25.7	3 1.1	19 7.0	5 1.8	64 23.5	52 19.1	5 1.8	18 6.6

【小学校区別】

小学校区別にみると、他の小学校区に比べ、堀切、伊良湖、中山で「農業の発達」の割合が高く、7割を超えています。また、高松で「住環境の快適さ」「隣近所の助け合い」の割合が高くなっています。

上段：実数（件）、下段：割合（％）

区分	全 体	自然 海・山 環境 などの	街並み 都市景 観など の	農業 の発達	工業 の発達	買い物 生活の 利便性 などの	雇用機 会の充 実	各種公 共施設 の整 備状 況	交通の 利便性	住宅確 保の しやす さ	住環 境の快 適さ
六連	31 100.0	25 80.6	1 3.2	14 45.2	2 6.5	4 12.9	0 0.0	2 6.5	2 6.5	2 6.5	2 6.5
神戸	120 100.0	82 68.3	5 4.2	47 39.2	25 20.8	23 19.2	3 2.5	14 11.7	8 6.7	7 5.8	13 10.8
大草	26 100.0	19 73.1	0 0.0	16 61.5	8 30.8	4 15.4	1 3.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.8
田原東部	94 100.0	61 64.9	4 4.3	35 37.2	19 20.2	23 24.5	5 5.3	4 4.3	12 12.8	3 3.2	8 8.5
田原南部	30 100.0	21 70.0	3 10.0	12 40.0	2 6.7	6 20.0	1 3.3	4 13.3	3 10.0	1 3.3	2 6.7
童浦	108 100.0	82 75.9	4 3.7	51 47.2	23 21.3	8 7.4	4 3.7	11 10.2	3 2.8	8 7.4	17 15.7
田原中部	140 100.0	95 67.9	11 7.9	50 35.7	25 17.9	38 27.1	5 3.6	16 11.4	8 5.7	4 2.9	11 7.9
衣笠	119 100.0	88 73.9	4 3.4	51 42.9	15 12.6	22 18.5	7 5.9	18 15.1	7 5.9	3 2.5	11 9.2
野田	79 100.0	52 65.8	6 7.6	39 49.4	17 21.5	10 12.7	2 2.5	16 20.3	5 6.3	2 2.5	9 11.4
高松	27 100.0	20 74.1	1 3.7	10 37.0	2 7.4	3 11.1	0 0.0	1 3.7	0 0.0	1 3.7	8 29.6
赤羽根	45 100.0	36 80.0	0 0.0	30 66.7	6 13.3	3 6.7	0 0.0	6 13.3	1 2.2	2 4.4	3 6.7
若戸	39 100.0	30 76.9	0 0.0	21 53.8	4 10.3	2 5.1	0 0.0	0 0.0	1 2.6	6 15.4	5 12.8
和地	24 100.0	20 83.3	0 0.0	11 45.8	0 0.0	2 8.3	0 0.0	2 8.3	0 0.0	3 12.5	2 8.3
堀切	42 100.0	34 81.0	0 0.0	30 71.4	2 4.8	4 9.5	0 0.0	3 7.1	2 4.8	1 2.4	2 4.8
伊良湖	17 100.0	13 76.5	0 0.0	13 76.5	1 5.9	2 11.8	0 0.0	1 5.9	1 5.9	0 0.0	0 0.0
亀山	26 100.0	19 73.1	0 0.0	18 69.2	0 0.0	1 3.8	0 0.0	2 7.7	1 3.8	1 3.8	2 7.7
中山	84 100.0	63 75.0	3 3.6	61 72.6	6 7.1	8 9.5	2 2.4	6 7.1	2 2.4	5 6.0	4 4.8
福江	91 100.0	63 69.2	3 3.3	48 52.7	6 6.6	12 13.2	0 0.0	6 6.6	2 2.2	3 3.3	10 11.0
清田	54 100.0	44 81.5	2 3.7	31 57.4	4 7.4	13 24.1	0 0.0	1 1.9	6 11.1	0 0.0	6 11.1
泉	68 100.0	52 76.5	5 7.4	40 58.8	6 8.8	8 11.8	1 1.5	3 4.4	0 0.0	3 4.4	2 2.9

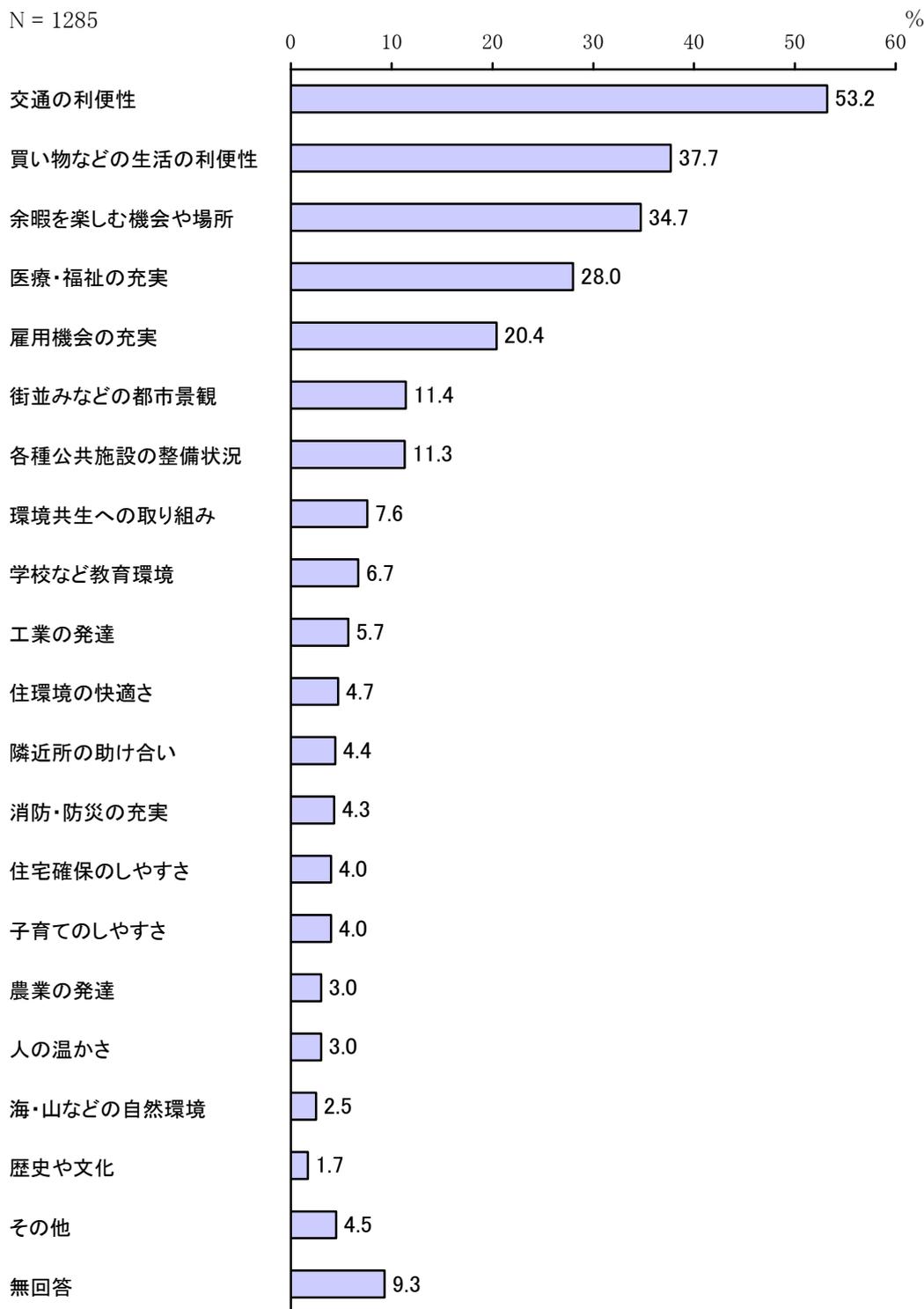
【小学校区別（つづき）】

上段：実数（件）、下段：割合（％）

区分	余暇を楽しむ 機会や場所	歴史や文化	学校など教育環境	医療・福祉の充実	環境共生への 取り組み	消防・防災の充実	子育てのしやすさ	人の温かさ	隣近所の助け合い	その他	無回答
六連	1 3.2	3 9.7	0 0.0	4 12.9	0 0.0	2 6.5	4 12.9	7 22.6	9 29.0	1 3.2	2 6.5
神戸	4 3.3	5 4.2	6 5.0	23 19.2	6 5.0	7 5.8	7 5.8	28 23.3	17 14.2	4 3.3	4 3.3
大草	1 3.8	2 7.7	1 3.8	4 15.4	0 0.0	1 3.8	3 11.5	2 7.7	0 0.0	1 3.8	1 3.8
田原東部	8 8.5	6 6.4	3 3.2	12 12.8	3 3.2	2 2.1	7 7.4	15 16.0	10 10.6	7 7.4	4 4.3
田原南部	0 0.0	0 0.0	2 6.7	3 10.0	4 13.3	1 3.3	1 3.3	11 36.7	7 23.3	0 0.0	1 3.3
童浦	10 9.3	8 7.4	3 2.8	14 13.0	7 6.5	1 0.9	10 9.3	31 28.7	6 5.6	0 0.0	2 1.9
田原中部	7 5.0	13 9.3	3 2.1	29 20.7	3 2.1	7 5.0	7 5.0	30 21.4	14 10.0	6 4.3	4 2.9
衣笠	8 6.7	14 11.8	6 5.0	27 22.7	5 4.2	2 1.7	6 5.0	22 18.5	9 7.6	2 1.7	4 3.4
野田	2 2.5	4 5.1	4 5.1	9 11.4	0 0.0	4 5.1	7 8.9	19 24.1	14 17.7	0 0.0	2 2.5
高松	3 11.1	0 0.0	1 3.7	2 7.4	1 3.7	0 0.0	1 3.7	12 44.4	10 37.0	0 0.0	0 0.0
赤羽根	3 6.7	1 2.2	2 4.4	4 8.9	1 2.2	3 6.7	1 2.2	9 20.0	9 20.0	1 2.2	1 2.2
若戸	0 0.0	0 0.0	3 7.7	2 5.1	3 7.7	2 5.1	3 7.7	8 20.5	6 15.4	0 0.0	4 10.3
和地	1 4.2	0 0.0	0 0.0	4 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9 37.5	7 29.2	1 4.2	2 8.3
堀切	1 2.4	4 9.5	1 2.4	9 21.4	1 2.4	4 9.5	6 14.3	12 28.6	2 4.8	0 0.0	1 2.4
伊良湖	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 11.8	0 0.0	1 5.9	0 0.0	11 64.7	4 23.5	0 0.0	0 0.0
亀山	0 0.0	1 3.8	2 7.7	3 11.5	1 3.8	0 0.0	1 3.8	7 26.9	9 34.6	0 0.0	1 3.8
中山	3 3.6	3 3.6	2 2.4	3 3.6	4 4.8	2 2.4	3 3.6	27 32.1	13 15.5	2 2.4	7 8.3
福江	5 5.5	5 5.5	2 2.2	14 15.4	1 1.1	7 7.7	1 1.1	27 29.7	14 15.4	3 3.3	6 6.6
清田	3 5.6	3 5.6	1 1.9	8 14.8	1 1.9	1 1.9	2 3.7	9 16.7	7 13.0	2 3.7	2 3.7
泉	3 4.4	2 2.9	1 1.5	8 11.8	2 2.9	4 5.9	2 2.9	17 25.0	14 20.6	1 1.5	4 5.9

問 11 田原市に欠けていると感じることは何ですか。(あてはまるもの3つに○)

「交通の利便性」の割合が 53.2%と最も高く、次いで「買い物などの生活の利便性」の割合が 37.7%、「余暇を楽しむ機会や場所」の割合が 34.7%となっており、生活の利便性に欠けていると評価する人の割合が高くなっています。



【性別】

性別にみると、女性に比べ男性で「街並みなどの都市景観」「交通の利便性」の割合が高くなっています。一方、女性で「買い物などの生活の利便性」の割合が高くなっています。

上段：実数（件）、下段：割合（％）

区分	全 体	海・山などの自然環境	街並みなどの都市景観	農業の発達	工業の発達	買い物などの生活の利便性	雇用機会の充実	各種公共施設の整備状況	交通の利便性	住宅確保のしやすさ	住環境の快適さ
男性	536 100.0	10 1.9	80 14.9	16 3.0	38 7.1	184 34.3	105 19.6	75 14.0	309 57.6	24 4.5	29 5.4
女性	718 100.0	19 2.6	64 8.9	21 2.9	34 4.7	294 40.9	154 21.4	69 9.6	365 50.8	25 3.5	30 4.2

区分	余暇を楽しむ機会や場所	歴史や文化	学校など教育環境	医療・福祉の充実	環境共生への取り組み	消防・防災の充実	子育てのしやすさ	人の温かさ	隣近所の助け合い	その他	無回答
男性	185 34.5	13 2.4	42 7.8	145 27.1	49 9.1	30 5.6	20 3.7	14 2.6	19 3.5	26 4.9	35 6.5
女性	250 34.8	9 1.3	43 6.0	211 29.4	47 6.5	25 3.5	30 4.2	22 3.1	32 4.5	30 4.2	76 10.6

【年齢別】

年齢別にみると、他の年齢に比べ、20歳代、30歳代、40歳代で「買い物などの生活の利便性」の割合が高く、約5割となっています。また、20歳代で「余暇を楽しむ機会や場所」の割合が、50歳代、60歳代で「医療・福祉の充実」の割合が高くなっています。

上段：実数（件）、下段：割合（%）

区分	全体	海・山などの自然環境	街並みなどの都市景観	農業の発達	工業の発達	買い物などの生活の利便性	雇用機会の充実	各種公共施設の整備状況	交通の利便性	住宅確保のしやすさ	住環境の快適さ
20歳代	147 100.0	0 0.0	12 8.2	3 2.0	5 3.4	74 50.3	34 23.1	23 15.6	102 69.4	8 5.4	7 4.8
30歳代	174 100.0	3 1.7	23 13.2	5 2.9	5 2.9	84 48.3	28 16.1	19 10.9	103 59.2	15 8.6	10 5.7
40歳代	163 100.0	3 1.8	15 9.2	4 2.5	3 1.8	82 50.3	34 20.9	17 10.4	106 65.0	5 3.1	6 3.7
50歳代	223 100.0	3 1.3	29 13.0	5 2.2	17 7.6	77 34.5	68 30.5	27 12.1	129 57.8	10 4.5	10 4.5
60歳代	280 100.0	11 3.9	28 10.0	5 1.8	22 7.9	102 36.4	55 19.6	25 8.9	143 51.1	7 2.5	14 5.0
70歳以上	272 100.0	10 3.7	37 13.6	15 5.5	20 7.4	58 21.3	39 14.3	30 11.0	90 33.1	4 1.5	13 4.8

区分	余暇を楽しむ機会や場所	歴史や文化	学校など教育環境	医療・福祉の充実	環境共生への取り組み	消防・防災の充実	子育てのしやすさ	人の温かさ	隣近所の助け合い	その他	無回答
20歳代	76 51.7	1 0.7	7 4.8	31 21.1	7 4.8	9 6.1	10 6.8	2 1.4	4 2.7	6 4.1	3 2.0
30歳代	65 37.4	1 0.6	20 11.5	48 27.6	7 4.0	8 4.6	17 9.8	2 1.1	4 2.3	8 4.6	8 4.6
40歳代	64 39.3	3 1.8	20 12.3	43 26.4	12 7.4	2 1.2	5 3.1	6 3.7	3 1.8	5 3.1	8 4.9
50歳代	76 34.1	4 1.8	13 5.8	84 37.7	14 6.3	13 5.8	10 4.5	1 0.4	6 2.7	5 2.2	13 5.8
60歳代	84 30.0	6 2.1	20 7.1	92 32.9	34 12.1	11 3.9	6 2.1	7 2.5	12 4.3	16 5.7	29 10.4
70歳以上	69 25.4	6 2.2	6 2.2	59 21.7	24 8.8	12 4.4	2 0.7	20 7.4	24 8.8	14 5.1	53 19.5

【小学校区別】

小学校区別にみると、他の小学校区に比べ、童浦、伊良湖で「買い物などの生活の利便性」の割合が高く、5割を超えています。また、六連、高松、堀切で「交通の利便性」の割合が高く、7割を超えています。

上段：実数（件）、下段：割合（%）

区分	全 体	海・山などの自然環境	街並みなどの都市景観	農業の発達	工業の発達	買い物などの生活の利便性	雇用機会の充実	各種公共施設の整備状況	交通の利便性	住宅確保のしやすさ	住環境の快適さ
六連	31 100.0	0 0.0	2 6.5	1 3.2	2 6.5	13 41.9	5 16.1	6 19.4	23 74.2	1 3.2	2 6.5
神戸	120 100.0	1 0.8	17 14.2	7 5.8	5 4.2	41 34.2	26 21.7	12 10.0	53 44.2	6 5.0	8 6.7
大草	26 100.0	0 0.0	2 7.7	0 0.0	1 3.8	6 23.1	1 3.8	3 11.5	15 57.7	0 0.0	1 3.8
田原東部	94 100.0	1 1.1	7 7.4	0 0.0	5 5.3	26 27.7	22 23.4	13 13.8	41 43.6	1 1.1	6 6.4
田原南部	30 100.0	2 6.7	4 13.3	0 0.0	0 0.0	13 43.3	7 23.3	2 6.7	16 53.3	1 3.3	1 3.3
童浦	108 100.0	4 3.7	16 14.8	4 3.7	1 0.9	58 53.7	17 15.7	11 10.2	64 59.3	7 6.5	3 2.8
田原中部	140 100.0	5 3.6	24 17.1	4 2.9	3 2.1	43 30.7	28 20.0	19 13.6	54 38.6	9 6.4	9 6.4
衣笠	119 100.0	4 3.4	17 14.3	5 4.2	12 10.1	47 39.5	20 16.8	15 12.6	51 42.9	8 6.7	6 5.0
野田	79 100.0	2 2.5	6 7.6	2 2.5	6 7.6	33 41.8	20 25.3	4 5.1	36 45.6	5 6.3	5 6.3
高松	27 100.0	2 7.4	1 3.7	3 11.1	1 3.7	12 44.4	5 18.5	3 11.1	19 70.4	1 3.7	2 7.4
赤羽根	45 100.0	1 2.2	10 22.2	1 2.2	2 4.4	19 42.2	5 11.1	5 11.1	29 64.4	1 2.2	0 0.0
若戸	39 100.0	1 2.6	3 7.7	1 2.6	2 5.1	13 33.3	5 12.8	3 7.7	25 64.1	1 2.6	0 0.0
和地	24 100.0	1 4.2	1 4.2	0 0.0	2 8.3	11 45.8	8 33.3	2 8.3	15 62.5	0 0.0	1 4.2
堀切	42 100.0	0 0.0	7 16.7	2 4.8	3 7.1	16 38.1	9 21.4	5 11.9	30 71.4	0 0.0	0 0.0
伊良湖	17 100.0	2 11.8	3 17.6	1 5.9	1 5.9	9 52.9	3 17.6	1 5.9	9 52.9	0 0.0	1 5.9
亀山	26 100.0	1 3.8	2 7.7	0 0.0	3 11.5	12 46.2	4 15.4	0 0.0	14 53.8	1 3.8	0 0.0
中山	84 100.0	2 2.4	5 6.0	0 0.0	3 3.6	29 34.5	18 21.4	14 16.7	54 64.3	3 3.6	5 6.0
福江	91 100.0	1 1.1	4 4.4	3 3.3	10 11.0	30 33.0	26 28.6	12 13.2	60 65.9	3 3.3	4 4.4
清田	54 100.0	1 1.9	6 11.1	2 3.7	7 13.0	18 33.3	12 22.2	4 7.4	26 48.1	0 0.0	4 7.4
泉	68 100.0	1 1.5	8 11.8	2 2.9	4 5.9	27 39.7	18 26.5	10 14.7	39 57.4	0 0.0	2 2.9

【小学校区別（つづき）】

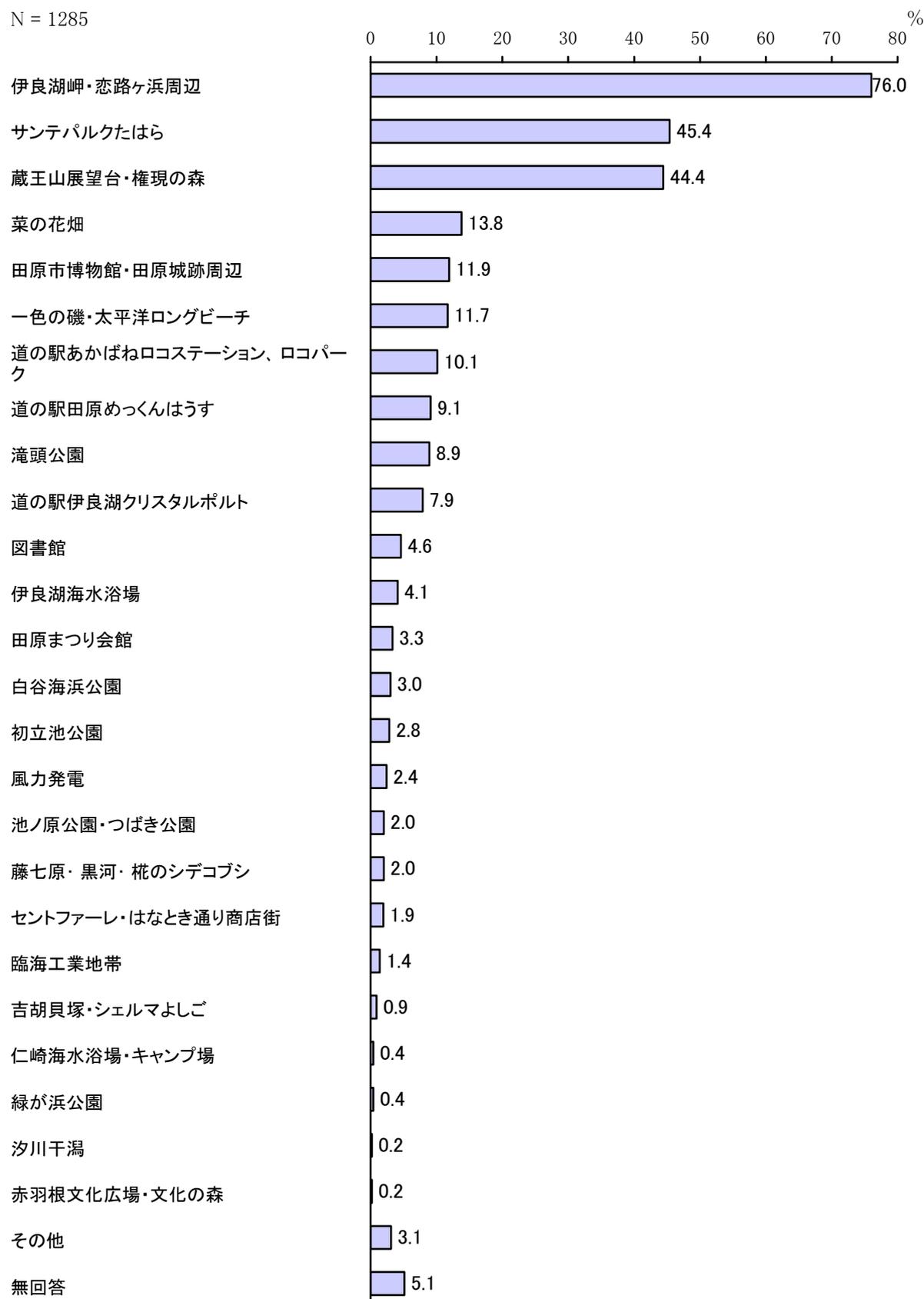
上段：実数（件）、下段：割合（％）

区分	余暇を楽しむ機会や場所	歴史や文化	学校など教育環境	医療・福祉の充実	環境共生への取り組み	消防・防災の充実	子育てのしやすさ	人の温かさ	隣近所の助け合い	その他	無回答
六連	8 25.8	0 0.0	4 12.9	9 29.0	2 6.5	1 3.2	0 0.0	1 3.2	1 3.2	0 0.0	2 6.5
神戸	47 39.2	4 3.3	7 5.8	37 30.8	9 7.5	5 4.2	7 5.8	5 4.2	6 5.0	5 4.2	10 8.3
大草	10 38.5	0 0.0	0 0.0	5 19.2	3 11.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 11.5	6 23.1
田原東部	31 33.0	2 2.1	9 9.6	35 37.2	7 7.4	4 4.3	4 4.3	5 5.3	8 8.5	7 7.4	8 8.5
田原南部	10 33.3	0 0.0	3 10.0	7 23.3	1 3.3	0 0.0	0 0.0	2 6.7	2 6.7	0 0.0	5 16.7
童浦	42 38.9	2 1.9	5 4.6	37 34.3	9 8.3	6 5.6	9 8.3	2 1.9	4 3.7	5 4.6	1 0.9
田原中部	52 37.1	1 0.7	7 5.0	34 24.3	14 10.0	5 3.6	6 4.3	3 2.1	12 8.6	13 9.3	16 11.4
衣笠	38 31.9	2 1.7	8 6.7	34 28.6	10 8.4	5 4.2	4 3.4	6 5.0	4 3.4	6 5.0	11 9.2
野田	30 38.0	1 1.3	8 10.1	27 34.2	6 7.6	3 3.8	3 3.8	0 0.0	3 3.8	0 0.0	9 11.4
高松	5 18.5	2 7.4	3 11.1	7 25.9	1 3.7	1 3.7	0 0.0	0 0.0	1 3.7	1 3.7	2 7.4
赤羽根	13 28.9	1 2.2	2 4.4	11 24.4	5 11.1	1 2.2	1 2.2	0 0.0	0 0.0	2 4.4	2 4.4
若戸	15 38.5	0 0.0	2 5.1	14 35.9	4 10.3	2 5.1	1 2.6	1 2.6	1 2.6	1 2.6	4 10.3
和地	5 20.8	0 0.0	2 8.3	8 33.3	1 4.2	0 0.0	2 8.3	0 0.0	0 0.0	1 4.2	3 12.5
堀切	14 33.3	1 2.4	3 7.1	12 28.6	4 9.5	6 14.3	2 4.8	0 0.0	1 2.4	1 2.4	3 7.1
伊良湖	5 29.4	0 0.0	1 5.9	2 11.8	1 5.9	1 5.9	1 5.9	0 0.0	1 5.9	1 5.9	1 5.9
亀山	8 30.8	0 0.0	2 7.7	6 23.1	1 3.8	4 15.4	1 3.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 11.5
中山	27 32.1	4 4.8	6 7.1	19 22.6	9 10.7	5 6.0	4 4.8	5 6.0	5 6.0	3 3.6	7 8.3
福江	29 31.9	1 1.1	7 7.7	22 24.2	2 2.2	3 3.3	4 4.4	1 1.1	1 1.1	4 4.4	12 13.2
清田	20 37.0	1 1.9	2 3.7	15 27.8	5 9.3	1 1.9	0 0.0	7 13.0	3 5.6	3 5.6	4 7.4
泉	26 38.2	0 0.0	4 5.9	17 25.0	4 5.9	1 1.5	2 2.9	0 0.0	2 2.9	0 0.0	6 8.8

問12 あなたは、友人や知人などが訪ねてきたとき、田原市のどこを案内してあげたいですか。(あてはまるもの3つに○)

「伊良湖岬・恋路ヶ浜周辺」の割合が76.0%と最も高く、回答数全体の約3割を占めています。また、「サンテパークたはら」、「蔵王山展望台・権現の森」の割合が4割を超えています。

N = 1285



【性別】

性別にみると、女性に比べ男性で「一色の磯・太平洋ロングビーチ」「蔵王山展望台・権現の森」の割合が高くなっています。一方、女性で「サンテパークたはら」の割合が高くなっています。

上段：実数（件）、下段：割合（％）

区分	全 体	伊良湖岬・恋路ヶ浜周辺	伊良湖海水浴場	一色の磯・太平洋ロング ビーチ	道の駅あかねロコステーション ロコパーク	白谷海浜公園	仁崎海水浴場・キャンプ場	汐川干潟	初立池公園	赤羽根文化広場・文化の森	サンテパークたはら	蔵王山展望台・権現の森	滝頭公園	緑が浜公園
男性	536 100.0	420 78.4	26 4.9	81 15.1	52 9.7	20 3.7	2 0.4	1 0.2	18 3.4	1 0.2	203 37.9	269 50.2	36 6.7	1 0.2
女性	718 100.0	534 74.4	27 3.8	63 8.8	76 10.6	19 2.6	3 0.4	2 0.3	18 2.5	2 0.3	370 51.5	290 40.4	75 10.4	4 0.6

区分	池ノ原公園・つばき公園	田原城跡周辺	田原市博物館・ 田原まつり会館	藤七原・黒河・椈の シデコブシ	吉胡貝塚・シエルマよしこ	菜の花畑	道の駅伊良湖クリスタル ポルト	道の駅田原めつくんはうす	はなとき通り商店街	セントファールレ・ はなとき通り商店街	風力発電	臨海工業地帯	図書館	その他	無回答
男性	11 2.1	68 12.7	16 3.0	8 1.5	6 1.1	74 13.8	51 9.5	47 8.8	12 2.2	18 3.4	9 1.7	19 3.5	22 4.1	16 3.0	
女性	15 2.1	82 11.4	24 3.3	18 2.5	6 0.8	100 13.9	51 7.1	67 9.3	12 1.7	12 1.7	9 1.3	38 5.3	17 2.4	44 6.1	

【年齢別】

年齢別にみると、他の年齢に比べ、20歳代、30歳代で「一色の磯・太平洋ロングビーチ」の割合が、60歳代、70歳以上で「田原市博物館・田原城跡周辺」の割合が高く、約2割となっています。

上段：実数（件）、下段：割合（％）

区分	全 体	伊良湖岬・恋路ヶ浜周辺	伊良湖海水浴場	一色の磯・太平洋ロング ビーチ	道の駅あがねロコステーション ロコパーク	白谷海浜公園	仁崎海水浴場・キャンプ場	汐川干潟	初立池公園	赤羽根文化広場・文化の森	サンテパルクたはら	蔵王山展望台・権現の森	滝頭公園	緑が浜公園
20歳代	147 100.0	113 76.9	12 8.2	28 19.0	13 8.8	9 6.1	1 0.7	0 0.0	1 0.7	0 0.0	59 40.1	73 49.7	11 7.5	2 1.4
30歳代	174 100.0	128 73.6	13 7.5	30 17.2	27 15.5	11 6.3	1 0.6	0 0.0	3 1.7	0 0.0	86 49.4	74 42.5	12 6.9	1 0.6
40歳代	163 100.0	128 78.5	6 3.7	23 14.1	14 8.6	6 3.7	2 1.2	0 0.0	4 2.5	0 0.0	73 44.8	77 47.2	11 6.7	0 0.0
50歳代	223 100.0	176 78.9	6 2.7	27 12.1	18 8.1	3 1.3	0 0.0	1 0.4	3 1.3	2 0.9	107 48.0	115 51.6	15 6.7	0 0.0
60歳代	280 100.0	226 80.7	5 1.8	17 6.1	34 12.1	4 1.4	0 0.0	0 0.0	11 3.9	1 0.4	135 48.2	121 43.2	31 11.1	1 0.4
70歳以上	272 100.0	186 68.4	11 4.0	21 7.7	22 8.1	6 2.2	1 0.4	2 0.7	14 5.1	0 0.0	116 42.6	102 37.5	33 12.1	1 0.4

区分	池ノ原公園・つばき公園	田原市博物館・田原城跡周辺	田原まつり会館	藤七原・黒河・椀のシデコブ シ	吉胡貝塚・シェルマよし 「	菜の花畑	道の駅伊良湖クリスタルポ ル	道の駅田原めつくんはうす	セントファール・はなとき通 り商店街	風力発電	臨海工業地帯	図書館	その他	無回答
20歳代	2 1.4	7 4.8	2 1.4	0 0.0	0 0.0	27 18.4	12 8.2	11 7.5	9 6.1	3 2.0	0 0.0	8 5.4	7 4.8	5 3.4
30歳代	0 0.0	9 5.2	3 1.7	1 0.6	2 1.1	28 16.1	12 6.9	20 11.5	4 2.3	4 2.3	1 0.6	6 3.4	5 2.9	7 4.0
40歳代	5 3.1	7 4.3	4 2.5	2 1.2	4 2.5	28 17.2	14 8.6	12 7.4	4 2.5	3 1.8	1 0.6	12 7.4	9 5.5	5 3.1
50歳代	3 1.3	30 13.5	8 3.6	4 1.8	2 0.9	25 11.2	20 9.0	25 11.2	3 1.3	4 1.8	5 2.2	13 5.8	9 4.0	7 3.1
60歳代	9 3.2	52 18.6	15 5.4	12 4.3	1 0.4	37 13.2	20 7.1	24 8.6	1 0.4	7 2.5	5 1.8	8 2.9	6 2.1	11 3.9
70歳以上	7 2.6	45 16.5	9 3.3	7 2.6	3 1.1	28 10.3	24 8.8	24 8.8	3 1.1	8 2.9	5 1.8	10 3.7	3 1.1	25 9.2

【小学校区別】

小学校区別にみると、他の小学校区に比べ、神戸、童浦、衣笠で「蔵王山展望台・権現の森」の割合が高く、約6割となっています。また、野田では「サンテパークたはら」が7割、伊良湖、亀山では「道の駅伊良湖クリスタルポルト」の割合が高く、約3割となっています。

上段：実数（件）、下段：割合（％）

区分	全 体	伊 良 湖 岬 ・ 恋 路 ヶ 浜 周 辺	伊 良 湖 海 水 浴 場	一 色 の 磯 ・ 太 平 洋 ロ ン グ ビ ー チ	道 の 駅 あ か ば ね ロ コ ス テ ー シ ョ ン ・ ロ コ パ ー ク	白 谷 海 浜 公 園	仁 崎 海 水 浴 場 ・ キ ャ ン プ 場	汐 川 干 潟	初 立 池 公 園	文 化 の 森	赤 羽 根 文 化 広 場 ・ サ ン テ パ ー ク た は ら	蔵 王 山 展 望 台 ・ 権 現 の 森	滝 頭 公 園	緑 が 浜 公 園
六連	31 100.0	22 71.0	0 0.0	2 6.5	5 16.1	0 0.0	1 3.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	16 51.6	16 51.6	3 9.7	0 0.0
神戸	120 100.0	84 70.0	0 0.0	13 10.8	12 10.0	4 3.3	0 0.0	1 0.8	0 0.0	1 0.8	56 46.7	69 57.5	7 5.8	1 0.8
大草	26 100.0	14 53.8	0 0.0	6 23.1	3 11.5	2 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	15 57.7	12 46.2	1 3.8	0 0.0
田原東部	94 100.0	61 64.9	1 1.1	9 9.6	4 4.3	6 6.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	42 44.7	49 52.1	10 10.6	2 2.1
田原南部	30 100.0	19 63.3	2 6.7	4 13.3	2 6.7	1 3.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	15 50.0	15 50.0	6 20.0	0 0.0
童浦	108 100.0	75 69.4	6 5.6	17 15.7	11 10.2	7 6.5	2 1.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	42 38.9	65 60.2	7 6.5	0 0.0
田原中部	140 100.0	97 69.3	2 1.4	18 12.9	9 6.4	7 5.0	0 0.0	0 0.0	2 1.4	0 0.0	45 32.1	76 54.3	16 11.4	0 0.0
衣笠	119 100.0	95 79.8	1 0.8	13 10.9	13 10.9	4 3.4	0 0.0	1 0.8	1 0.8	0 0.0	45 37.8	68 57.1	21 17.6	1 0.8
野田	79 100.0	63 79.7	1 1.3	10 12.7	4 5.1	2 2.5	1 1.3	0 0.0	1 1.3	0 0.0	56 70.9	35 44.3	7 8.9	0 0.0
高松	27 100.0	21 77.8	1 3.7	9 33.3	3 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.7	14 51.9	13 48.1	1 3.7	0 0.0
赤羽根	45 100.0	35 77.8	1 2.2	16 35.6	15 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.2	0 0.0	23 51.1	12 26.7	3 6.7	0 0.0
若戸	39 100.0	25 64.1	0 0.0	8 20.5	17 43.6	0 0.0	1 2.6	1 2.6	0 0.0	0 0.0	19 48.7	12 30.8	0 0.0	0 0.0
和地	24 100.0	22 91.7	2 8.3	2 8.3	3 12.5	1 4.2	0 0.0	0 0.0	1 4.2	0 0.0	11 45.8	6 25.0	0 0.0	0 0.0
堀切	42 100.0	36 85.7	6 14.3	2 4.8	1 2.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 19.0	0 0.0	17 40.5	15 35.7	3 7.1	0 0.0
伊良湖	17 100.0	17 100.0	5 29.4	0 0.0	1 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.9	0 0.0	6 35.3	4 23.5	0 0.0	0 0.0
亀山	26 100.0	22 84.6	3 11.5	1 3.8	1 3.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 11.5	0 0.0	14 53.8	7 26.9	1 3.8	0 0.0
中山	84 100.0	73 86.9	8 9.5	4 4.8	6 7.1	1 1.2	0 0.0	0 0.0	6 7.1	1 1.2	34 40.5	36 42.9	8 9.5	0 0.0
福江	91 100.0	80 87.9	5 5.5	6 6.6	4 4.4	2 2.2	0 0.0	0 0.0	6 6.6	0 0.0	39 42.9	25 27.5	9 9.9	0 0.0
清田	54 100.0	44 81.5	8 14.8	3 5.6	7 13.0	1 1.9	0 0.0	0 0.0	4 7.4	0 0.0	29 53.7	11 20.4	5 9.3	0 0.0
泉	68 100.0	56 82.4	0 0.0	2 2.9	8 11.8	1 1.5	0 0.0	0 0.0	2 2.9	0 0.0	39 57.4	18 26.5	6 8.8	1 1.5

【小学校区別（つづき）】

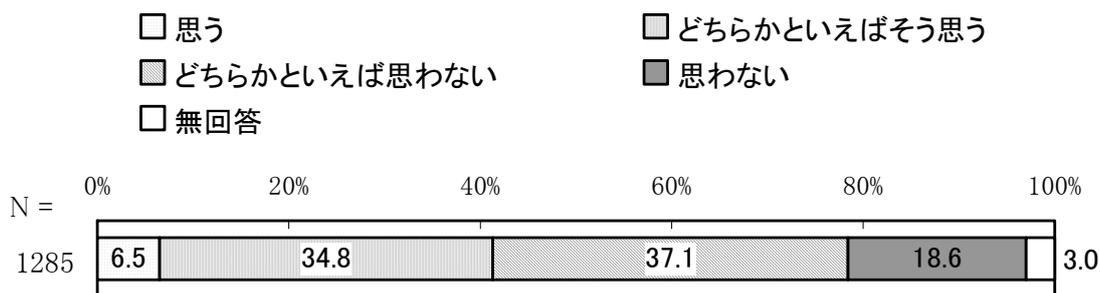
上段：実数（件）、下段：割合（％）

区分	池ノ原公園・つばき公園	田原市博物館・田原城跡周辺	田原まつり会館	藤七原・黒河・椀のシデコブシ	吉胡貝塚・シエルマよしご	菜の花畑	道の駅伊良湖クリスタルポルト	道の駅田原めつくんはうす	はなとき通り商店街	セントファール・はなとき通り商店街	風力発電	臨海工業地帯	図書館	その他	無回答
六連	1 3.2	3 9.7	2 6.5	1 3.2	0 0.0	1 3.2	2 6.5	4 12.9	3 9.7	1 3.2	0 0.0	2 6.5	0 0.0	1 3.2	
神戸	5 4.2	13 10.8	2 1.7	0 0.0	2 1.7	15 12.5	7 5.8	17 14.2	2 1.7	1 0.8	3 2.5	8 6.7	5 4.2	5 4.2	
大草	2 7.7	1 3.8	1 3.8	1 3.8	1 3.8	2 7.7	0 0.0	6 23.1	1 3.8	0 0.0	1 3.8	1 3.8	1 3.8	1 3.8	
田原東部	1 1.1	14 14.9	3 3.2	2 2.1	0 0.0	10 10.6	6 6.4	18 19.1	1 1.1	3 3.2	1 1.1	4 4.3	3 3.2	6 6.4	
田原南部	1 3.3	5 16.7	1 3.3	0 0.0	0 0.0	2 6.7	0 0.0	4 13.3	0 0.0	0 0.0	1 3.3	3 10.0	0 0.0	2 6.7	
童浦	0 0.0	9 8.3	2 1.9	3 2.8	1 0.9	15 13.9	6 5.6	12 11.1	3 2.8	8 7.4	2 1.9	10 9.3	1 0.9	3 2.8	
田原中部	9 6.4	41 29.3	16 11.4	3 2.1	2 1.4	10 7.1	5 3.6	8 5.7	3 2.1	3 2.1	0 0.0	9 6.4	5 3.6	9 6.4	
衣笠	5 4.2	19 16.0	2 1.7	2 1.7	2 1.7	9 7.6	5 4.2	11 9.2	0 0.0	3 2.5	0 0.0	8 6.7	5 4.2	3 2.5	
野田	1 1.3	6 7.6	1 1.3	2 2.5	0 0.0	10 12.7	1 1.3	7 8.9	3 3.8	2 2.5	2 2.5	7 8.9	0 0.0	3 3.8	
高松	1 3.7	4 14.8	2 7.4	1 3.7	0 0.0	2 7.4	3 11.1	0 0.0	2 7.4	0 0.0	2 7.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
赤羽根	0 0.0	5 11.1	3 6.7	1 2.2	1 2.2	1 2.2	0 0.0	3 6.7	1 2.2	1 2.2	0 0.0	0 0.0	1 2.2	1 2.2	
若戸	0 0.0	1 2.6	1 2.6	0 0.0	0 0.0	3 7.7	5 12.8	5 12.8	0 0.0	0 0.0	1 2.6	1 2.6	2 5.1	2 5.1	
和地	0 0.0	0 0.0	1 4.2	0 0.0	0 0.0	9 37.5	2 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 8.3	2 8.3	
堀切	0 0.0	1 2.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	14 33.3	2 4.8	2 4.8	1 2.4	1 2.4	1 2.4	1 2.4	2 4.8	2 4.8	
伊良湖	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.9	5 29.4	5 29.4	1 5.9	0 0.0	1 5.9	1 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
亀山	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 19.2	8 30.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 7.7	1 3.8	
中山	0 0.0	4 4.8	1 1.2	1 1.2	0 0.0	14 16.7	14 16.7	3 3.6	1 1.2	2 2.4	0 0.0	0 0.0	1 1.2	8 9.5	
福江	0 0.0	9 9.9	1 1.1	1 1.1	0 0.0	25 27.5	20 22.0	6 6.6	1 1.1	2 2.2	2 2.2	1 1.1	4 4.4	4 4.4	
清田	0 0.0	5 9.3	1 1.9	2 3.7	1 1.9	9 16.7	7 13.0	3 5.6	1 1.9	2 3.7	1 1.9	1 1.9	2 3.7	4 7.4	
泉	0 0.0	11 16.2	0 0.0	6 8.8	1 1.5	13 19.1	4 5.9	7 10.3	1 1.5	1 1.5	0 0.0	1 1.5	3 4.4	4 5.9	

4 田原市からの情報提供について

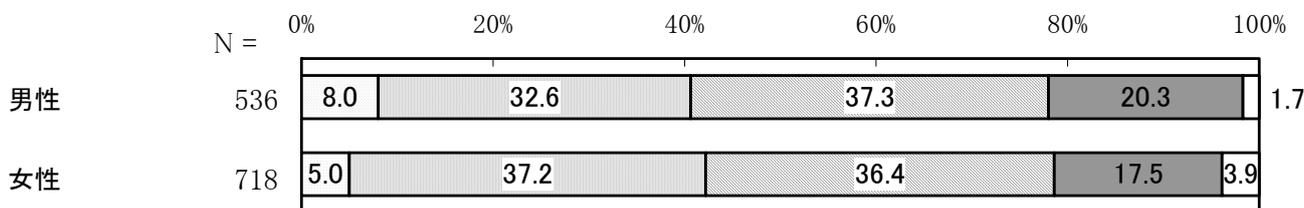
問 13 あなたは、市政に関する情報を十分得ていると思いますか。
 (あてはまるもの1つに○)

「思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“市政に関する情報を十分得ていると思う”人の割合が41.3%、「どちらかといえば思わない」と「思わない」をあわせた“市政に関する情報を得ていないと思う”人の割合が55.7%となっており、“市政に関する情報を得ていないと思う”人の割合が“市政に関する情報を十分得ていると思う”人の割合を上回っています。



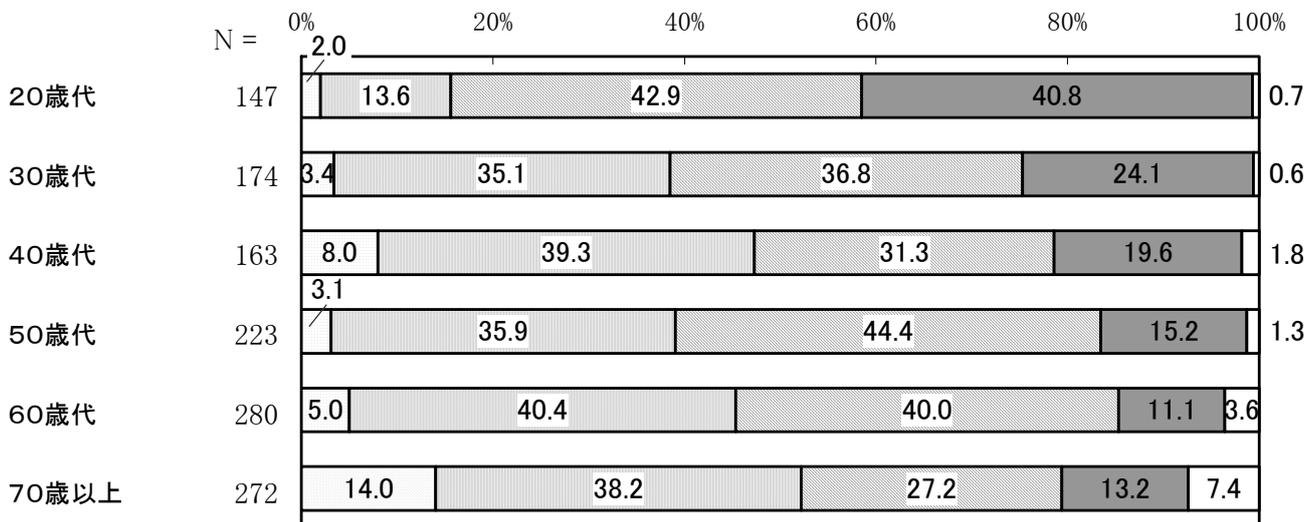
【性別】

性別にみると、大きな差異はみられません。



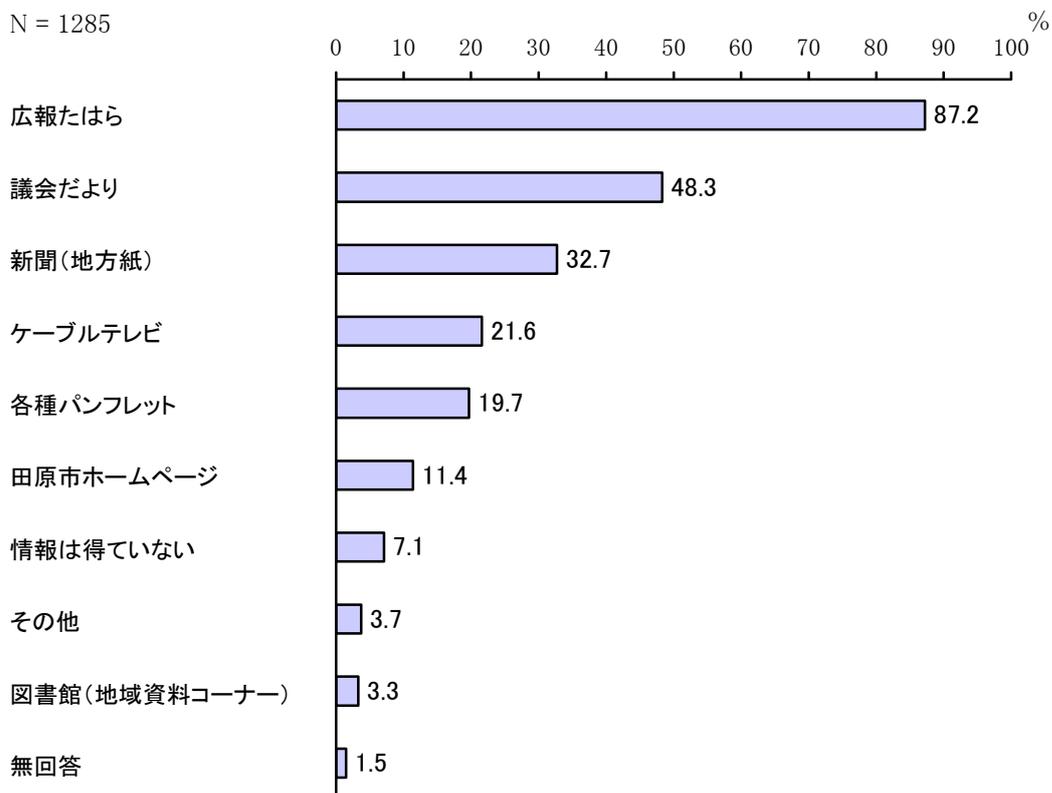
【年齢別】

年齢別にみると、70歳以上で“市政に関する情報を十分得ていると思う”人の割合が高く、5割を超えています。一方、20歳代で“市政に関する情報を十分得ていると思う”人の割合が低く、2割未満となっています。



問 14 あなたは、市政に関する情報を主に何から得ていますか。
 (あてはまるもの3つに○)

「広報たはら」の割合が 87.2%と最も高く、次いで「議会だより」の割合が 48.3%、「新聞（地方紙）」の割合が 32.7%となっています。



【性別】

性別にみると、男性に比べ女性で「広報たはら」の割合が高く、9割となっています。また、女性に比べ男性で「議会だより」の割合が高くなっています。

上段：実数（件）、下段：割合（%）

区分	全 体	広 報 た は ら	田 原 市 ホ ー ム ペ ー ジ	ケ ー ブ ル テ レ ビ	議 会 だ よ り	新 聞 （ 地 方 紙 ）	各 種 パ ン フ レ ッ ト	図 書 館 （ 地 域 資 料 コ ー ナ ー ）	そ の 他	情 報 は 得 て い な い	無 回 答
男性	536 100.0	452 84.3	75 14.0	122 22.8	277 51.7	174 32.5	103 19.2	16 3.0	24 4.5	47 8.8	5 0.9
女性	718 100.0	646 90.0	68 9.5	150 20.9	332 46.2	237 33.0	148 20.6	26 3.6	23 3.2	40 5.6	11 1.5

【年齢別】

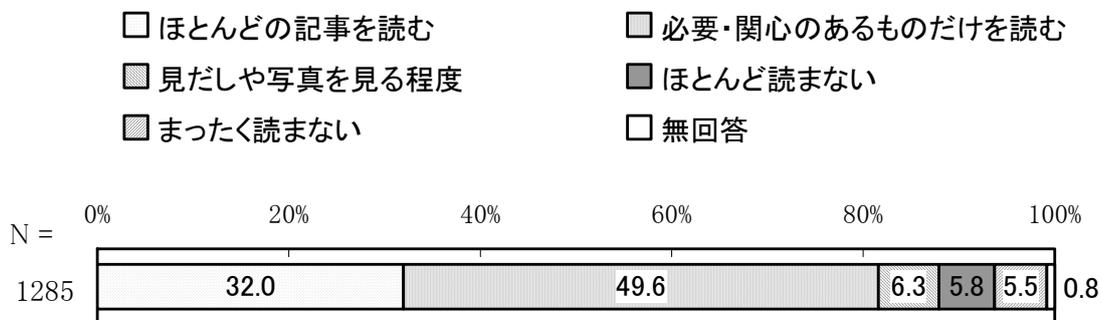
年齢別にみると、他の年齢に比べ、60歳代で「新聞（地方紙）」「議会だより」の割合が高くなっています。また、30歳代で「ケーブルテレビ」の割合が、40歳代で「田原市ホームページ」の割合が高くなっています。一方、20歳代で「情報は得ていない」の割合が高く、約3割となっています。

上段：実数（件）、下段：割合（%）

区分	全 体	広 報 た は ら	田 原 市 ホ ー ム ペ ー ジ	ケ ー ブ ル テ レ ビ	議 会 だ よ り	新 聞 （ 地 方 紙 ）	各 種 パ ン フ レ ッ ト	図 書 館 （ 地 域 資 料 コ ー ナ ー ）	そ の 他	情 報 は 得 て い な い	無 回 答
20歳代	147 100.0	89 60.5	19 12.9	26 17.7	32 21.8	31 21.1	17 11.6	7 4.8	9 6.1	44 29.9	0 0.0
30歳代	174 100.0	147 84.5	22 12.6	55 31.6	67 38.5	30 17.2	31 17.8	5 2.9	12 6.9	17 9.8	1 0.6
40歳代	163 100.0	154 94.5	35 21.5	38 23.3	75 46.0	46 28.2	22 13.5	8 4.9	5 3.1	5 3.1	0 0.0
50歳代	223 100.0	212 95.1	33 14.8	63 28.3	120 53.8	74 33.2	51 22.9	4 1.8	5 2.2	5 2.2	0 0.0
60歳代	280 100.0	267 95.4	17 6.1	53 18.9	169 60.4	124 44.3	69 24.6	9 3.2	8 2.9	4 1.4	2 0.7
70歳以上	272 100.0	229 84.2	17 6.3	36 13.2	148 54.4	107 39.3	62 22.8	9 3.3	7 2.6	13 4.8	16 5.9

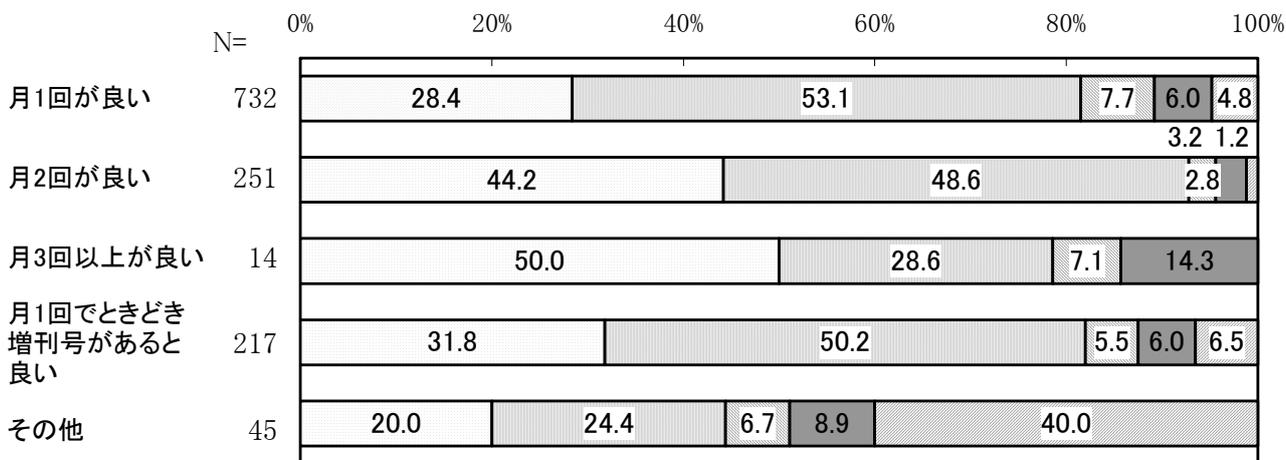
問 15 あなたは、「広報たはら」を読んでいますか。(あてはまるもの1つに○)

「必要・関心のあるものだけを読む」の割合が49.6%と最も高く、次いで「ほとんどの記事を読む」の割合が32.0%となっています。また、「ほとんど読まない」と「まったく読まない」をあわせた“広報たはらを読まない人”の割合が1割を超えています。



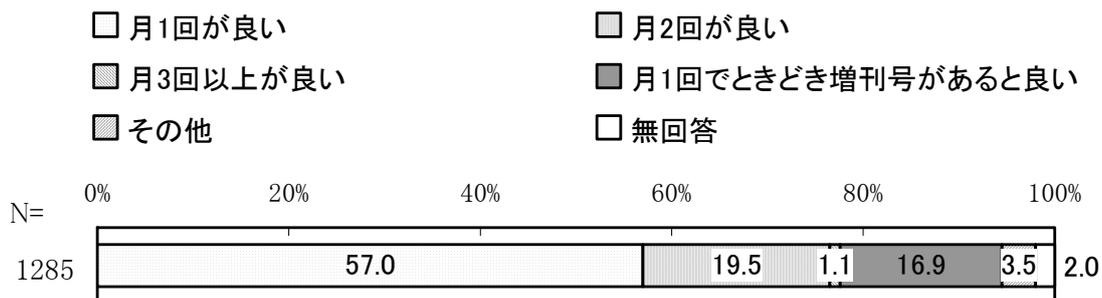
【広報たはら発行の希望回数別】

広報たはら発行の希望回数別にみると、他に比べ、月3回以上が良い人で「ほとんどの記事を読む」の割合が高くなっています。



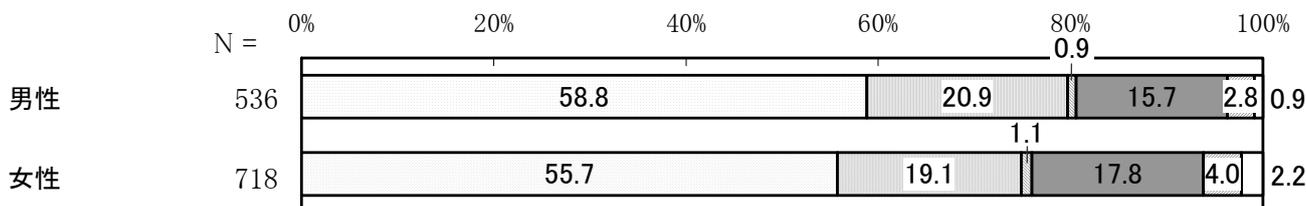
**問 16 「広報たはら」の発行回数は月に何回が良いと思いますか。
(あてはまるもの1つに○)**

「月1回が良い」の割合が57.0%と最も高く、次いで「月2回が良い」の割合が19.5%、「月1回でときどき増刊号があると良い」の割合が16.9%となっています。また、「月1回が良い」と「月1回でときどき増刊号があると良い」をあわせた“月1回が良い”の割合が7割を超えています。



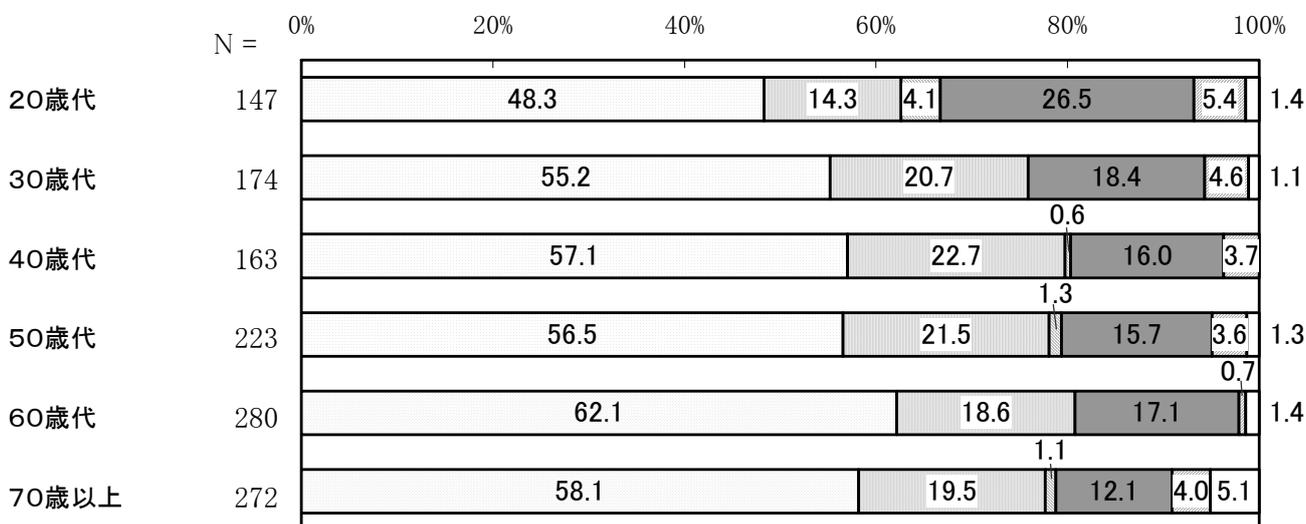
【性別】

性別にみると、大きな差異はみられません。



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が低くなるにつれて「月1回でときどき増刊号があると良い」の割合が高くなる傾向がみられます。



5 各分野での市の取り組みについて

問17 あなたは、現状の田原市の取り組みに対しどの程度満足していますか。
 (下表の「満足度」の欄に、項目ごとに評価し、該当する番号に○をつけてください。)
 また、今後、行政がどの程度重点的に取り組みを講じる必要があると思いますか。
 (下表の「重要度」の欄に、項目ごとに評価し、該当する番号に○をつけてください。)

【ポートフォリオ※による分析の考え方】

満足度と重要度を下表のような配分で点数化し、その点数の合計値を、無回答を除いた各設問の回答総数で割り、満足度・重要度を得点化しました。

さらに、各項目の満足度と重要度の得点の関係について分布図を作成し、ポートフォリオ分析により、今後の方向性を分析しました。

【満足度・重要度の得点化の手順】

満足度	得点
満足	2点
やや満足	1点
普通	0点
やや不満	-1点
不満	-2点
無回答	計算対象外

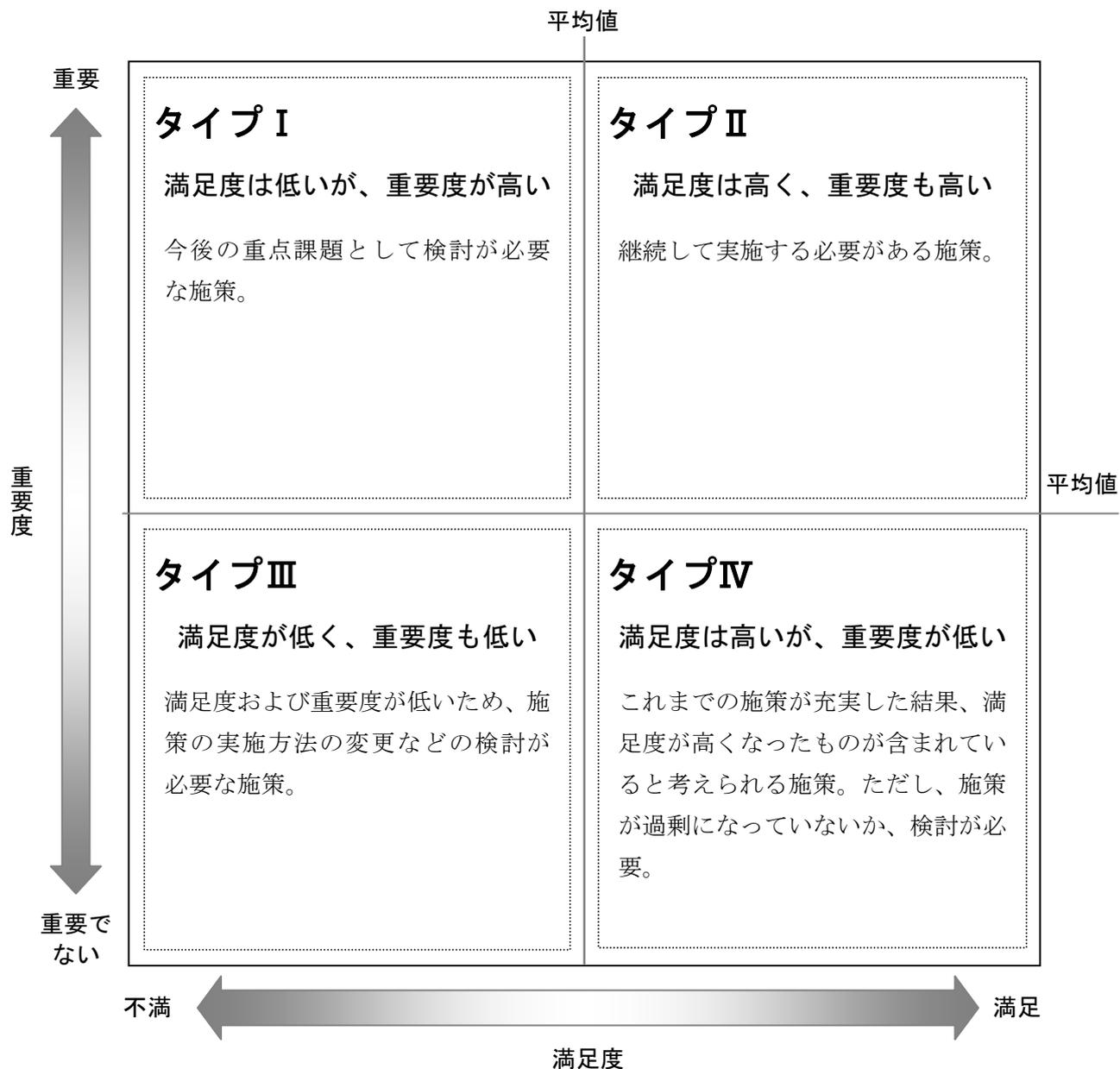
重要度	得点
非常に重要	2点
重要	1点
普通	0点
あまり重要でない	-1点
重要でない	-2点
無回答	計算対象外

【得点の算出式】

$$\begin{array}{l}
 2点 \times \text{「非常に重要（満足）」の回答数} \\
 1点 \times \text{「重要（やや満足）」の回答数} \\
 0点 \times \text{「普通」の回答数} \\
 -1点 \times \text{「あまり重要でない（やや不満）」の回答数} \\
 -2点 \times \text{「重要でない（不満）」の回答数}
 \end{array}
 \left. \vphantom{\begin{array}{l} \\ \\ \\ \\ \end{array}} \right\} \text{これらの数値の和}$$

無回答を除いた設問の回答総数

※得点については、小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。



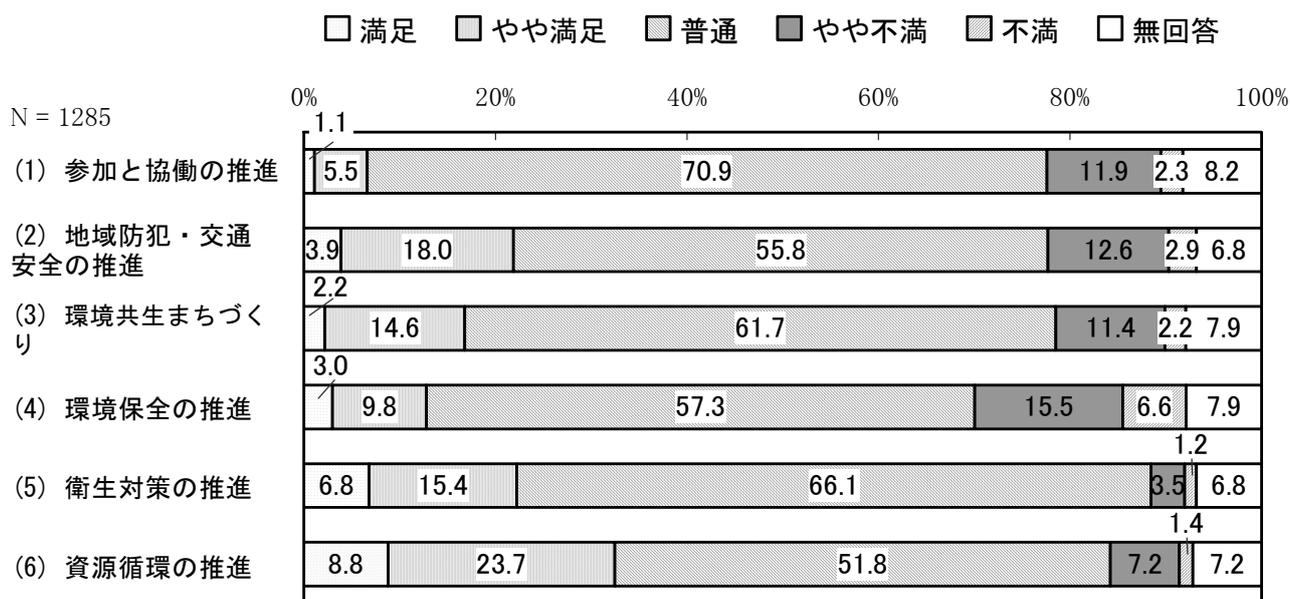
※ポートフォリオとは、各属性についての満足度と総合満足度への影響度を2次元にプロットした図です。それぞれの選択肢を5段階評価で聞き、X軸に各属性の平均満足度、Y軸に重要度（期待度）として総合満足度と各満足度の偏相関係数を表しています。なお、図は4象限にわけられ、象限をわける境界線は、満足度、重要度の各平均値を使用しています。

<市民環境分野>

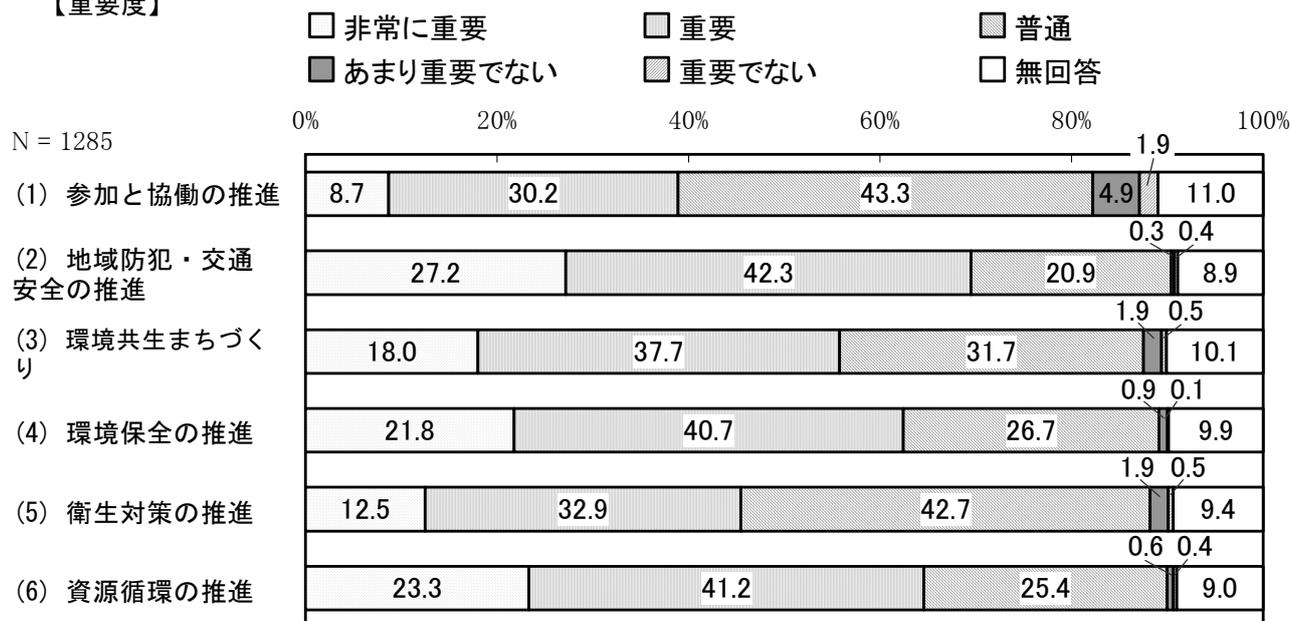
満足度については、(6) 資源循環の推進で「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が高くなっています。一方、(1) 参加と協働の推進で“満足”の割合が低く、1割未満となっています。また、(4) 環境保全の推進で「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が高くなっています。

重要度については、(2) 地域防犯・交通安全の推進、(4) 環境保全の推進、(6) 資源循環の推進で「非常に重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が高くなっています。

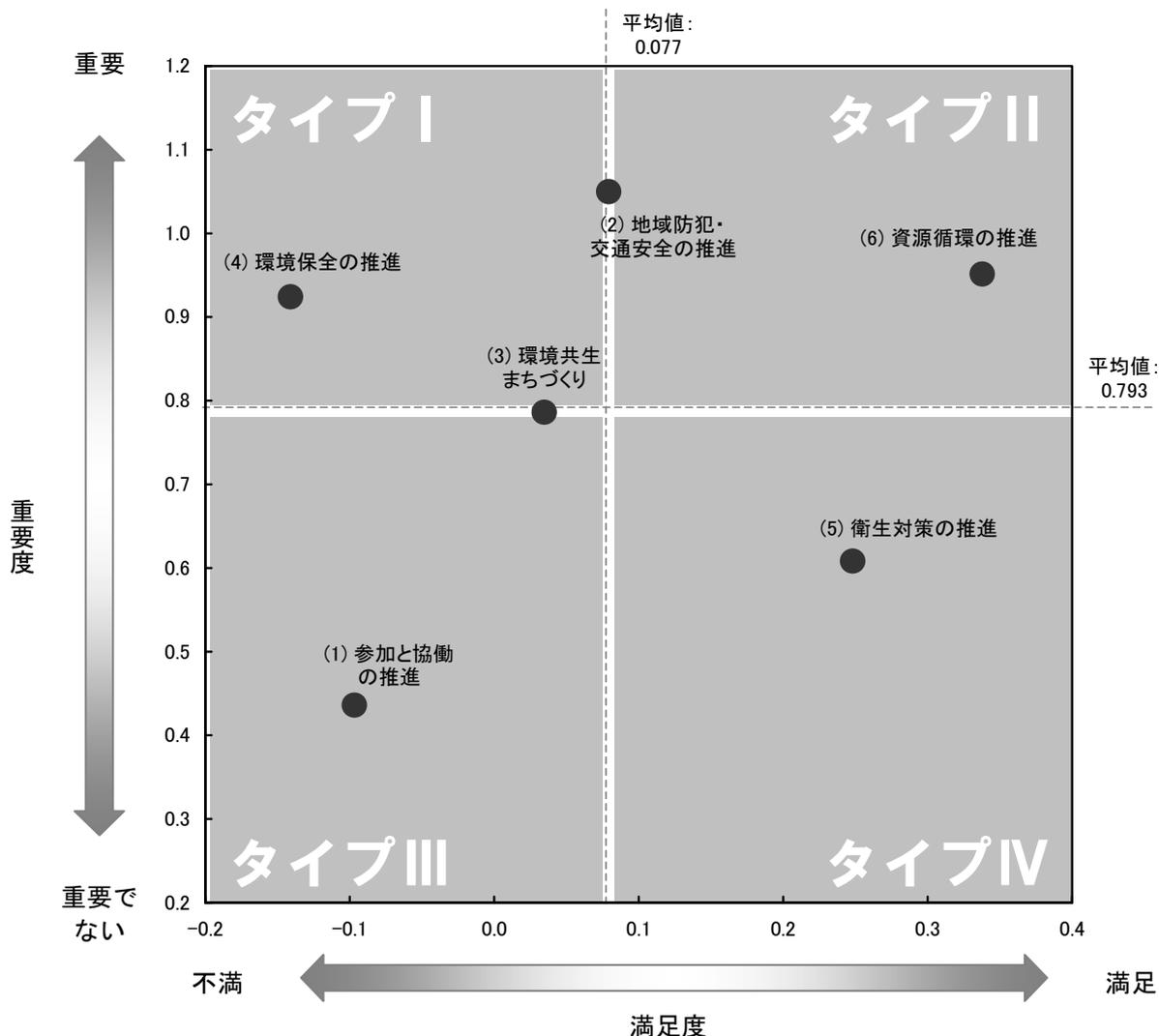
【満足度】



【重要度】



ポートフォリオによる市民環境分野の評価については、(4)環境保全の推進で重要度が高いものの満足度が低くなっており、事業の強化など改善が求められます。



区分	満足度		重要度	
	H22	H25	H22	H25
1. 参加と協働の推進	0.02	-0.10	0.24	0.44
2. 地域防犯・交通安全の推進	-	0.08	-	1.05
3. 環境共生まちづくり	0.03	0.03	0.88	0.79
4. 環境保全の推進	-0.02	-0.14	0.38	0.92
5. 衛生対策の推進	0.05	0.25	0.53	0.61
6. 資源循環の推進	0.18	0.34	0.79	0.95

○上図から分析判断できる最優先課題

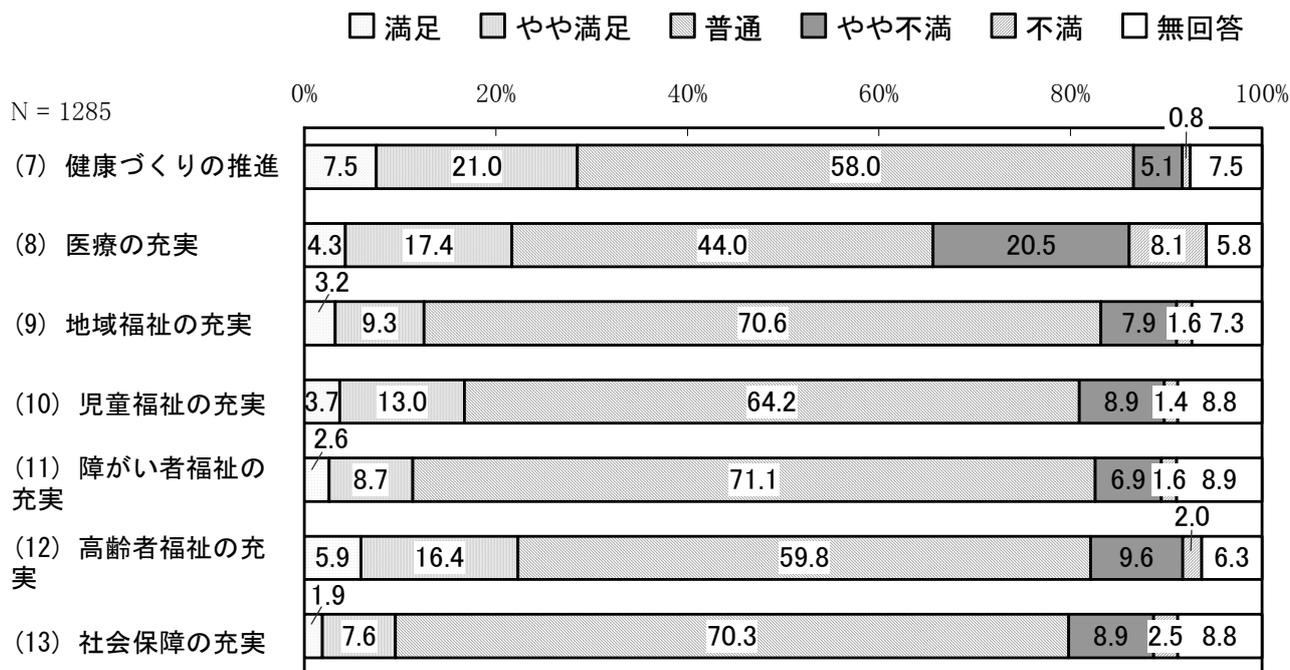
4. 環境保全の推進

<健康福祉分野>

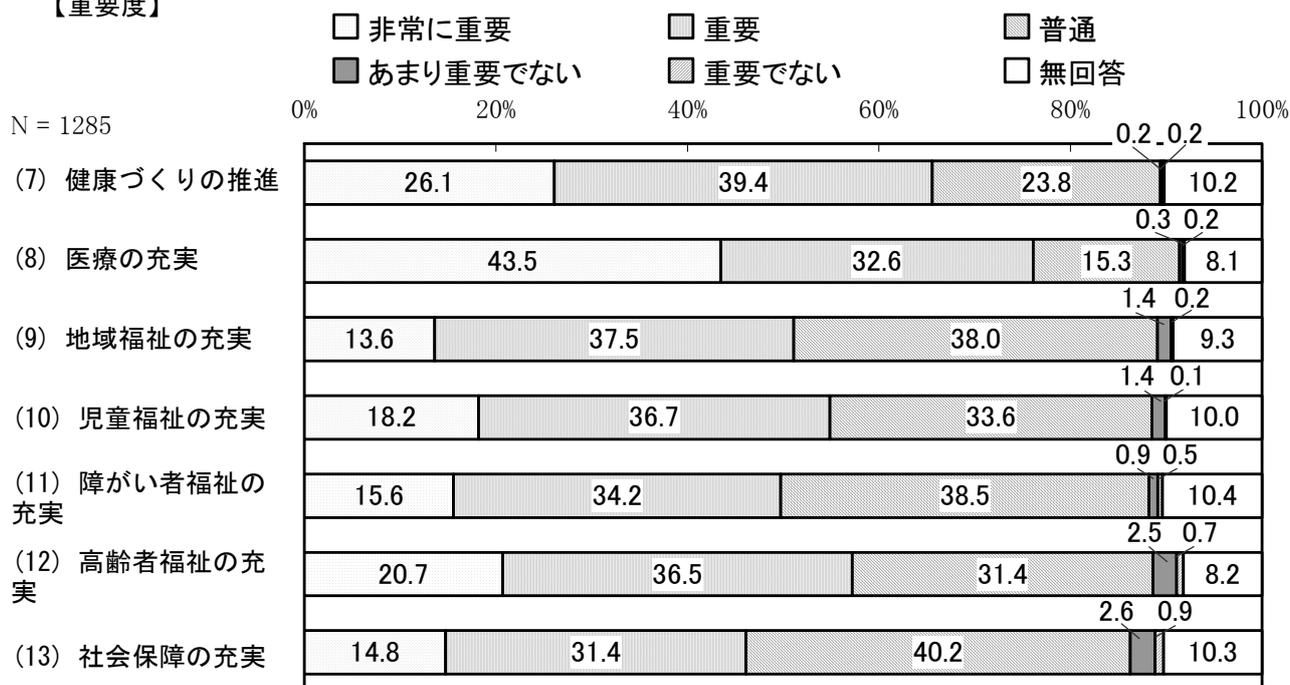
満足度については、(13)社会保障の充実で“満足”の割合が低く、1割未満となっています。また、(8)医療の充実で“不満”の割合が高く、約3割となっています。

重要度については、(8)医療の充実で“重要”の割合が高く、約8割となっています。一方、(13)社会保障の充実で“重要”の割合が低く、5割未満となっています。

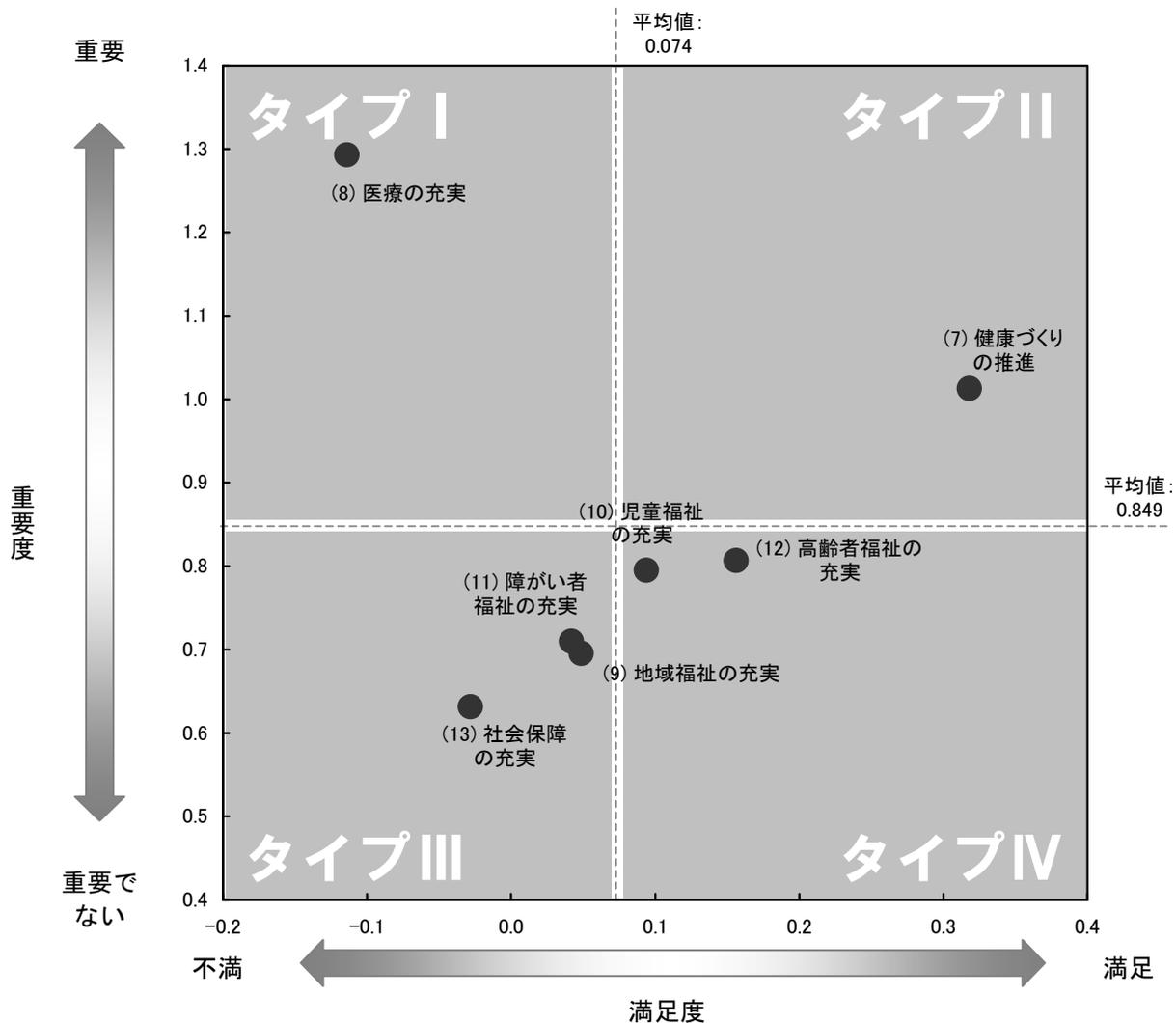
【満足度】



【重要度】



ポートフォリオによる健康福祉分野の評価については、(8)医療の充実で重要度が最も高いと同時に満足度が最も低くなっており、特に事業の強化など改善が求められます。



区分	満足度		重要度	
	H22	H25	H22	H25
7. 健康づくりの推進	0.20	0.32	0.81	1.01
8. 医療の充実	-0.19	-0.11	1.24	1.29
9. 地域福祉の充実	-0.03	0.05	0.84	0.70
10. 児童福祉の充実	0.06	0.09	0.89	0.80
11. 障がい者福祉の充実	-0.04	0.04	0.73	0.71
12. 高齢者福祉の充実	-0.04	0.16	0.97	0.81
13. 社会保障の充実	-0.11	-0.03	0.80	0.63

○上図から分析判断できる最優先課題

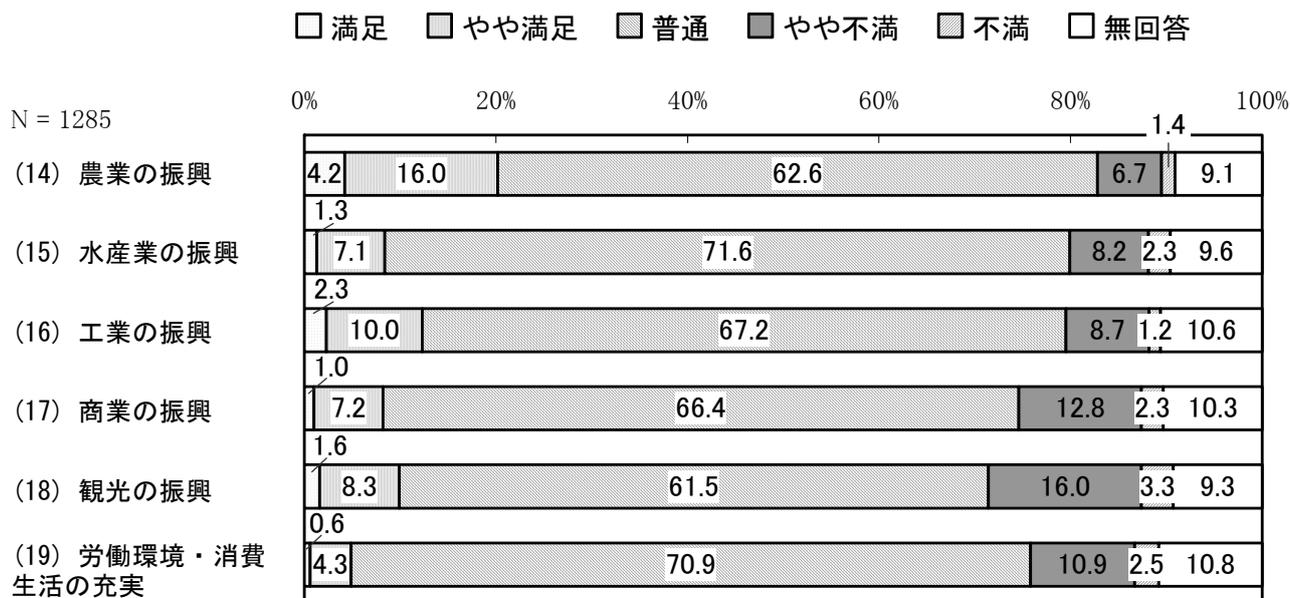
8. 医療の充実

<産業経済分野>

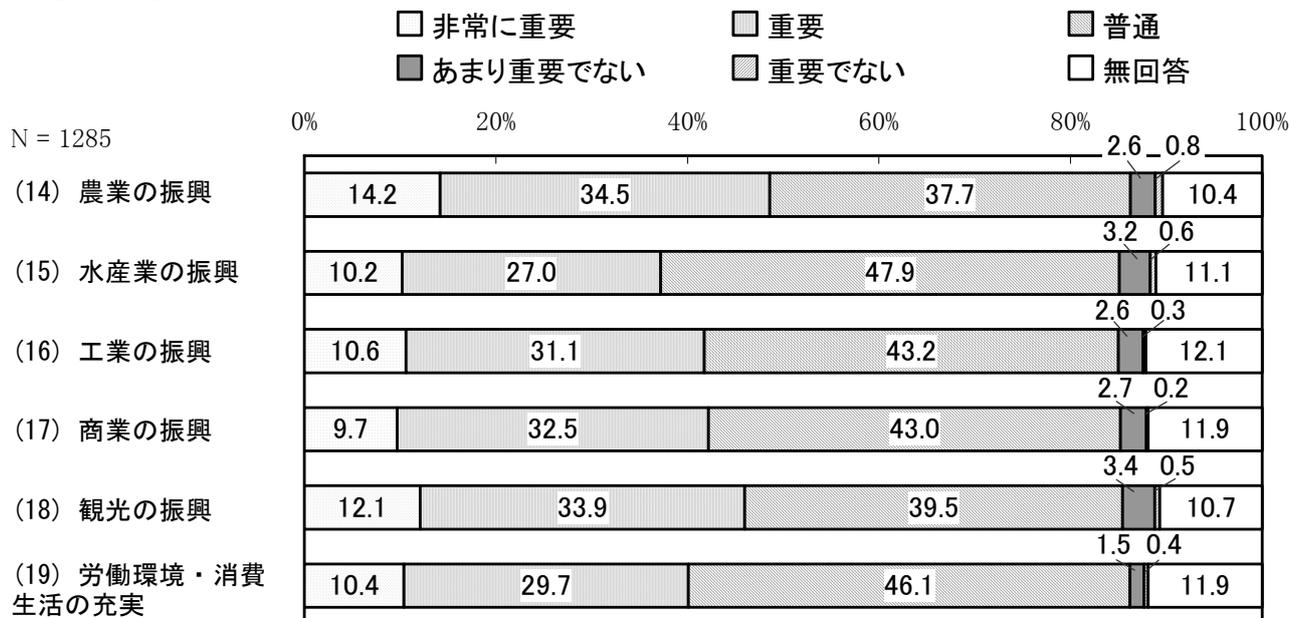
満足度については、(14)農業の振興で“満足”の割合が高く、約2割となっています。一方、(18)観光の振興で“不満”の割合が高く、約2割となっています。

重要度については、(14)農業の振興、(18)観光の振興で“重要”の割合が高くなっています。

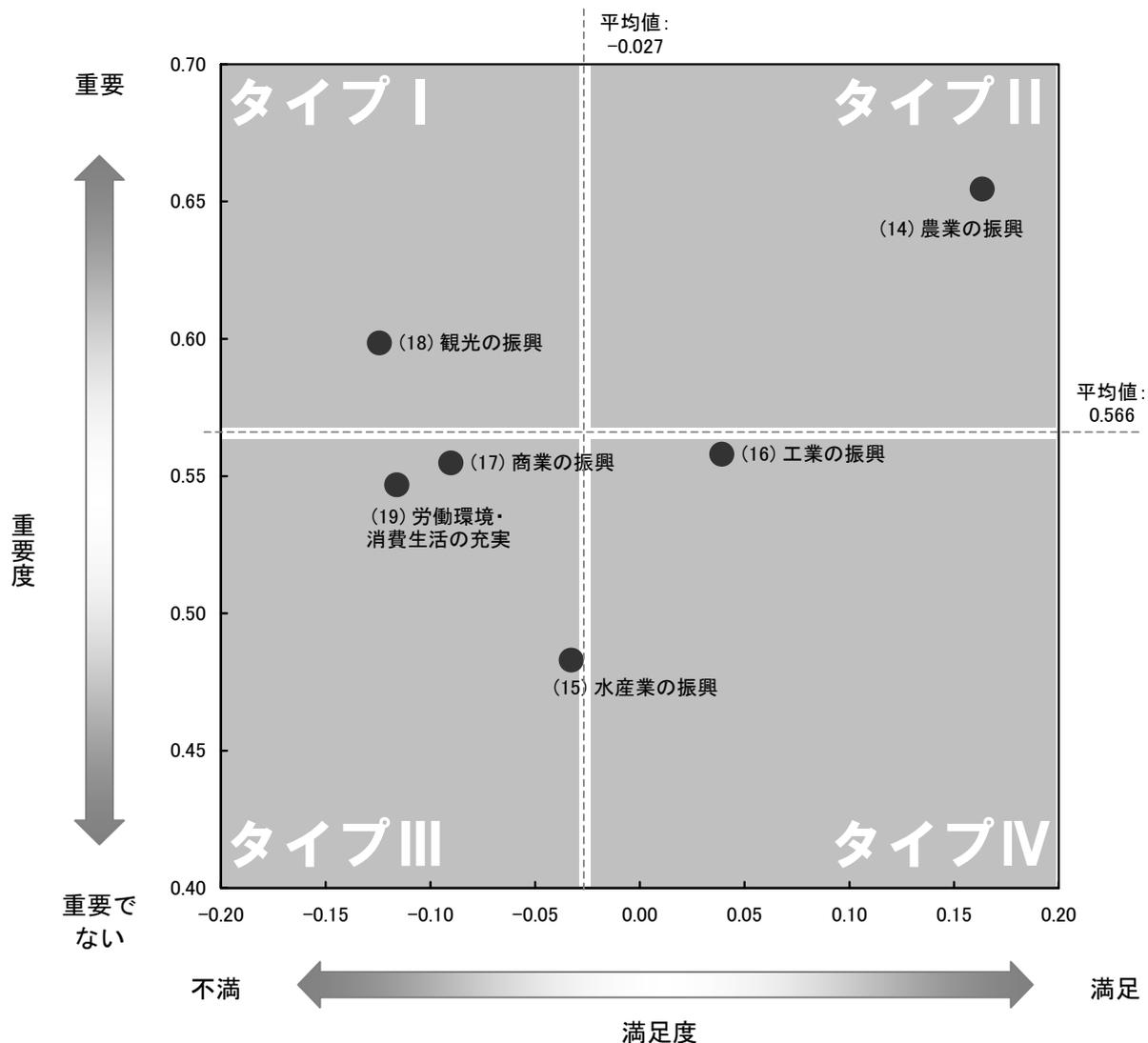
【満足度】



【重要度】



ポートフォリオによる産業経済分野の評価については、(18)観光の振興で重要度が高いものの、満足度が最も低くなっており、事業の強化など改善が求められます。



区分	満足度		重要度	
	H22	H25	H22	H25
14. 農業の振興	-0.03	0.16	0.75	0.65
15. 水産業の振興	-0.07	-0.03	0.47	0.48
16. 工業の振興	0.01	0.04	0.51	0.56
17. 商業の振興	-0.22	-0.09	0.62	0.55
18. 観光の振興	-0.22	-0.12	0.64	0.60
19. 労働環境・消費生活の充実	-	-0.12	-	0.55

○上図から分析判断できる最優先課題

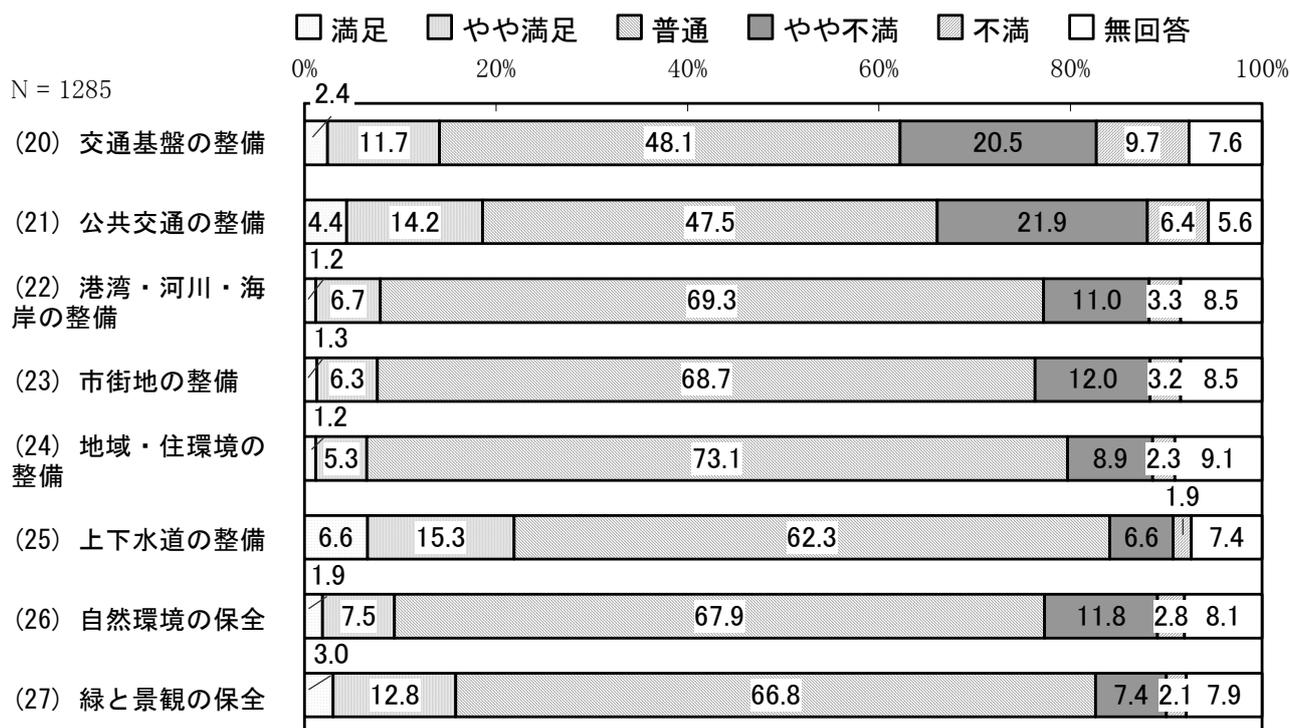
18. 観光の振興

<都市整備分野>

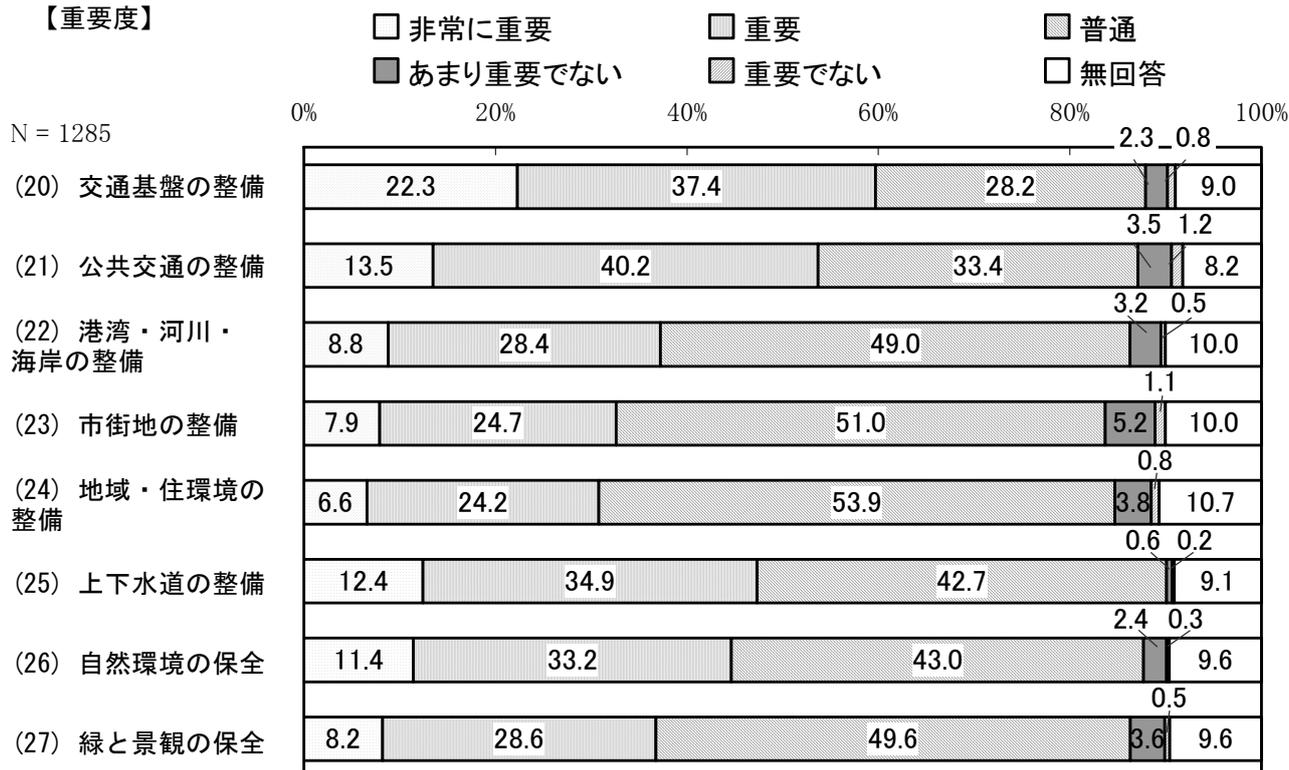
満足度については、(21)公共交通の整備、(25)上下水道の整備で“満足”の割合が高く、約2割となっています。一方、(20)交通基盤の整備、(21)公共交通の整備で“不満”の割合が高く、約3割となっています。

重要度については、(20)交通基盤の整備、(21)公共交通の整備で“重要”の割合が高く、5割を超えています。

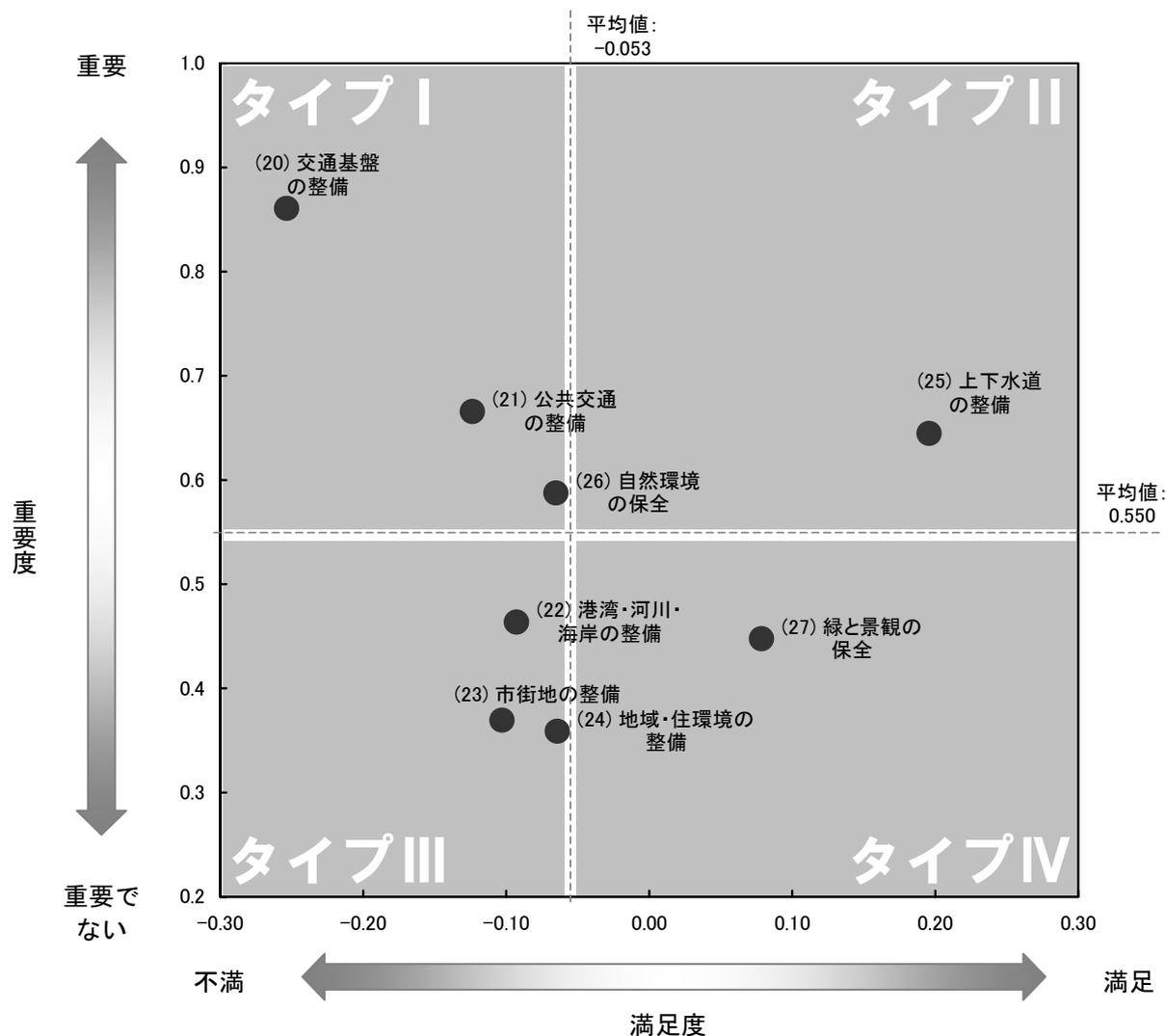
【満足度】



【重要度】



ポートフォリオによる都市整備分野の評価については、(20)交通基盤の整備、(21)公共交通の整備、(26)自然環境の保全で重要度が高いものの、満足度が低く、事業の強化などが求められます。(20)交通基盤の整備については、最も重要度が高いと同時に、満足度が最も低いため、特に事業の改善が必要です。



区分	満足度		重要度	
	H22	H25	H22	H25
20. 交通基盤の整備	-0.32	-0.25	0.80	0.86
21. 公共交通の整備	-	-0.12	-	0.67
22. 港湾・河川・海岸の整備	-	-0.09	-	0.46
23. 市街地の整備	-0.13	-0.10	0.44	0.37
24. 地域・住環境の整備	-	-0.06	-	0.36
25. 上下水道の整備	0.14	0.20	0.62	0.64
26. 自然環境の保全	-0.02	-0.07	0.54	0.59
27. 緑と景観の保全	0.04	0.08	0.50	0.45

○上図から分析判断できる最優先課題

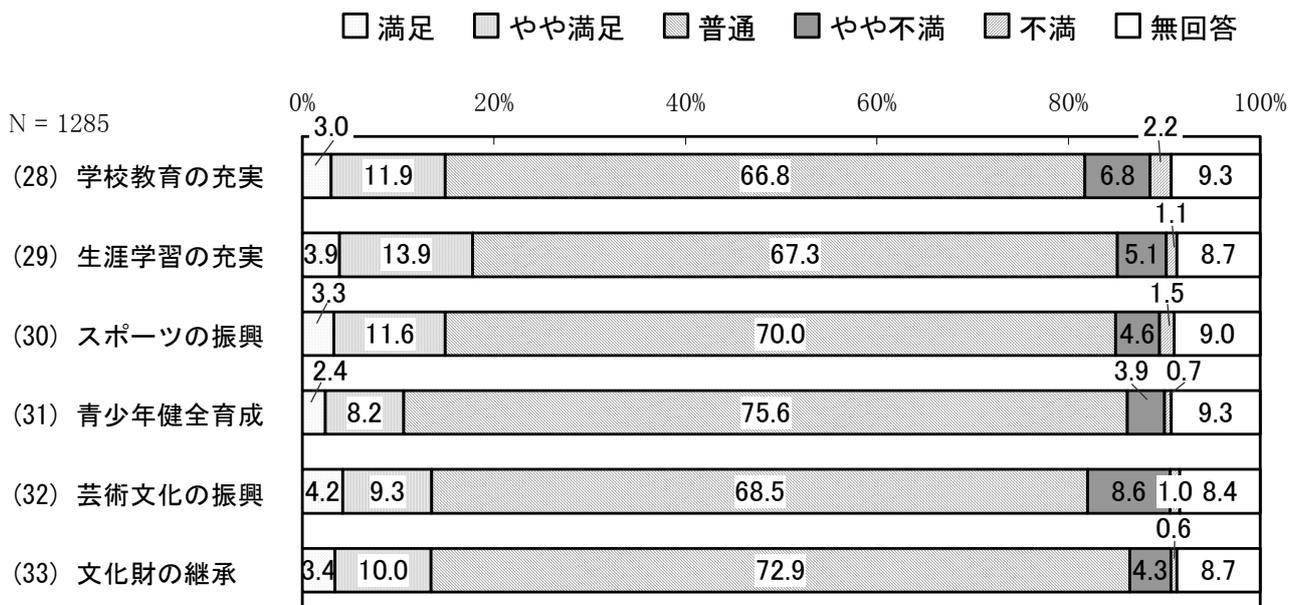
20. 交通基盤の整備、21. 公共交通の整備、26. 自然環境の保全

<教育文化分野>

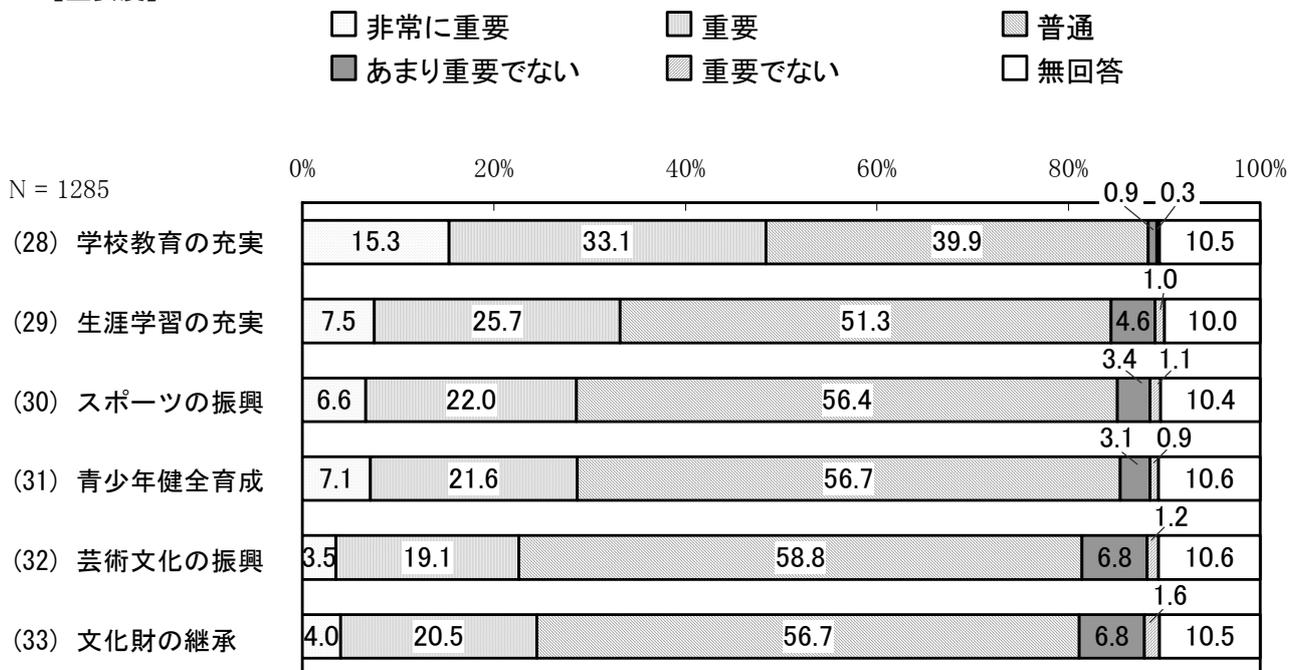
満足度については、(29)生涯学習の充実で“満足”の割合が高く、約2割となっています。

重要度については、(28)学校教育の充実で“重要”の割合が高く、約5割となっています。

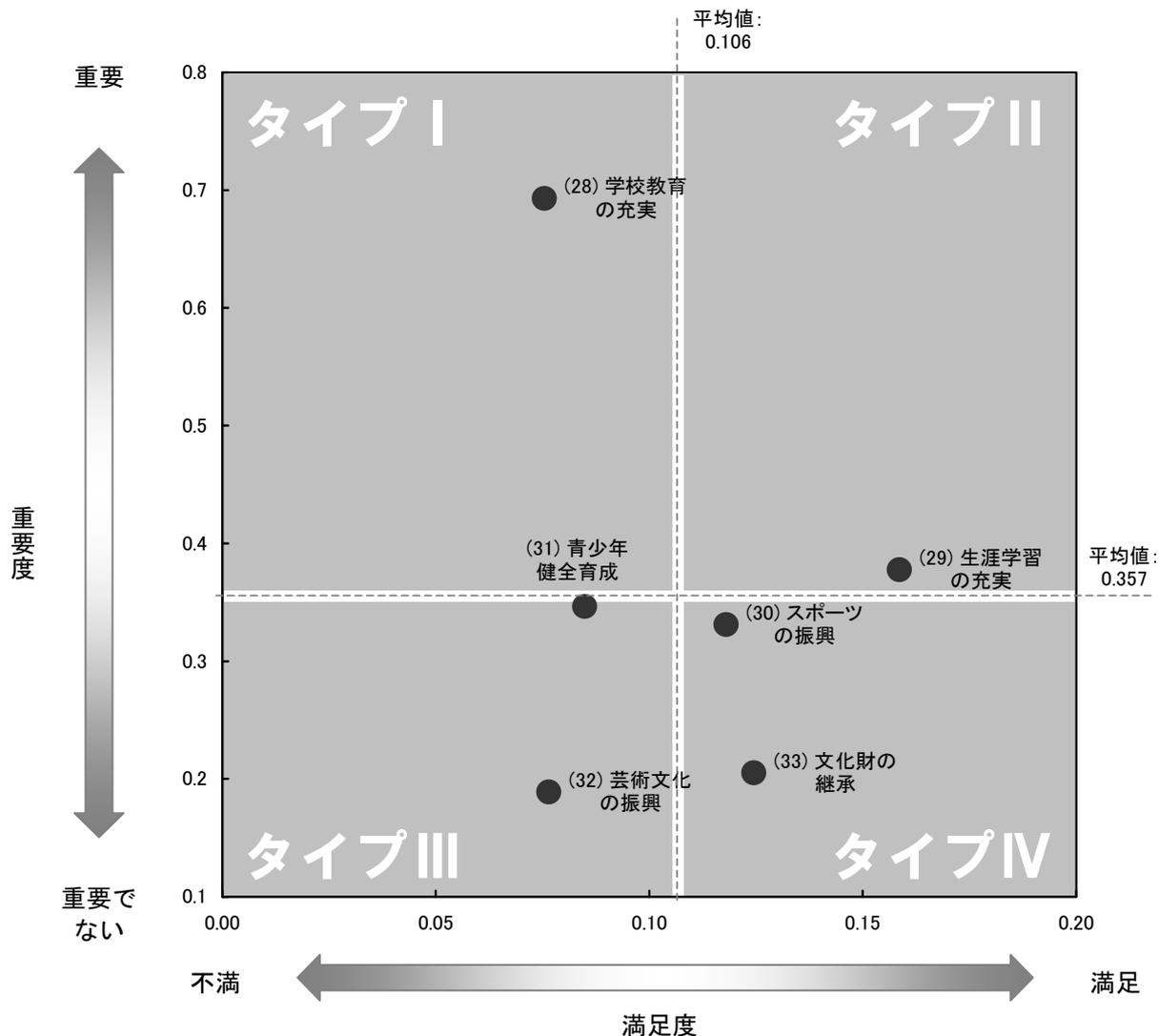
【満足度】



【重要度】



ポートフォリオによる教育文化分野の評価については(28)学校教育の充実で重要度が高いものの、満足度が低く、事業の強化などが求められます。



区分	満足度		重要度	
	H22	H25	H22	H25
28. 学校教育の充実	-0.04	0.08	0.86	0.69
29. 生涯学習の充実	0.18	0.16	0.39	0.38
30. スポーツの振興	0.08	0.12	0.27	0.33
31. 青少年健全育成	-0.09	0.08	0.67	0.35
32. 芸術文化の振興	0.05	0.08	0.15	0.19
33. 文化財の継承	0.13	0.12	0.29	0.21

○上図から分析判断できる最優先課題

28. 学校教育の充実

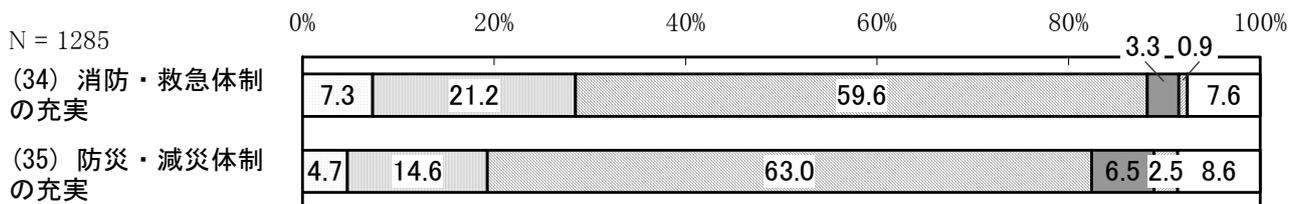
<消防防災分野>

満足度については、(34)消防・救急体制の充実で“満足”の割合が高く、約3割となっています。

重要度については、(34)消防・救急体制の充実、(35)防災・減災体制の充実ともに“重要”の割合が高く、6割を超えています。

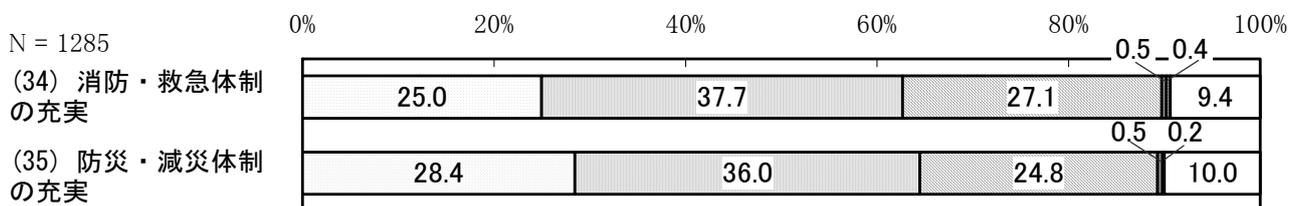
【満足度】

□ 満足 □ やや満足 □ 普通 □ やや不満 □ 不満 □ 無回答

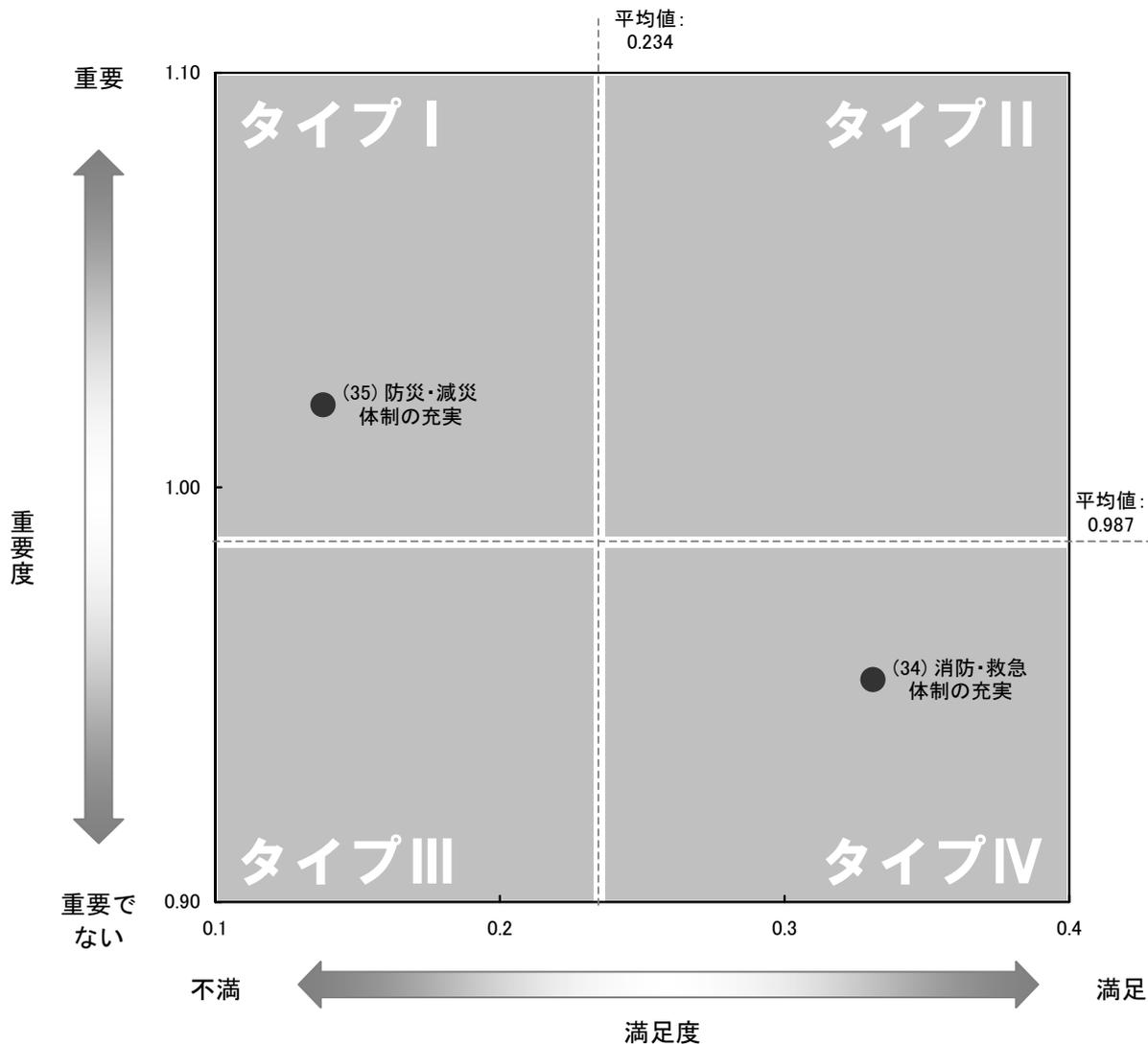


【重要度】

□ 非常に重要 □ 重要 □ 普通 □ あまり重要でない □ 重要でない □ 無回答



ポートフォリオによる消防防災分野の評価については(35)防災・減災体制の充実で重要度が高いものの、満足度が低く、事業の強化などが求められます。



区分	満足度		重要度	
	H22	H25	H22	H25
34. 消防・救急体制の充実	0.39	0.33	1.22	0.95
35. 防災・減災体制の充実	0.08	0.14	1.17	1.02

○上図から分析判断できる最優先課題

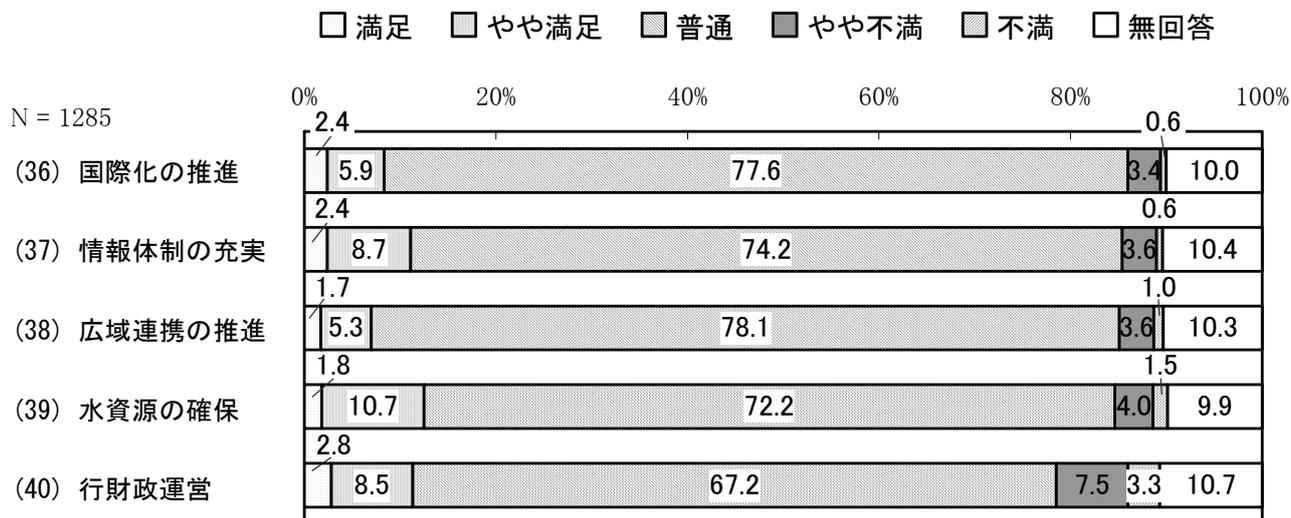
35. 防災・減災体制の充実

<行財政分野>

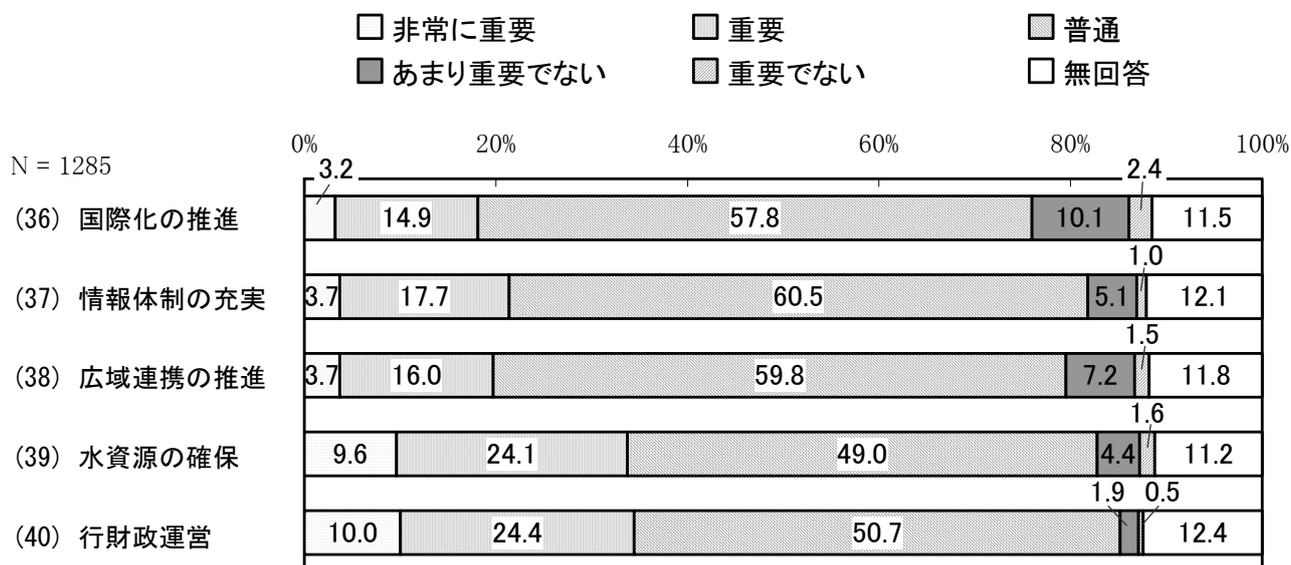
満足度については、いずれの項目も“満足”の割合が低く、約1割となっています。

重要度については、(39)水資源の確保、(40)行財政運営で“重要”の割合が高く、約3割となっています。

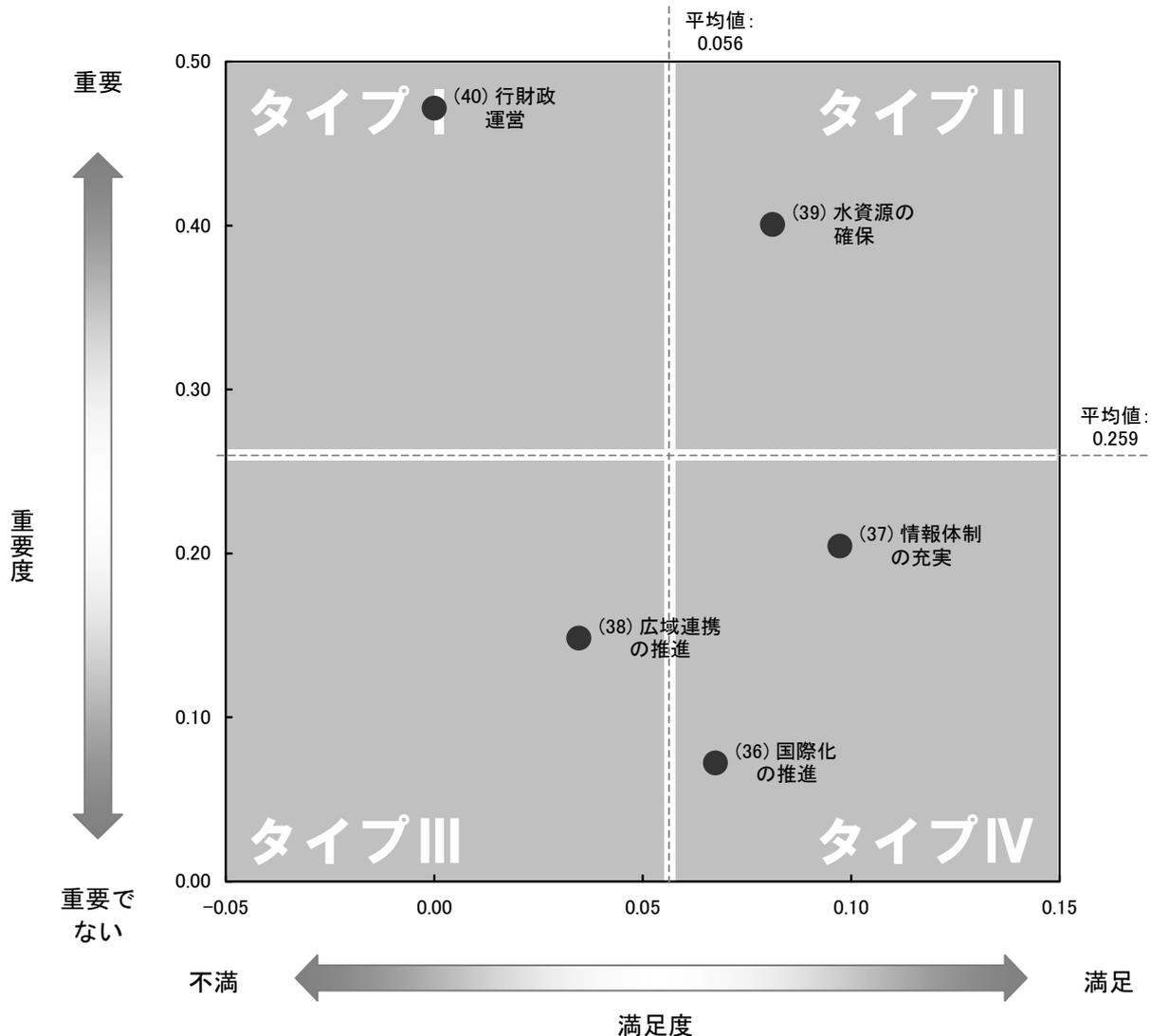
【満足度】



【重要度】



ポートフォリオによる行財政分野の評価については(40)行財政運営で重要度が最も高いと同時に、最も満足度が低く、事業の強化などが求められます。



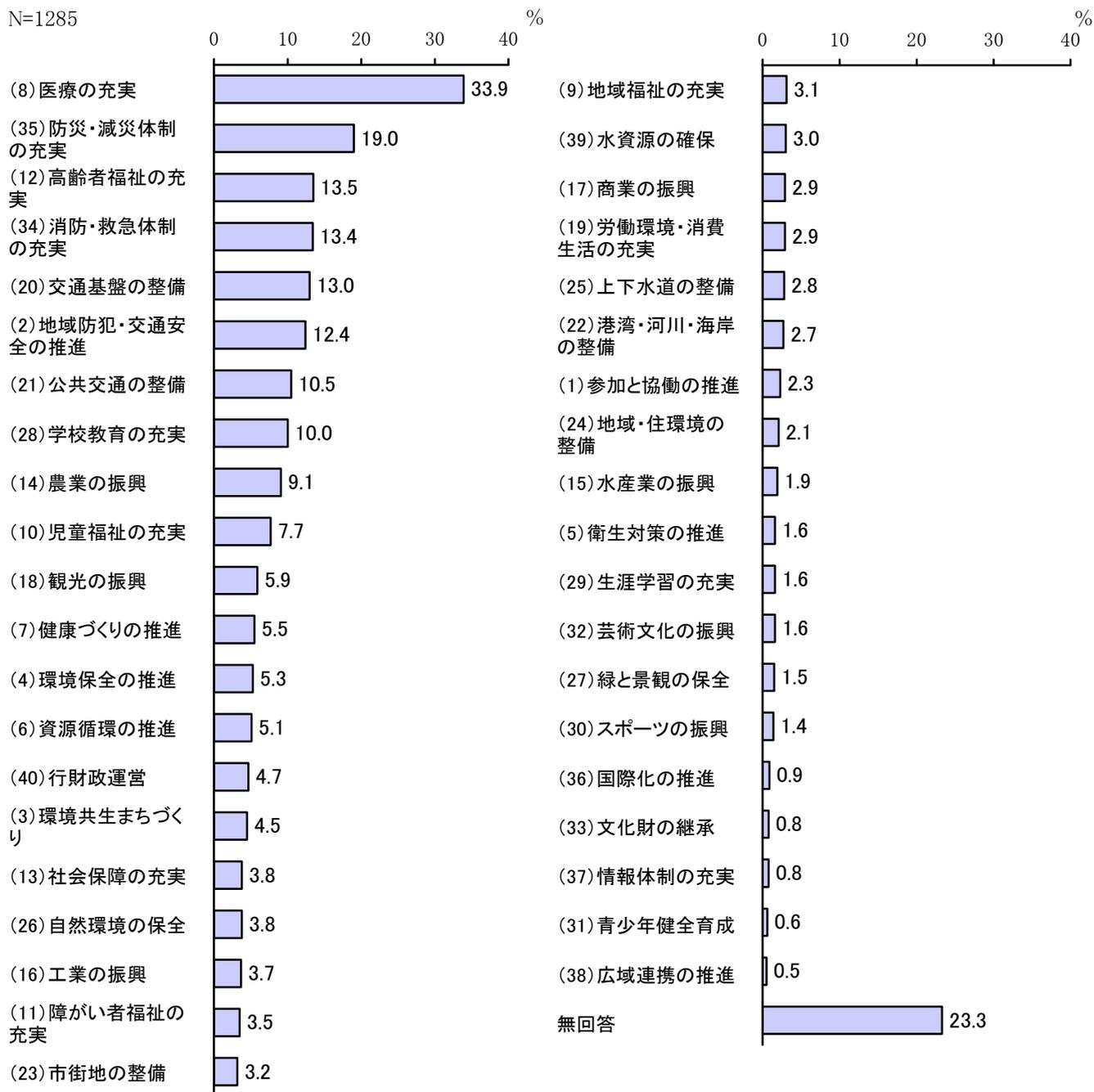
区分	満足度		重要度	
	H22	H25	H22	H25
36. 国際化の推進	-0.04	0.07	0.09	0.07
37. 情報体制の充実	-0.06	0.10	0.48	0.20
38. 広域連携の推進	-0.07	0.03	0.19	0.15
39. 水資源の確保	0.30	0.08	0.88	0.40
40. 行財政運営	-0.14	0.00	0.74	0.47

○上図から分析判断できる最優先課題

40. 行財政運営

問 18 問 17 の(1)～(40)の施策のうち、あなたが特に重要だと思う施策の番号を3つご記入ください。

「(8) 医療の充実」の割合が 33.9%と突出して高く、次いで「(35) 防災・減災体制の充実」が 19.0%と高くなっています。



【性別】

性別にみると、女性に比べ男性で「(20) 交通基盤の整備」の割合が高くなっています。一方、女性で「(8) 医療の充実」の割合が高くなっています。

上段：実数（件）、下段：割合（％）

区分	全 体	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)
		参加と協働の推進	地域防犯・交通安全の推進	環境共生まちづくり	環境保全の推進	衛生対策の推進	資源循環の推進	健康づくりの推進	医療の充実	地域福祉の充実	児童福祉の充実	障がい者福祉の充実	高齢者福祉の充実	社会保障の充実
男性	536 100.0	10 1.9	65 12.1	24 4.5	33 6.2	9 1.7	26 4.9	22 4.1	165 30.8	17 3.2	33 6.2	13 2.4	70 13.1	26 4.9
女性	718 100.0	20 2.8	92 12.8	32 4.5	33 4.6	10 1.4	39 5.4	46 6.4	263 36.6	23 3.2	64 8.9	31 4.3	103 14.3	21 2.9

区分	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	(22)	(23)	(24)	(25)	(26)	(27)
	農業の振興	水産業の振興	工業の振興	商業の振興	観光の振興	労働環境・消費生活の充実	交通基盤の整備	公共交通の整備	港湾・河川・海岸の整備	市街地の整備	地域・住環境の整備	上下水道の整備	自然環境の保全	緑と景観の保全
男性	63 11.8	15 2.8	23 4.3	22 4.1	38 7.1	16 3.0	97 18.1	71 13.2	19 3.5	22 4.1	17 3.2	17 3.2	23 4.3	6 1.1
女性	50 7.0	9 1.3	23 3.2	14 1.9	37 5.2	20 2.8	68 9.5	63 8.8	16 2.2	19 2.6	10 1.4	17 2.4	26 3.6	13 1.8

区分	(28)	(29)	(30)	(31)	(32)	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)	無回答
	学校教育の充実	生涯学習の充実	スポーツの振興	青少年健全育成	芸術文化の振興	文化財の継承	消防・救急体制の充実	防災・減災体制の充実	国際化の推進	情報体制の充実	広域連携の推進	水資源の確保	行財政運営	
男性	50 9.3	7 1.3	8 1.5	5 0.9	9 1.7	6 1.1	75 14.0	106 19.8	5 0.9	6 1.1	3 0.6	21 3.9	28 5.2	101 18.8
女性	77 10.7	14 1.9	10 1.4	3 0.4	11 1.5	4 0.6	95 13.2	134 18.7	7 1.0	4 0.6	3 0.4	17 2.4	32 4.5	184 25.6

【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、30歳代、40歳代で「(2) 地域防犯・交通安全の推進」の割合が高くなっています。また、30歳代で「(10) 児童福祉の充実」の割合が高くなっています。一方、60歳代、70歳以上で「(35) 防災・減災体制の充実」の割合が低くなっています。

上段：実数（件）、下段：割合（％）

区分	全 体	(1) 参加と協働の推進	(2) 地域防犯・交通安全の推進	(3) 環境共生まちづくり	(4) 環境保全の推進	(5) 衛生対策の推進	(6) 資源循環の推進	(7) 健康づくりの推進	(8) 医療の充実	(9) 地域福祉の充実	(10) 児童福祉の充実	(11) 障がい者福祉の充実	(12) 高齢者福祉の充実	(13) 社会保障の充実
20歳代	147 100.0	6 4.1	12 8.2	9 6.1	6 4.1	7 4.8	9 6.1	18 12.2	43 29.3	7 4.8	15 10.2	4 2.7	9 6.1	7 4.8
30歳代	174 100.0	5 2.9	35 20.1	8 4.6	11 6.3	2 1.1	8 4.6	20 11.5	64 36.8	5 2.9	36 20.7	10 5.7	10 5.7	5 2.9
40歳代	163 100.0	5 3.1	29 17.8	10 6.1	14 8.6	3 1.8	9 5.5	8 4.9	62 38.0	5 3.1	16 9.8	7 4.3	21 12.9	6 3.7
50歳代	223 100.0	4 1.8	34 15.2	12 5.4	7 3.1	3 1.3	13 5.8	11 4.9	100 44.8	5 2.2	13 5.8	10 4.5	40 17.9	14 6.3
60歳代	280 100.0	5 1.8	35 12.5	11 3.9	21 7.5	1 0.4	16 5.7	5 1.8	99 35.4	9 3.2	10 3.6	6 2.1	59 21.1	11 3.9
70歳以上	272 100.0	5 1.8	11 4.0	7 2.6	7 2.6	3 1.1	10 3.7	6 2.2	60 22.1	9 3.3	7 2.6	8 2.9	35 12.9	5 1.8

区分	(14) 農業の振興	(15) 水産業の振興	(16) 工業の振興	(17) 商業の振興	(18) 観光の振興	(19) 労働環境・消費生活の充実	(20) 交通基盤の整備	(21) 公共交通の整備	(22) 港湾・河川・海岸の整備	(23) 市街地の整備	(24) 地域・住環境の整備	(25) 上下水道の整備	(26) 自然環境の保全	(27) 緑と景観の保全
20歳代	15 10.2	5 3.4	9 6.1	12 8.2	19 12.9	5 3.4	26 17.7	26 17.7	4 2.7	5 3.4	4 2.7	1 0.7	5 3.4	3 2.0
30歳代	22 12.6	8 4.6	6 3.4	9 5.2	11 6.3	7 4.0	25 14.4	23 13.2	6 3.4	10 5.7	2 1.1	6 3.4	5 2.9	4 2.3
40歳代	8 4.9	0 0.0	2 1.2	6 3.7	15 9.2	4 2.5	23 14.1	26 16.0	3 1.8	5 3.1	4 2.5	2 1.2	5 3.1	3 1.8
50歳代	23 10.3	3 1.3	10 4.5	4 1.8	14 6.3	10 4.5	30 13.5	17 7.6	11 4.9	8 3.6	2 0.9	7 3.1	7 3.1	5 2.2
60歳代	23 8.2	6 2.1	15 5.4	3 1.1	12 4.3	9 3.2	37 13.2	26 9.3	7 2.5	11 3.9	5 1.8	9 3.2	17 6.1	3 1.1
70歳以上	23 8.5	2 0.7	5 1.8	2 0.7	4 1.5	1 0.4	24 8.8	15 5.5	3 1.1	2 0.7	10 3.7	10 3.7	10 3.7	1 0.4

II 田原市市民意識調査

【年齢別（つづき）】

上段：実数（件）、下段：割合（％）

区分	(28) 学校教育の充実	(29) 生涯学習の充実	(30) スポーツの振興	(31) 青少年健全育成	(32) 芸術文化の振興	(33) 文化財の継承	(34) 消防・救急体制の充実	(35) 防災・減災体制の充実	(36) 国際化の推進	(37) 情報体制の充実	(38) 広域連携の推進	(39) 水資源の確保	(40) 行財政運営	無回答
20歳代	10 6.8	3 2.0	6 4.1	0 0.0	2 1.4	1 0.7	13 8.8	31 21.1	1 0.7	0 0.0	1 0.7	0 0.0	6 4.1	24 16.3
30歳代	25 14.4	3 1.7	5 2.9	0 0.0	1 0.6	0 0.0	21 12.1	41 23.6	3 1.7	0 0.0	1 0.6	1 0.6	6 3.4	17 9.8
40歳代	29 17.8	5 3.1	4 2.5	1 0.6	3 1.8	1 0.6	19 11.7	45 27.6	1 0.6	2 1.2	1 0.6	2 1.2	6 3.7	22 13.5
50歳代	27 12.1	2 0.9	0 0.0	2 0.9	8 3.6	2 0.9	43 19.3	56 25.1	2 0.9	4 1.8	0 0.0	5 2.2	17 7.6	25 11.2
60歳代	18 6.4	5 1.8	2 0.7	2 0.7	3 1.1	5 1.8	46 16.4	38 13.6	3 1.1	1 0.4	3 1.1	21 7.5	16 5.7	66 23.6
70歳以上	17 6.3	3 1.1	1 0.4	3 1.1	3 1.1	1 0.4	28 10.3	29 10.7	2 0.7	3 1.1	0 0.0	9 3.3	9 3.3	134 49.3

【小学校区別】

小学校区別にみると、他の小学校区に比べ、田原南部で「(4) 環境保全の推進」「(40) 行財政運営」の割合が高くなっています。また、大草で「(21) 公共交通の整備」の割合が高くなっています。

上段：実数（件）、下段：割合（％）

区分	全 体	(1) 参加と協働の推進	(2) の推進 地域防犯・交通安全	(3) 環境共生まちづくり	(4) 環境保全の推進	(5) 衛生対策の推進	(6) 資源循環の推進	(7) 健康づくりの推進	(8) 医療の充実	(9) 地域福祉の充実	(10) 児童福祉の充実	(11) 障がい者福祉の充実	(12) 高齢者福祉の充実	(13) 社会保障の充実
六連	31 100.0	0 0.0	3 9.7	2 6.5	2 6.5	1 3.2	3 9.7	2 6.5	4 12.9	2 6.5	4 12.9	1 3.2	3 9.7	1 3.2
神戸	120 100.0	2 1.7	16 13.3	5 4.2	8 6.7	3 2.5	5 4.2	11 9.2	52 43.3	3 2.5	10 8.3	4 3.3	16 13.3	5 4.2
大草	26 100.0	0 0.0	2 7.7	2 7.7	2 7.7	0 0.0	2 7.7	1 3.8	10 38.5	3 11.5	3 11.5	1 3.8	2 7.7	1 3.8
田原東部	94 100.0	1 1.1	9 9.6	3 3.2	4 4.3	1 1.1	6 6.4	3 3.2	32 34.0	4 4.3	11 11.7	3 3.2	12 12.8	6 6.4
田原南部	30 100.0	1 3.3	4 13.3	3 10.0	4 13.3	0 0.0	2 6.7	1 3.3	12 40.0	1 3.3	2 6.7	1 3.3	4 13.3	0 0.0
童浦	108 100.0	2 1.9	11 10.2	3 2.8	6 5.6	0 0.0	5 4.6	7 6.5	41 38.0	2 1.9	10 9.3	5 4.6	3 2.8	5 4.6
田原中部	140 100.0	6 4.3	16 11.4	8 5.7	7 5.0	4 2.9	11 7.9	4 2.9	52 37.1	1 0.7	9 6.4	7 5.0	21 15.0	2 1.4
衣笠	119 100.0	6 5.0	16 13.4	6 5.0	5 4.2	3 2.5	11 9.2	6 5.0	42 35.3	4 3.4	8 6.7	3 2.5	24 20.2	6 5.0
野田	79 100.0	1 1.3	9 11.4	3 3.8	4 5.1	2 2.5	3 3.8	4 5.1	27 34.2	2 2.5	5 6.3	4 5.1	14 17.7	4 5.1
高松	27 100.0	1 3.7	2 7.4	0 0.0	1 3.7	0 0.0	0 0.0	1 3.7	9 33.3	0 0.0	2 7.4	0 0.0	6 22.2	0 0.0
赤羽根	45 100.0	0 0.0	4 8.9	2 4.4	4 8.9	0 0.0	2 4.4	2 4.4	15 33.3	1 2.2	2 4.4	1 2.2	6 13.3	4 8.9
若戸	39 100.0	0 0.0	3 7.7	3 7.7	2 5.1	1 2.6	1 2.6	3 7.7	13 33.3	2 5.1	3 7.7	0 0.0	5 12.8	4 10.3
和地	24 100.0	2 8.3	2 8.3	1 4.2	1 4.2	1 4.2	2 8.3	1 4.2	10 41.7	1 4.2	2 8.3	0 0.0	4 16.7	1 4.2
堀切	42 100.0	0 0.0	8 19.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.4	5 11.9	10 23.8	4 9.5	3 7.1	2 4.8	8 19.0	3 7.1
伊良湖	17 100.0	0 0.0	2 11.8	1 5.9	1 5.9	0 0.0	0 0.0	1 5.9	3 17.6	0 0.0	1 5.9	1 5.9	1 5.9	1 5.9
亀山	26 100.0	1 3.8	4 15.4	2 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.8	9 34.6	0 0.0	2 7.7	1 3.8	4 15.4	0 0.0
中山	84 100.0	1 1.2	15 17.9	4 4.8	4 4.8	0 0.0	1 1.2	4 4.8	23 27.4	2 2.4	5 6.0	4 4.8	13 15.5	0 0.0
福江	91 100.0	2 2.2	12 13.2	2 2.2	2 2.2	1 1.1	5 5.5	5 5.5	23 25.3	1 1.1	7 7.7	2 2.2	9 9.9	5 5.5
清田	54 100.0	2 3.7	8 14.8	3 5.6	3 5.6	0 0.0	2 3.7	3 5.6	15 27.8	3 5.6	1 1.9	4 7.4	11 20.4	0 0.0
泉	68 100.0	1 1.5	9 13.2	3 4.4	7 10.3	3 4.4	2 2.9	3 4.4	25 36.8	4 5.9	8 11.8	1 1.5	8 11.8	1 1.5

【小学校区別（つづき）】

上段：実数（件）、下段：割合（％）

区分	(14) 農業の振興	(15) 水産業の振興	(16) 工業の振興	(17) 商業の振興	(18) 観光の振興	(19) 労働環境・消費生活 の充実	(20) 交通基盤の整備	(21) 公共交通の整備	(22) 港湾・河川・海岸の 整備	(23) 市街地の整備	(24) 地域・住環境の整備	(25) 上下水道の整備	(26) 自然環境の保全	(27) 緑と景観の保全
六連	3 9.7	1 3.2	1 3.2	0 0.0	3 9.7	0 0.0	2 6.5	2 6.5	1 3.2	1 3.2	1 3.2	0 0.0	1 3.2	0 0.0
神戸	12 10.0	2 1.7	4 3.3	4 3.3	6 5.0	6 5.0	19 15.8	7 5.8	3 2.5	7 5.8	5 4.2	1 0.8	3 2.5	1 0.8
大草	0 0.0	1 3.8	1 3.8	1 3.8	0 0.0	0 0.0	3 11.5	7 26.9	0 0.0	1 3.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
田原東部	3 3.2	0 0.0	6 6.4	3 3.2	11 11.7	5 5.3	13 13.8	6 6.4	7 7.4	1 1.1	1 1.1	4 4.3	1 1.1	1 1.1
田原南部	3 10.0	0 0.0	1 3.3	0 0.0	1 3.3	1 3.3	2 6.7	3 10.0	2 6.7	0 0.0	0 0.0	1 3.3	2 6.7	0 0.0
童浦	10 9.3	1 0.9	2 1.9	10 9.3	8 7.4	2 1.9	18 16.7	16 14.8	0 0.0	4 3.7	2 1.9	3 2.8	9 8.3	1 0.9
田原中部	11 7.9	2 1.4	8 5.7	4 2.9	9 6.4	4 2.9	17 12.1	13 9.3	4 2.9	7 5.0	2 1.4	1 0.7	8 5.7	2 1.4
衣笠	8 6.7	1 0.8	3 2.5	3 2.5	7 5.9	8 6.7	17 14.3	12 10.1	2 1.7	4 3.4	3 2.5	2 1.7	8 6.7	4 3.4
野田	5 6.3	0 0.0	1 1.3	1 1.3	3 3.8	0 0.0	10 12.7	8 10.1	3 3.8	3 3.8	2 2.5	2 2.5	6 7.6	1 1.3
高松	6 22.2	2 7.4	2 7.4	0 0.0	0 0.0	2 7.4	5 18.5	1 3.7	1 3.7	0 0.0	1 3.7	1 3.7	2 7.4	1 3.7
赤羽根	5 11.1	1 2.2	3 6.7	3 6.7	2 4.4	0 0.0	6 13.3	6 13.3	0 0.0	2 4.4	1 2.2	0 0.0	2 4.4	2 4.4
若戸	7 17.9	1 2.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.6	8 20.5	7 17.9	0 0.0	1 2.6	2 5.1	1 2.6	1 2.6	0 0.0
和地	5 20.8	1 4.2	0 0.0	0 0.0	4 16.7	2 8.3	1 4.2	3 12.5	0 0.0	0 0.0	1 4.2	1 4.2	0 0.0	0 0.0
堀切	7 16.7	1 2.4	1 2.4	1 2.4	2 4.8	1 2.4	4 9.5	5 11.9	0 0.0	1 2.4	1 2.4	0 0.0	1 2.4	0 0.0
伊良湖	3 17.6	1 5.9	0 0.0	0 0.0	2 11.8	1 5.9	2 11.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.9	0 0.0	0 0.0
亀山	3 11.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 7.7	0 0.0	1 3.8	2 7.7	1 3.8	0 0.0	0 0.0	1 3.8	0 0.0	0 0.0
中山	7 8.3	4 4.8	5 6.0	0 0.0	1 1.2	1 1.2	8 9.5	12 14.3	5 6.0	1 1.2	1 1.2	5 6.0	2 2.4	2 2.4
福江	8 8.8	3 3.3	5 5.5	2 2.2	7 7.7	2 2.2	15 16.5	12 13.2	4 4.4	7 7.7	2 2.2	5 5.5	2 2.2	1 1.1
清田	2 3.7	1 1.9	2 3.7	4 7.4	6 11.1	0 0.0	8 14.8	7 13.0	0 0.0	0 0.0	1 1.9	1 1.9	0 0.0	2 3.7
泉	7 10.3	2 2.9	2 2.9	0 0.0	1 1.5	1 1.5	6 8.8	5 7.4	2 2.9	0 0.0	1 1.5	6 8.8	1 1.5	1 1.5

【小学校区別（つづき）】

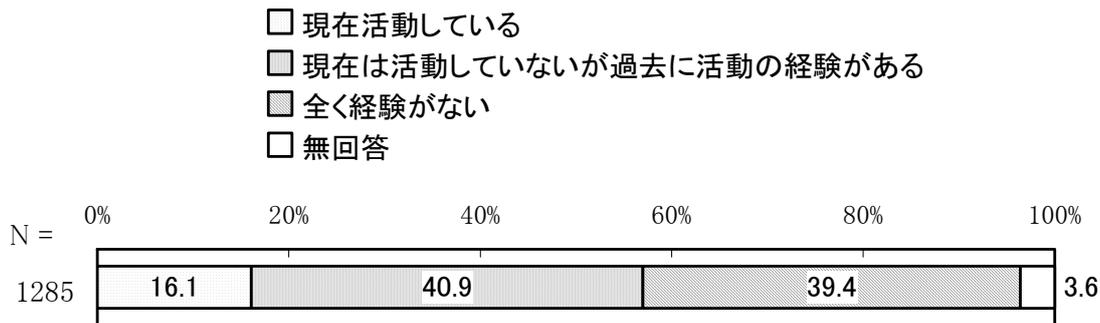
上段：実数（件）、下段：割合（％）

区分	(28) 学校教育の充実	(29) 生涯学習の充実	(30) スポーツの振興	(31) 青少年健全育成	(32) 芸術文化の振興	(33) 文化財の継承	(34) 消防・救急体制の充実	(35) 防災・減災体制の充実	(36) 国際化の推進	(37) 情報体制の充実	(38) 広域連携の推進	(39) 水資源の確保	(40) 行財政運営	無回答
六連	4 12.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.2	0 0.0	5 16.1	5 16.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.2	0 0.0	11 35.5
神戸	12 10.0	2 1.7	1 0.8	0 0.0	2 1.7	1 0.8	15 12.5	20 16.7	3 2.5	1 0.8	0 0.0	4 3.3	3 2.5	23 19.2
大草	3 11.5	1 3.8	0 0.0	1 3.8	0 0.0	1 3.8	4 15.4	5 19.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.8	2 7.7	5 19.2
田原東部	6 6.4	1 1.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.1	10 10.6	17 18.1	2 2.1	2 2.1	1 1.1	4 4.3	6 6.4	24 25.5
田原南部	1 3.3	1 3.3	0 0.0	0 0.0	1 3.3	0 0.0	4 13.3	8 26.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.3	5 16.7	6 20.0
童浦	9 8.3	2 1.9	3 2.8	0 0.0	2 1.9	2 1.9	13 12.0	25 23.1	1 0.9	4 3.7	0 0.0	1 0.9	9 8.3	22 20.4
田原中部	8 5.7	1 0.7	4 2.9	2 1.4	1 0.7	1 0.7	11 7.9	20 14.3	3 2.1	2 1.4	1 0.7	5 3.6	5 3.6	36 25.7
衣笠	18 15.1	2 1.7	3 2.5	2 1.7	3 2.5	1 0.8	16 13.4	22 18.5	1 0.8	1 0.8	1 0.8	3 2.5	7 5.9	18 15.1
野田	10 12.7	2 2.5	0 0.0	0 0.0	1 1.3	0 0.0	10 12.7	14 17.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.3	1 1.3	23 29.1
高松	4 14.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 18.5	3 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 7.4	0 0.0	7 25.9
赤羽根	4 8.9	1 2.2	0 0.0	0 0.0	1 2.2	1 2.2	6 13.3	7 15.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.2	2 4.4	11 24.4
若戸	4 10.3	1 2.6	1 2.6	0 0.0	1 2.6	0 0.0	9 23.1	8 20.5	0 0.0	0 0.0	1 2.6	2 5.1	2 5.1	6 15.4
和地	4 16.7	0 0.0	1 4.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 8.3	5 20.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.2	4 16.7
堀切	5 11.9	1 2.4	2 4.8	1 2.4	1 2.4	0 0.0	3 7.1	10 23.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 4.8	2 4.8	10 23.8
伊良湖	3 17.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.9	5 29.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.9	1 5.9	6 35.3
亀山	1 3.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 19.2	8 30.8	1 3.8	0 0.0	0 0.0	1 3.8	1 3.8	8 30.8
中山	8 9.5	0 0.0	1 1.2	1 1.2	1 1.2	0 0.0	13 15.5	20 23.8	1 1.2	0 0.0	1 1.2	2 2.4	4 4.8	23 27.4
福江	10 11.0	1 1.1	1 1.1	1 1.1	3 3.3	1 1.1	20 22.0	17 18.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 4.4	3 3.3	19 20.9
清田	4 7.4	3 5.6	1 1.9	0 0.0	1 1.9	0 0.0	6 11.1	5 9.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 3.7	3 5.6	14 25.9
泉	7 10.3	2 2.9	0 0.0	0 0.0	1 1.5	1 1.5	12 17.6	16 23.5	0 0.0	0 0.0	1 1.5	0 0.0	3 4.4	16 23.5

6 市民活動への参画について

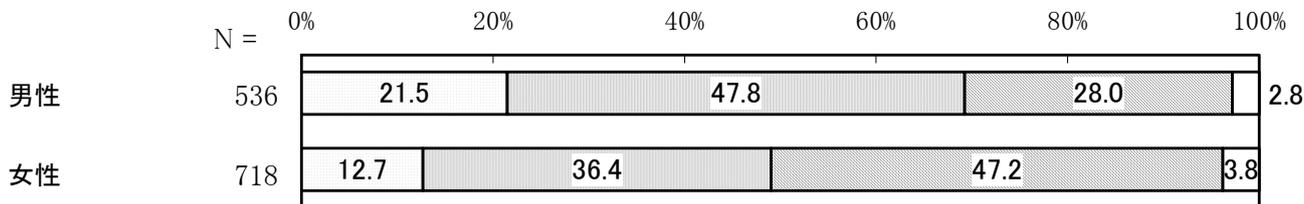
問 19 あなたは、今までに地域活動やボランティア活動の経験がありますか。
 (あてはまるもの1つに○)

「現在活動している」の割合は16.1%にとどまっています。また、「現在は活動していないが過去に活動の経験がある」の割合が40.9%、「全く経験がない」の割合が39.4%と、「現在は活動していないが過去に活動の経験がある」と「全く経験がない」が同程度になっています。



【性別】

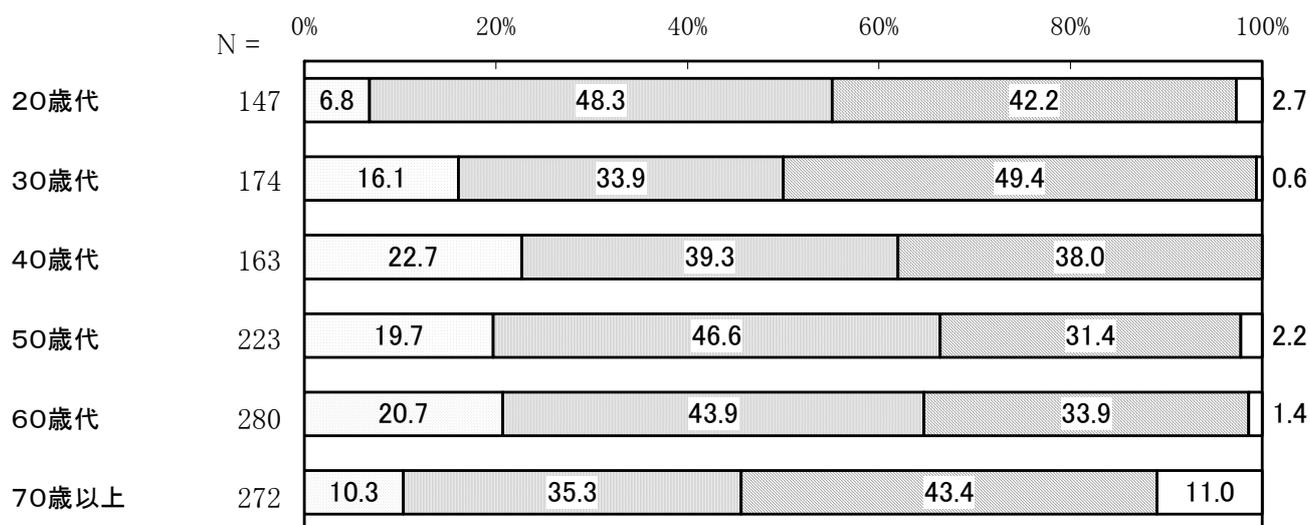
性別にみると、女性に比べ男性で「現在活動している」「現在は活動していないが過去に活動の経験がある」の割合が高くなっています。



【年齢別】

年齢別にみると、他の年齢に比べ、40歳代、50歳代、60歳代で「現在活動している」の割合が高くなっています。一方、30歳代で「全く経験がない」の割合が高く、約5割となっています。

- 現在活動している
- 現在は活動していないが過去に活動の経験がある
- 全く経験がない
- 無回答

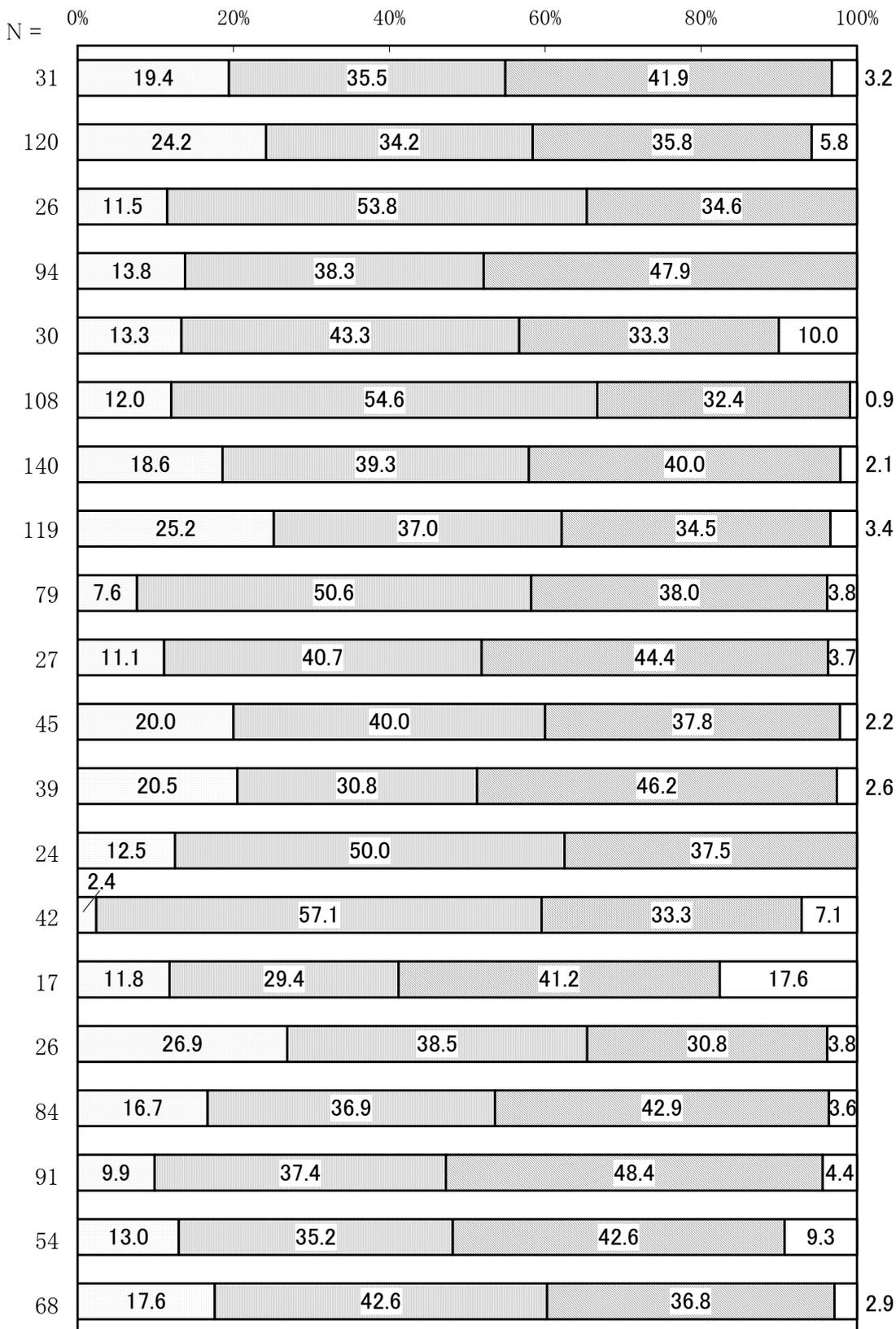


II 田原市市民意識調査

【小学校区別】

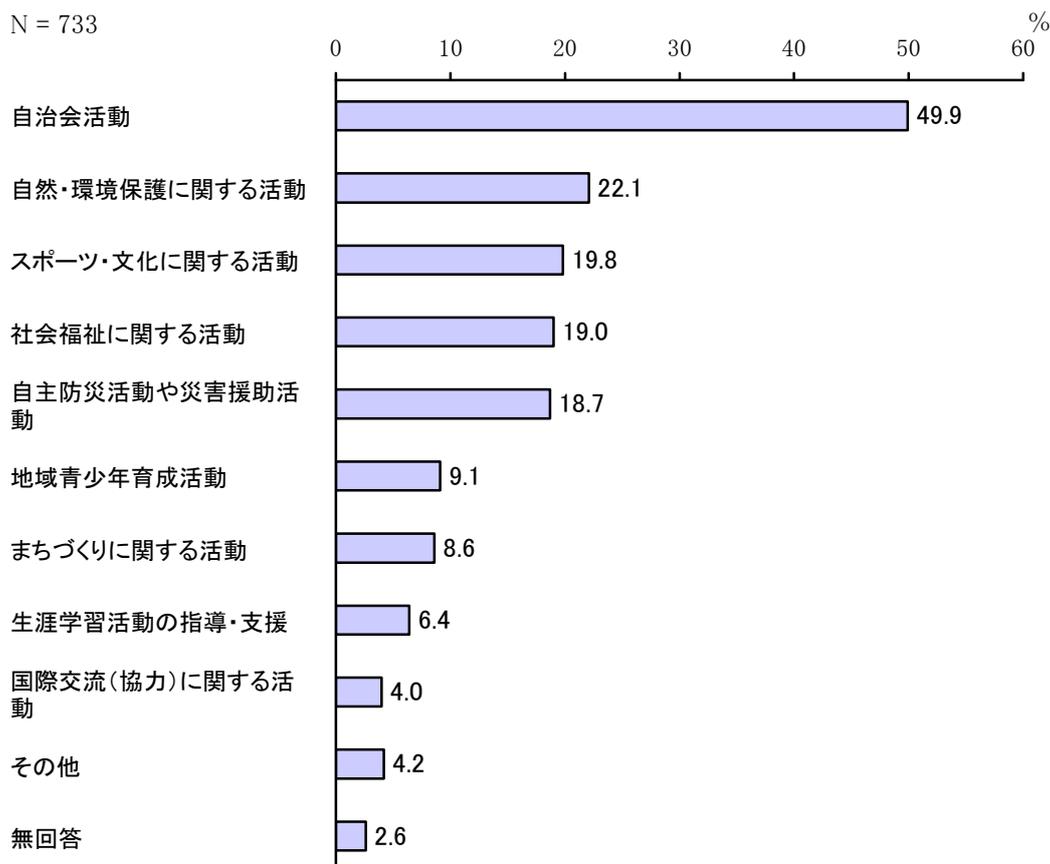
小学校区別にみると、他の小学校区に比べ、神戸、衣笠、赤羽根、若戸、亀山で「現在活動している」の割合が高く、2割以上となっています。一方、田原東部、若戸、福江で「全く経験がない」の割合が高く、約5割となっています。

- 現在活動している
- 現在は活動していないが過去に活動の経験がある
- 全く経験がない
- 無回答



問 20 問 19 で「1 現在活動している」、「2 現在は活動していないが過去に活動の経験がある」と答えた方にお聞きします。どのような活動を行っています（いました）か。（あてはまるもの全てに○）

「自治会活動」の割合が 49.9%と突出して高くなっています。また、「自然・環境保護に関する活動」（22.1%）、「スポーツ・文化に関する活動」（19.8%）、「社会福祉に関する活動」（19.0%）、「自主防災活動や災害援助活動」（18.7%）が約 2 割と高くなっています。



【性別】

性別にみると、女性に比べ男性で「自治会活動」「スポーツ・文化に関する活動」「自主防災活動や災害援助活動」の割合が高くなっています。一方、女性で「社会福祉に関する活動」の割合が高くなっています。

上段：実数（件）、下段：割合（％）

区分	全 体	自治会活動	自然・環境保護に 関する活動	生涯学習活動の 指導・支援	社会福祉に関する 活動	国際交流（協力）に 関する活動	地域青少年育成活動	スポーツ・文化に 関する活動	活動 まちづくりに関する	自主防災活動や 災害援助活動	その他	無回答
男性	371 100.0	222 59.8	80 21.6	26 7.0	49 13.2	15 4.0	42 11.3	83 22.4	39 10.5	87 23.5	13 3.5	6 1.6
女性	352 100.0	139 39.5	78 22.2	21 6.0	89 25.3	14 4.0	25 7.1	60 17.0	24 6.8	48 13.6	18 5.1	12 3.4

【年齢別】

年齢別にみると、他の年齢に比べ、50歳代、60歳代で「自治会活動」の割合が高く、6割を超えています。また、20歳代で「自然・環境保護に関する活動」の割合が、50歳代で「自主防災活動や災害援助活動」の割合が、70歳以上で「生涯学習活動の指導・支援」の割合が高くなっています。

上段：実数（件）、下段：割合（％）

区分	全 体	自治会活動	自然・環境保護に 関する活動	生涯学習活動の 指導・支援	社会福祉に関する 活動	国際交流（協力）に 関する活動	地域青少年育成活動	スポーツ・文化に 関する活動	活動 まちづくりに関する	自主防災活動や 災害援助活動	その他	無回答
20歳代	81 100.0	8 9.9	41 50.6	0 0.0	21 25.9	2 2.5	2 2.5	11 13.6	5 6.2	8 9.9	2 2.5	1 1.2
30歳代	87 100.0	21 24.1	17 19.5	4 4.6	20 23.0	1 1.1	7 8.0	14 16.1	10 11.5	16 18.4	6 6.9	3 3.4
40歳代	101 100.0	50 49.5	15 14.9	7 6.9	18 17.8	6 5.9	12 11.9	26 25.7	8 7.9	22 21.8	5 5.0	1 1.0
50歳代	148 100.0	95 64.2	36 24.3	6 4.1	14 9.5	7 4.7	14 9.5	36 24.3	9 6.1	39 26.4	5 3.4	5 3.4
60歳代	181 100.0	122 67.4	36 19.9	13 7.2	36 19.9	7 3.9	19 10.5	32 17.7	17 9.4	32 17.7	7 3.9	1 0.6
70歳以上	124 100.0	65 52.4	13 10.5	17 13.7	28 22.6	6 4.8	13 10.5	24 19.4	14 11.3	18 14.5	6 4.8	7 5.6

【小学校区別】

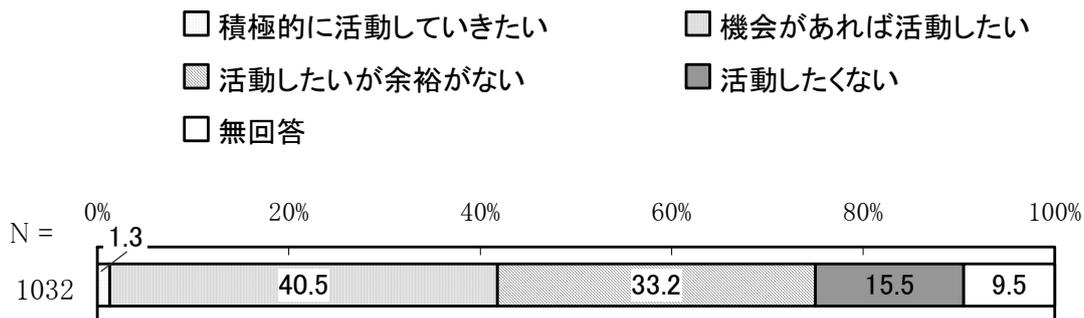
小学校区別にみると、他の小学校区に比べ、田原南部で「自治会活動」「地域青少年育成活動」「自主防災活動や災害援助活動」の割合が高くなっています。また、童浦で「社会福祉に関する活動」の割合が高くなっています。

上段：実数（件）、下段：割合（％）

区分	全 体	自治会活動	自然・環境保護に 関する活動	生涯学習活動の 指導・支援	社会福祉に関する 活動	国際交流（協力）に 関する活動	地域青少年育成活動	スポーツ・文化に 関する活動	活動 まちづくりに関する	災害援助活動 自主防災活動や	その他	無回答
六連	17 100.0	7 41.2	5 29.4	2 11.8	1 5.9	1 5.9	3 17.6	4 23.5	0 0.0	4 23.5	1 5.9	1 5.9
神戸	70 100.0	37 52.9	16 22.9	1 1.4	13 18.6	3 4.3	6 8.6	13 18.6	11 15.7	14 20.0	2 2.9	2 2.9
大草	17 100.0	9 52.9	4 23.5	1 5.9	1 5.9	1 5.9	3 17.6	2 11.8	1 5.9	3 17.6	0 0.0	1 5.9
田原東部	49 100.0	24 49.0	14 28.6	1 2.0	12 24.5	2 4.1	3 6.1	7 14.3	4 8.2	5 10.2	4 8.2	1 2.0
田原南部	17 100.0	14 82.4	2 11.8	2 11.8	3 17.6	1 5.9	9 52.9	4 23.5	4 23.5	8 47.1	1 5.9	0 0.0
童浦	72 100.0	33 45.8	14 19.4	3 4.2	24 33.3	2 2.8	7 9.7	16 22.2	5 6.9	11 15.3	2 2.8	1 1.4
田原中部	81 100.0	37 45.7	11 13.6	9 11.1	21 25.9	7 8.6	0 0.0	17 21.0	8 9.9	10 12.3	5 6.2	1 1.2
衣笠	74 100.0	38 51.4	14 18.9	3 4.1	5 6.8	5 6.8	8 10.8	15 20.3	7 9.5	14 18.9	5 6.8	2 2.7
野田	46 100.0	24 52.2	9 19.6	4 8.7	8 17.4	1 2.2	8 17.4	15 32.6	0 0.0	11 23.9	1 2.2	1 2.2
高松	14 100.0	8 57.1	7 50.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	3 21.4	2 14.3	2 14.3	3 21.4	0 0.0	2 14.3
赤羽根	27 100.0	11 40.7	4 14.8	2 7.4	2 7.4	0 0.0	2 7.4	7 25.9	1 3.7	3 11.1	1 3.7	3 11.1
若戸	20 100.0	8 40.0	5 25.0	2 10.0	5 25.0	0 0.0	1 5.0	1 5.0	1 5.0	5 25.0	0 0.0	0 0.0
和地	15 100.0	8 53.3	1 6.7	3 20.0	4 26.7	0 0.0	0 0.0	4 26.7	1 6.7	3 20.0	1 6.7	0 0.0
堀切	25 100.0	13 52.0	7 28.0	3 12.0	4 16.0	1 4.0	2 8.0	6 24.0	4 16.0	7 28.0	0 0.0	0 0.0
伊良湖	7 100.0	5 71.4	1 14.3	1 14.3	1 14.3	0 0.0	0 0.0	1 14.3	1 14.3	3 42.9	0 0.0	0 0.0
亀山	17 100.0	13 76.5	7 41.2	1 5.9	1 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 11.8	7 41.2	0 0.0	1 5.9
中山	45 100.0	19 42.2	11 24.4	3 6.7	10 22.2	0 0.0	5 11.1	8 17.8	6 13.3	8 17.8	2 4.4	1 2.2
福江	43 100.0	20 46.5	12 27.9	1 2.3	12 27.9	2 4.7	3 7.0	8 18.6	2 4.7	5 11.6	2 4.7	0 0.0
清田	26 100.0	12 46.2	8 30.8	0 0.0	2 7.7	2 7.7	1 3.8	6 23.1	2 7.7	5 19.2	1 3.8	0 0.0
泉	41 100.0	21 51.2	8 19.5	4 9.8	7 17.1	1 2.4	3 7.3	6 14.6	1 2.4	7 17.1	3 7.3	1 2.4

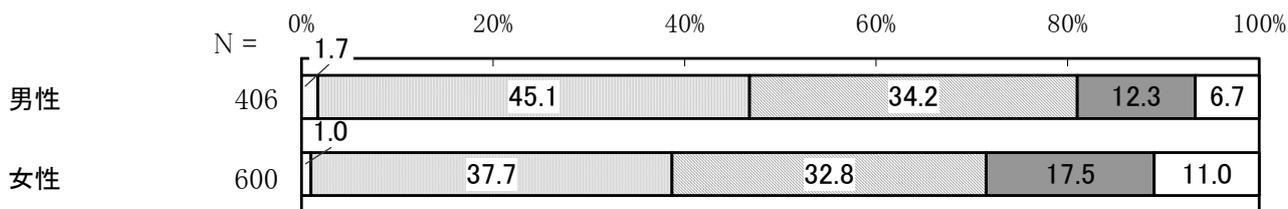
問 21 問 19 で「2 現在は活動していないが過去に活動の経験がある」、「3 全く経験がない」と答えた方にお聞きします。今後、活動を行ないたいと思いませんか。
 (あてはまるもの1つに○)

「機会があれば活動したい」の割合が 40.5%と最も高く、次いで「活動したいが余裕がない」の割合が 33.2%、
 「活動したくない」の割合が 15.5%となっています。また、「積極的に活動していきたい」「機会があれば活動したい」「活動したいが余裕がない」をあ
 わせた“活動したい人”の割合が 75.0%となっています。



【性別】

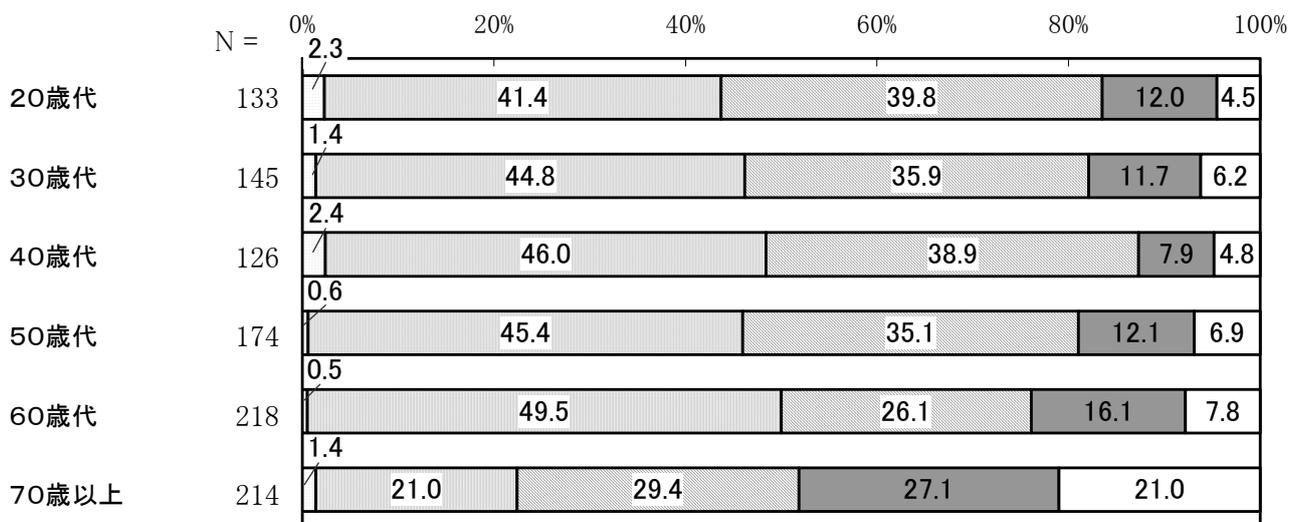
性別にみると、女性に比べ男性で「機会があれば活動したい」の割合が高くなっています。



【年齢別】

年齢別にみると、20歳代～60歳代では、“活動したい”人の割合が4割から5割となっていますが、70歳以上で「活動したくない」の割合が高く、約3割となっています。

- 積極的に活動していきたい
 活動したいが余裕がない
 無回答
- 機会があれば活動したい
 活動したくない

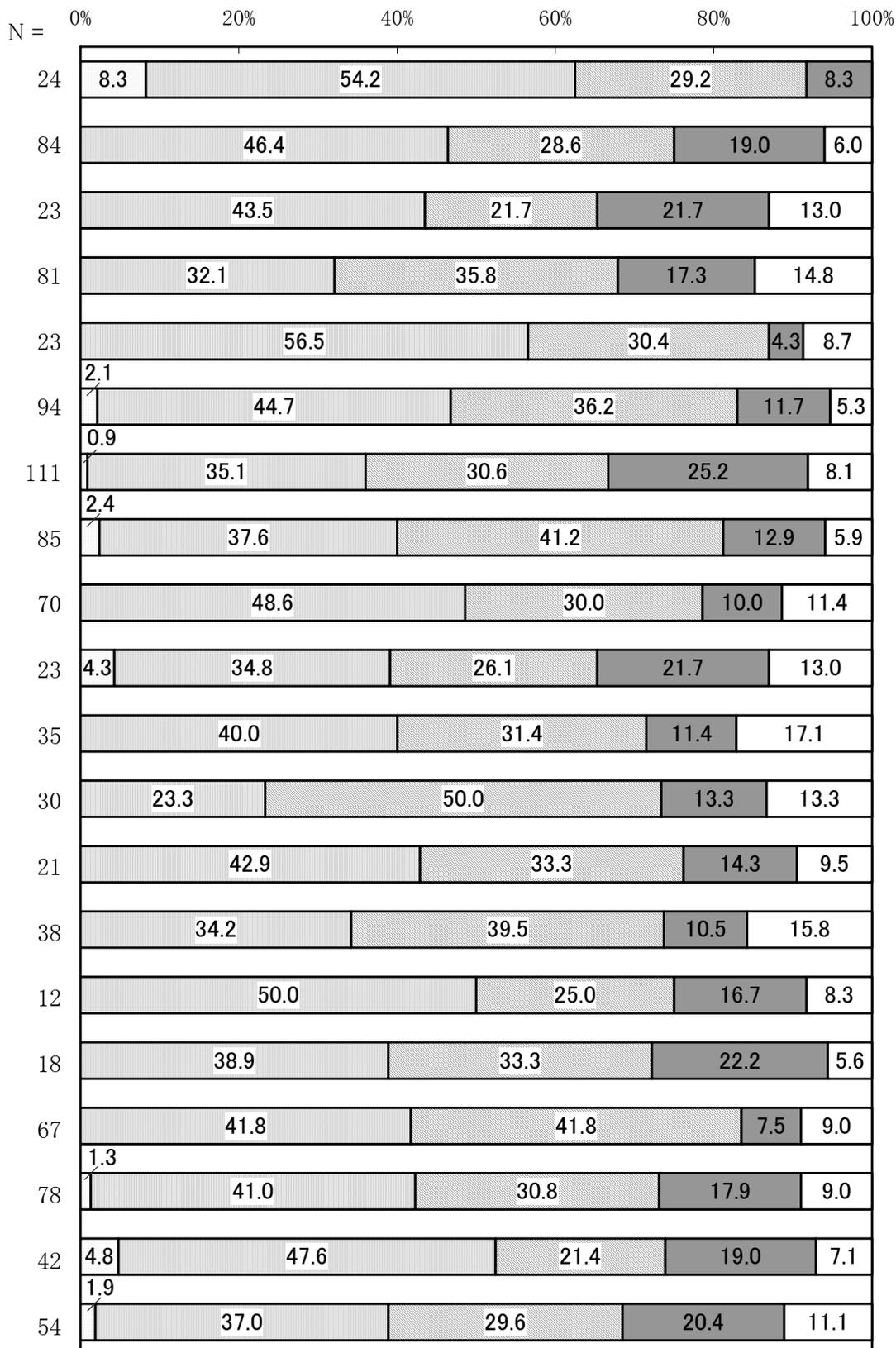


II 田原市市民意識調査

【小学校区別】

小学校区別にみると、他の小学校区に比べ、六連、田原南部、伊良湖で「機会があれば活動したい」の割合が高くなっています。一方、大草、田原中部、高松、亀山、泉で「活動したくない」の割合が高くなっています。

- 積極的に活動していきたい
 活動したいが余裕がない
 無回答
- 機会があれば活動したい
 活動したくない

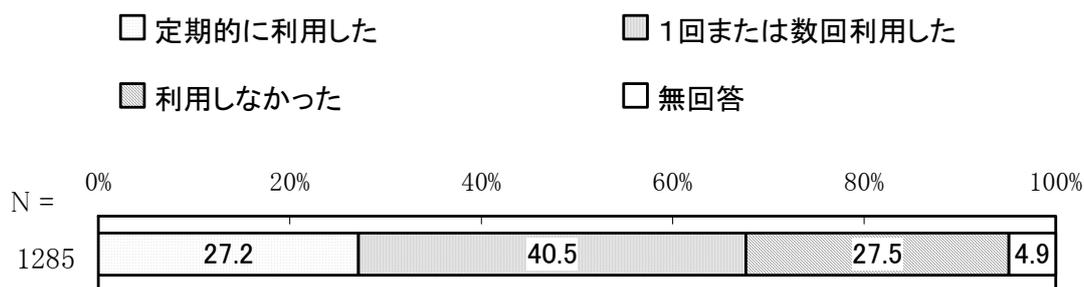


7 公共施設の利用について

問 22 あなたは、過去1年間に田原市の体育館や文化施設、図書館、市民館など、公共施設を利用されましたか。(あてはまるもの1つに○)

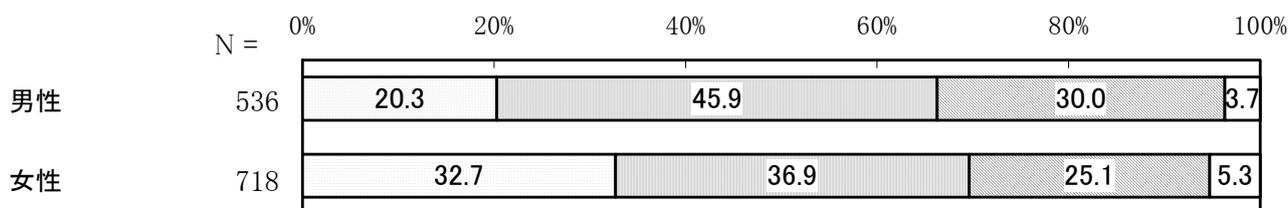
「1回または数回利用した」の割合が40.5%と最も高く、次いで「利用しなかった」の割合が27.5%、「定期的に利用した」の割合が27.2%となっています。

また、「定期的に利用した」と「1回または数回利用した」をあわせた“利用した人”の割合が67.7%となっています。



【性別】

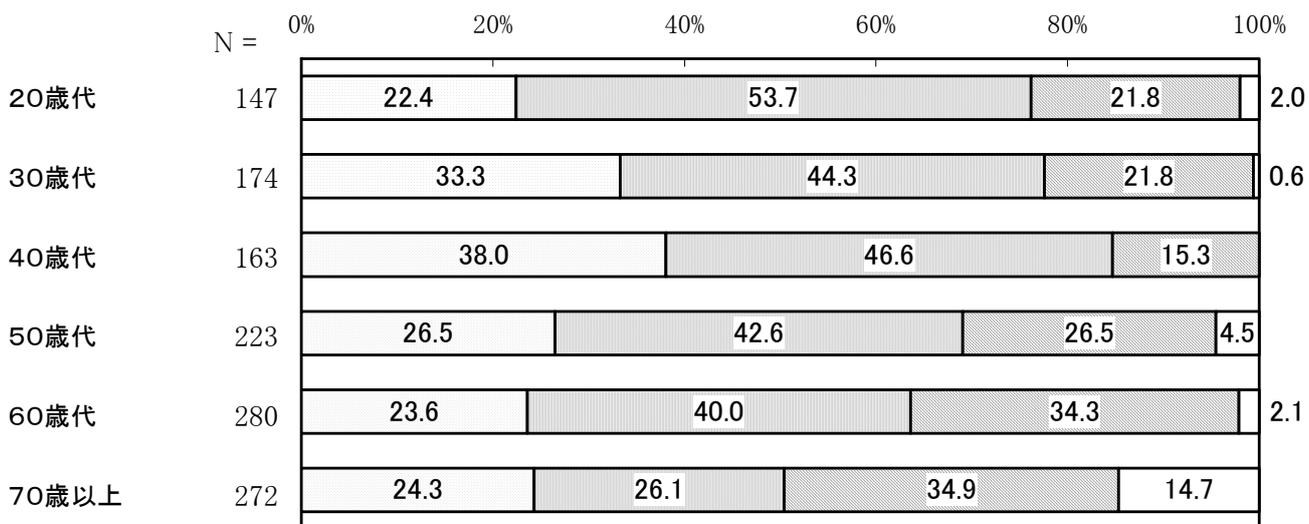
性別にみると、男性に比べ女性で「定期的に利用した」の割合が高く、3割を超えています。



【年齢別】

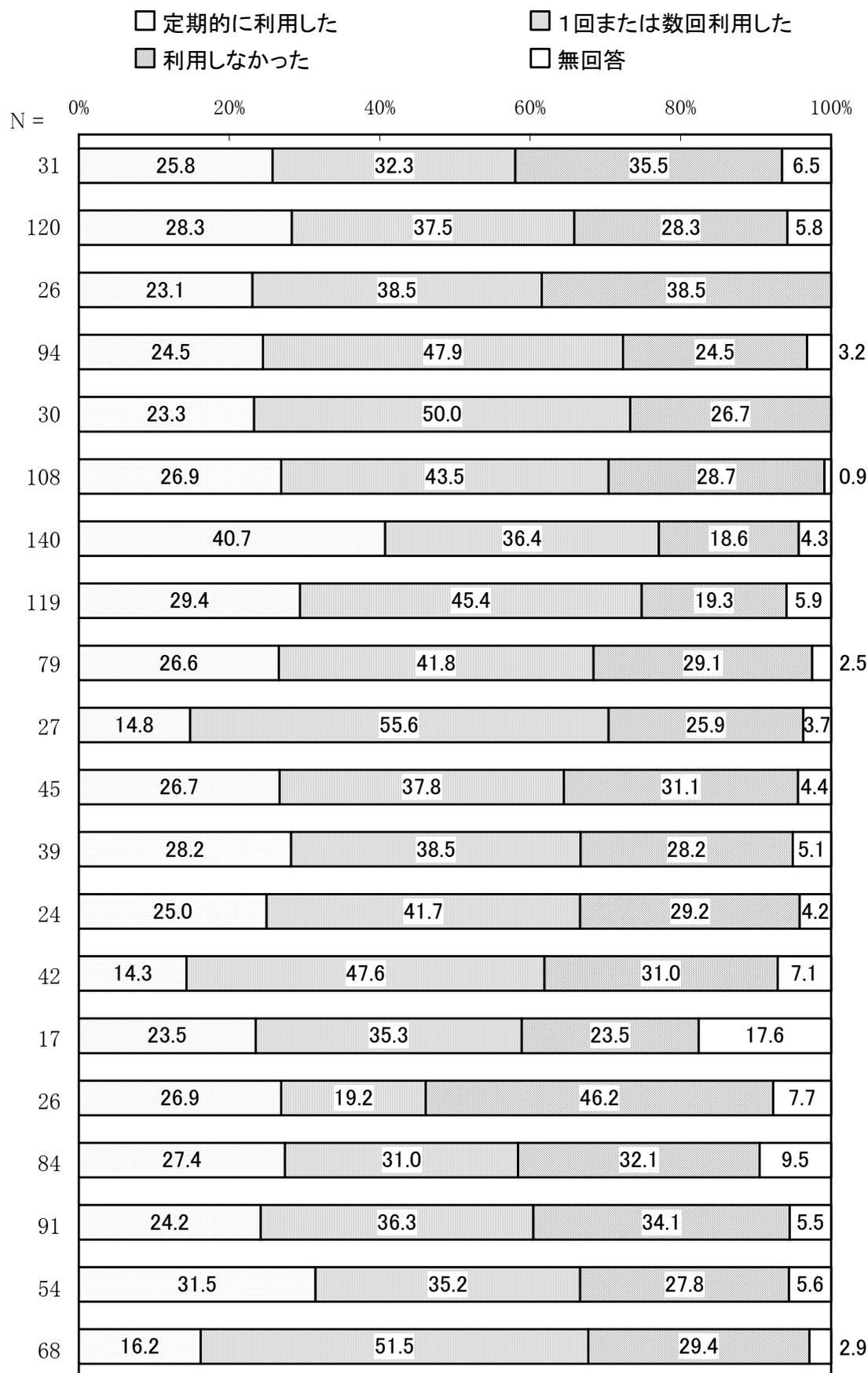
年齢別にみると、他の年齢に比べ、30歳代、40歳代で「定期的に利用した」の割合が高く、3割を超えています。一方、60歳代、70歳以上で「利用しなかった」の割合が高く、3割を超えています。

- 定期的に利用した
- 1回または数回利用した
- 利用しなかった
- 無回答



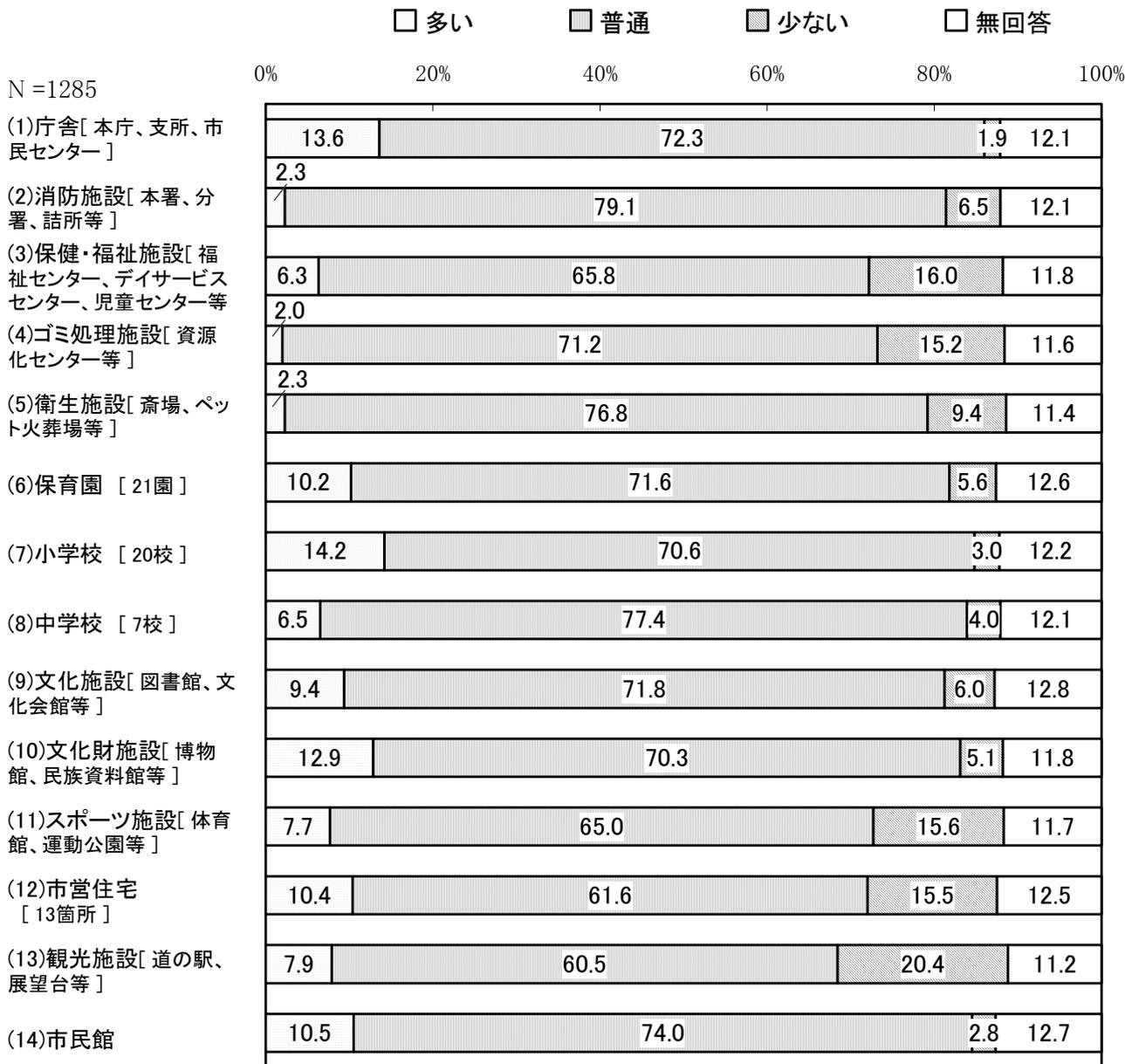
【小学校区別】

小学校区別にみると、他の小学校区に比べ、田原中部で「定期的に利用した」の割合が高く、約4割となっています。一方、亀山で「利用しなかった」の割合が高く、約5割となっています。



問 23 田原市の一人当たり公共施設延べ床面積は、人口が同規模の自治体の中で最も多くなっています。(田原市：5.97㎡/人、全国平均：3.42㎡/人)
 あなたは、田原市のどのような施設が多い、または少ないと感じますか。
 (施設種別ごとに評価し、該当する番号に○をつけてください。)

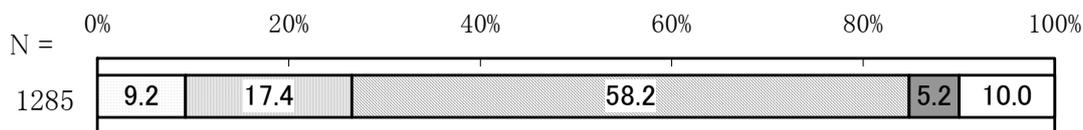
(1)庁舎、(6)保育園、(7)小学校、(10)文化財施設、(12)市営住宅、(14)市民館で「多い」の割合が高く、(3)保健・福祉施設、(4)ゴミ処理施設、(11)スポーツ施設、(12)市営住宅、(13)観光施設で「少ない」の割合が高くなっています。



問 24 施設の老朽化により今後30年間で726億円程度（年平均24億円）の建替費用が必要となってくる見込みです。また、少子高齢化による税収減も予想され、全ての施設を維持することが難しくなると考えます。
 あなたは、公共施設を維持していくためには、今後どのようにしたらよいと思いますか。（あてはまるもの1つに○）

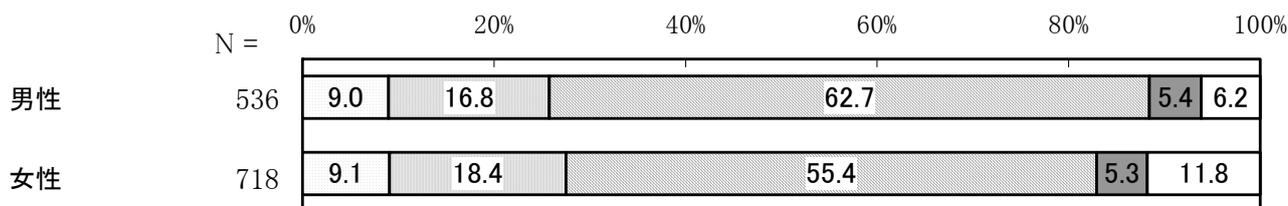
「他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない」の割合が58.2%と突出して高くなっています。次いで、「施設使用料を上げて対応する」の割合が17.4%となっています。

- 施設を現状維持し、他の行政サービスの低下も仕方ない
- 施設使用料を上げて対応する
- 他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない
- その他
- 無回答



【性別】

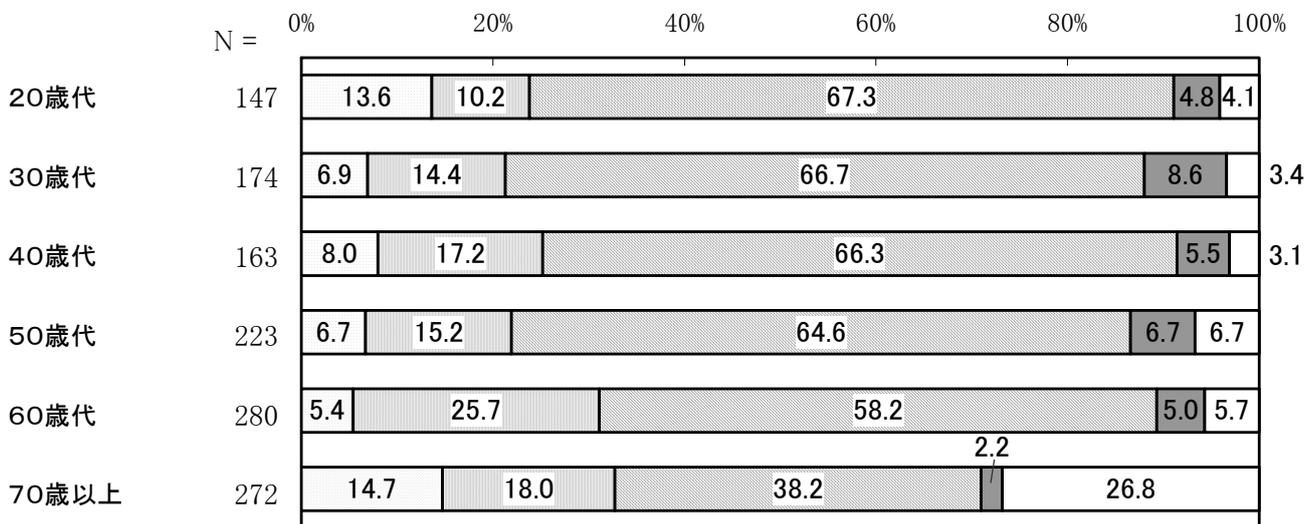
性別にみると、女性に比べ男性で「他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない」の割合が高く、6割を超えています。



【年齢別】

年齢別にみると、他の年齢に比べ、20歳代、30歳代、40歳代で「他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない」の割合が高く、約7割となっています。また、60歳代で「施設使用料を上げて対応する」の割合が高くなっています。

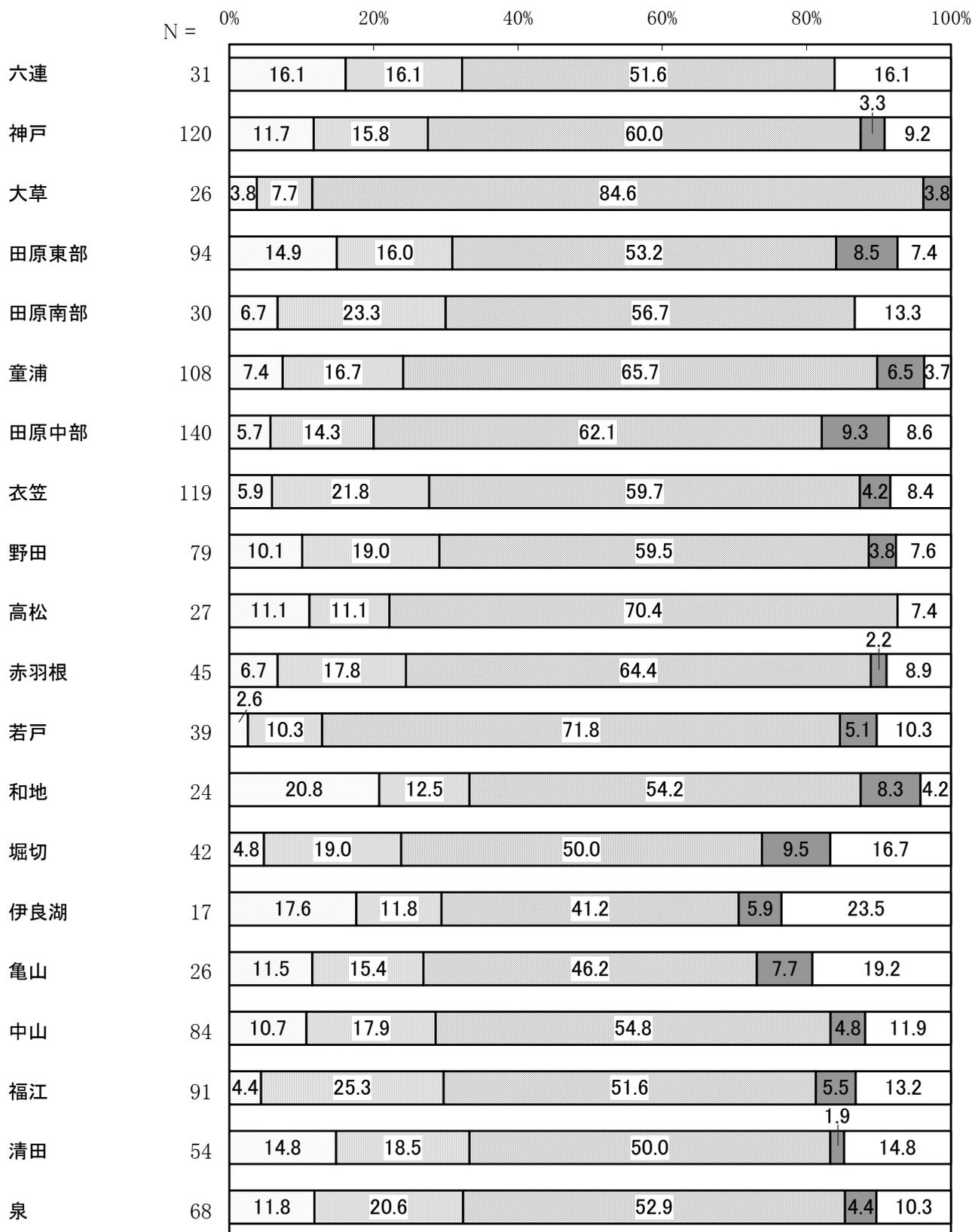
- 施設を現状維持し、他の行政サービスの低下も仕方ない
- 施設使用料を上げて対応する
- 他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない
- その他
- 無回答



【小学校区別】

小学校区別にみると、他の小学校区に比べ、大草で「他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない」の割合が高く、8割を超えています。

- 施設を現状維持し、他の行政サービスの低下も仕方ない
 施設の統廃合があっても仕方ない
 無回答
- 施設使用料を上げて対応する
 その他



8 自由意見

問 25 市行政に対するご意見、ご要望がありましたらご自由にお書き下さい。

(1) 都市基盤整備 (20 件)

●市街地の整備などについて (6 件)

- ・田原の市街地の整備をやり過ぎて、まちが空洞化している。(4 件)
- ・歩道の整備、確保維持と、地域医療の充実。(専門医の拡充、夜間診療の充実)(1 件)
- ・行政サービスが散在して、計画性がない。高齢化社会を見据えた都市計画を推進してほしい。(1 件)

●中心地区の開発と他地区の開発について (10 件)

- ・旧田原町のみではなく、他の地区も同様に整備してほしい。(10 件)

●その他 (4 件)

- ・市営住宅に空部屋があるのに、入居希望者が入居させてもらえない。入居してもらい、少しでも収入源にしたらい。(1 件)
- ・若い人が住みたいと思うようにしてほしい。(1 件)
- ・市街地整備、住宅整備等により、住みよいまちづくりが急務である。(1 件)
- ・合併後、事業の進み方がにぶくなったり、縮小されている。(1 件)

(2) 道路・交通 (38 件)

●道路に関すること (11 件)

- ・交通基盤の整備、充実。(5 件)
- ・道路が傷んでいるので修理してほしい。(3 件)
- ・国道 42 号線。(1 件)
- ・田原駅移設で道路が良くなるが、駅を中心にしてもう少しうら通りにまで目を配り、道路整備をしてほしい。車社会に対応して下さい。(1 件)
- ・市役所前の旧 259 号線の整備は必要があるのか。(1 件)

●ぐるりんバスに関すること (17 件)

- ・ぐるりんバスをもっと本数を増やしてほしい。(6 件)
- ・しっかり運賃を取った方がよい。(3 件)
- ・ぐるりんバスを通してほしい。(3 件)
- ・ぐるりんバスの運転手の適正診断を強化してほしい。(1 件)
- ・通学にちょうど良い時間があるとよい。(1 件)
- ・もっと小型化にして効率を上げてほしい。(1 件)
- ・ぐるりんバスを時々ですが利用しています。今後も利用したいのでやめないでほしい。(1 件)
- ・特定の会社で働く若者のために、バスを走らせる必要性があるのか。(1 件)

●バスに関すること (4 件)

- ・本数が少ない。(2 件)
- ・渥美までのバス代が高すぎる。(2 件)

●その他（6件）

- ・鉄道を整備してほしい。（3件）
- ・公共機関を発達させてほしい。（2件）
- ・レンタサイクルステーションを増やし、どこで返却してもよい、夜8時くらいまで利用できるようにしてほしい。（1件）

（3）公共施設（57件）

●公園に関すること（16件）

- ・子どもたちが遊べる場所をもっと充実させてほしい。（9件）
- ・もっと公園がほしい。（2件）
- ・老人クラブがあっても遊ぶ広場がない。中部校区ではなのき広場があっても使用禁止では場所がない。少しは考えて欲しい。健康のためと行なっても運動するところがない（1件）
- ・公園の遊具を充実してほしい。（1件）
- ・公園の駐車場を確保してほしい。（1件）
- ・旧渥美町の公園も整備してほしい。（1件）
- ・施設は充実していると思いますが、それらが点在しているのが残念。（1件）

●図書館に関すること（4件）

- ・図書館の利用時間が短くて、利用したくても利用できない。（3件）
- ・図書館も特定の狭い分野の参考書のリクエストに答えてもらった。（1件）

●公共施設の建設に関すること（21件）

- ・利用されない公共施設は統廃合する。（8件）
- ・公共施設の建物にお金をかけすぎている。（4件）
- ・豊島駅の駐輪場の建て直し。（1件）
- ・田原駅がデザイナーの物になってしまい、田原のよさがへってしまった。（1件）
- ・多くの人ができる施設の充実を。（1件）
- ・駅南公共駐車場、利用客の伸び悩みが心配。（1件）
- ・ニーズに合った施設で、なるべく一人一人の負担が少なくなるよう。（1件）
- ・清谷川の遊歩道と駐車場を充実してほしいです。（1件）
- ・給食センターはムダづかいだと思う。（1件）
- ・公共施設も少なくし、充実化すればよいと思います。（1件）
- ・和地市民館のホールを大きくしてほしい。（1件）

●公共施設の利用に関すること（7件）

- ・利用者のマナーが悪い。（2件）
- ・施設利用料は市民、市外で値段をかえてもよい。（2件）
- ・時間いくらかの出費をしてでも冷房をつかわせてもらえたらありがたい。（1件）
- ・公共施設に要する経費について、受益者負担は当然。（1件）
- ・地元の方は利用しているが地元以外の方々は利用しにくい。（1件）

●その他（9件）

- ・使われていない施設を有効利用すべき。（2件）
- ・利用状況を調査して必要がどうかの判断をしてほしい。（1件）
- ・総合体育館のカーテンを直してほしい。（1件）
- ・公民館は電気代の使いすぎと注意があったと聞いたが、そんなことがあるのか。（1件）
- ・運営方法が悪い。（1件）
- ・老人の健康のためにグランドゴルフ場をつくってほしい。（1件）
- ・資源化センター等の火力を利用した入浴施設とか温水プールなどがあるとよい。（1件）
- ・公共施設のあり方検討委員会で、十分な討論が行なわれることを願う。（1件）

（4）環境、自然に関すること（50件）

●悪臭に関すること（15件）

- ・家畜や肥料の悪臭の対策をしてほしい。（9件）
- ・悪臭の取り締まり、チェックをしてほしい。（6件）

●環境美化に関すること（17件）

- ・道路にはみ出している草を処理してほしい。（10件）
- ・緑をいかして街並みが清潔に見えるようにしてほしい。（2件）
- ・港の壊れている船の撤去。（1件）
- ・農村部は手入れが行き届いていない。（1件）
- ・道路に出る農業スプリンクラーの水と土をやめさせる。（1件）
- ・荒れた田畑で蚊の発生がひどく困っている。（1件）
- ・沢わん漬けのゴミが道にたくさん捨ててある。（1件）

●ゴミの分別・収集、不法投棄などに関すること（10件）

- ・燃えるごみは、責任を持って、ドラム缶等で燃やしてもよいのではないか。（2件）
- ・曜日を守らずゴミステーションにゴミを出す人がたくさんいるので改善策を考えて欲しい。（1件）
- ・段ボールを資源化センターに持って行なった際、燃やせるゴミと一緒にだせると言われた。（1件）
- ・観光施設のゴミのポイ捨てがあり使用する際不愉快になる。（1件）
- ・もやせるゴミを入れる金属の箱を、子どもやお年寄りも使いやすいものに変えてほしい。（1件）
- ・豊橋のようにビンカンボックスが必要と思う。（1件）
- ・市の方でも社会貢献で不要になった衣類等を世界の中でも困っている国に提供したらよい。（1件）
- ・環境センターで、引き取りできないものの情報が少なすぎる。（1件）
- ・田原市全体のごみ処理の出し方を細部にわたり徹底してほしい。（1件）

●自然環境に関すること（4件）

- ・海の水質改善と沿岸の美化は急務である。（2件）
- ・川をもっときれいに整備してほしい。（2件）

●省エネ、環境問題対策に関すること（1件）

- ・もっと水の利用、雨水の活用を進めてほしい。（1件）

●その他（3件）

- ・火災時の出動要請は近辺のみの放送にしてほしい。（1件）
- ・道路整備で車の騒音がひどい。（1件）
- ・市の一斉清掃デーに、普段地域の会合に出席しない人が参加するが、果たしてこれはどうか。（1件）

（5）医療、保健（26件）

●医療に関すること（25件）

- ・小児科の夜間救急を確保してほしい。（6件）
- ・渥美病院には医師不足、医師の質に不安がある。（4件）
- ・医療の充実。医師の確保。（3件）
- ・市民病院、総合病院をつくってほしい。（2件）
- ・市役所の人は金をもってきたら保険証を渡すという態度で、この何年も1ヶ月分の保険証しかもらっていません。（1件）
- ・子ども医療も中学卒業までではなく、長期に定期的に通院する必要がある場合は延長してほしい。（1件）
- ・受けていない検診料金を人間ドックの補助に利用できるとありがたい。（1件）
- ・国保の保険料を算出するのに所得だけでなく固定資産も関係するのは理解できない。（1件）
- ・無料検診等で充実して素晴らしい。（1件）
- ・夜間医療を確保してほしい。（1件）
- ・AEDがあっても時間外だと使用できない。（1件）
- ・安心して子どもが産めるように、安心して子どもを育てられる市になってほしい。（1件）
- ・高齢化に伴い医療費が大変多くなるが、負担を2割にすれば若い方の負担も少なくなると思う。（1件）
- ・介護保険を年金から差し引かれますが、何とかならないのか。（1件）

●保健に関すること（1件）

- ・高齢者が介護予防の為、スポーツクラブの補助金は続けてほしい。（1件）

（6）福祉（23件）

●児童福祉に関すること（7件）

- ・児童クラブの時間、学年を延長してほしい。（2件）
- ・妊婦・育児に必要な施設・サービスが充実していなければ少子高齢化になる一方である。（2件）
- ・医療費の無料など大変助かった。（1件）
- ・児童館、市民館を無料で利用できたことは大変ありがたかった。（1件）
- ・乳幼児検診での職員の方のありきたりな知識と対応にびっくりした。（1件）

●高齢者福祉、障がい者福祉に関すること（13件）

- ・年と共に一人暮らしになる人が多いので、新しいコミュニティーづくりをしたらよい。（3件）
- ・発達障害児への支援施設がない。療育施設や支援先が、田原市にないため、市外へ支援を求めても、他人事のように扱われる。（1件）
- ・老人福祉バス券は1度で全券利用が可能な制度にしてもらいたい。（1件）
- ・自分の親が地方に居て、親を見ることになった時、介護施設に入れてもらいたい。（1件）
- ・施設に入る時、どのような手続きが必要かわからない。（1件）
- ・高齢者のみの世帯に温かいご配慮をお願いしたい。（1件）
- ・畑などで倒れて発見が遅れるのを防ぐため、年配の方が農作業をする時は「2人で」を推進。（1件）
- ・介護を必要としない健康なお年寄りづくりの方が重要である。（1件）
- ・年寄り、障害者が利用しやすいお店を増やしてもらいたい。トイレなど利用しづらい。（1件）
- ・市で支払われる障害者手当等少なくしないように願いたい。（1件）
- ・国民年金で入れる老人ホームがほしい。（1件）

●その他の福祉（3件）

- ・福祉の充実、教育、交通、まちづくり、体育、ボランティア等々に力を入れてほしい。（3件）

(7)教育、文化（22件）

●教育に関すること（15件）

- ・小中学校の統合を積極的に推進するべきと思う。（3件）
- ・小学校の統廃合には反対。（2件）
- ・中学校以降もスポーツに対して積極的に力を入れてほしい。（2件）
- ・保育園に「加配の保育士」を少なくとも1園に1人。学校もスクールアシスタントや、スクールカウンセラーが常勤するべき。（1件）
- ・成章高校、福江高校の入試で定員割が起きている。魅力ある学校になるよう支援する必要がある。（1件）
- ・食育を充実する必要がある。（1件）
- ・クラス編成は平等になるように改善してほしい。（1件）
- ・幼い頃は「地域の人や学校の先生も、自分のことを知っていて声をかけてくれる」と、体を感じながら成長することが必要。（1件）
- ・学校が非常に少ないです。特に高校をもっと増やすべき。（1件）
- ・人づくりの中心になるのは、公教育機関の充実であろう。幼児期教育の重要性、青少年対象の小・中・高等学校の適正規模を筆頭に内容の充実。（1件）
- ・自分たちが使用した後始末、清掃を子どもたちに教えてほしい。（1件）

●文化に関すること（7件）

- ・生涯学習の充実。（4件）
- ・芸術分野を軽視することが多い。講演会、音楽会、美術展等をもっと盛んにしていただきたい。（2件）
- ・合併する前の渥美ホールの利用レベルに戻してほしい。（1件）

(8) 産業・観光に関すること (44 件)

● 商業に関すること (12 件)

- ・もっと商業施設、店舗、飲食店がほしい。(12 件)

● 観光に関すること (21 件)

- ・観光地（伊良湖地区）の整備。(5 件)
- ・人が集まるような企画、イベントをたて発展してもらいたい。(3 件)
- ・テレビなどで田原の良い所を表に出し、イメージアップさせる。(2 件)
- ・ゆるキャラをつくり、田原の名前を他の所でも出せるようにする。(2 件)
- ・田原市は、海・山と自然に恵まれているので観光都市を目指すよと思う。(2 件)
- ・観光ビューローの効果で観光客が田原に増えたのでよかったです。まちがにぎわっていた。(1 件)
- ・田原市は、自然を生かした観光を進めて行くことが良い。(1 件)
- ・滝頭公園、滝頭不動等の宣伝を市外にももっとPRすれば、観光として栄えると思う。(1 件)
- ・「道の駅」も魅力を感じる物がない。(1 件)
- ・田原市ガイドマップがよくなった。(1 件)
- ・観光施設を充実すべき。他から多くの人を迎え入れ、少しでもお金を使っていただく。(1 件)
- ・観光の振興を市職員で、積極的に行なってほしい。「県庁のおもてなし課」のように、頑張ってもらいたい。(1 件)

● 農林漁業に関すること (7 件)

- ・農業の後継者を育てる必要がある。(4 件)
- ・水産物や畜産物などのブランド化をはかる。(1 件)
- ・農業、漁業の発展を考えた市政をしてほしい。(1 件)
- ・市政がトヨタに寄り過ぎのため、農業関係が厳しい。(1 件)

● 産業に関すること (3 件)

- ・備品を購入する場合その地区のお店で買うようにする。(1 件)
- ・遊ぶところ、買い物する所も少ないので休日を田原で過ごそうとは思わない。(1 件)
- ・税収を確保するためには立地条件や幹線道路など交通機関を整備したりするなど、企業が田原へきたいと思う町をつくる。(1 件)

● その他 (1 件)

- ・住宅を安く建てられるように支援したりする。(1 件)

(9) 労働に関すること (3 件)

- ・渥美地区にも働き口がほしい。(1 件)
- ・若者の流出を食い止めるよう、若者の雇用の確保。(2 件)

(10)防犯、防災、安全 (30 件)

●防犯に関すること (4 件)

- ・街灯がとても少ない。防犯もかねて、増やしてほしい。(3 件)
- ・不審者が出た場合マイクなどで市民に情報を流してほしい。(1 件)

●防災に関すること (16 件)

- ・地震の際の大津波の対策。(10 件)
- ・市の放送が風向きでまったく聞こえない。(3 件)
- ・大坪信号付近は水はけが悪く水がたまりやすく、水害に見舞われている。(1 件)
- ・和地と土田の境目の海岸通りが台風で失われたので、修理して通行できるようにしてほしい。(1 件)
- ・側溝が壊れていて穴があいているようで、道路が川になるおそれがある。(1 件)

●安心、安全に関すること (10 件)

- ・主要道路も市道もこまめに舗装、白線をなおしてほしい。(3 件)
- ・樹木や雑草が生い茂って交通の妨げになっており、事故の危険性がある。(2 件)
- ・交通マナーが最悪。改善をお願いします。(1 件)
- ・通学路に歩道がなく、非常に危ない。(2 件)
- ・駐在所がなくなり、事故や事件の時に田原から来てもらうのに 30 分以上待たないといけない。(1 件)
- ・青色灯パトカーは二台も必要か。(1 件)

(11)市政、行政 (70 件)

●市政に関する全体的なイメージに関すること (6 件)

- ・安心・安全で暮らしやすいまち“田原市”の変化を期待する。(1 件)
- ・市の若返りに期待します。(1 件)
- ・各分野の方々の意見もあると思うが、方向性を失わないでほしい。(1 件)
- ・市の農業委員の職員がある個人を故意に圧力をかけることは許されない。(1 件)
- ・頑張った人が報われるまちであってほしいです。(1 件)
- ・市の財政が豊かなばかりに、職員の方の柔軟な発想が乏しい。(1 件)

●施策や事業に関すること (5 件)

- ・生活保護制度を見直してほしい。(3 件)
- ・良い人材の確保をしていただきたい (1 件)
- ・ペットの個別火葬は税金のムダだと思います。個別でしたい人は民間ですればいい。(1 件)

●市民意見の吸い上げ、市民との協働、情報提供 (1 件)

- ・市民 1 人 1 人の意見を吟味・咀嚼して、追いつく事のないよう。(1 件)

●市役所の窓口、担当課の対応について（12件）

- ・窓口の対応が不親切で積極性に欠ける。あいさつができていない。（5件）
- ・ダラダラ働いている職員に税金を使うならサービス向上をしてほしい。（2件）
- ・田原市の職員の方にお役人ムードがたぶんに感じられる。まず職員教育が大事。（1件）
- ・市の窓口の時間外対応をもっと充実させてほしい。（1件）
- ・現場第一主義で、市民に対してほしい。（1件）
- ・届出をしても情報が統一されていないので、他の部署で同じような手続きをしなければならなかった。効率が悪い。（1件）
- ・市職員個人個人のスキルアップと市民の目線に合った対応が必要。（1件）

●行財政運営について（39件）

- ・ムダを省いて業務の効率化をはかり、人件費などを減らす。（16件）
- ・公共施設の経費の削減の為に抜本的な見直しが必要。（13件）
- ・減税。税金を少しでも安くしてほしい。（6件）
- ・税金未納の人は、何人もいますか。未納者に対して何かしているのですか。（1件）
- ・都市計画税の廃止を。（1件）
- ・血税をご自身のお財布から出すお金だと思って大切にに使っていただきたい。（1件）
- ・税の使途が、農業、商業に著しく偏っている。一般市民の住環境に向けてほしい。（1件）

●市議会について（2件）

- ・議員報酬の削減、議員定数の削減。（2件）

●情報公開について（5件）

- ・各種市予算のすべてに対し、適正に使われているか、毎年点検してほしい。（2件）
- ・広報は月1回でいいです。配布が大変です。（1件）
- ・いろいろな計画はカタカナ文字や難しい字句が多く、住民にはわかりづらい。（1件）
- ・市政の現状を多くの市民に伝えてください（課題含めて）。（1件）

(12) アンケートについて（17件）

- ・高齢者にアンケートがきてもわからない。（7件）
- ・今回調査について、項目が多すぎるうえ、わかりにくい。（7件）
- ・アンケートから得た市民の声を、ぜひ市政に反映してほしい。（2件）
- ・市の取り組みは参加していないのでよくわからなかったです。（1件）

(13) その他 (22 件)

- ・ 田原市が大好きです。(7 件)
- ・ 若者への意見。(3 件)
- ・ 自治会活動について。(2 件)
- ・ アパートの家賃が高い。(1 件)
- ・ 若い人が住みたいと思うようにしてほしい。(1 件)
- ・ 現状のサービスを維持できるように努力してほしい。(1 件)
- ・ これからの子どもたちにかかる負担を少しでも減らしたい。(1 件)
- ・ 少子高齢化が進み将来に対して不安を抱えている。(1 件)
- ・ 田原市は私の中では全体的にマイナスイメージが強い。(1 件)
- ・ 現在の状況について。(1 件)
- ・ 婦人会、特に県、東三河と合流して大変よい勉強になりました。(1 件)
- ・ 市で、婚活パーティーを開催してほしい。(1 件)
- ・ 野犬を捕獲してほしい。(1 件)

■Ⅲ 市内事業者アンケート調査

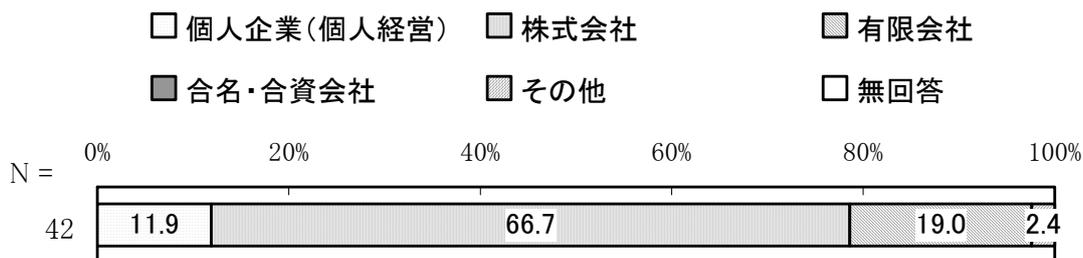
Ⅲ 市内事業者アンケート調査

1 会社（事業所）について

問1 あなたの会社（事業所）についてお答えください。

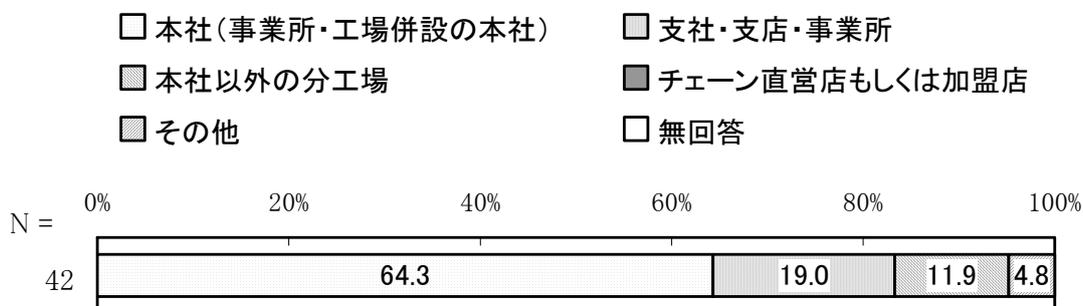
① 企業形態（○は1つ）

「株式会社」の割合が66.7%と最も高く、次いで「有限会社」の割合が19.0%、「個人企業（個人経営）」の割合が11.9%となっています。



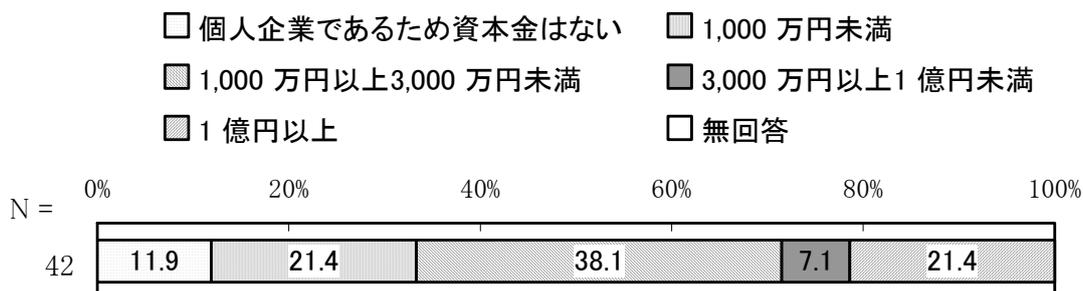
② 本社・事業所区分（○は1つ）

「本社（事業所・工場併設の本社）」の割合が64.3%と最も高く、次いで「支社・支店・事業所」の割合が19.0%、「本社以外の分工場」の割合が11.9%となっています。



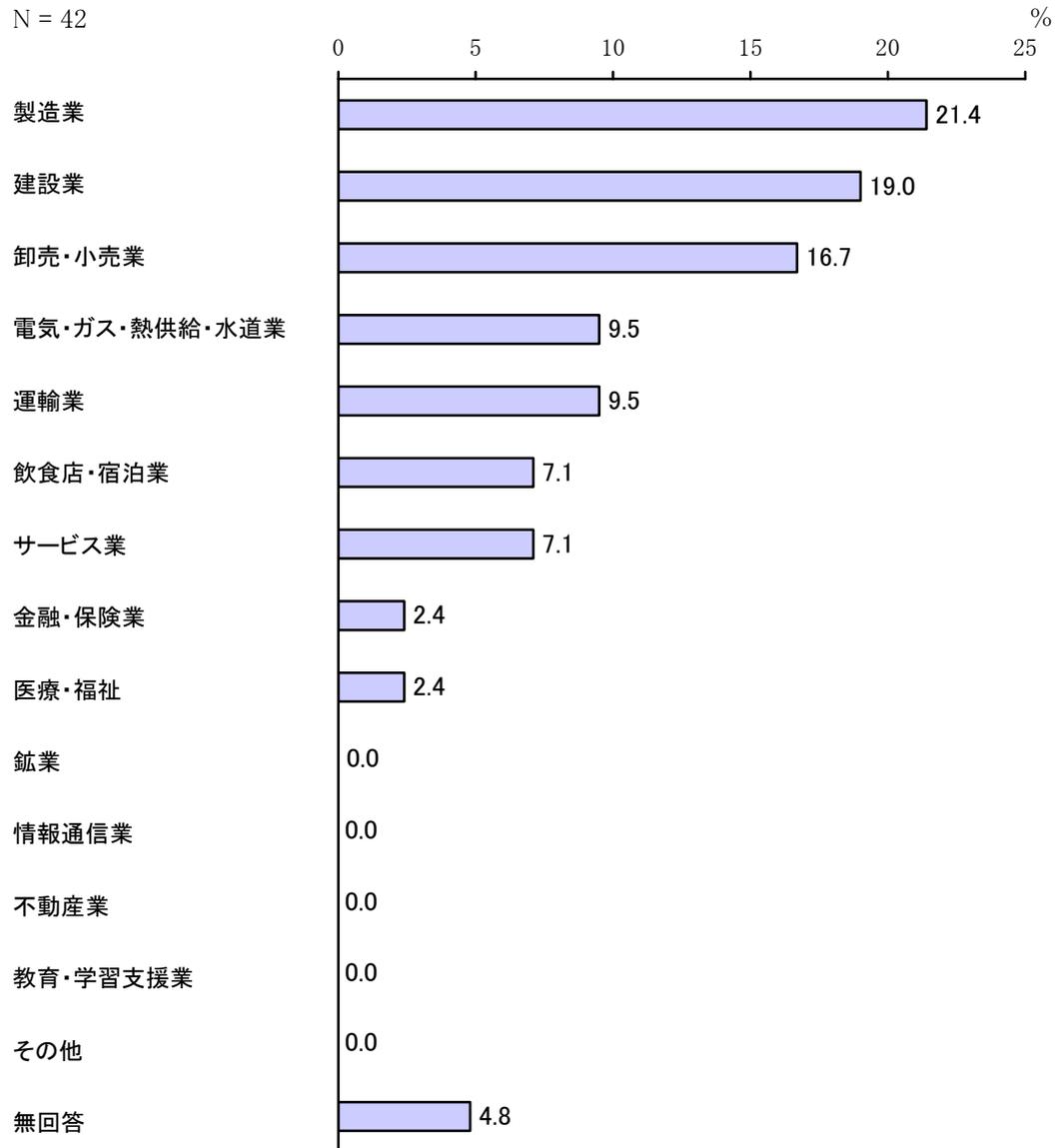
③ 資本金（○は1つ）

「1,000万円以上3,000万円未満」の割合が38.1%と最も高く、次いで「1,000万円未満」「1億円以上」の割合が21.4%となっています。



④ 業種（〇は1つ）

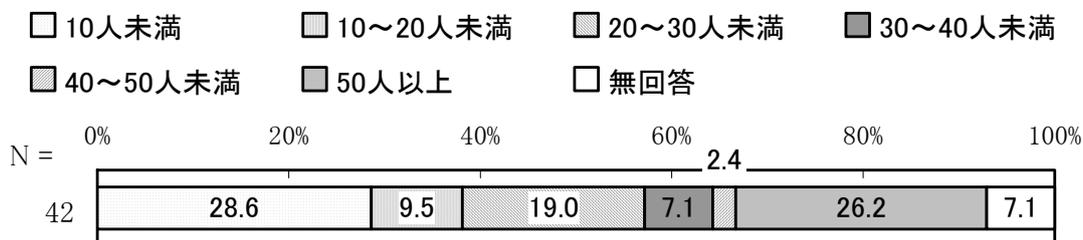
「製造業」の割合が21.4%と最も高く、次いで「建設業」の割合が19.0%、「卸売・小売業」の割合が16.7%となっています。



⑤ 従業員数 (H25.4.1時点)

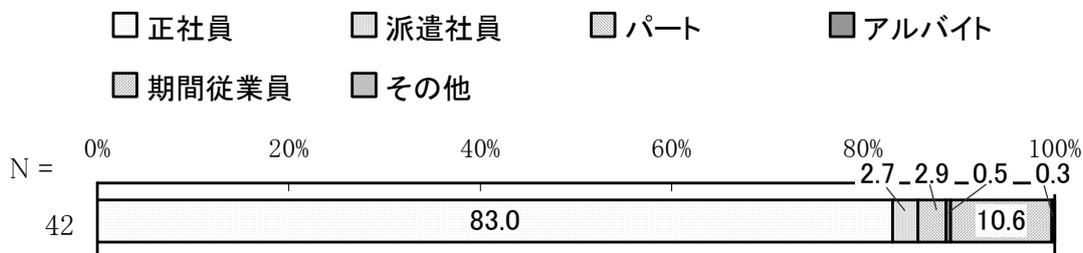
【総数】

「10人未満」の割合が28.6%と最も高く、次いで「50人以上」の割合が26.2%、「20～30人未満」の割合が19.0%となっています。



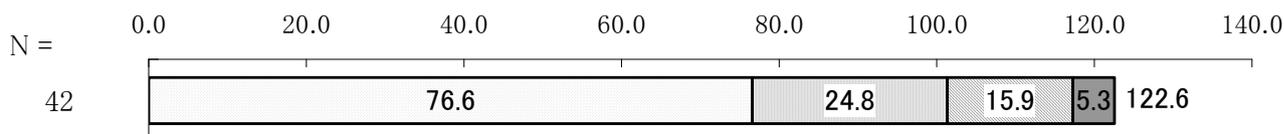
【従業員の内訳】

「正社員」の割合が83.0%と最も高く、次いで「期間従業員」の割合が10.6%となっています。



⑥ 事業所（工場）の従業員の居住先の概ねの比率

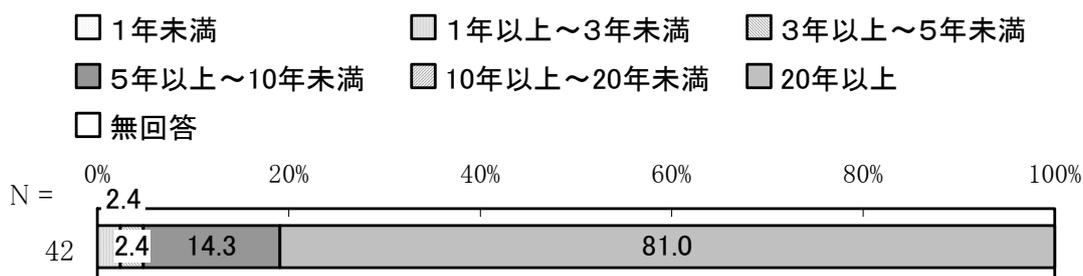
「市内」の割合が76.6%と最も高く、次いで「豊橋市」の割合が24.8%、「愛知県内」の割合が15.9%となっています。



※回答者の平均値であるため、合計が100%になりません。

⑦ 田原市での事業年数 (〇は1つ)

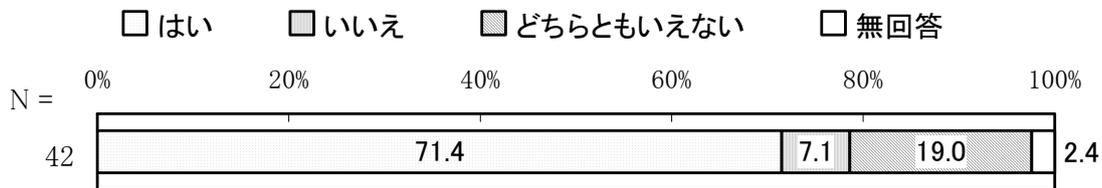
「20年以上」の割合が81.0%と最も高く、次いで「5年以上～10年未満」の割合が14.3%となっています。



2 田原市の事業環境について

問2 田原市は、あなた(会社)にとって事業をしやすいまちだと思いますか。
(○はひとつ)

「はい」の割合が71.4%、「いいえ」の割合が7.1%となっています。
業種別



【業種別】

業種別にみると、製造業で「はい」の割合が高く、約9割となっています。

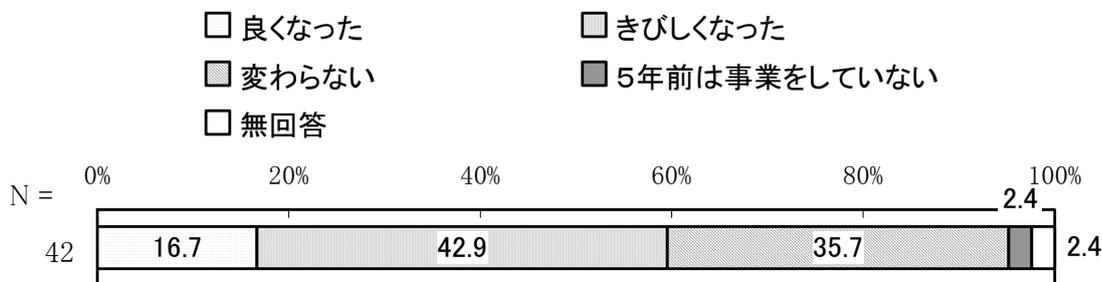
上段：実数（件）、下段：割合（%）

	全 体	は い	い い え	い え な い	ど ち ら と も い え な い	無 回 答		全 体	は い	い い え	い え な い	ど ち ら と も い え な い	無 回 答
鉱業	-	-	-	-	-	-	金融・保険業	1	-	1	-	-	-
	-	-	-	-	-	-		100.0	-	100.0	-	-	-
建設業	8	6	-	2	-	-	不動産業	-	-	-	-	-	-
	100.0	75.0	-	25.0	-	-		-	-	-	-	-	-
製造業	9	8	-	-	1	-	飲食店・宿泊業	3	2	-	1	-	-
	100.0	88.9	-	-	11.1	-		100.0	66.7	-	33.3	-	-
電気・ガス・熱供給・水道業	4	3	-	1	-	-	医療・福祉	1	1	-	-	-	-
	100.0	75.0	-	25.0	-	-		100.0	100.0	-	-	-	-
情報通信業	-	-	-	-	-	-	教育・学習支援業	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-
運輸業	4	2	1	1	-	-	サービス業	3	3	-	-	-	-
	100.0	50.0	25.0	25.0	-	-		100.0	100.0	-	-	-	-
卸売・小売業	7	5	-	2	-	-	その他	-	-	-	-	-	-
	100.0	71.4	-	28.6	-	-		-	-	-	-	-	-

問3 田原市で事業を行う環境について

① 田原市で事業を行う環境は、5年前と比べて全体的にどうなったとお考えですか。
 (○はひとつ)

「きびしくなった」の割合が42.9%と最も高く、次いで「変わらない」の割合が35.7%、「良くなった」の割合が16.7%となっています。



【業種別】

業種別にみると、建設業で全員が「きびしくなった」と回答しています。

上段：実数（件）、下段：割合（%）

	全体	良くなった	きびしく なった	変わらない	5年前は事業 をしていない	無回答
鉱業	-	-	-	-	-	-
建設業	8 100.0	-	8 100.0	-	-	-
製造業	9 100.0	6 66.7	-	2 22.2	-	1 11.1
電気・ガス・熱供給・ 水道業	4 100.0	-	-	4 100.0	-	-
情報通信業	-	-	-	-	-	-
運輸業	4 100.0	-	1 25.0	3 75.0	-	-
卸売・小売業	7 100.0	-	4 57.1	3 42.9	-	-
金融・保険業	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-
不動産業	-	-	-	-	-	-
飲食店・宿泊業	3 100.0	1 33.3	2 66.7	-	-	-
医療・福祉	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-
教育・学習支援業	-	-	-	-	-	-
サービス業	3 100.0	-	2 66.7	1 33.3	-	-
その他	-	-	-	-	-	-

② 田原市で事業を行う環境について、良くなった点、きびしくなった点などについて、具体的にお聞かせください。

【良くなった点】

- ・幹線道路が整備されよくなった。(2件)
- ・風力発電・太陽光パネル等自然エネルギーの取組み、環境行政が着実に変化(進歩)してきている。(2件)
- ・30年前に比べると下水道の普及がめざましい。(1件)
- ・製造品の納入先が近くになりました。(1件)

【きびしくなった点】

- ・仕事量の減少(3件)
- ・人口の減少(2件)
- ・従業員の減少(2件)
- ・道路網の整備(渋滞解消)。高速道路へのアクセスが悪すぎる。(2件)
- ・自動車は素通り。(1件)
- ・集合住宅単身世帯の増加による購買活動の変化(1件)
- ・田原市が、市県民税は平気を持って行くが地元企業への発注がなく、豊橋市の保険代理店に前回通りで、見積り発注をしているのがおかしい。田原市内にも代理店が多数有るのに。前年通りの公務員発想はおかしい。(1件)
- ・公共工事の減少。(1件)
- ・県道の拡幅はいつか。道にかからなかった土地、隣接の工場は、県または市が買って代替地の近くにもらえるのか。保証金の金額も初めの頃とくらべると半分になっているから、これから商売をやっていけるのか、不安がいっぱいです。(1件)
- ・市税収の縮小による社会資本整備の減少によるもの。(1件)
- ・公共工事の減少。民間工事の競争激化。(1件)
- ・顧客の大半が農業従業者なので、農家の売上げ(利益)が減ると、自社の売上げも影響が出る。(1件)
- ・利益率が毎年低下している。市場が小さくなっている。(1件)

【その他】

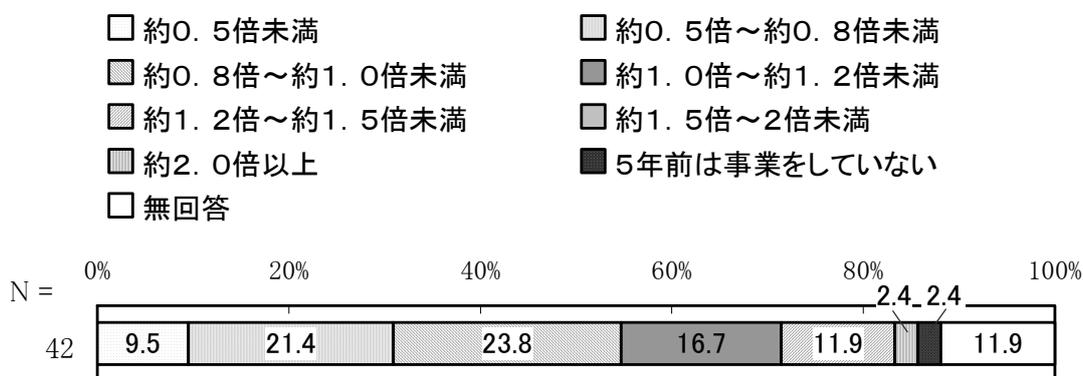
- ・道路沿いの草が伸び放題で観光の半島としてもう少し手を入れてほしいです。(1件)

3 会社（事業所）の事業について

問4 あなたの会社（事業所）の5年前の売上高を1.0とした場合、それに対する直近の売上高の割合はどのくらいですか。（〇はひとつ）

「約0.5倍未満」、「約0.5倍～約0.8倍未満」、「約0.8倍～約1.0倍未満」をあわせた1.0倍未満が54.7%と、売上高が減少している事業所は半数を超えています。「約1.0倍～約1.2倍未満」「約1.2倍～約1.5倍未満」「約2.0倍以上」をあわせた1.0倍以上は31.0%となっています。

平均※は、0.925倍であり、5年前よりも売上高は減少している状況です。



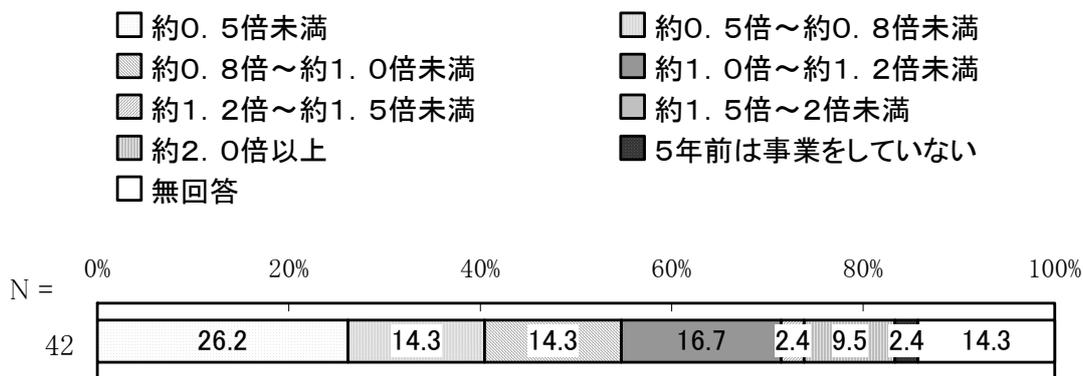
※平均は、下記により算出しています。

約0.5倍未満	0.50倍
約0.5倍～約0.8倍未満	0.65倍
約0.8倍～約1.0倍未満	0.90倍
約1.0倍～約1.2倍未満	1.10倍
約1.2倍～約1.5倍未満	1.35倍
約1.5倍～2倍未満	1.75倍
約2.0倍以上	2.00倍

問5 あなたの会社（事業所）の5年前の経常利益（所得）を1.0とした場合、それに対する直近の経常利益（所得）の割合はどのくらいですか。（〇はひとつ）

「約0.5倍未満」、「約0.5倍～約0.8倍未満」、「約0.8倍～約1.0倍未満」をあわせた1.0倍未満が54.8%と、売上高が減少している事業所は半数を超えています。「約1.0倍～約1.2倍未満」「約1.2倍～約1.5倍未満」「約2.0倍以上」をあわせた1.0倍以上は28.6%となっています。

平均※は、0.91倍と、経常利益は減少している状況です。

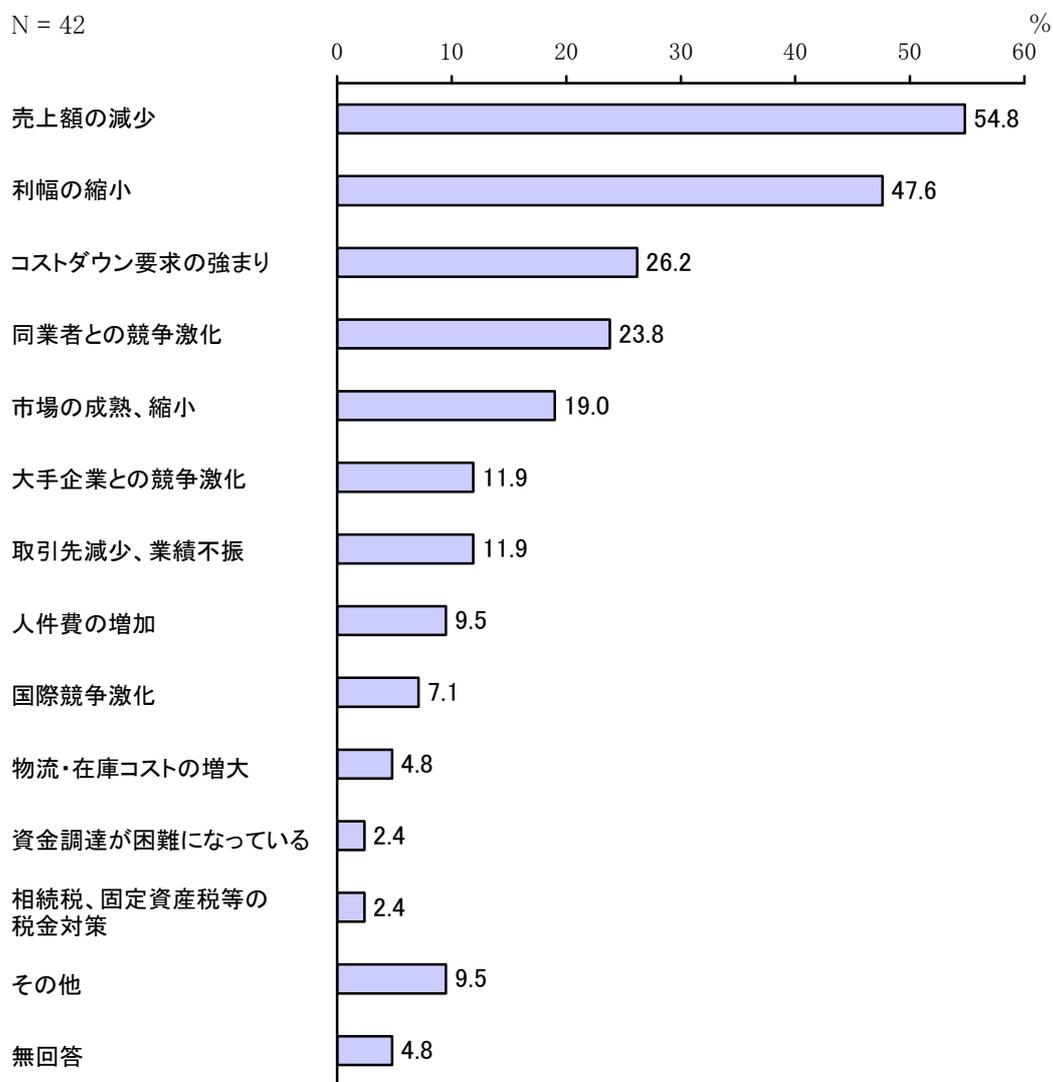


※平均は、下記により算出しています。

約0.5倍未満	0.50倍
約0.5倍～約0.8倍未満	0.65倍
約0.8倍～約1.0倍未満	0.90倍
約1.0倍～約1.2倍未満	1.10倍
約1.2倍～約1.5倍未満	1.35倍
約1.5倍～2倍未満	1.75倍
約2.0倍以上	2.00倍

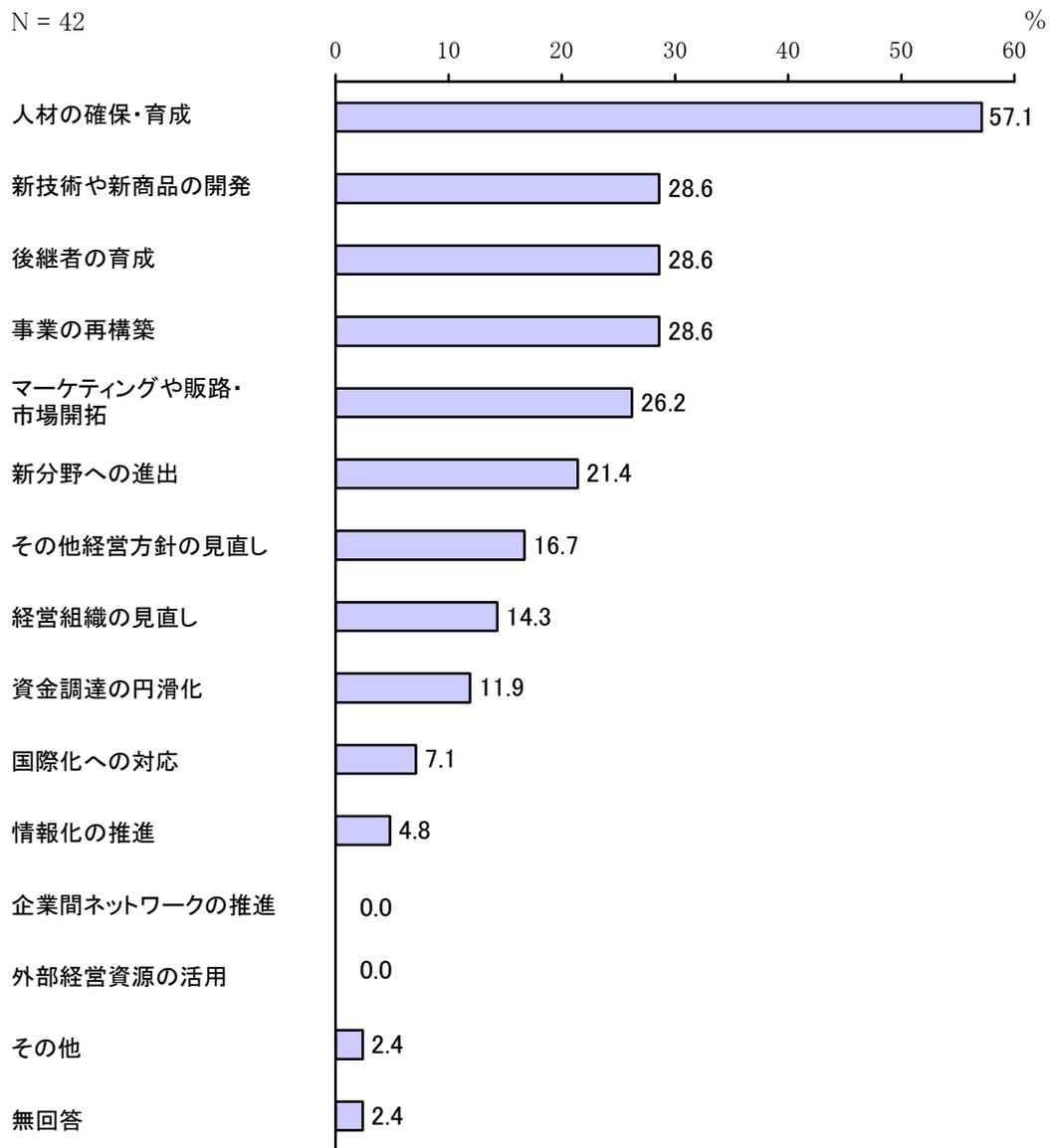
問6 あなたの会社（事業所）が、現在の事業を行う上で、経営上の問題点はどこにあるとお考えですか。（〇は3つまで）

「売上額の減少」の割合が54.8%と最も高く、次いで「利幅の縮小」の割合が47.6%、「コストダウン要求の強まり」の割合が26.2%となっています。



問7 あなたの会社（事業所）の、今後重視する経営課題はどのようなものですか。（〇は3つまで）

「人材の確保・育成」の割合が 57.1%と最も高く、次いで「新技術や新商品の開発」「後継者の育成」「事業の再構築」の割合が 28.6%となっています。



問 8 経営課題を実現するうえで必要となる市の取り組みがありましたら、具体的にご記入願います。

- ・物流に関わる仕事をしているが、高速道路にのるまでに渥美地域からだと1時間半もかかってしまう。時間短縮となる道路整備を進めてほしい。(4件)
- ・積極的に田原市内の企業を活用してほしい。(3件)
- ・東南海地震による企業への津波対策に対する補助があったら良いと思います。(事業所の問題として)(1件)
- ・震災時の早期復旧に向けた体制、インフラ整備。(1件)
- ・観光地の魅力付けの為、温泉井戸掘削など実現してほしい。(1件)
- ・特徴ある地場製品の育成。観光業の盛り上げ。(1件)
- ・新開発の埋め立て地域への新企業の誘致の促進。労働人口の増加に伴い、やがて人口増加、市内の活性化を図る。(1件)
- ・少子化に対しての教育機能の向上による人口増。(1件)
- ・住宅地の開発。田原市に住んでいただいて人口増加をお願いしたい(1件)
- ・箱物建築物はどうなのか。税金で市はまかなっているのに、ムダなく市の建築物の体裁ばかりでない、見栄っ張りの事業はやめてほしい。(1件)
- ・生產品目の増減により自動車部品だけでは生き残れないため、現在の生産設備を利用して、自動車部品以外を生産する考えをこれからしていかなければと思います。若い地元の協力者を育てたいと考えております。トップは「育てる」ことをすべてに考えて、働いていただく地元の人々の協力を考えております。「これからの日本に何が必要か」が標的のテーマです。一年中禁漁のないアサリが育つ環境がなく、海の中にアサリが安心して育つ場所を確保する方法はないか考えております。(1件)
- ・建設業に於ける新規業種の参入を受け入れやすくしてほしい(1件)
- ・名古屋から通えない。(1件)
- ・市の取り組みよりも国の取り組み。我が社は以前より12名ほどの外国人労働者を受け入れていますが。外国人は仕事ができるようになって3年間で帰国します。ハングリーですから1年~2年で仕事を覚えます。大変まじめですばらしい子ばかりです。最大の経営課題は安い人材を国内に入れてもらえることが一番の中小企業の道ではないかと思っています。(1件)
- ・現状では商業者は大手チェーンスーパーとコンビニエンスストアだけになってしまう。零細・個人商業は淘汰される。これは市町村レベルの施策では難しいと思われる。(1件)

4 市の施策について

問9 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。
 (各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○をひとつずつ付ける)

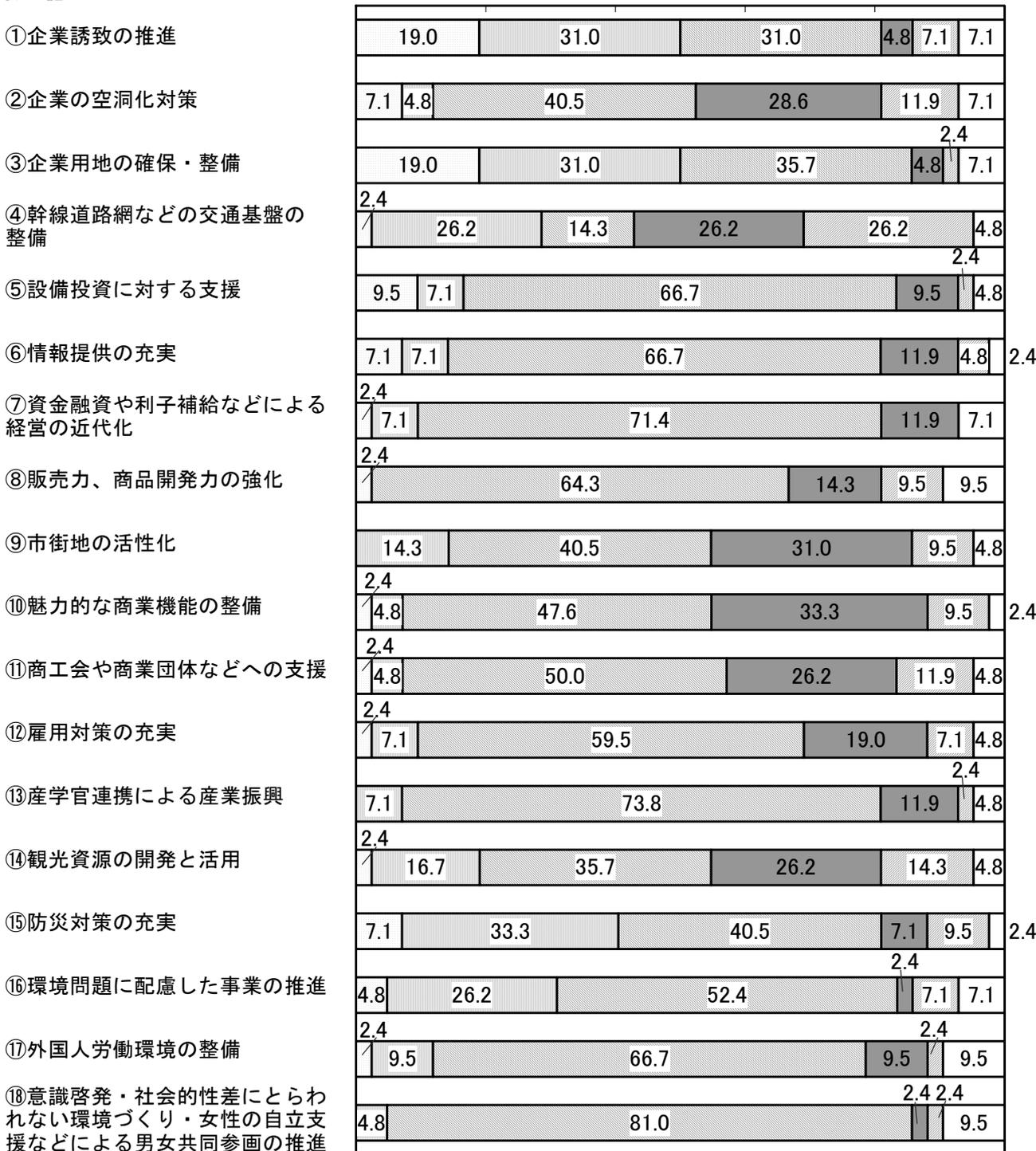
①企業誘致の推進、③企業用地の確保・整備で「満足」と「やや満足」をあわせた満足の割合が高く、5割となっています。一方、④幹線道路網などの交通基盤の整備で「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が高く、5割を超えています。

【評価】

□ 満足 □ やや満足 □ 普通 □ やや不満 □ 不満 □ 無回答

N = 42

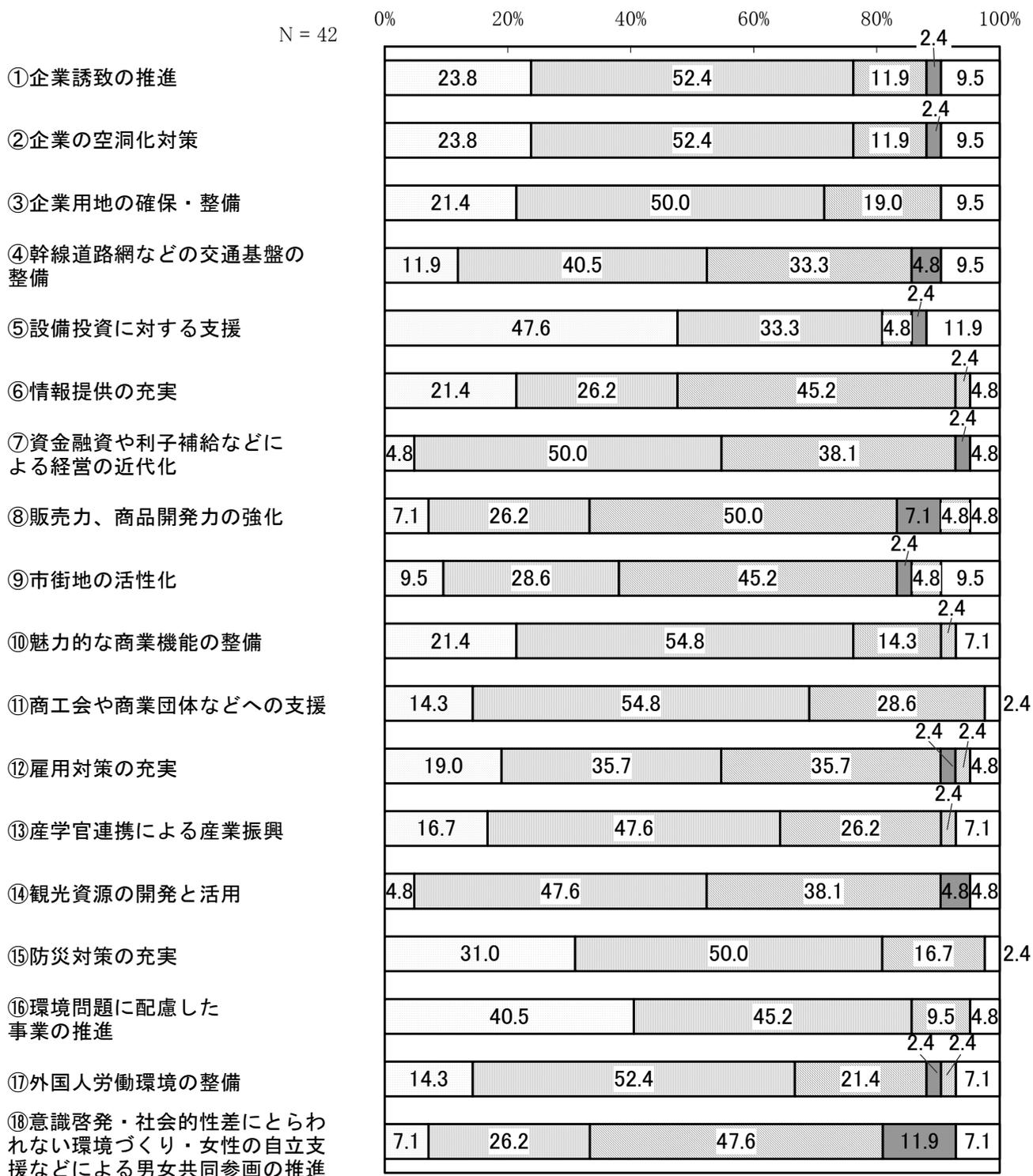
0% 20% 40% 60% 80% 100%



【重要性】

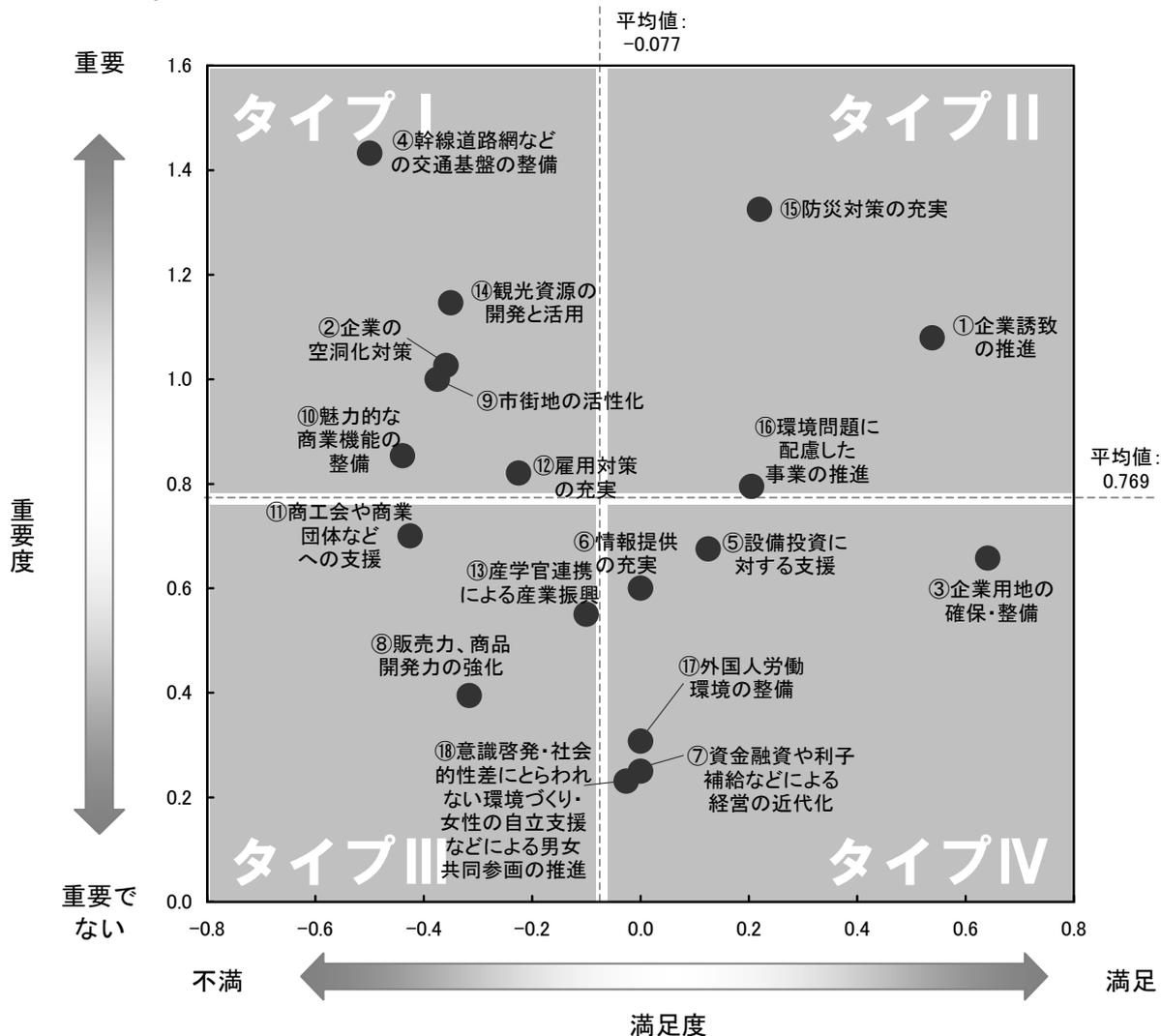
⑯環境問題に配慮した事業の推進、⑮防災対策の充実、⑤設備投資に対する支援で「非常に重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が高く、8割を超えています。

- 非常に重要 □ 重要 □ 普通
- あまり重要でない □ 重要でない □ 無回答



Ⅲ 市内事業者アンケート調査

ポートフォリオによる市の施策の評価については、④幹線道路網などの交通基盤の整備が、満足度が最も低いと同時に、重要度が最も高くなっており、特に事業の改善が求められます。



区分	満足度	重要度
①企業誘致の推進	0.54	1.08
②企業の空洞化対策	-0.36	1.03
③企業用地の確保・整備	0.64	0.66
④幹線道路網などの交通基盤の整備	-0.50	1.43
⑤設備投資に対する支援	0.13	0.68
⑥情報提供の充実	0.00	0.60
⑦資金融資や利子補給などによる経営の近代化	0.00	0.25
⑧販売力、商品開発力の強化	-0.32	0.39
⑨市街地の活性化	-0.38	1.00
⑩魅力的な商業機能の整備	-0.44	0.85
⑪商工会や商業団体などへの支援	-0.43	0.70
⑫雇用対策の充実	-0.23	0.82
⑬産学官連携による産業振興	-0.10	0.55
⑭観光資源の開発と活用	-0.35	1.15
⑮防災対策の充実	0.22	1.33
⑯環境問題に配慮した事業の推進	0.21	0.79
⑰外国人労働環境の整備	0.000	0.308
⑱意識啓発・社会的性差にとらわれない環境づくり・女性の自立支援などによる男女共同参画の推進	-0.026	0.231

○左図から分析判断できる最優先課題

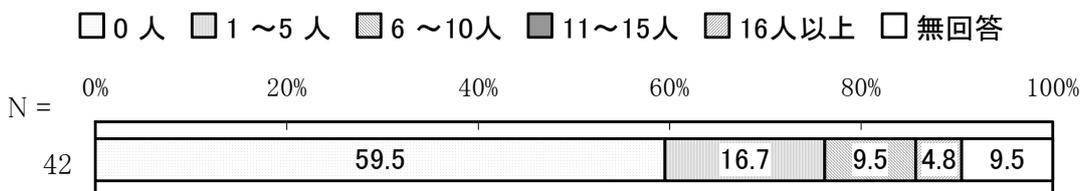
- ②企業の空洞化対策
- ④幹線道路網などの交通基盤の整備
- ⑨市街地の活性化
- ⑩魅力的な商業機能の整備
- ⑫雇用対策の充実
- ⑭観光資源の開発と活用

5 従業員の雇用環境について

問 10 あなたの事業所の昨年度の新規学卒者の採用状況、今後 5 年間の採用見込みについてお聞かせ下さい。

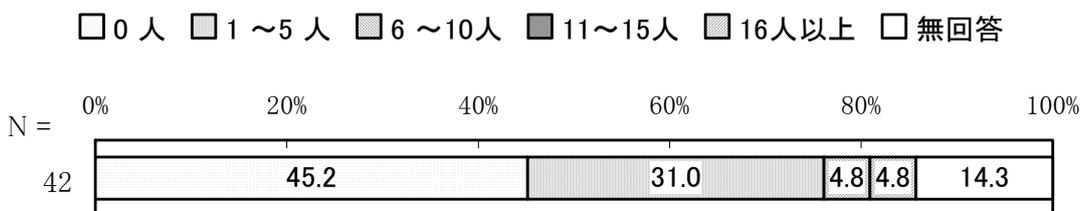
【平成 24 年度の新規学卒採用者】

「0 人」の割合が 59.5%と最も高く、次いで「1～5 人」の割合が 16.7%、「6～10 人」の割合が 9.5%となっています。



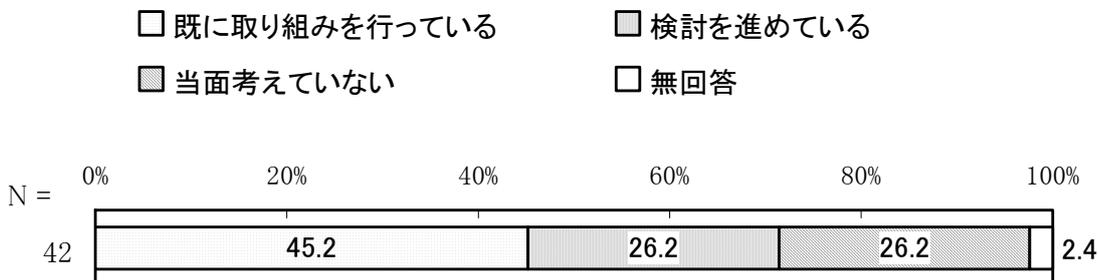
【平成 25 年度以降 5 年間の採用見込み】

「0 人」の割合が 45.2%と最も高く、次いで「1～5 人」の割合が 31.0%となっています。



問 11 あなたの事業所では、定年制の延長について取り組みを行われていますか。

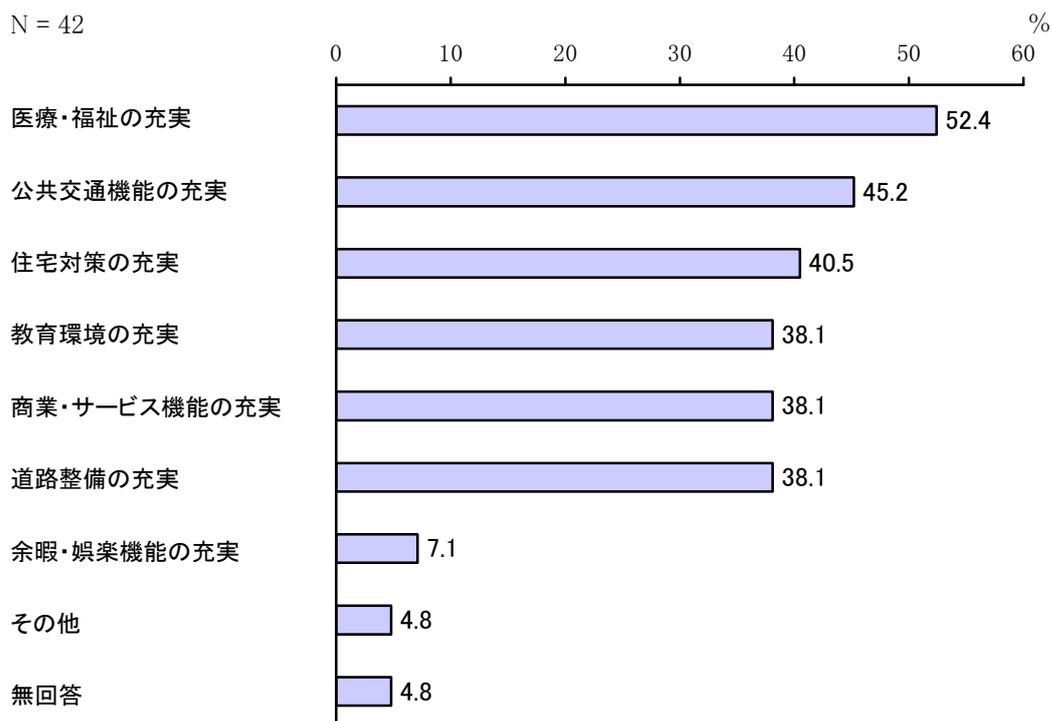
「既に取り組みを行っている」の割合が 45.2%と最も高く、次いで「検討を進めている」の割合が 26.2%と、定年制の延長を前向きに捉えている企業が約 7 割となっています。一方、「当面考えていない」の割合が 26.2%となっています。



6 従業員の市内定住対策について

問 12 従業員の方に田原市に住んでいただくためには、特にどういった対策が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

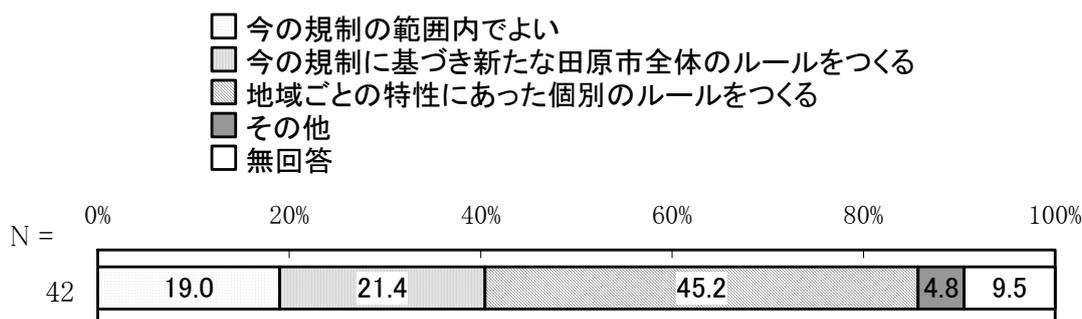
「医療・福祉の充実」の割合が 52.4%と最も高く、次いで「公共交通機能の充実」の割合が 45.2%、「住宅対策の充実」の割合が 40.5%となっています。



7 土地利用について

問 13 田原市では、計画的な土地利用(利用規制)を図っています。これからの土地利用(規制)について、どのようにお考えですか。(〇はひとつ)

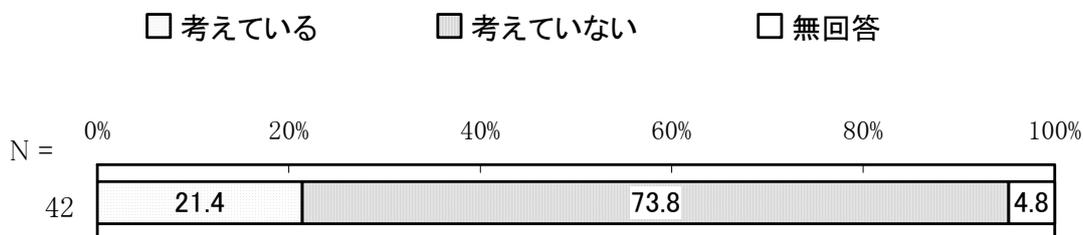
「地域ごとの特性にあった個別のルールをつくる」の割合が 45.2%と最も高く、次いで「今の規制に基づき新たな田原市全体のルールをつくる」の割合が 21.4%、「今の規制の範囲内でよい」の割合が 19.0%となっています。



8 農業分野での事業展開について

問 14 田原市は現在、農業産出額日本一です。この農業分野に関連した事業展開をお考えですか。(〇はひとつ)

「考えている」の割合が 21.4%、「考えていない」の割合が 73.8%となっています。



問 14 「1 考えている」と答えた方にお聞きします。どんな事業をお考えですか。

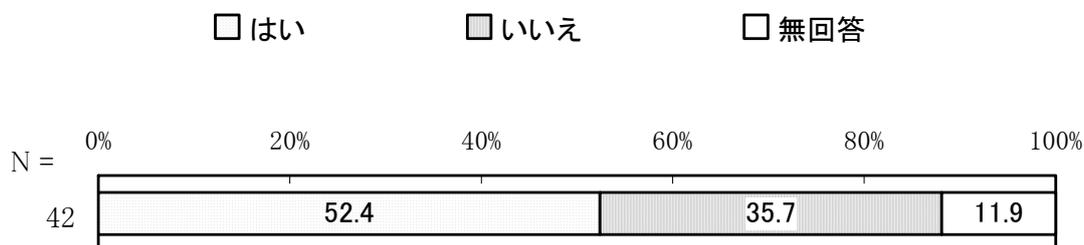
【事業内容】

- ・考えているというより現在行なっている。農産物の物流分野。(1 件)
- ・市内産を利用した商品の開発 (1 件)
- ・具体的に言えないが、生産者と共に共存、共栄を図って行きたい。6 次産業化ができればやりたい。(1 件)
- ・農場運営 (1 件)
- ・企業経営。集、出荷場の整備。(1 件)
- ・天然作物を目指すのか、無農薬・無菌室の工場製作の作物を目指すのか。(1 件)
- ・「法人化」した方が良いと思います。財務、労務を適格にとらえ、納税、労働環境、将来の生活にそなえができるようになってほしいと思います。農業の労働力に、事業主が参加するだけでなく、事業として農業をとらえ労働者は時間管理をしっかりしてほしい。オーバーワークな働き方で、「お金」だけの生き方はダメ。健康で、この半島に住み続ける人付き合いができれば最高です。(1 件)

9 環境共生について

問 15 環境や景観などに配慮して事業経営を行っていますか。

「はい」の割合が 52.4%と、半数以上の企業が環境や景観に配慮しています。



問 15 「1 はい」と答えた方にお聞きします。どんなことに配慮していますか。

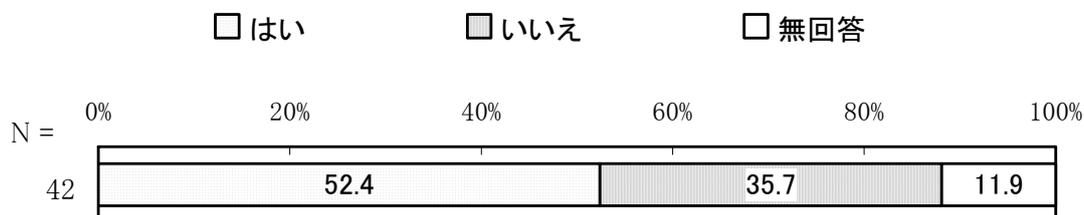
【配慮している内容】

- ・省電力照明の採用（発光ダイオード照明）。（2 件）
- ・再生可能エネルギー（太陽光発電）の導入（2 件）
- ・関係法令に基づいた適切な対応、法規を遵守する（2 件）
- ・緑地の整備（2 件）
- ・事業所に花を植えている（2 件）
- ・産業廃棄物の再利用、適切な処理（2 件）
- ・事務所周囲の草取り（2 件）
- ・生ゴミリサイクル（1 件）
- ・自然に優しい洗剤の利用（1 件）
- ・社名の看板はシンプルにしている（1 件）
- ・音、ニオイ、大気、水、油漏れの対策（1 件）
- ・ゼロエミッション事業の継続（1 件）
- ・環境を考慮し、出荷容器等は、リサイクル可能なものを使用する。（1 件）
- ・ISO14001を取得し定期的に内部審査を作っている。（1 件）
- ・地道な環境整備と絶え間ない清掃活動の徹底。（1 件）
- ・古紙を可燃ゴミに出さないようにしている。（1 件）
- ・整理整頓など景観（1 件）
- ・環境負荷の少ない自動車への買い替え。（1 件）

10 男女共同参画について

問 16 職場での性差別をなくし、仕事と家庭生活を両立できる環境づくりに取り組んでいますか。

「はい」の割合が 52.4%、「いいえ」の割合が 35.7%となっています。



問 16 「1 はい」と答えた方にお聞きします。どんなことに配慮していますか。

【仕事と家庭生活の両立のための取り組み内容】

- ・育児休職制度、短時間勤務制度の積極的活用（3件）
- ・子どもが小さい社員には必要に応じて、勤務時間の調節を行なっている。（4件）
- ・各種ハラスメント撲滅教育等のハラスメント対策（2件）
- ・男女の身体能力の差に応じた作業配分。（1件）
- ・愛知県ファミリー・フレンドリー企業登録（1件）
- ・女性も働きやすい職場環境づくり（1件）
- ・有給休暇が取得し易い職場環境に配慮（1件）
- ・残業はさせない。（1件）
- ・個人の意見を反映する（1件）
- ・どんな仕事も平等に行なっている。（1件）

問 16 「2 いいえ」と答えた方にお聞きします。取り組みを行っていない理由がありましたら、ご記入願います。

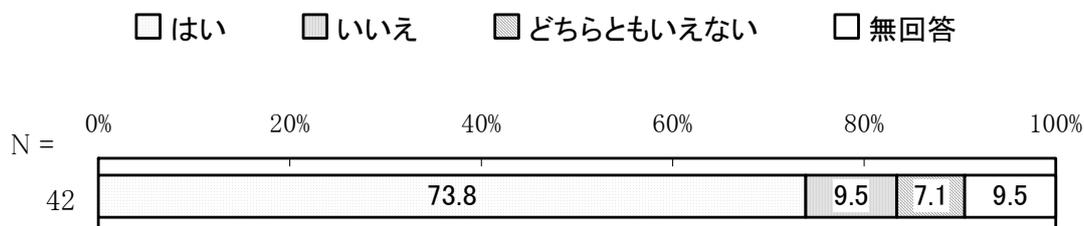
【仕事と家庭生活の両立に取り組んでいない理由】

- ・65歳以上で後を継ぐ人がない。店をしたい人に貸すことも考えています。（1件）
- ・求人していない（1件）
- ・従業員にその意識が薄い（1件）
- ・従業員数が0人のため（1件）
- ・女性の方は、やはり家庭があるのでキャリアウーマンを目指して、一般的な女性の幸せを失わないように男・女の差別を良いと思う意味で行なっているつもり。（1件）
- ・男と女はその能力に違いがあります。差別をなくすことが良いこととは限りません。やはり女性には女性としての配慮が必要です。男性と同じでは職場によっては耐えられなくなるのではないのでしょうか。（1件）

11 地域社会への貢献活動について

問 17 あなたの会社（事業所）では、何らかの地域社会への貢献活動を行っていますか。
（○はひとつ）

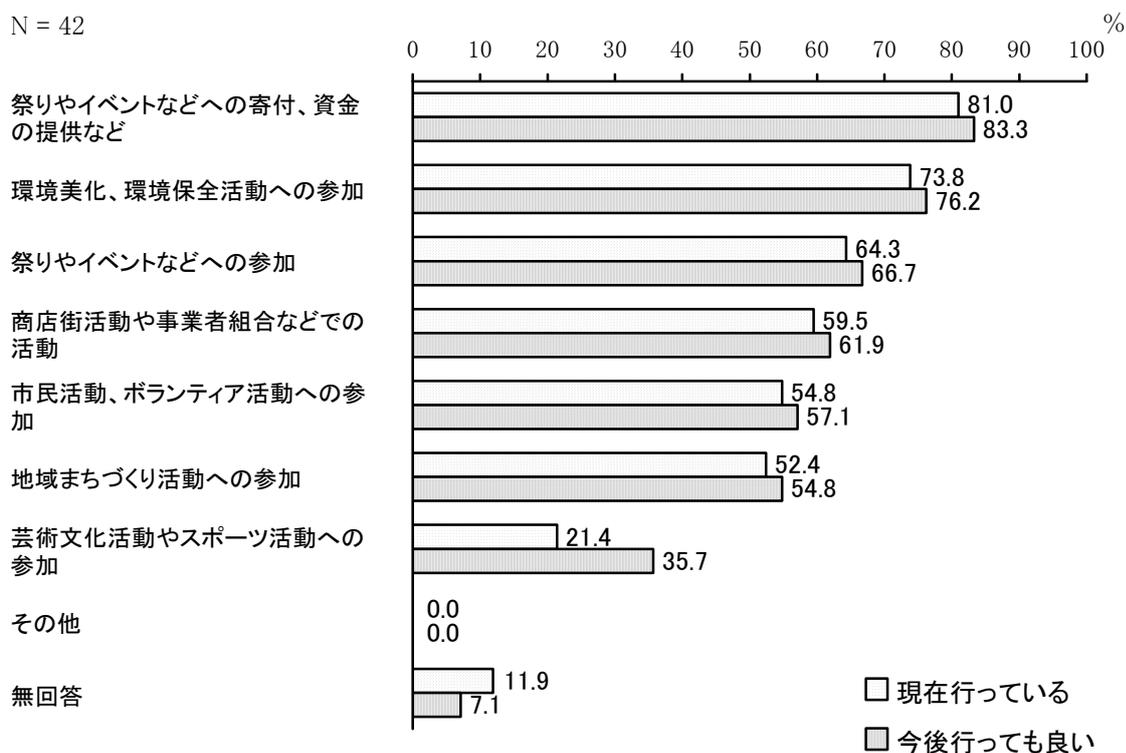
「はい」の割合が 73.8%と最も高く、地域社会への貢献活動を行っている企業が 7 割にのびります。



問 18 あなたの会社（事業所）では、どのような方法で地域社会への貢献活動を行っていますか。また、今後行っても良いとお考えですか。あてはまるものに○をつけてください。（該当する欄に○を記入）

現在行っている地域社会への貢献活動については、「祭りやイベントなどへの寄付、資金の提供など」の割合が 81.0%、「環境美化、環境保全活動への参加」の割合が 73.8%、「祭りやイベントなどへの参加」の割合が 64.3%となっています。

今後行っても良い地域社会への貢献活動については、現在行っている活動と同じ順位となっています。また、「芸術文化活動やスポーツ活動への参加」では、新規に行っても良いとする事業所の数が 6 事業所となっており、割合も 14.3 ポイント増加しています。



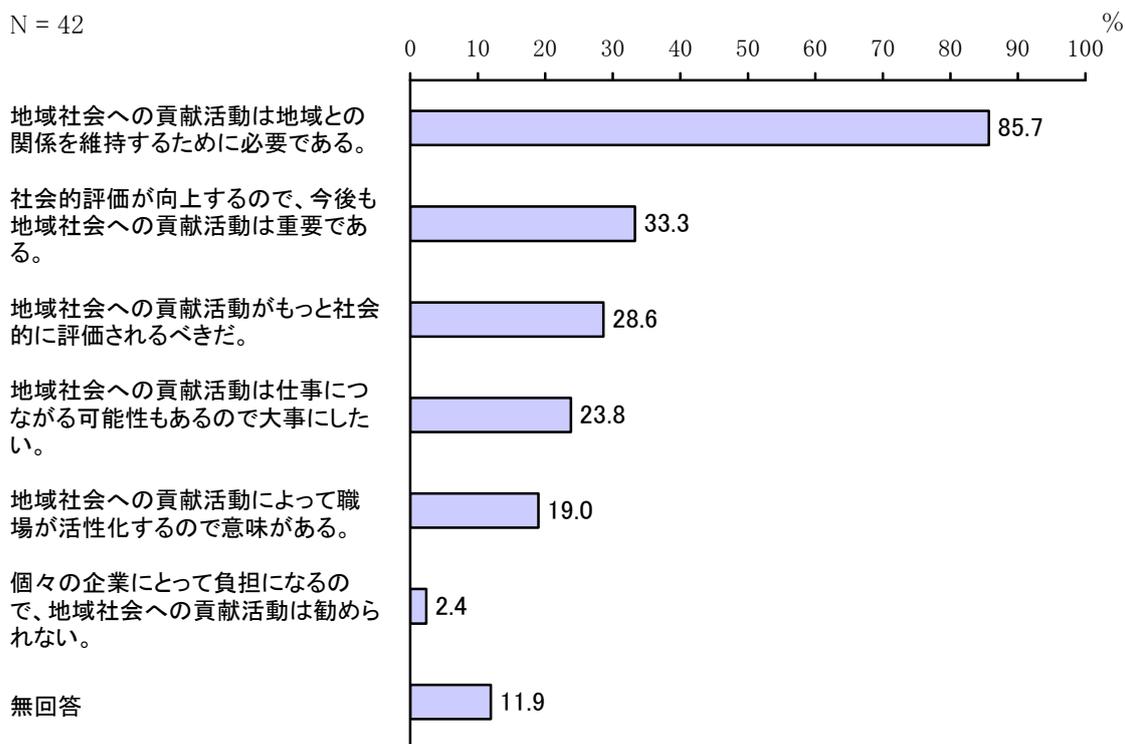
問 19 あなたの会社（事業所）が行っているユニークな地域社会への貢献活動があれば、ご紹介ください。また、地域社会への貢献活動を行う上での、市へのご要望、ご意見等があればお書きください。

- ・海外途上国への救援衣類回収活動（1件）
- ・保育園に交通安全啓発、三輪車の寄贈。（1件）
- ・愛・道路パートナーシップ事業所の登録。（1件）
- ・近隣保育園児を招いた「構内夏みかん狩り」（1件）
- ・地域の皆様方（個人や店舗）から廃油を回収。燃料として再利用している。（1件）
- ・田原市は地域社会への貢献はできているのか。（1件）
- ・個人的に行なっているが、ユニークの意味がわからない。（1件）
- ・ボランティアに予算を付けて少しでも多くの人に活動ができるよう願います。市職員から率先して行なっていただきたい。（1件）

問 20 あなたの会社（事業所）では次のような地域社会への貢献活動についての考えについて賛成できますか。（○はいくつでも）

「地域社会への貢献活動は地域との関係を維持するために必要である。」の割合が85.7%と最も高く、次いで「社会的評価が向上するので、今後も地域社会への貢献活動は重要である。」の割合が33.3%、「地域社会への貢献活動がもっと社会的に評価されるべきだ。」の割合が28.6%となっています。

一方、「個々の企業にとって負担になるので、地域社会への貢献活動は勧められない。」の割合は、2.4%と少数になっています。



12 市政に対するご意見

問 21 市が実施する施策や事業について、ご意見やご要望、ご提言などがあれば、ご自由にお書きください。

- ・旧渥美町地区における副都心（サブ拠点）の一日も早い事業計画の作成。（1件）
- ・幹線道路、交通基盤の整備。（1件）
- ・利用しない施設は撤去した方がいい。市民館以外の公民館の利用は一か月利用する日数が少ないのではと思います。（1件）
- ・施策の重要度と予算が比例しているか、検証が必要。（1件）
- ・夕陽が浜住宅を販売する意思があるなら、もっと周囲をきれいにし、値段を下げて“ヤル気”を見せてください。（1件）
- ・福江港のマリンレジャー機能整備。（1件）
- ・市内の狭い道路を救急車、消防車などが入れるように調査してください。（1件）
- ・田原駅周辺に美味しい店づくり。街なか飲食街など仕掛けてください。（1件）
- ・これからの田原市に必要なのは地元の若者が地域に住んで、自然環境の保護に参画するのが理想。まちづくりを考える基本には住環境の整備で人口の増加が必要条件だと思う。これが問題。（1件）
- ・地域住民が自主的に動き出している活動に、市としてもっと協力してほしい。まちづくり、環境保全、観光創造など動きは見えだしているので市が参加すれば活動として次のステージへ上がることができる事例がいっぱいある。それができてこそその協働だし、行政が市民にあれやこれやをやってほしいといっているのは、ボランティアのおしつけになる。（1件）
- ・市行政と市民・各種団体が一体となっていない。もっと一体化して事業が推進できる道をさぐるべき。（1件）
- ・利益が出れば社会貢献もできるが、利益の出るような状態ではないので、最低限の協力はさせてもらっているが、なかなか難しい。（1件）
- ・菜の花の種をいただいた時には、会社の花壇に植えました。また綺麗な花の種がありましたら、配布していただきたいと思います。（1件）
- ・このアンケートが無駄とは言わないが、どの位の経費が掛って、有効かどうかの検証も必要。（1件）

Ⅲ 市内事業者アンケート調査

■Ⅳ 市内農業者アンケート調査

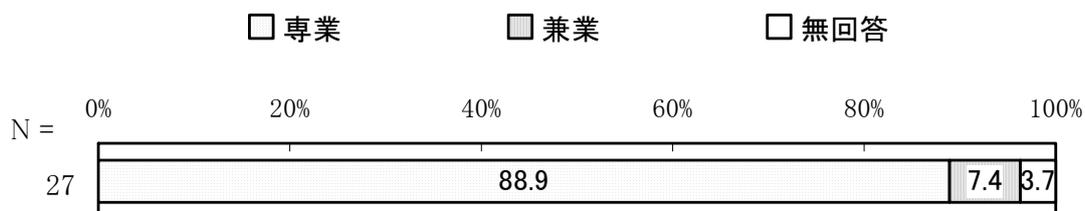
IV 市内農業者アンケート調査

1 事業について

問1 あなたの事業についてお聞きします。(〇はひとつ)

① 専業・兼業の別

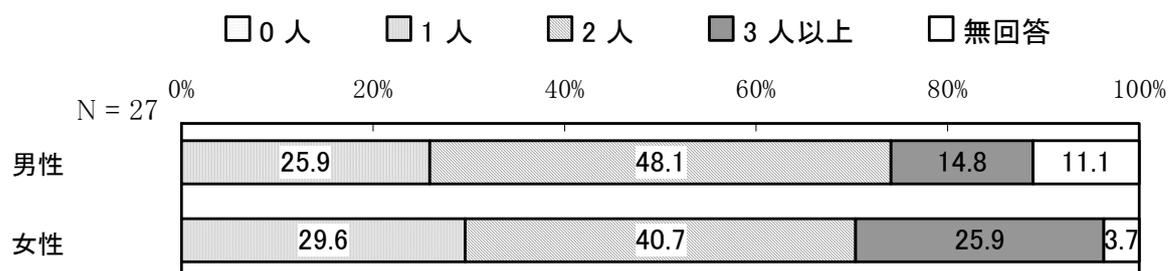
「専業」の割合が88.9%、「兼業」の割合が7.4%となっています。



② 農業に従事している人数

【常時農業に従事している】

男性、女性ともに「2人」が最も多く、4割台となっています。



【臨時に農業に従事している】

男性については、2人が「0人」と回答しています。

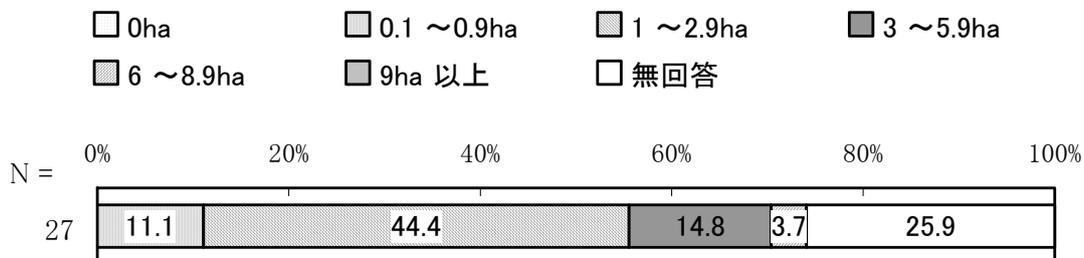
女性については、6人が「0人」と回答し、2人が「1人」と回答しています。

IV 市内農業者アンケート調査

③ おおよその耕地面積 (1ha=10,000 m²)

【耕地面積】

「1～2.9ha」の割合が44.4%と最も高く、次いで「3～5.9ha」の割合が14.8%、「0.1～0.9ha」の割合が11.1%となっています。



【不耕作地】

「0ha」と回答した人が3人、「0.2ha」「0.3ha」と回答した人が1人ずつ、「1ha」と回答した人が1人でした。

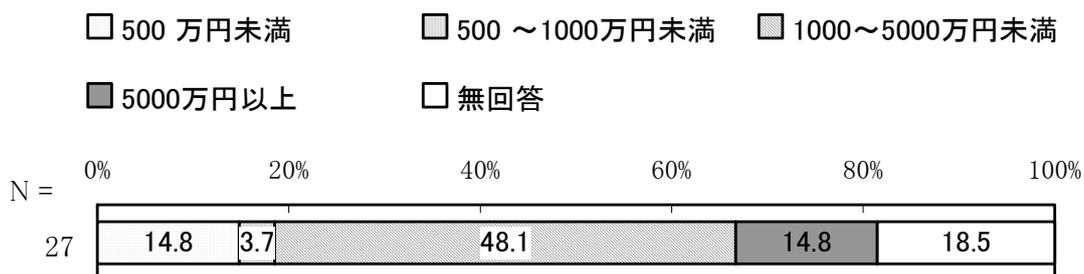
④ 主な農産物

「キャベツ」が7件と最も多く、次いで「花」が6件、トマト、メロンが5件となっています。

NO	農産物	件数	NO	農産物	件数
1	キャベツ	7	8	菊	2
2	花	6	9	牛乳	2
3	トマト	5	10	肉牛	2
4	メロン	5	11	米	2
5	輪菊	3	12	その他	4
6	スイカ	2	13	総計	42
7	トウモロコシ	2			

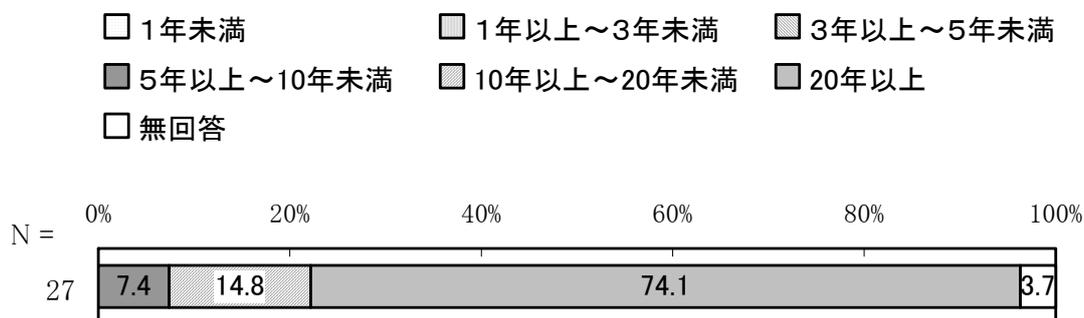
⑤ おおよその農業所得

「1000～5000万円未満」の割合が48.1%と最も高く、次いで「500万円未満」「5000万円以上」の割合が14.8%となっています。なお、平均は3670万円となっています。



⑥ 田原市での就農年数（○は1つ）

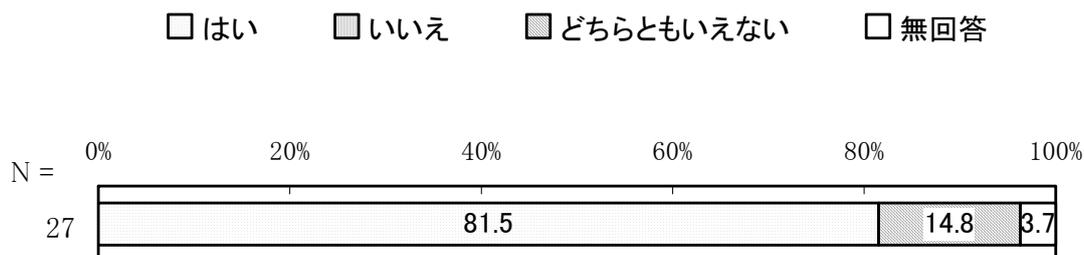
「20年以上」の割合が74.1%を占めています。



2 田原市の農業全般について

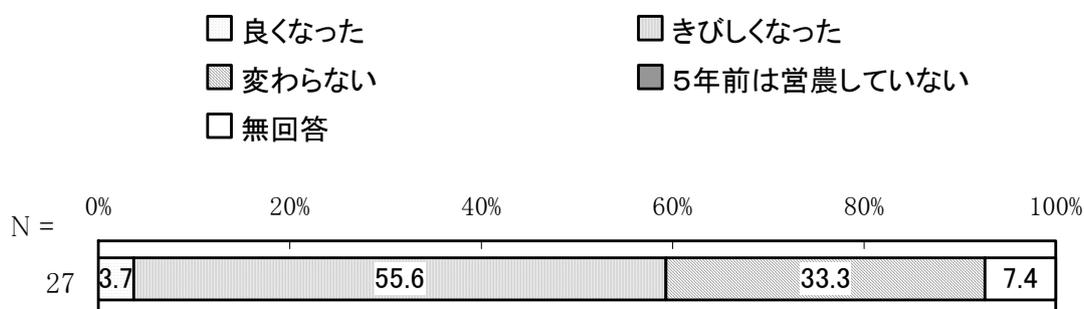
問2 田原市は、農業がしやすいまちだと思いますか。（○はひとつ）

「はい」の割合が81.5%となっています。また、「いいえ」と回答した人はいませんでした。



問3 田原市で農業を行う環境は、5年前と比べて全体的にどうなったとお考えですか。（○はひとつ）

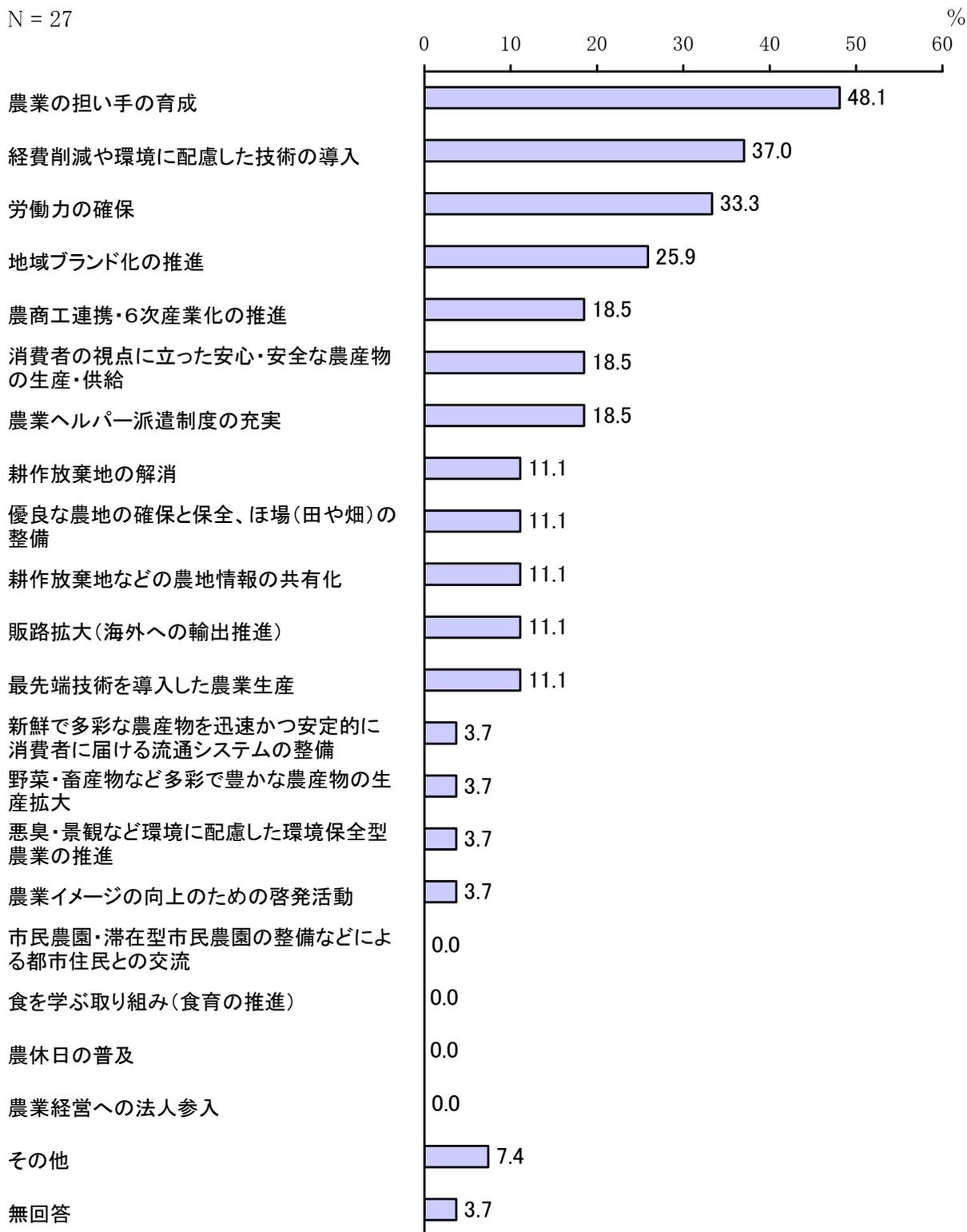
「良くなった」の割合が3.7%にとどまる一方、「きびしくなった」の割合が55.6%と半数以上を占めています。また、「変わらない」の割合が33.3%となっています。



IV 市内農業者アンケート調査

問4 あなたは、農業産出額日本一である田原市が、今後さらに農業を発展させるためには何が重要だと思いますか。(〇は3つまで)

「農業の担い手の育成」の割合が48.1%と最も高く、約半数となっています。次いで「経費削減や環境に配慮した技術の導入」の割合が37.0%、「労働力の確保」の割合が33.3%となっています。



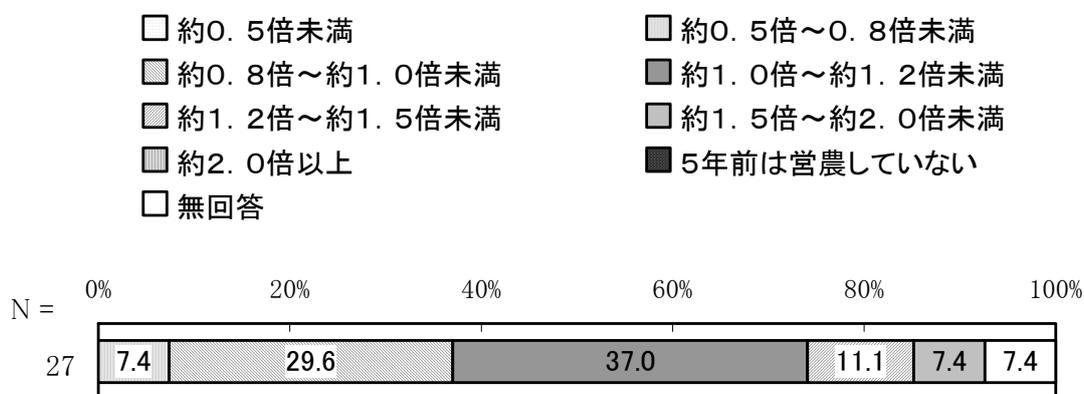
3 あなたの農業経営について

問5 あなたの5年前の売上高を1.0とした場合、それに対する直近の売上高の割合はどのくらいですか。(〇はひとつ)

「約1.0倍～約1.2倍未満」の割合が37.0%と最も高く、次いで「約0.8倍～約1.0倍未満」の割合が29.6%、「約1.2倍～約1.5倍未満」の割合が11.1%となっています。

「約0.5倍未満」「約0.5倍～0.8倍未満」「約0.8倍～約1.0倍未満」をあわせた“1倍未満”の割合は37.0%、「約1.0倍～約1.2倍未満」「約1.2倍～約1.5倍未満」「約1.5倍～約2.0倍未満」「約2.0倍以上」をあわせた“1倍以上”の割合は55.5%となっています。

平均は、1.082倍と、5年前よりもわずかに増加しています。



※平均は、下記により算出しています。

約0.5倍未満	0.50倍
約0.5倍～約0.8倍未満	0.65倍
約0.8倍～約1.0倍未満	0.90倍
約1.0倍～約1.2倍未満	1.10倍
約1.2倍～約1.5倍未満	1.35倍
約1.5倍～2倍未満	1.75倍
約2.0倍以上	2.00倍

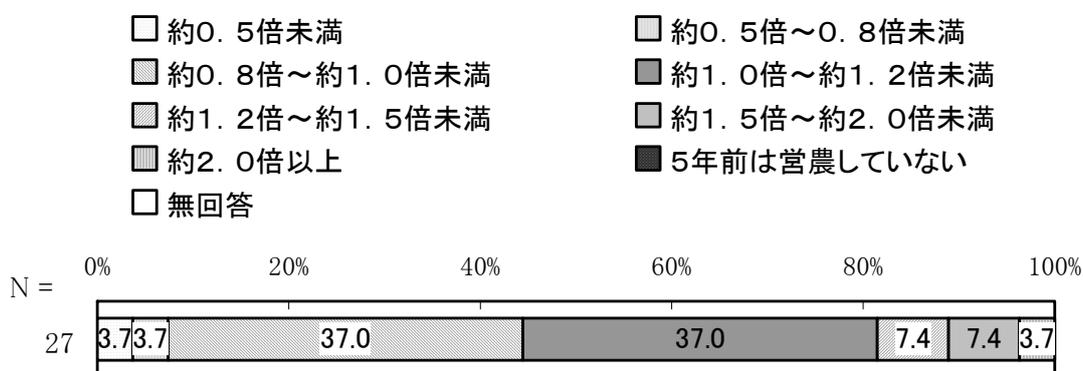
IV 市内農業者アンケート調査

問6 あなたの5年前の所得を1.0とした場合、それに対する直近の所得の割合はどのくらいですか。(〇はひとつ)

「約0.8倍～約1.0倍未満」「約1.0倍～約1.2倍未満」の割合が37.0%となっています。

「約0.5倍未満」「約0.5倍～0.8倍未満」「約0.8倍～約1.0倍未満」をあわせた“1倍未満”の割合は44.4%、「約1.0倍～約1.2倍未満」「約1.2倍～約1.5倍未満」「約1.5倍～約2.0倍未満」「約2.0倍以上」をあわせた“1倍以上”の割合は55.5%となっています。

平均は、1.087倍と、5年前よりもわずかに増加しています。



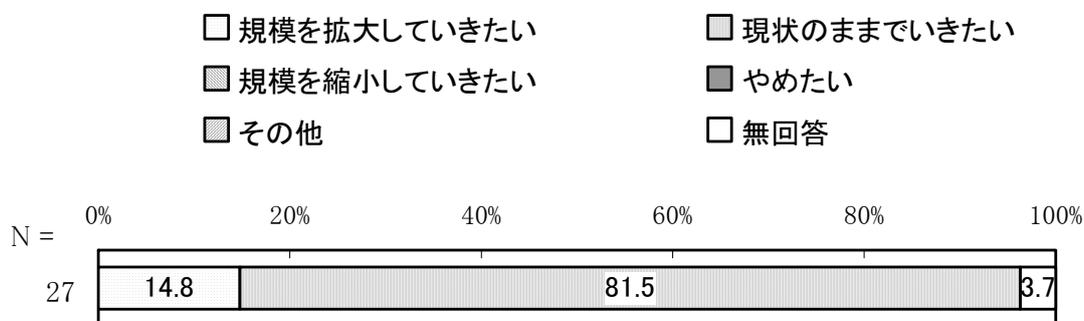
※平均は、下記により算出しています。

約0.5倍未満	0.50倍
約0.5倍～約0.8倍未満	0.65倍
約0.8倍～約1.0倍未満	0.90倍
約1.0倍～約1.2倍未満	1.10倍
約1.2倍～約1.5倍未満	1.35倍
約1.5倍～2倍未満	1.75倍
約2.0倍以上	2.00倍

問7 あなたは、これから農業経営をどのようにしていきたいとお考えですか。
(○はひとつ)

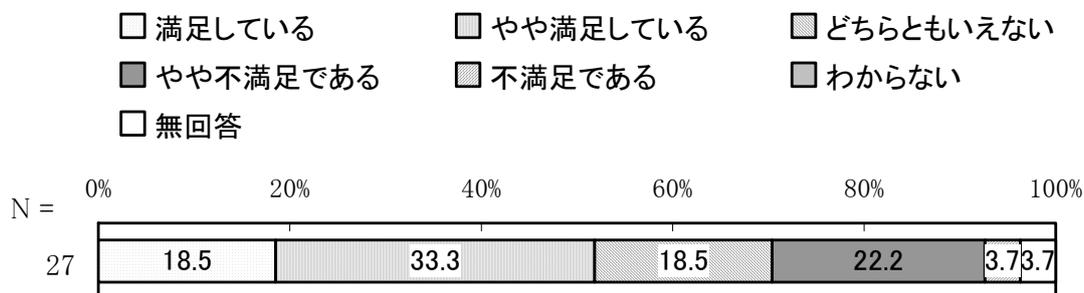
「現状のままでいきたい」の割合が81.5%と大半を占めています。また、「規模を拡大していきたい」の割合は14.8%となっています。

なお、「規模を縮小していきたい」「やめたい」と回答した人はいませんでした。



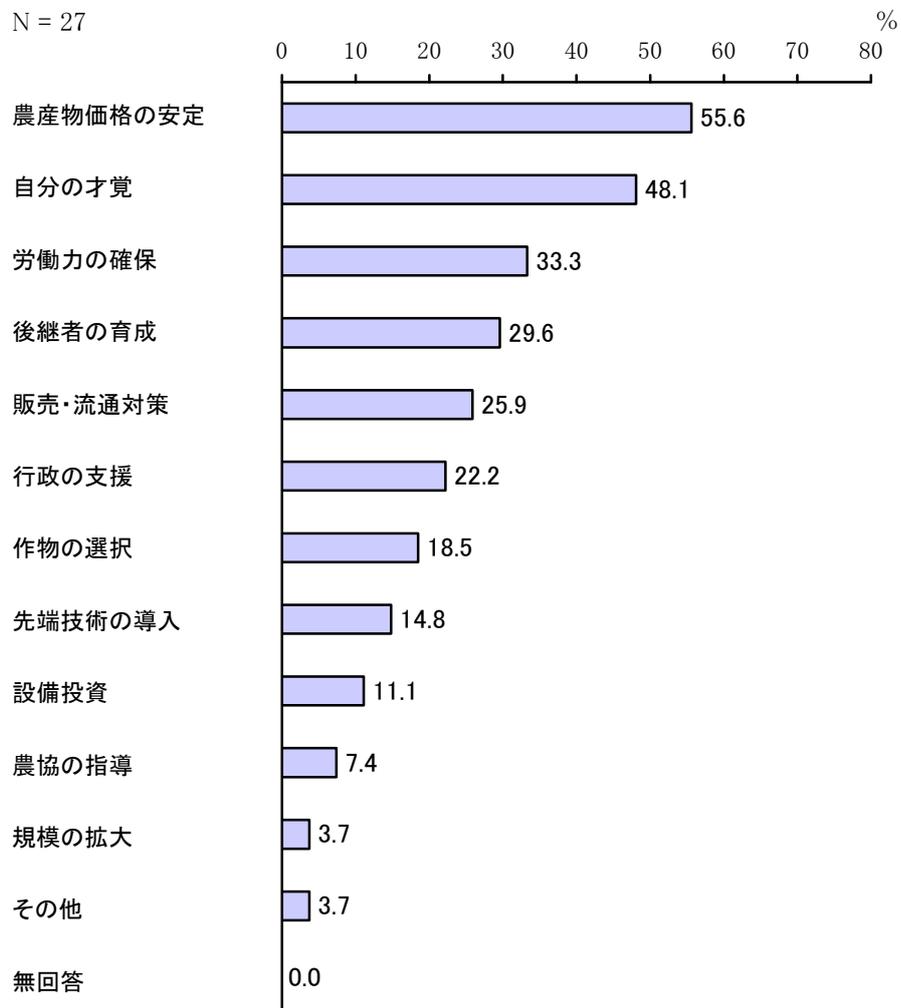
問8 あなたは、自分の農業経営に満足していますか。(○はひとつ)

「満足している」と「やや満足している」をあわせた“満足している”の割合が51.8%、「やや不満足である」と「不満足である」をあわせた“不満足である”の割合が25.9%となっており、“満足している”が“不満足である”を大きく上回っています。



問9 あなた自身の農業経営で、重要と考えられることはどれですか。(〇は3つまで)

「農産物価格の安定」の割合が55.6%と最も高く、次いで「自分の才覚」の割合が48.1%、「労働力の確保」の割合が33.3%となっています。



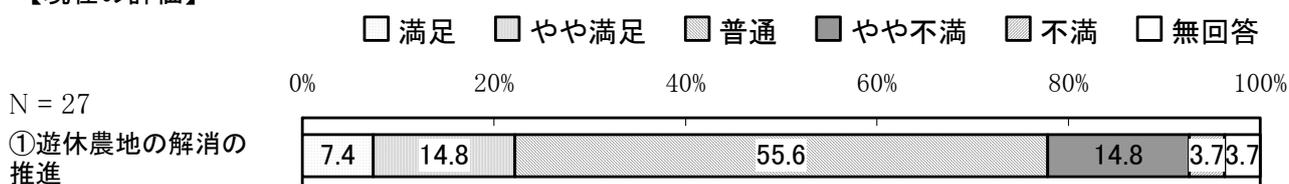
4 農地の保全・活用について

問10 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。
(各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○をひとつずつ付ける)

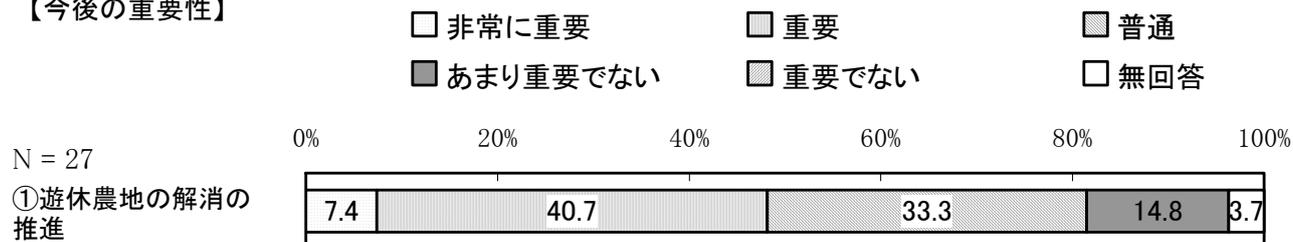
①遊休農地の解消の推進の現在の評価については、「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が22.2%、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が18.5%となっています。

今後の重要性については、「非常に重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が48.1%、「あまり重要でない」と「重要でない」をあわせた“重要でない”の割合が14.8%となっており、“重要”が“重要でない”を大きく上回っています。

【現在の評価】

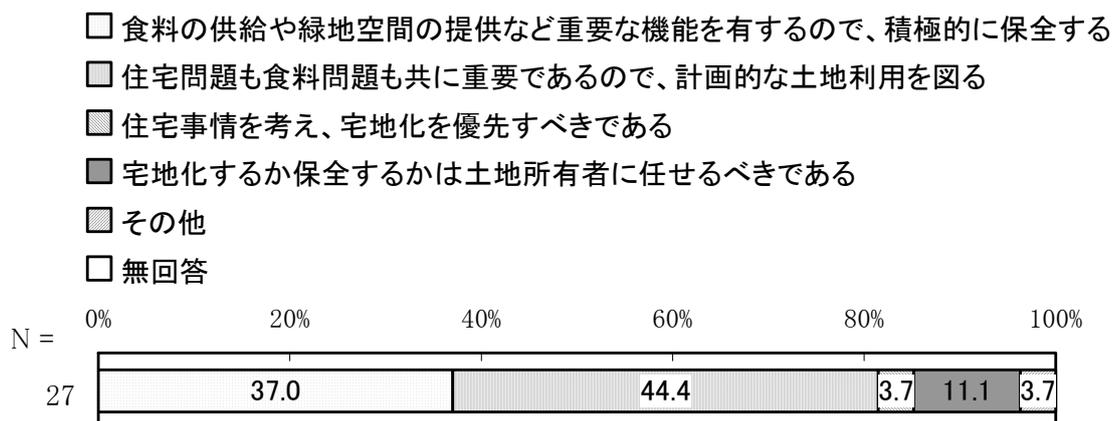


【今後の重要性】



問11 あなたは、農地の保全・活用についてどうお考えですか。あなたの考えに一番近いものを次の中から選んでください。(○はひとつ)

「住宅問題も食料問題も共に重要であるので、計画的な土地利用を図る」の割合が44.4%と最も高く、次いで「食料の供給や緑地空間の提供など重要な機能を有するので、積極的に保全する」の割合が37.0%、「宅地化するか保全するかは土地所有者に任せるべきである」の割合が11.1%となっています。



IV 市内農業者アンケート調査

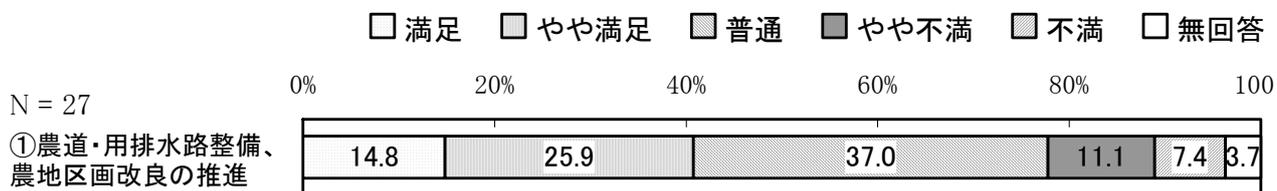
5 農業基盤の整備について

問 12 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。
 (各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○をひとつずつ付ける)

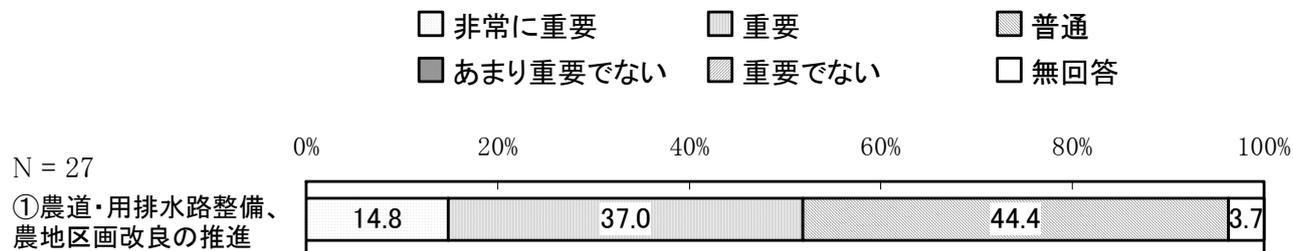
①農道・用排水路整備、農地区画改良の推進の現在の評価については、「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が40.7%、「普通」の割合が37.0%、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が18.5%となっています。

今後の重要性については、「非常に重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が51.8%、「普通」の割合が44.4%となっています。「あまり重要でない」「重要でない」と回答した人はいませんでした。

【現在の評価】



【今後の重要性】



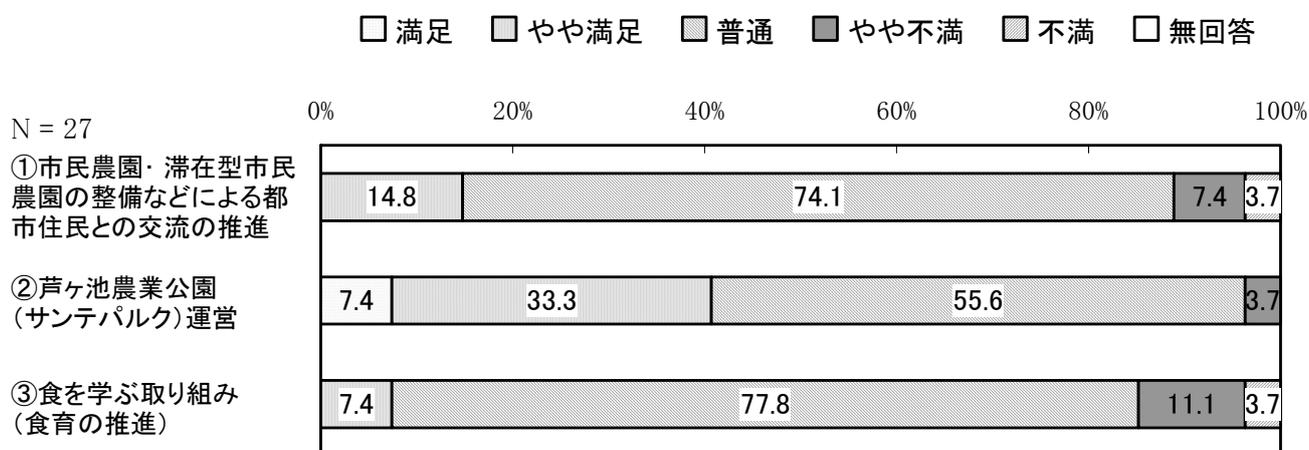
6 交流・食育の推進について

問 13 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。
(各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○をひとつずつ付ける)

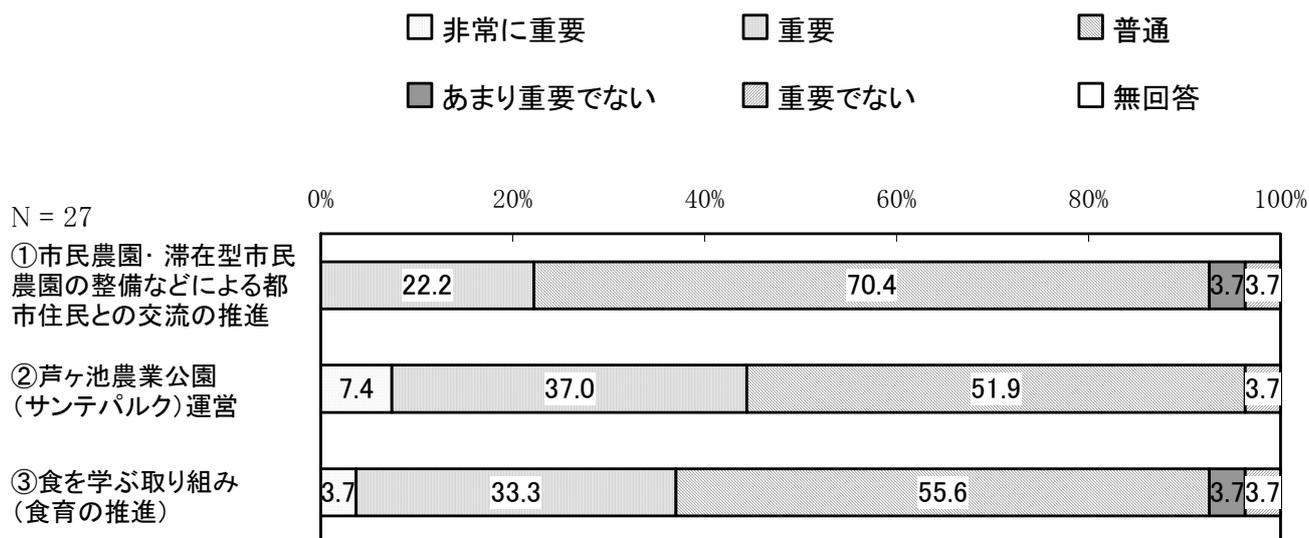
現在の評価については、②芦ヶ池農業公園（サンテパーク）運営で「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が高く、約4割となっています。

今後の重要性については、②芦ヶ池農業公園（サンテパーク）運営で「非常に重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が高く、4割を超えています。一方、①市民農園・滞在型市民農園の整備などによる都市住民との交流の推進では“重要”の割合が約2割にとどまっています。

【現在の評価】



【今後の重要性】



IV 市内農業者アンケート調査

7 農業経営の活性化について

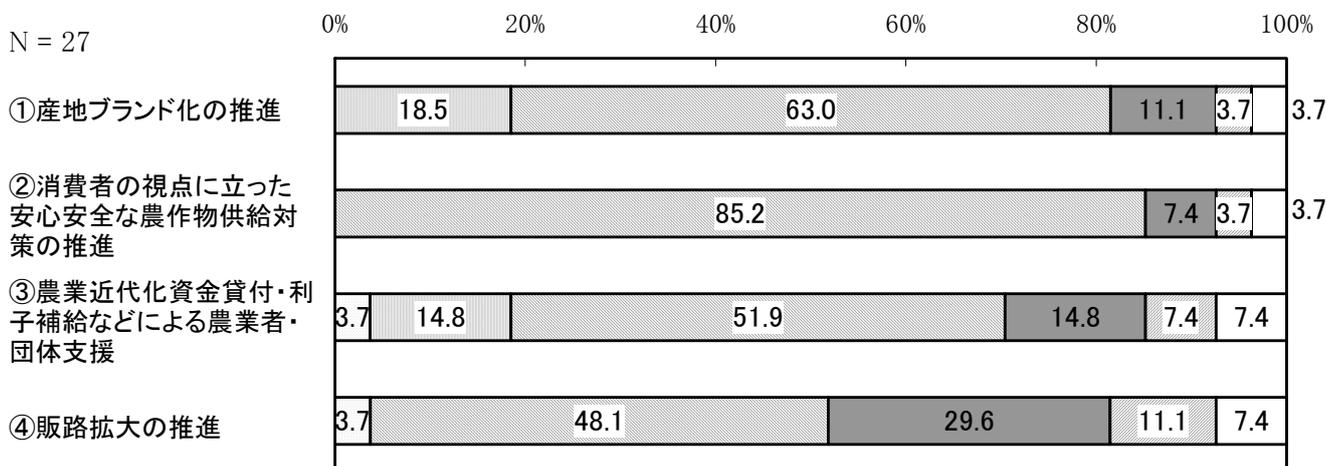
問 14 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。
 (各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○をひとつずつ付ける)

現在の評価については、すべての項目で「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が低く、2割未満となっています。特に、④販路拡大の推進では「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が高く、約4割となっています。

今後の重要性については、すべての項目で「非常に重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が高く、6割を超えています。

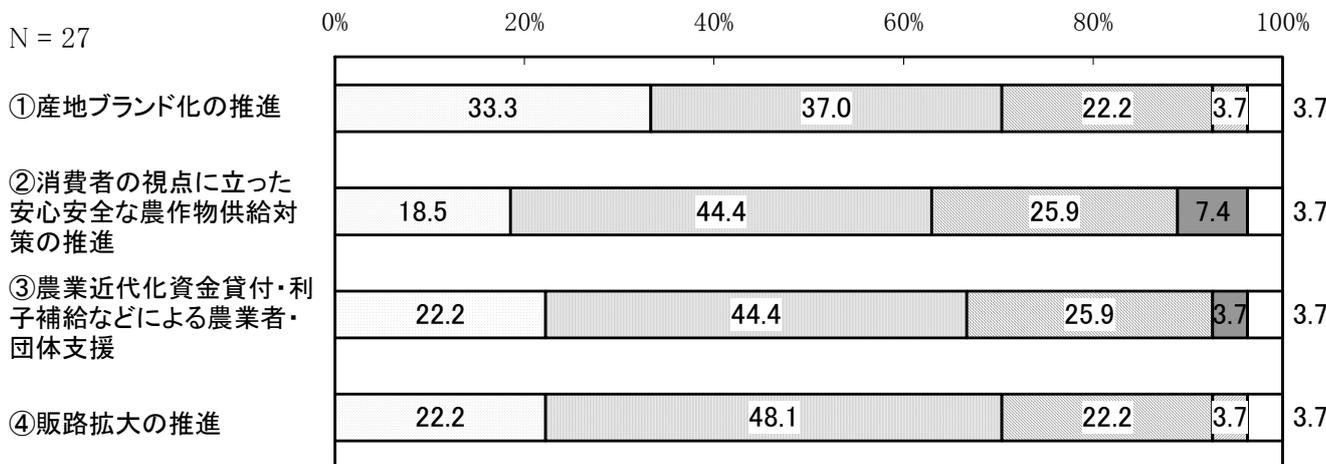
【現在の評価】

□ 満足 □ やや満足 □ 普通
 ■ やや不満 □ 不満 □ 無回答



【今後の重要性】

□ 非常に重要 □ 重要 □ 普通
 ■ あまり重要でない □ 重要でない □ 無回答



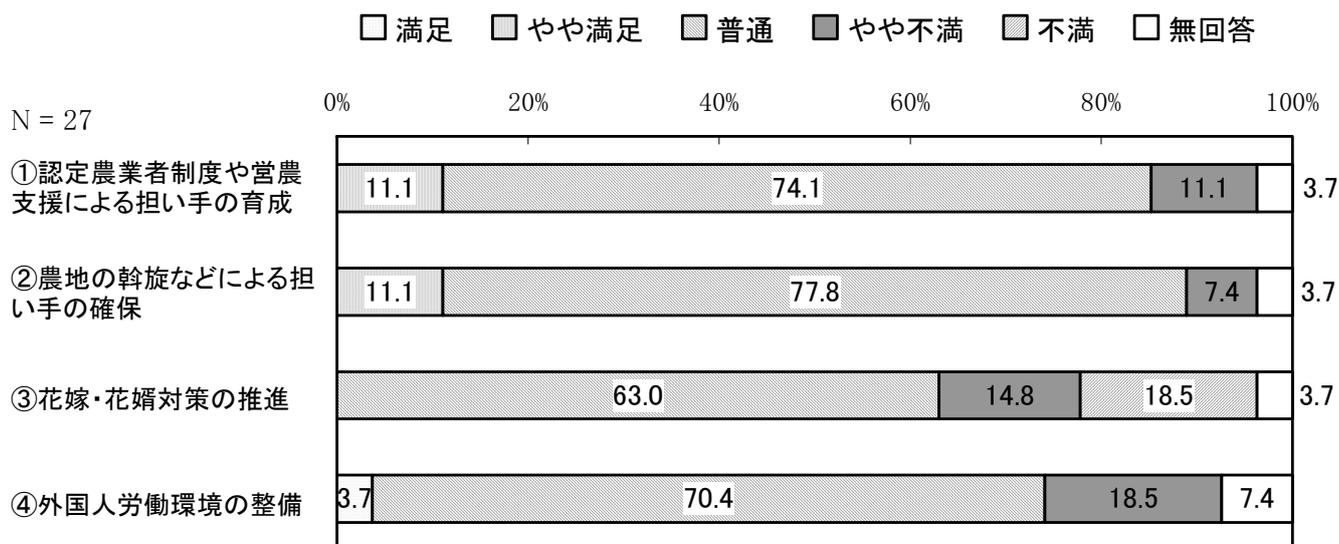
8 担い手づくりの推進について

問 15 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。
(各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○をひとつずつ付ける)

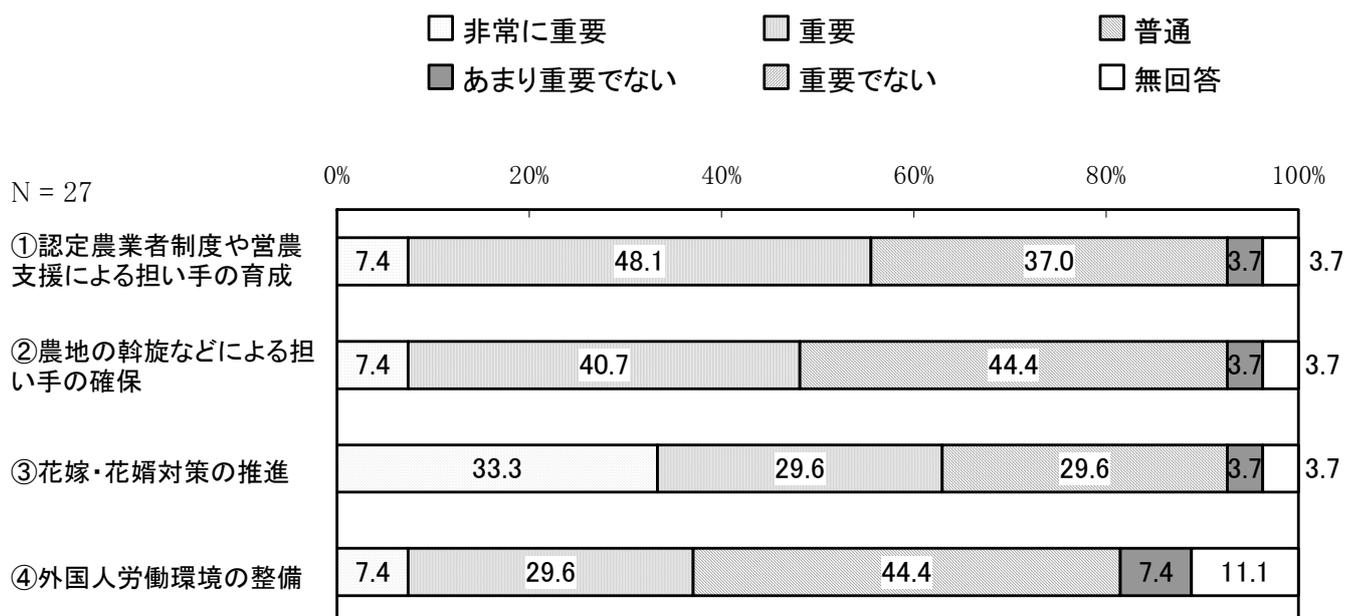
現在の評価については、③花嫁・花婿対策の推進で「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が低く、3割を超えています。

今後の重要性については、③花嫁・花婿対策の推進で「非常に重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が高く、6割を超えています。

【現在の評価】

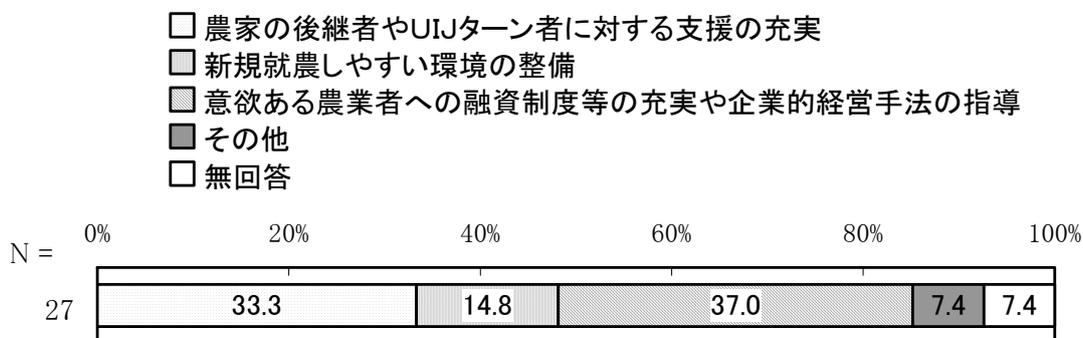


【今後の重要性】



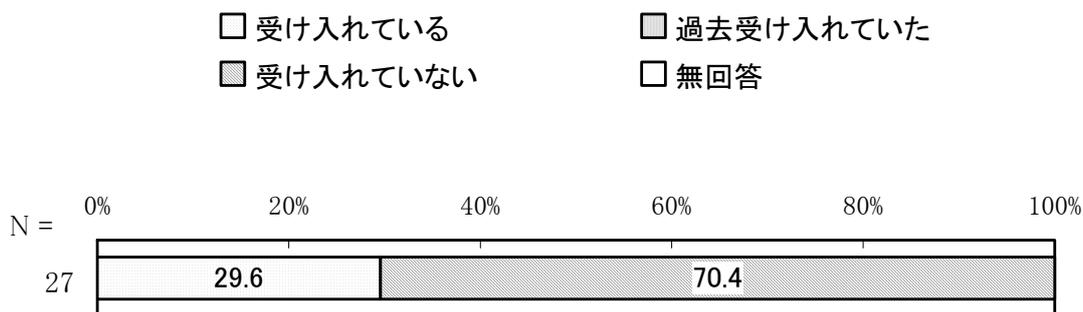
問 16 農業の担い手を確保・育成するために何が重要だとお考えですか。(〇はひとつ)

「意欲ある農業者への融資制度等の充実や企業の経営手法の指導」の割合が 37.0%と最も高く、次いで「農家の後継者やU I J ターン者に対する支援の充実」の割合が 33.3%、「新規就農しやすい環境の整備」の割合が 14.8%となっています。



問 17 外国人研修生を受け入れていますか。(〇はひとつ)

「受け入れている」の割合が 29.6%、「受け入っていない」の割合が 70.4%となっています。



問 17 「1 受け入れている」、「2 過去受け入れていた」と答えた方にお聞きします。受入れて良かったこと、困ったことなどがあればお聞かせください。

【良かったこと】

- ・安定した労働力の確保ができる。(1件)
- ・賃金として日本人の雇用とそれほど差がない。(1件)
- ・営農拡大につながった(1件)
- ・指導の仕方にもよると思うが、うちでは何の不満もなく良くやってくれている。(1件)

【困ったこと】

- ・労働力として助かっているが、ルールが守られていない(社会)(1件)
- ・人間関係が難しい。(1件)
- ・研修なのに、国は労働と考え、日本の労働者と同じにあつかう。もっとうまく研修と考え、年金、国保などわずらわしい制度など知らない。(1件)

9 環境保全型農業の推進について

問 18 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。
(各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○をひとつずつ付ける)

現在の評価については、どちらの項目も「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が高く、①適切な糞尿処理と堆肥の供給が円滑に行われる体制の確立では約4割となっています。

今後の重要性については、どちらの項目も「非常に重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が高く、7割を超えています。

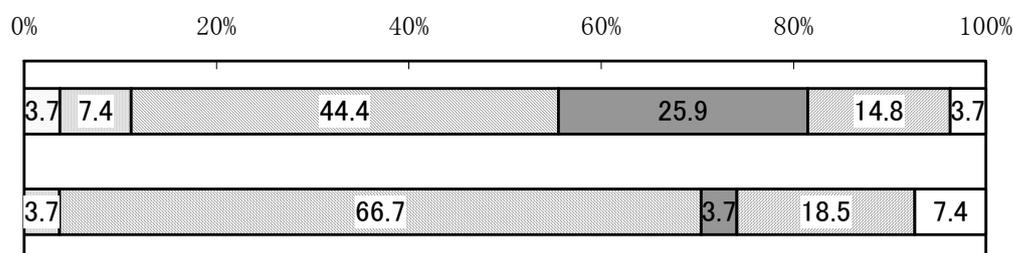
【現在の評価】

□ 満足 □ やや満足 □ 普通 □ やや不満 □ 不満 □ 無回答

N = 27

①適切な糞尿処理と堆肥の供給が円滑に行われる体制の確立

②環境問題に配慮した農業の推進



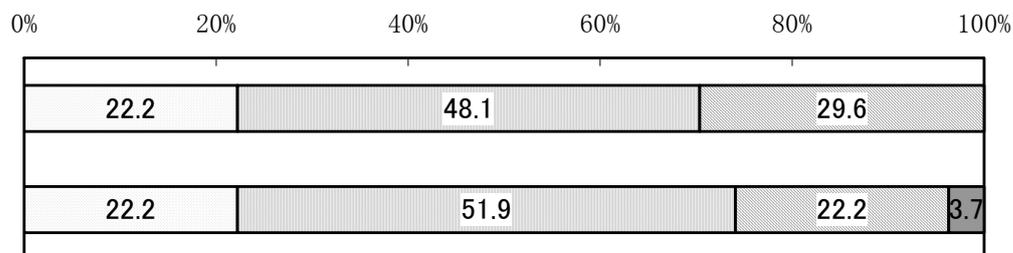
【今後の重要性】

□ 非常に重要 □ 重要 □ 普通
 □ あまり重要でない □ 重要でない □ 無回答

N = 27

①適切な糞尿処理と堆肥の供給が円滑に行われる体制の確立

②環境問題に配慮した農業の推進

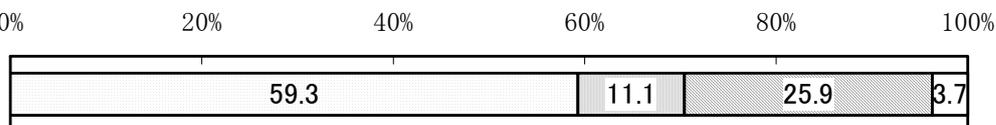


問 19 あなたは悪臭・景観などに配慮して農業経営を行っていますか。

「はい」の割合が59.3%、「いいえ」の割合が11.1%となっています。

□ はい □ いいえ □ どちらともいえない □ 無回答

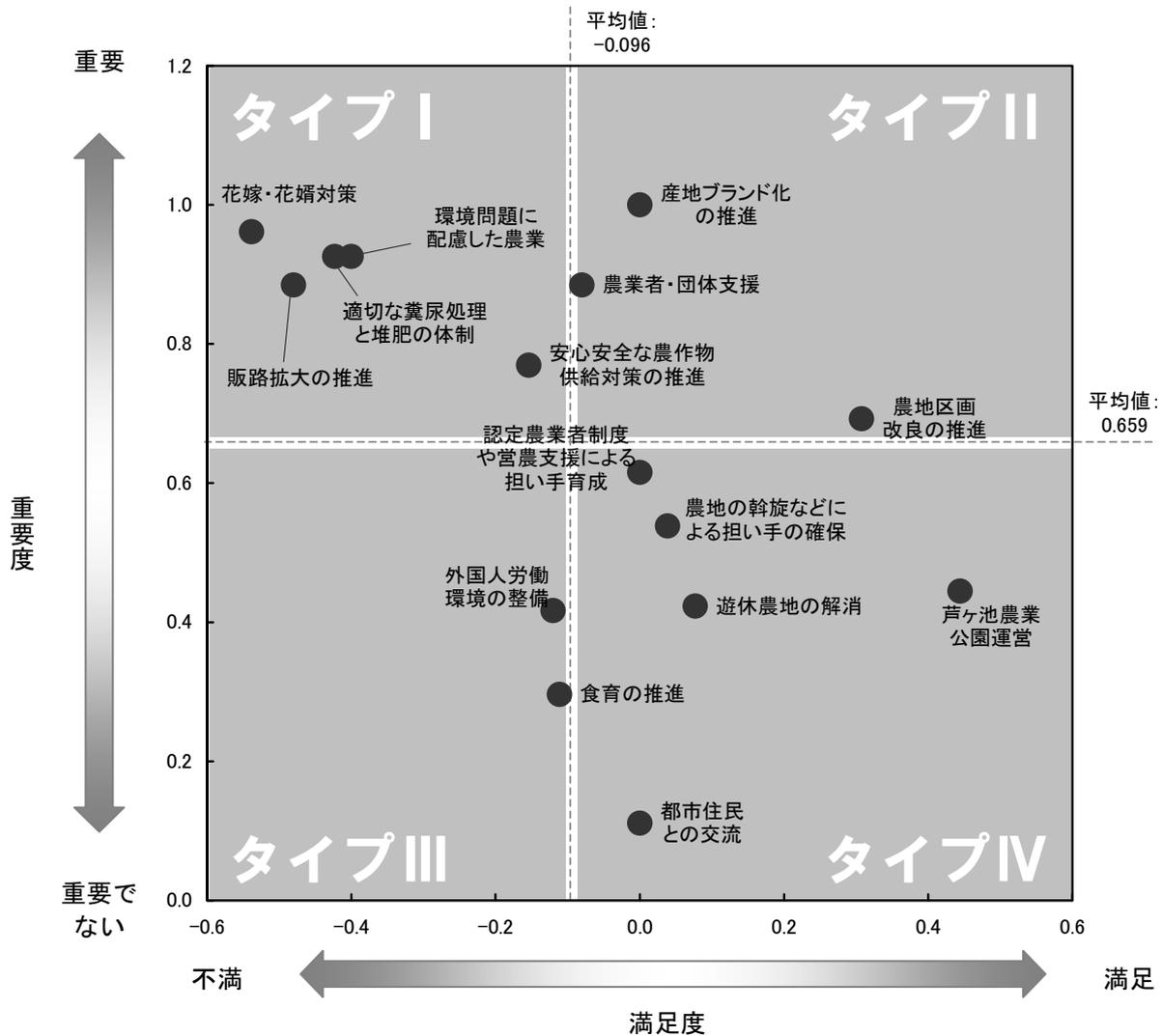
N = 27



IV 市内農業者アンケート調査

10 市の政策の満足度と重要度によるポートフォリオ分析

ポートフォリオによる市の政策の評価については、花嫁・花婿対策の推進、販路拡大の推進、適切な糞尿処理と堆肥の供給が円滑に行なわれる体制の確立、環境問題に配慮した農業の推進で、満足度が低いと同時に重要度が高いことから、事業の改善が求められます。



区分	満足度	重要度
遊休農地の解消の推進	0.08	0.42
農道・用排水路整備、農地区画改良の推進	0.31	0.69
市民農園・滞在型市民農園の整備などによる都市住民との交流の推進	0.00	0.11
芦ヶ池農業公園（サンテパルク）運営	0.44	0.44
食を学ぶ取り組み（食育の推進）	-0.11	0.30
産地ブランド化の推進	0.00	1.00
消費者の視点に立った安心安全な農作物供給対策の推進	-0.15	0.77
農業近代化資金貸付・利子補給などによる農業者・団体支援	-0.08	0.88
販路拡大の推進	-0.48	0.88
認定農業者制度や営農支援による担い手の育成	0.00	0.62
農地の斡旋などによる担い手の確保	0.04	0.54
花嫁・花婿対策の推進	-0.54	0.96
外国人労働環境の整備	-0.12	0.42
適切な糞尿処理と堆肥の供給が円滑に行われる体制の確立	-0.42	0.93
環境問題に配慮した農業の推進	-0.40	0.93

○左図から分析判断できる最優先課題

消費者の視点に立った安心安全な農作物供給対策の推進
販路拡大の推進
花嫁・花婿対策の推進
適切な糞尿処理と堆肥の供給が円滑に行われる体制の確立
環境問題に配慮した農業の推進

11 自由意見

問 20 今後田原市の農業はどうあるべきか。また、普段お考えになっていること、何でも結構ですので、ご意見やご提言などがあれば、ご自由にお書きください。

- ・ 農業の生産コストは、現在の円安など本人の努力ではどうしようもないところで、どんどん上がり続けています。行政の支援などを、もっと充実してもらう必要があると思います。(1件)
- ・ 村松地内の新堀川に魚が住めるようにしてほしい。(1件)
- ・ 行政は融資や補助金と言っているが、農家のほとんどが「2割補助」とか「半分補助」とか無金利とか言われると、ただの気になって飛びつくような気がします。ただではなく、元金は10年なり20年は毎年返済していかなくてはならないと言うことを、前もって言うべきであると思います。自分の身のたけに合った借入れを考えるように指導してほしいです。そうしなければ借金地獄になるような気がします。(1件)
- ・ 農薬の飛散防止のために何らかの罰則を設けるべきです。またアスベスト含有のスレート等の産廃についても処理を強制すべきです。田舎は空気がきれいというイメージがありますが、農家の出す有害物質はとて多く子どもを安心して育てられる環境とは言えません。＝後継者不足の原因です。(1件)
- ・ 後継者が希望を持てる生活・経営環境の整備充実化をお願いしたい。(1件)
- ・ 農業は田原市において1番重要な産業です。アンケート調査だけでなく市の職員がもっともっと田、畑に来て農家の人と話しをしてください。今後の田原市の農業が見えてくると思います。(1件)
- ・ 田原市においても農家戸数の減少がここ数年で進み個人経営の所は、3割～4割が消える。企業経営の所と人手のある、個人経営農家だけが残る。残った個人経営は今の規模維持又は1.5倍～2倍の規模を目指す。市全体の生産高はあまり変わらない。(1件)
- ・ 普通の農家を法人化(株式会社)していくよう誘導し、異業種から参入した企業等が失敗し、撤退したあとの事業を受け継ぐ、受け皿になるよう育てていく。(1件)
- ・ 農地を購入した時、減価償却費として計上できるような税制を望む。(1件)
- ・ 農業とはちがいますが県道国道の花壇の草、観光客の人たちが見てもすごく気分が悪くなるほどにのびています。どうかかしてほしいです。(1件)

■ V 市内漁業者アンケート調査

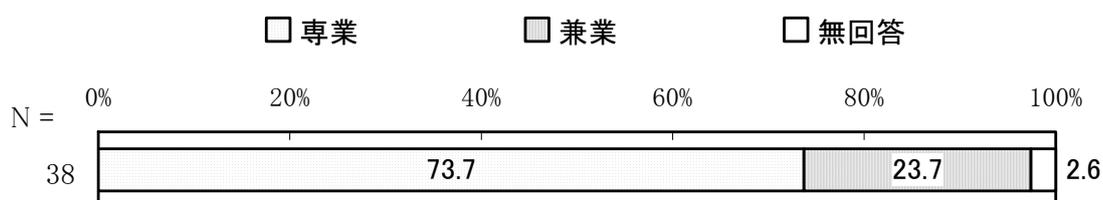
V 市内漁業者アンケート調査

1 事業について

問1 あなたの会社（事業）についてお答えください。

① 専業・兼業の別（○はひとつ）

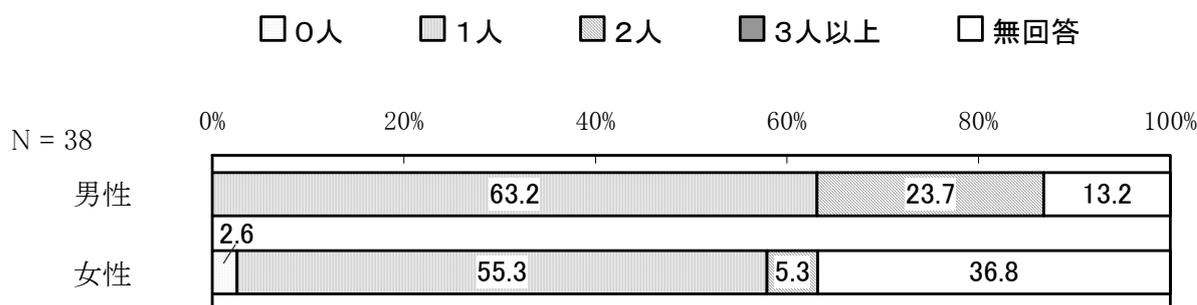
「専業」の割合が73.7%、「兼業」の割合が23.7%となっています。



② 漁業に従事している人数

男性については、「1人」の割合が63.2%、「2人」の割合が23.7%となっています。
女性については、「1人」の割合が55.3%と最も高くなっています。

【常時漁業に従事している人】



【臨時に漁業に従事する人】

男性については、「0人」「1人」の回答がそれぞれ3件となっています。
女性については、「0人」が3件、「1人」が4件、「2人」が1件となっています。

③ 主な漁獲物

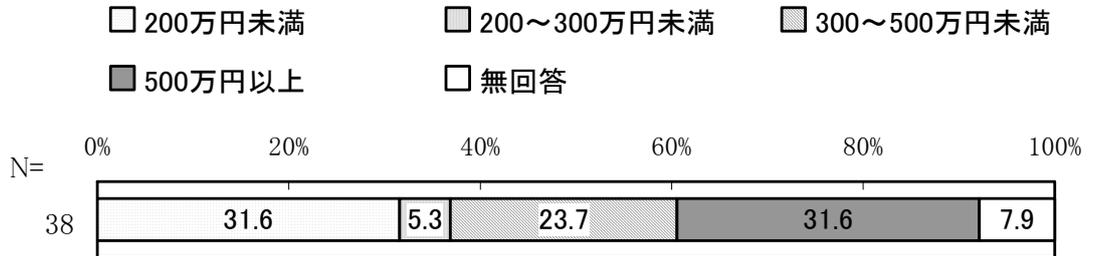
「アサリ」が27件と最も多く、次いで「貝」、「魚」が6件となっています。

NO	農産物	件数	NO	農産物	件数
1	アサリ	27	6	大あさり	1
2	貝	6	7	かに	1
3	魚	6	8	たこ	1
4	海苔	4	9	なまこ	1
5	クロダイ	2			

④ おおよその漁業所得

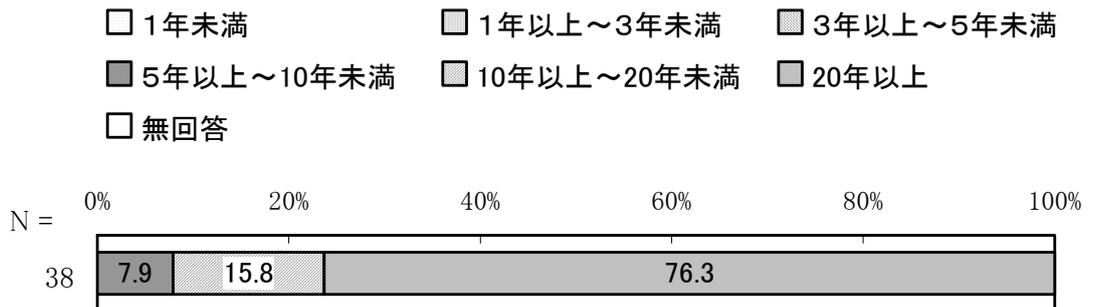
「200万円未満」「500万円以上」の割合が31.6%と最も高く、次いで「300～500万円未満」の割合が23.7%となっています。

平均漁業所得は、533.2万円となっています。



⑤ 田原市での就漁年数（〇はひとつ）

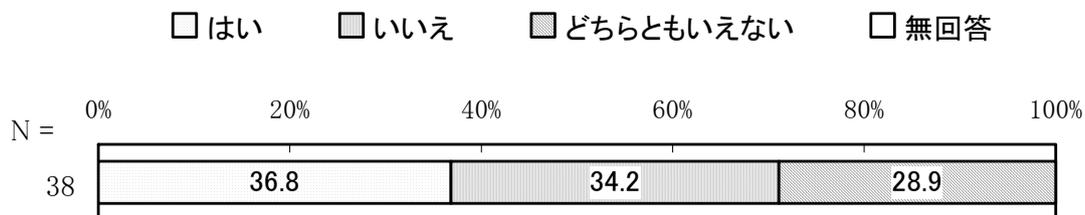
「20年以上」の割合が76.3%と最も高く、次いで「10年以上～20年未満」の割合が15.8%となっています。



2 田原市の漁業全般について

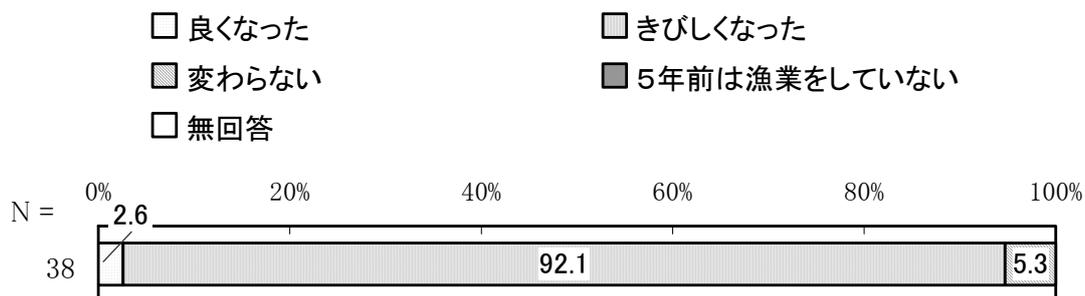
問2 田原市は、漁業がしやすいまちだと思いますか。(〇はひとつ)

「はい」の割合が36.8%と最も高く、次いで「いいえ」の割合が34.2%と、「はい」と「いいえ」がほぼ同じ割合となっています。



問3 田原市で漁業を行う環境は、5年前と比べて全体的にどうなったとお考えですか。(〇はひとつ)

「良くなった」の割合が2.6%であるのに対して、「きびしくなった」の割合は92.1%となっており、回答者のほとんどが「きびしくなった」と考えています。



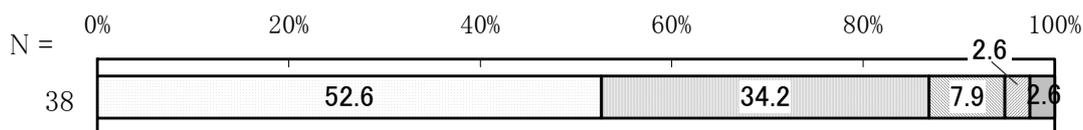
3 あなたの漁業経営について

問4 あなたの5年前の売上高を1.0とした場合、それに対する直近の売上高の割合はどのくらいですか。(〇はひとつ)

「約0.5倍未満」の割合が52.6%と最も高く、次いで「約0.5倍～0.8倍未満」の割合が34.2%、「約0.8倍～約1.0倍未満」の割合が7.9%となっており、それらをあわせた“5年前よりも売上高が減少している”割合が94.7%となっています。

また、平均は0.64倍となっており、5年前に比べ売上高がかなり減少している状況となっています。

- 約0.5倍未満
- 約0.5倍～0.8倍未満
- ▨ 約0.8倍～約1.0倍未満
- 約1.0倍～約1.2倍未満
- ▨ 約1.2倍～約1.5倍未満
- ▨ 約1.5倍～約2.0倍未満
- 約2.0倍以上
- 5年前は漁業をしていない
- 無回答



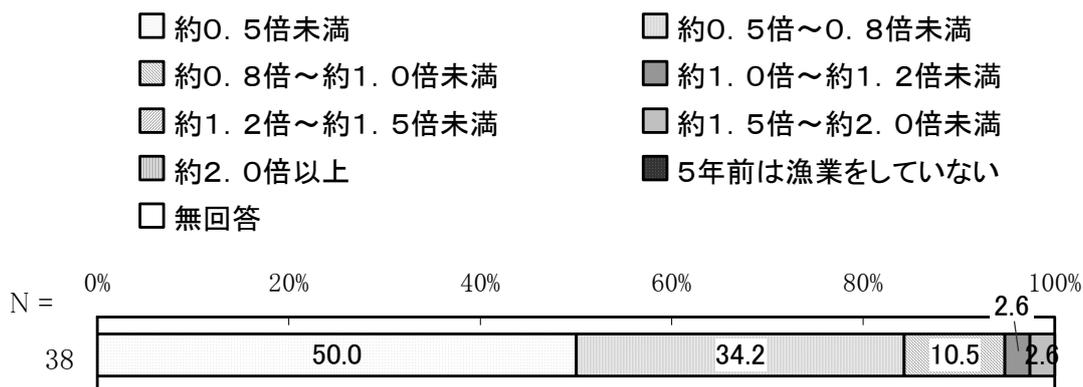
※平均は、下記により算出しています。

約0.5倍未満	0.50倍
約0.5倍～約0.8倍未満	0.65倍
約0.8倍～約1.0倍未満	0.90倍
約1.0倍～約1.2倍未満	1.10倍
約1.2倍～約1.5倍未満	1.35倍
約1.5倍～2倍未満	1.75倍
約2.0倍以上	2.00倍

問5 あなたの5年前の経常利益（所得）を1.0とした場合、それに対する直近の経常利益（所得）の割合はどのくらいですか。（〇はひとつ）

「約0.5倍未満」の割合が50.0%と最も高く、次いで「約0.5倍～0.8倍未満」の割合が34.2%、「約0.8倍～約1.0倍未満」の割合が10.5%となっており、これらをあわせた“5年前よりも経常利益（所得）が減少している”割合が94.7%となっています。

また、平均は0.64倍となっており、5年前に比べ経常利益（所得）がかなり減少している状況となっています。

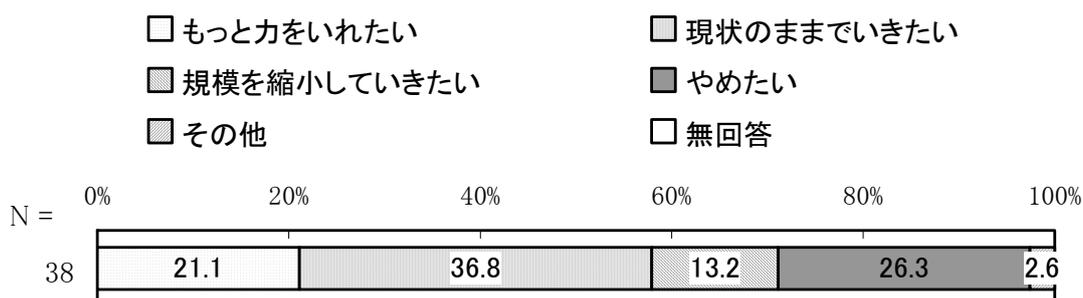


※平均は、下記により算出しています。

約0.5倍未満	0.50倍
約0.5倍～約0.8倍未満	0.65倍
約0.8倍～約1.0倍未満	0.90倍
約1.0倍～約1.2倍未満	1.10倍
約1.2倍～約1.5倍未満	1.35倍
約1.5倍～2倍未満	1.75倍
約2.0倍以上	2.00倍

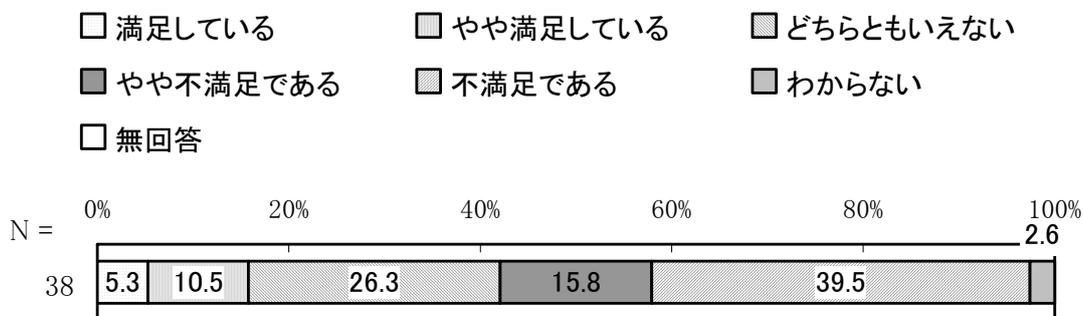
問6 あなたは、これから漁業経営をどのようにしていきたいとお考えですか。（〇はひとつ）

「現状のままでいきたい」の割合が36.8%と最も高くなっています。「やめたい」(26.3%)と回答した人が約3割にのぼっており、「もっと力をいれたい」(21.1%)を上回っています。



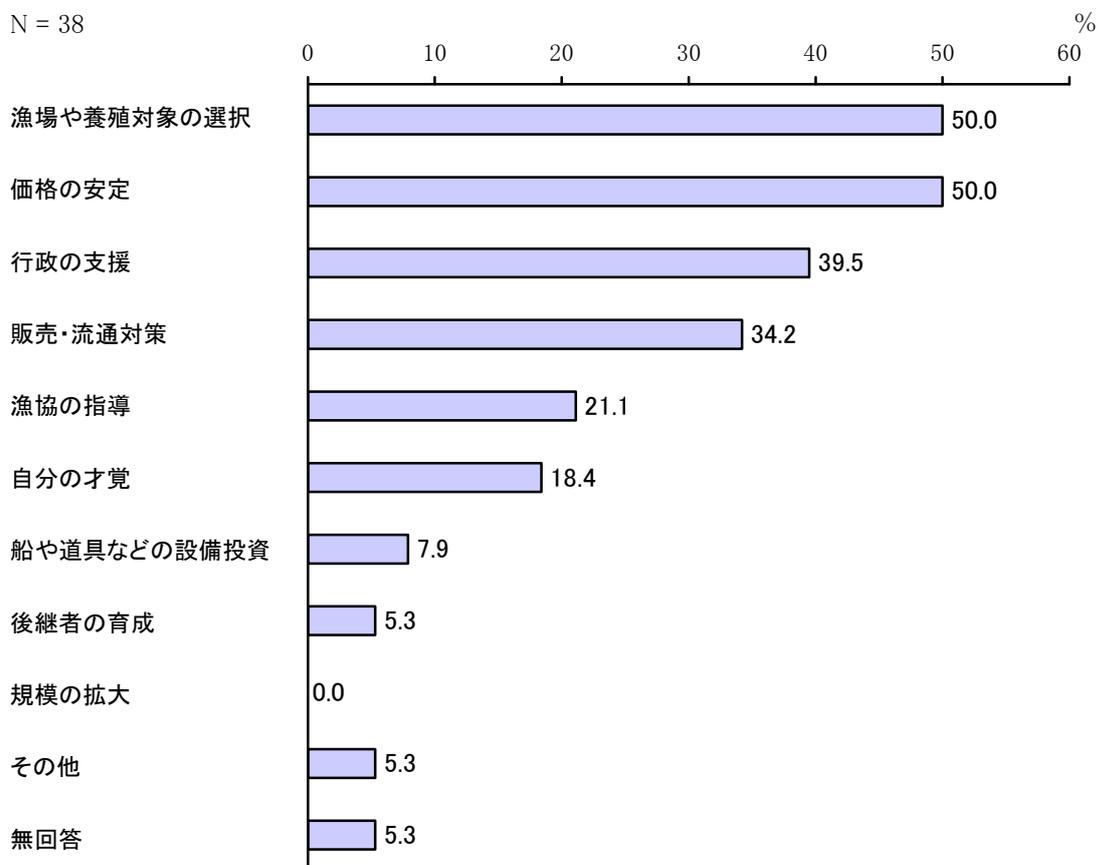
問7 あなたは、自分の漁業経営に満足していますか。(○はひとつ)

「満足している」と「やや満足している」をあわせた“満足している”の割合が15.8%であるのに対し、「やや不満足である」と「不満足である」をあわせた“不満足である”の割合が55.3%と、“不満足である”が“満足している”を約40ポイント上回っています。



問8 あなたの漁業経営で、重要と考えられることはどれですか。(○は3つまで)

「漁場や養殖対象の選択」「価格の安定」の割合が50.0%と最も高く、次いで「行政の支援」の割合が39.5%となっています。



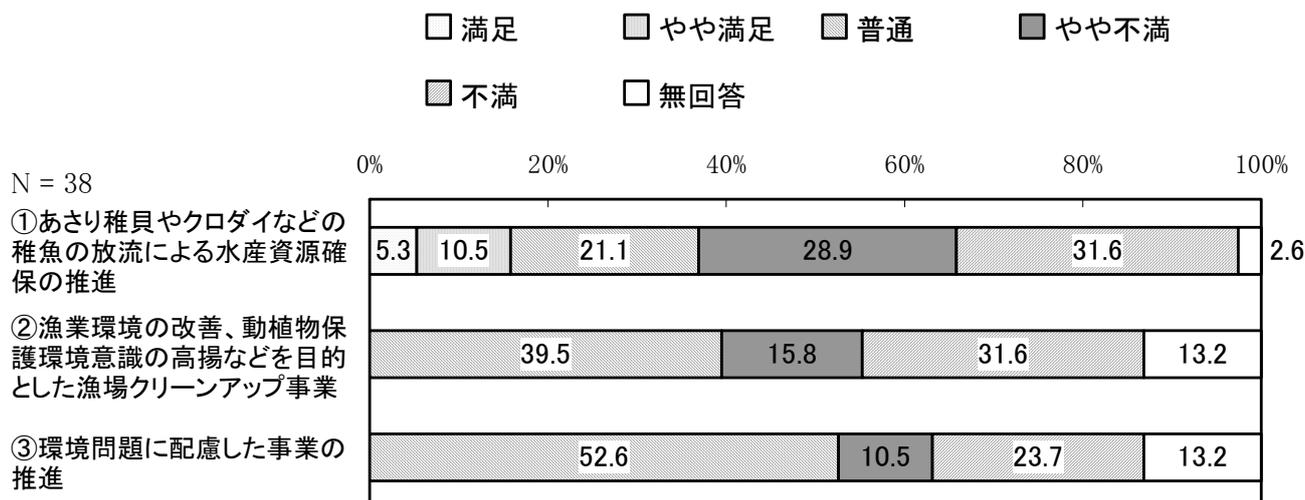
4 水産資源の確保について

問9 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。
(各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○をひとつずつ付ける)

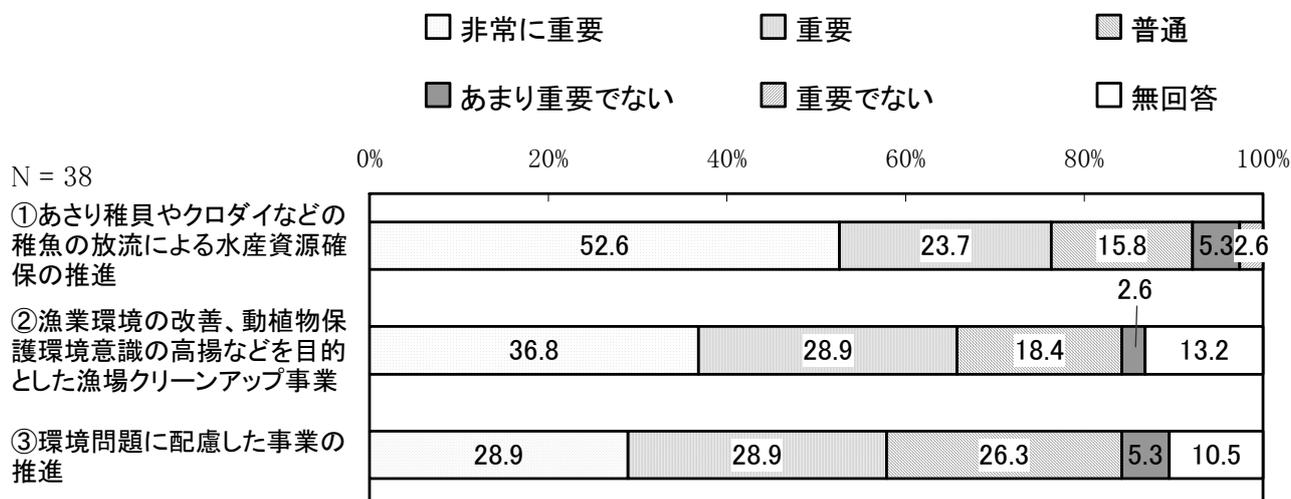
水産資源の確保に関する市の施策の評価については、「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合がいずれの項目でも低く、特に②漁業環境の改善、動植物保護環境意識の高揚などを目的とした漁場クリーンアップ事業、③環境問題に配慮した事業の推進では、“満足”と回答した人はいませんでした。また、①あさり稚貝やクロダイなどの稚魚の放流による水産資源確保の推進では「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が約6割にのぼっています。

施策の重要性については、いずれの項目でも「非常に重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が過半数となっており、特に①あさり稚貝やクロダイなどの稚魚の放流による水産資源確保の推進で約8割となっています。

【現在の評価】

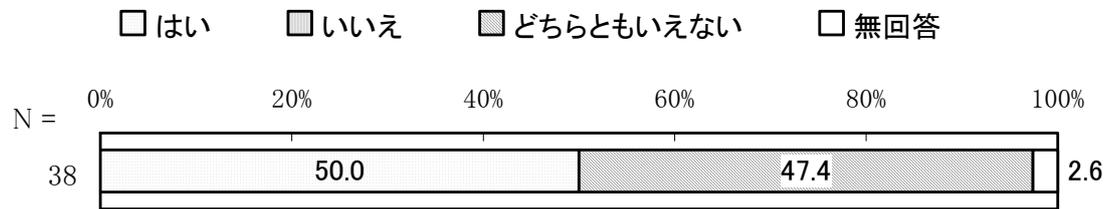


【今後の重要性】



問 10 あなたは環境問題に配慮して漁業経営を行っていますか。(〇はひとつ)

「はい」の割合が 50.0%、「どちらともいえない」の割合が 47.4%となっています。「いいえ」と回答した人はいませんでした。



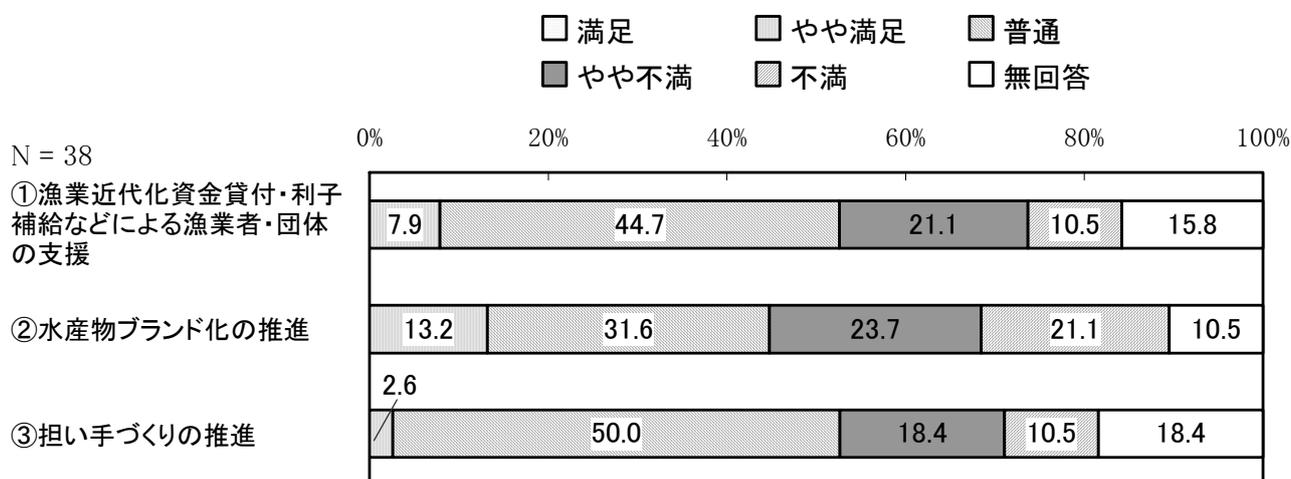
5 漁業経営の活性化について

問 11 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。
(各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○をひとつずつ付ける)

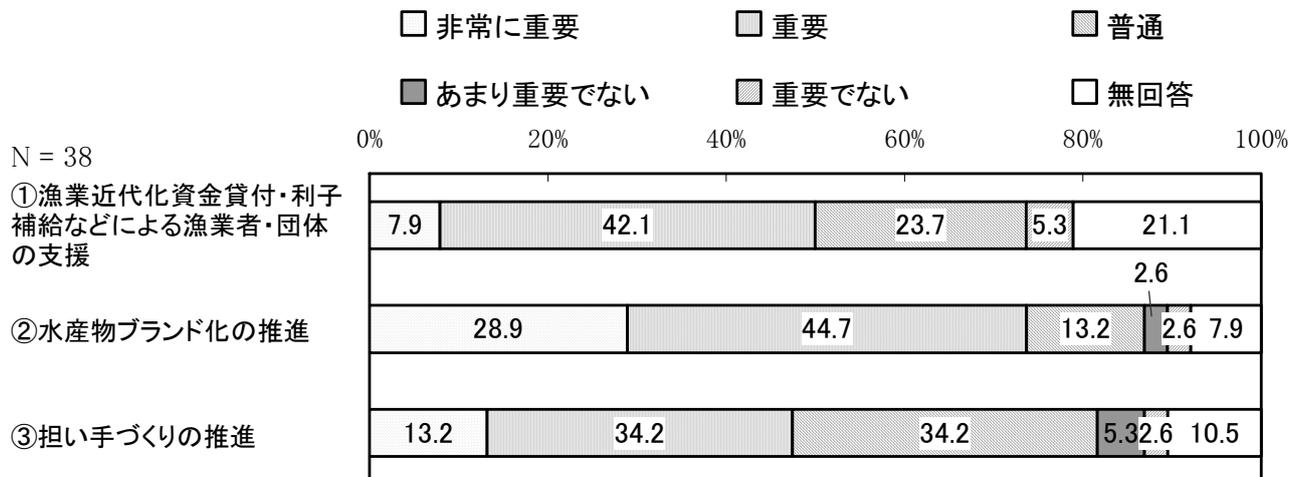
漁業経営の活性化についての市の施策について、現在の評価は、いずれの項目も「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が低く、特に③担い手づくりの推進ではしている2.6%となっています。また、いずれの項目も「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が“満足”の割合よりも高く、特に②水産物ブランド化の推進で4割を超えています。

今後の重要性は、いずれの項目も「非常に重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が高く、特に②水産物ブランド化の推進で7割を超えています。

【現在の評価】



【今後の重要性】

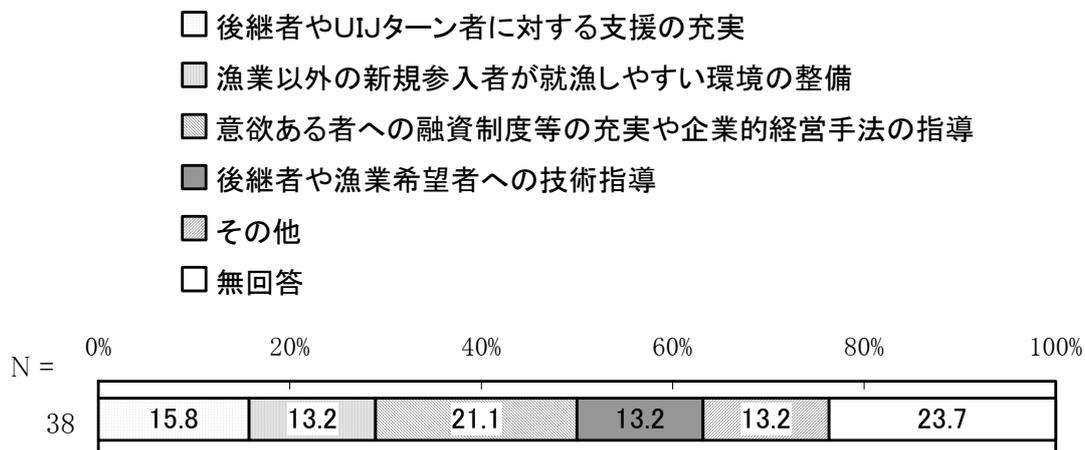


**問 12 漁業経営を活性化するためにはどのような取り組みが必要だと考えますか。
理由もあればご記入ください。**

- ・アサリに関しては、マンガの12ミリメートルが決まっているが9～10ミリメートルなどでやっている人もいます。小さい貝を取っているので大きくなってとりたくても、その前に小さい貝を取るのに困る。アサリも少なく、ルールを守らない人がいる（4件）。
- ・一定以上の安定した収入（2件）
- ・将来のことを考え、資源や後継者のことなどを考えていかないと近い将来漁業者はいなくなると思います。（2件）
- ・年々アサリ取り商売上高がきびしく生活も満足にできないこととなってきています。（1件）
- ・行政の支援金なども一部の人間によって懐に入っているのも有り、今後田原のアサリ業はだめになっていくことと思う。（1件）
- ・育てる漁業が必要。（1件）
- ・養殖事業の拡大。（1件）
- ・養殖場等の管理監視（盗られないよう）。（1件）
- ・漁場の整備。（1件）
- ・市条例の制定。（1件）
- ・白浜地区を干潟化する。（1件）
- ・漁場の整備、食害動物の駆除などを市などの行政と取り組む重要性。（1件）
- ・田原市ブランドとしてのアピール。（1件）
- ・産廃業者の汚水の海への垂れ流し（1件）

問 13 漁業の担い手を確保・育成するためには、何が必要だとお考えですか。
(〇はひとつ)

「意欲ある者への融資制度等の充実や企業的経営手法の指導」の割合が 21.1%と最も高く、次いで「後継者やU I J ターン者に対する支援の充実」の割合が 15.8%、「漁業以外の新規参入者が就漁しやすい環境の整備」「後継者や漁業希望者への技術指導」の割合が 13.2%となっています。



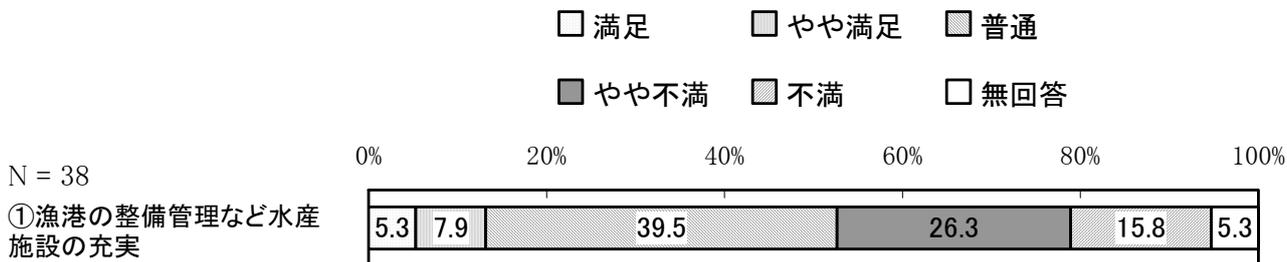
6 水産施設の充実について

問 14 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。
 (各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○をひとつずつ付ける)

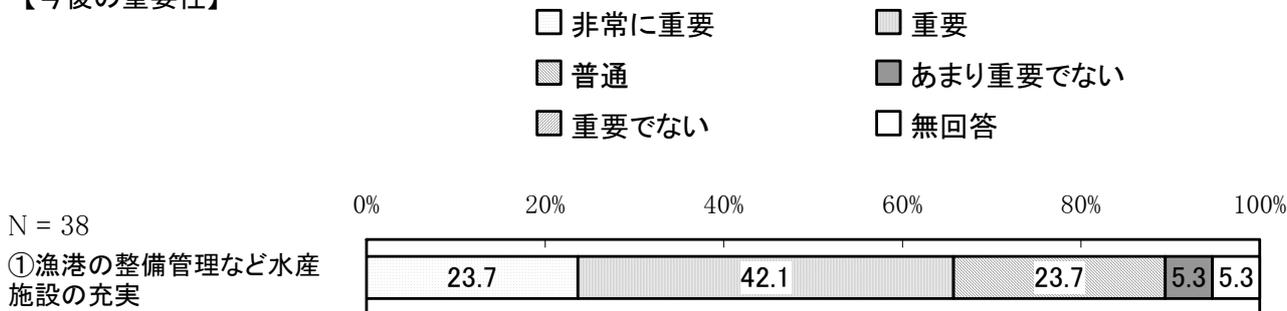
水産施設の充実についての市の施策について、現在の評価は、「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合（13.2%）が約1割であるのに対し、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合（42.1%）が約4割と、“満足”を大きく上回っています。

重要性については、「非常に重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が6割を超えています。

【現在の評価】

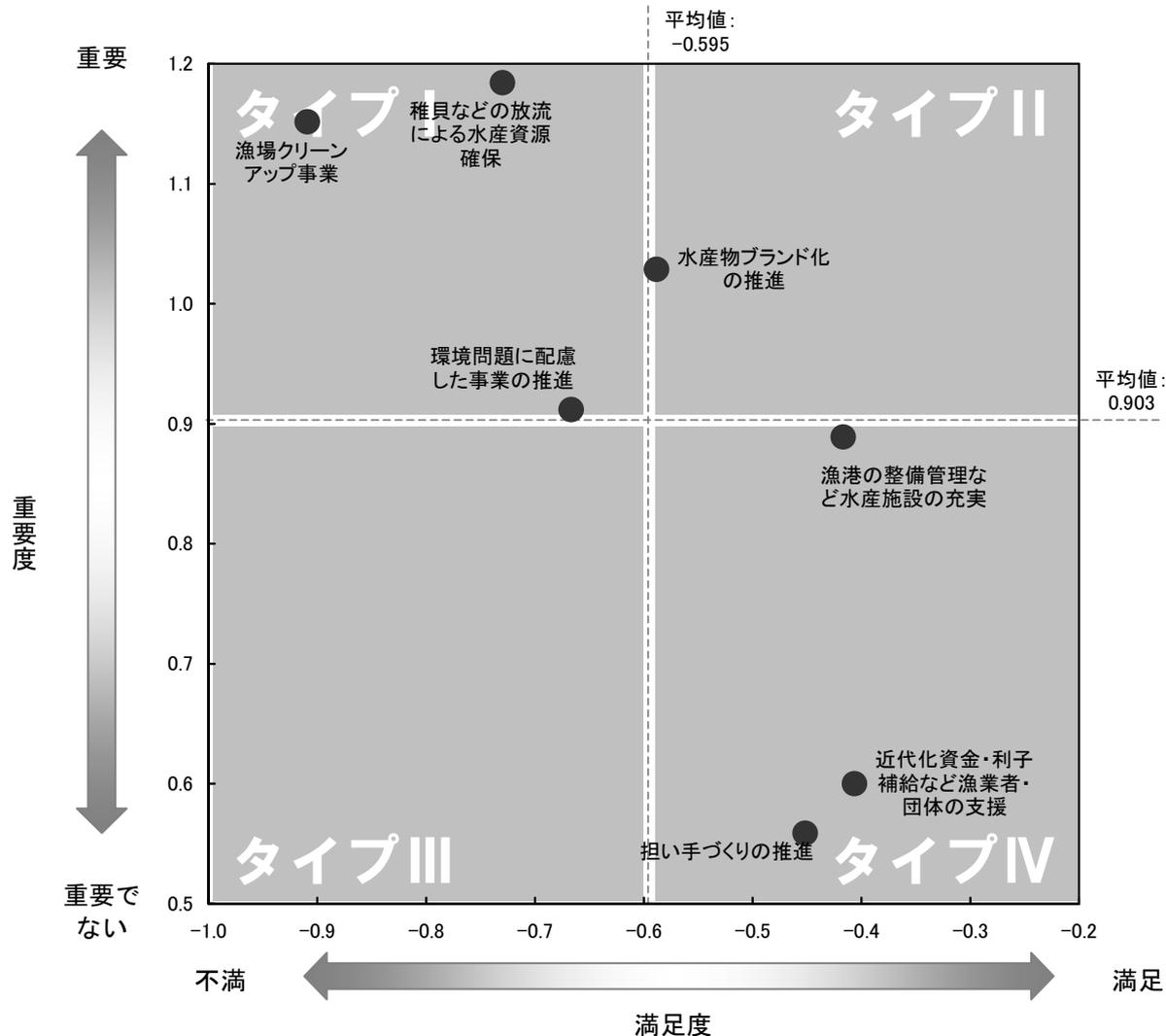


【今後の重要性】



7 市の政策の満足度と重要度によるポートフォリオ分析

ポートフォリオによる市の政策の評価については、あさり稚貝やクロダイなどの稚魚の放流による水産資源確保の推進、漁業環境の改善、動植物保護環境意識の高揚などを目的とした漁場クリーンアップ事業、また、環境問題に配慮した事業の推進で満足度が低く、かつ重要度が高くなっており、事業の改善が求められます。



区分	満足度	重要度
あさり稚貝やクロダイなどの稚魚の放流による水産資源確保の推進	-0.73	1.18
漁業環境の改善、動植物保護環境意識の高揚などを目的とした漁場クリーンアップ事業	-0.91	1.15
環境問題に配慮した事業の推進	-0.67	0.91
漁業近代化資金貸付・利子補給などによる漁業者・団体の支援	-0.41	0.60
水産物ブランド化の推進	-0.59	1.03
担い手づくりの推進	-0.45	0.56
漁港の整備管理など水産施設の充実	-0.42	0.89

○上図から分析判断できる最優先課題

あさり稚貝やクロダイなどの稚魚の放流による水産資源確保の推進
漁業環境の改善、動植物保護環境意識の高揚などを目的とした漁場クリーンアップ事業
環境問題に配慮した事業の推進

8 自由意見

問 15 今後田原市の漁業はどうあるべきか。また、普段お考えになっていること、何でも結構ですので、市政に対するご意見やご提言などがあれば、ご自由にお書きください。

- ・マンガの目（4分）プレートまで付けさしておいて、貝が取れなければ 12 ミリメートルー11 ミリメートルー10 ミリメートルの目のマンガで取るばかり者がいる（かなり多数）。自分自身の首をしめているのに本当にバカ者だ。それを止めることが最重要だと思う。業者が買うから取るのか、小さくて買ってくれるので取るのか、どちらにしても悪いことだ。業者は 12 ミリメートル以下を買わない、漁業者は取らない、そういう風なことができないのか、行政で指導してほしい。（1件）
- ・決まりを守らない漁業者が多い。（1件）
- ・漁港宇津江港に船の荷揚げ場がない。潮が大潮の時に荷がおろせない時がある。（1件）
- ・80歳近くになれば何もごさいません。今年はアサリが取れなくて、じいさん、ばあさんではきびしい年で海に行っても毎日のおかず代もとれなくて困っております。二人のわずかな年金でしまっしてなんとか生きております。（1件）
- ・①とにかく稚貝は取らない。②買わない。③産廃の汚水を止めること（急務です）。3つのことは早急に実施してほしい。（1件）
- ・田原市としては農業にくらべ漁業に対する支援などが少ないように思います。4年ほど前に台風によって船、エンジン共にだめになってしまいましたが1円の金の支援もなく全部自分の金でまかないました。ですから田原市に対してはあまり期待はしていません。（1件）
- ・あさがり全然取れない。稚貝をまくため助成金が必要。（1件）
- ・漁業調整規則のルール徹底。違反者への厳罰。（1件）
- ・規則を守り、皆で育てる漁業をする。（1件）
- ・問 12 で書いた漁場の整備。水路が埋まり通行不可。市条例の制定→昨年も豊川稚貝の補助金があったが、貝幅8～9ミリメートルというような小さな貝を採り売買していた（天然も）片方で稚貝を入れて、片方ではそれに近いものを採っている。漁協だけではだめで市条例によって制限をし、罰則をつける（道具の没収、罰金、出漁禁止等）。現場に行けばわかることだが造成した漁場では大きく瀬が動き稚貝が定着していない。定着しても死滅する場所なのでさらに悪い。漁民の意見よりも組合の利益を優先する組合があるので困る。本来遊漁船のみの登録である船舶は漁港に係留できないがしている。観光用アサリ採りも領収書に通し番号がないらしい。潜水漁は人数、日数制限として、ある程度成果をあげてはいる。（1件）
- ・中山水道を掘った頃より、海苔養殖業者が減少して季節風による砂の流れで稚貝が住めなくなっている。アマ藻も近頃少し増えて来るようだが未だ一部だけ。（1件）
- ・現在の考え方では将来は絶望的としか思えないので、漁業者の立場に立った考えを持った人に頭に立ってもらい、皆まとまらないと漁業者の先はないと思います。（1件）
- ・養殖事業の拡大と行政と漁民とのコミュニケーションが必要。（1件）
- ・従事者（漁業者）、市政ももっと現状の漁業環境の悪化を勉強し取り組むべき（漁業の変化）。（1件）
- ・他の自営業のような支援。（1件）
- ・漁業者と市政との話し合い。（1件）
- ・田原市の魚介類も、ものすごく良い物があるのでブランド化、宣伝、アピール。（1件）

■VI 市内団体アンケート調査

VI 市内団体アンケート調査

1 団体の概要について

問1 あなたの団体の概要についておたずねします。各項目にご記入ください。

2000年代に設立された団体が55.8%（29団体）となっています。

【設立年】

年次	1930年代 より前	1930年代	1940年代	1950年代	1960年代	1970年代	1980年代	1990年代	2000年代
団体数	1	1	1	1	3	3	3	10	29
構成比	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%	5.8%	5.8%	5.8%	19.2%	55.8%

問2 あなたの団体の組織体制についておたずねします。

①理事

上段：実数（件）、下段：割合（%）

		全 体	0 人	1 ～ 3 人	4 ～ 6 人	7 ～ 9 人	10 ～ 12 人	13 ～ 15 人	16 人 以上	無 回 答
全 体		57 100.0	21 36.8	3 5.3	6 10.5	5 8.8	3 5.3	3 5.3	7 12.3	9 15.8
区 分	医療法人・社会福祉法人、 経済団体・協同組合等	8 100.0	1 12.5	－ －	1 12.5	－ －	1 12.5	2 25.0	2 25.0	1 12.5
	NPO・ボランティア・ 地域団体等	45 100.0	19 42.2	3 6.7	5 11.1	5 11.1	2 4.4	1 2.2	3 6.7	7 15.6
	その他	3 100.0	1 33.3	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	2 66.7	－ －

②運営メンバー

【常勤（フルタイム）】

上段：実数（件）、下段：割合（%）

		全 体	0 人	1 ～ 3 人	4 ～ 6 人	7 ～ 9 人	10 ～ 19 人	20 ～ 29 人	30 ～ 99 人	100 人 以上	無 回 答
全 体		57 100.0	29 50.9	5 8.8	1 1.8	2 3.5	－ －	1 1.8	1 1.8	1 1.8	17 29.8
区 分	医療法人・社会福祉法人、 経済団体・協同組合等	8 100.0	2 25.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	－ －	1 12.5	1 12.5	1 12.5	－ －
	NPO・ボランティア・ 地域団体等	45 100.0	25 55.6	4 8.9	－ －	1 2.2	－ －	－ －	－ －	－ －	15 33.3
	その他	3 100.0	2 66.7	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	1 33.3

VI 市内団体アンケート調査

【非常勤（パートタイム・アルバイト）】

上段：実数（件）、下段：割合（％）

		全 体	0 人	1 ～ 3 人	4 ～ 6 人	7 ～ 9 人	10 ～ 19 人	20 ～ 29 人	30 ～ 99 人	100 人 以上	無 回 答
全 体		57 100.0	30 52.6	10 17.5	- -	- -	1 1.8	- -	2 3.5	- -	14 24.6
区 分	医療法人・社会福祉法人、 経済団体・協同組合等	8 100.0	4 50.0	2 25.0	- -	- -	- -	- -	2 25.0	- -	- -
	NPO・ボランティア・ 地域団体等	45 100.0	24 53.3	7 15.6	- -	- -	1 2.2	- -	- -	- -	13 28.9
	その他	3 100.0	2 66.7	1 33.3	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

【その他】

上段：実数（件）、下段：割合（％）

		全 体	0 人	1 ～ 3 人	4 ～ 6 人	7 ～ 9 人	10 ～ 19 人	20 ～ 29 人	30 ～ 99 人	100 人 以上	無 回 答
全 体		57 100.0	17 29.8	2 3.5	- -	2 3.5	4 7.0	1 1.8	2 3.5	1 1.8	28 49.1
区 分	医療法人・社会福祉法人、 経済団体・協同組合等	8 100.0	1 12.5	1 12.5	- -	1 12.5	1 12.5	- -	1 12.5	1 12.5	2 25.0
	NPO・ボランティア・ 地域団体等	45 100.0	16 35.6	1 2.2	- -	1 2.2	2 4.4	1 2.2	- -	- -	24 53.3
	その他	3 100.0	- -	- -	- -	- -	1 33.3	- -	1 33.3	- -	1 33.3

③会員・社員構成

【活動する人・正会員】

上段：実数（件）、下段：割合（％）

		全 体	0 人	1 ～ 4 人	5 ～ 9 人	10 ～ 19 人	20 ～ 29 人	30 ～ 99 人	100 ～ 299 人	300 ～ 999 人	1000 人 以上	無 回 答
全 体		57 100.0	3 5.3	1 1.8	5 8.8	10 17.5	6 10.5	17 29.8	4 7.0	1 1.8	3 5.3	7 12.3
区 分	医療法人・社会福祉法人、 経済団体・協同組合等	8 100.0	1 12.5	- -	- -	- -	- -	3 37.5	1 12.5	1 12.5	- -	2 25.0
	NPO・ボランティア・ 地域団体等	45 100.0	2 4.4	1 2.2	5 11.1	10 22.2	6 13.3	13 28.9	3 6.7	- -	1 2.2	4 8.9
	その他	3 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	1 33.3	- -	- -	2 66.7	- -

【支援者・賛助会員】

上段：実数（件）、下段：割合（％）

		全 体	0 人	1 ～ 4 人	5 ～ 9 人	10 ～ 19 人	20 ～ 29 人	30 ～ 99 人	100 ～ 299 人	300 ～ 999 人	1000 人 以上	無 回 答
全 体		57 100.0	19 33.3	4 7.0	3 5.3	5 8.8	1 1.8	2 3.5	1 1.8	-	-	22 38.6
区 分	医療法人・社会福祉法人、 経済団体・協同組合等	8 100.0	4 50.0	-	-	1 12.5	-	-	-	-	-	3 37.5
	NPO・ボランティア・ 地域団体等	45 100.0	13 28.9	4 8.9	3 6.7	4 8.9	1 2.2	2 4.4	1 2.2	-	-	17 37.8
	その他	3 100.0	2 66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	1 33.3

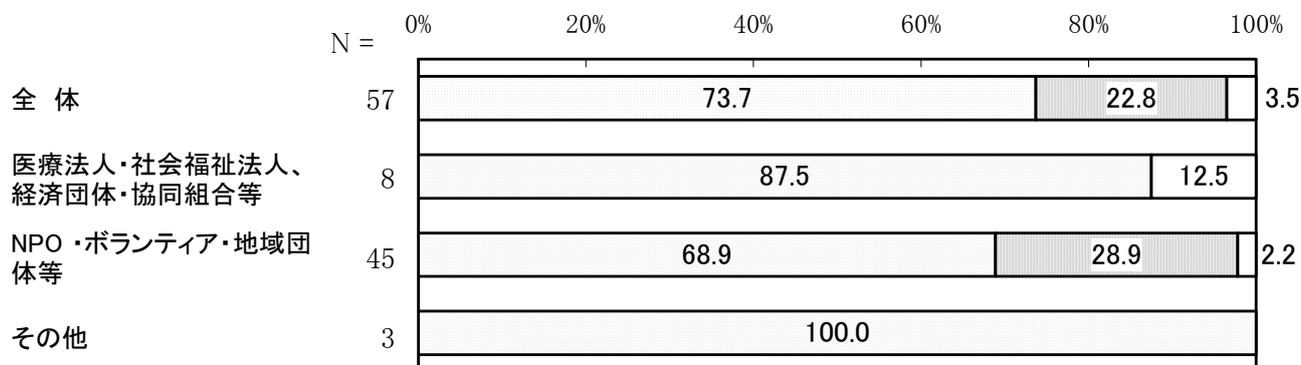
【その他】

上段：実数（件）、下段：割合（％）

		全 体	0 人	1 ～ 3 人	4 ～ 6 人	7 ～ 9 人	10 ～ 19 人	20 ～ 29 人	30 ～ 99 人	100 人 以上	無 回 答
全 体		57 100.0	19 33.3	1 1.8	1 1.8	-	2 3.5	-	1 1.8	1 1.8	32 56.1
区 分	医療法人・社会福祉法人、 経済団体・協同組合等	8 100.0	4 50.0	-	-	-	-	-	-	1 12.5	3 37.5
	NPO・ボランティア・ 地域団体等	45 100.0	13 28.9	1 2.2	1 2.2	-	2 4.4	-	1 2.2	-	27 60.0
	その他	3 100.0	2 66.7	-	-	-	-	-	-	-	1 33.3

④規則・会則・定款

あり なし 無回答



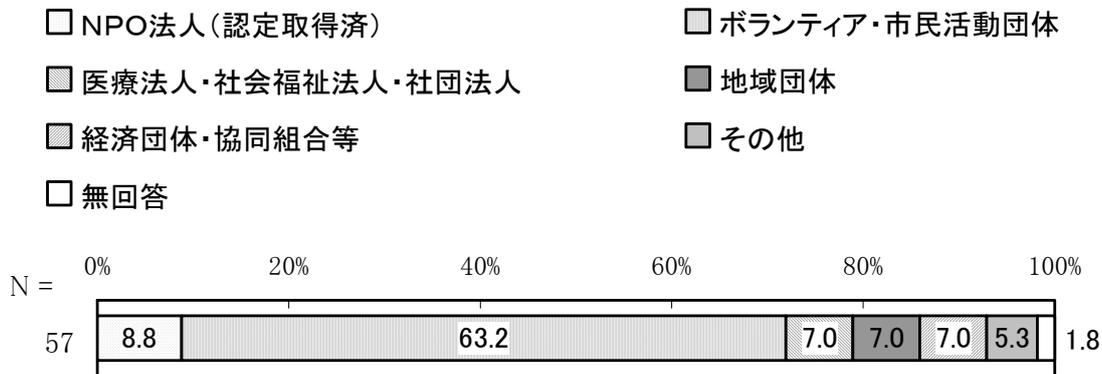
注：医療法人・社会福祉法人、経済団体・協同組合等：問2（2）で「医療法人・社会福祉法人・社団法人 地域団体」「経済団体・協同組合等」と回答した団体

NPO・ボランティア・地域団体等：問2（2）で「NPO法人（認定取得済）」「ボランティア・市民活動団体」「地域団体」と回答した団体

その他：問2（2）で「その他」と回答した団体

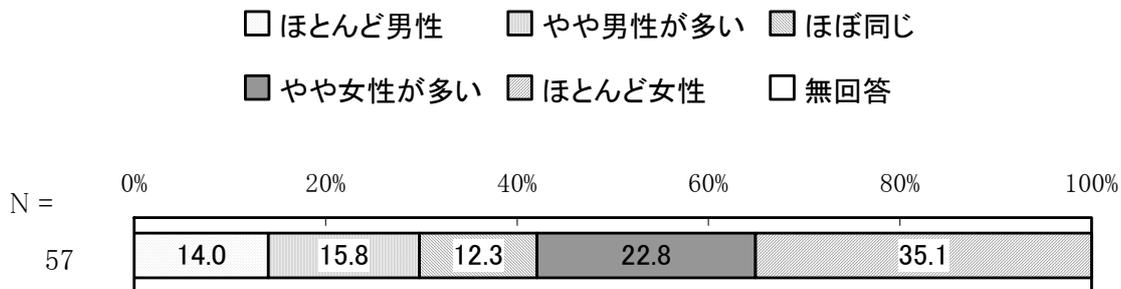
② あなたの団体は次のどの分類にあたりますか。

「ボランティア・市民活動団体」の割合が63.2%と最も高く、次いで「NPO法人（認定取得済）」の割合が8.8%、「医療法人・社会福祉法人・社団法人」「地域団体」「経済団体・協同組合等」の割合が7.0%となっています。



③ 活動する人・正会員の男女比はどれくらいですか。(○はひとつ)

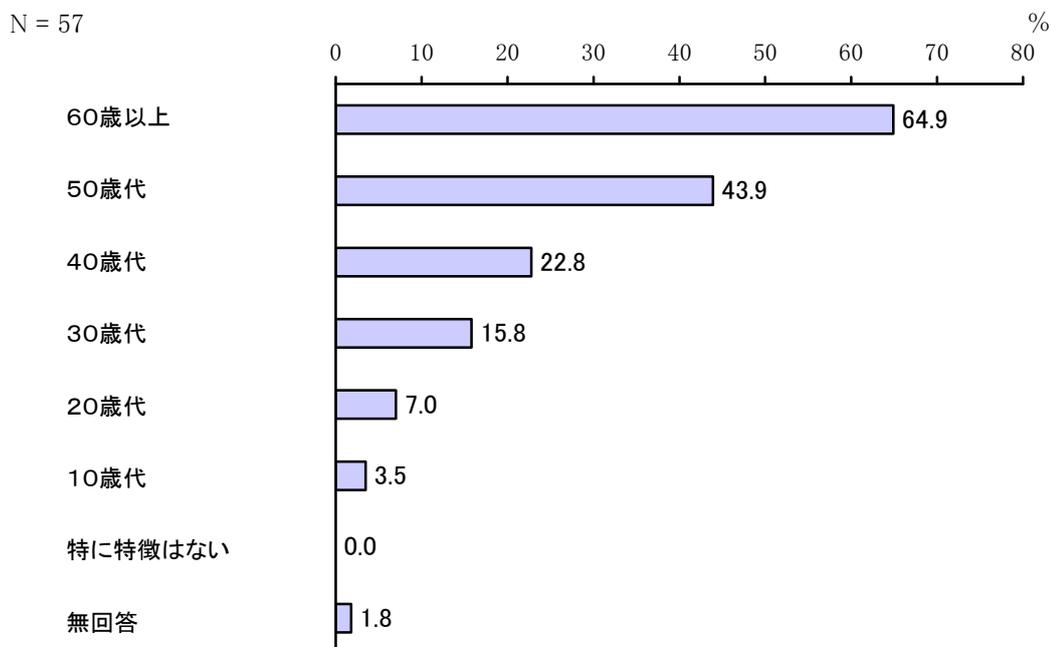
「ほとんど女性」の割合が35.1%と最も高く、次いで「やや女性が多い」の割合が22.8%となっており、それらをあわせた“女性が多い団体”の割合が約6割となっています。また、「ほぼ同じ」の割合が12.3%と、性別に偏りのない団体は少数となっています。



③ 活動する人・正会員の年齢では、どの年代が多いですか。(〇はふたつ)

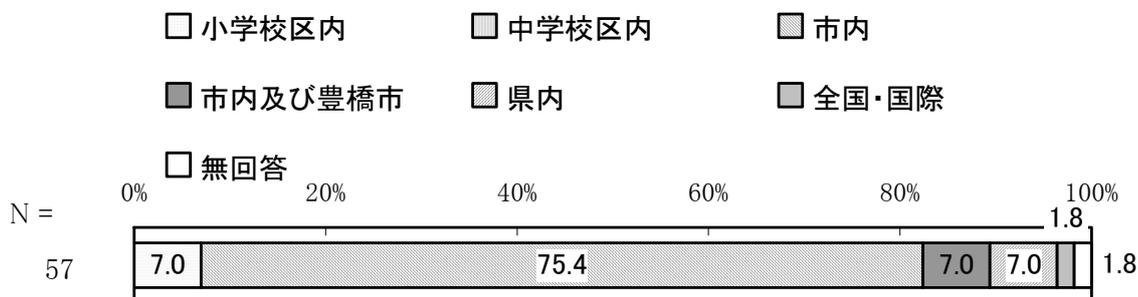
「60歳以上」の割合が64.9%と最も高く、次いで「50歳代」の割合が43.9%、「40歳代」の割合が22.8%となっています。

「10歳代」「20歳代」といった若年層の割合は合わせて約1割と低くなっています。



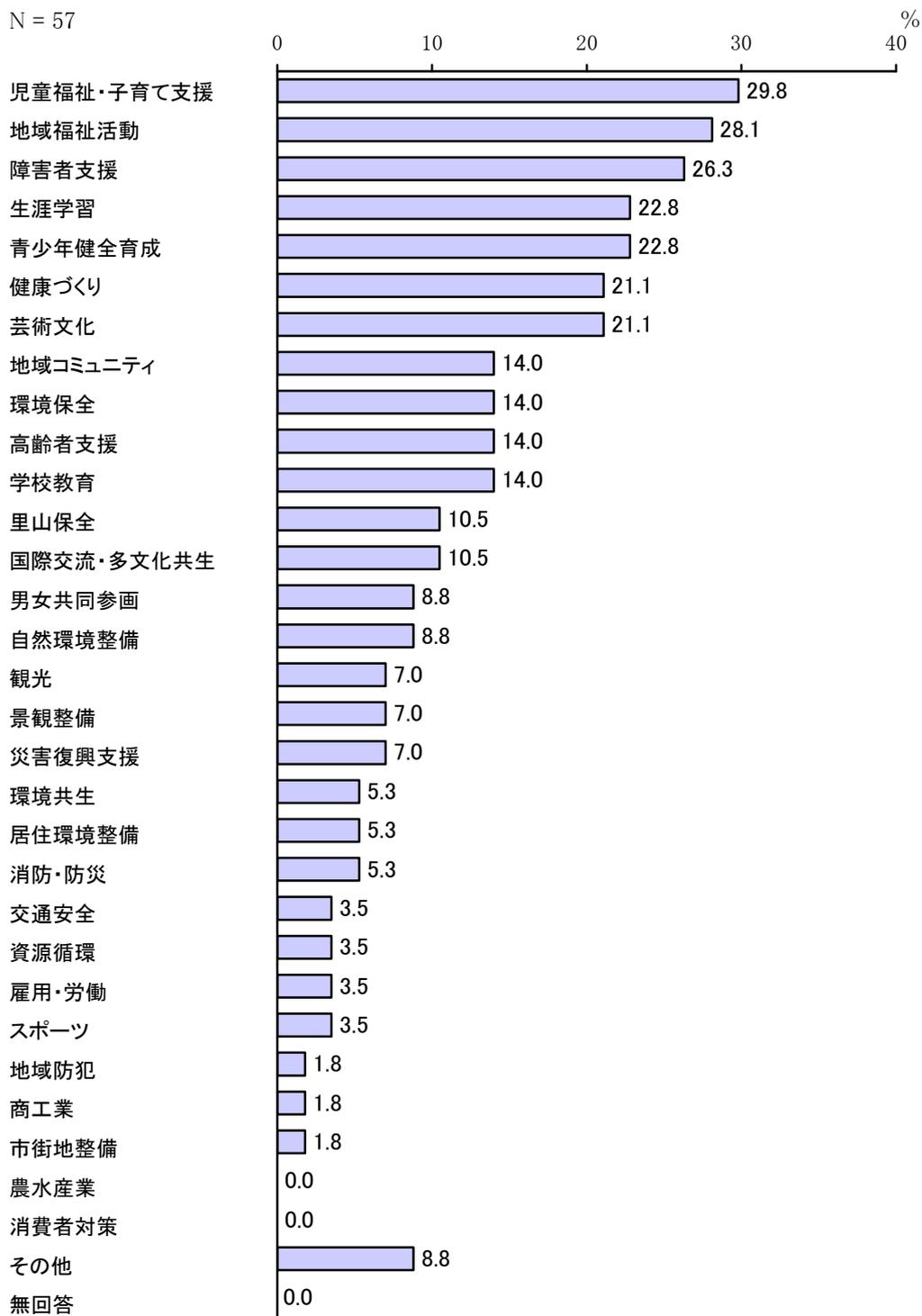
問3 活動の地域は、主にどこですか。(〇はひとつ)

「市内」の割合が75.4%と最も高くなっています。次いで、「小学校区内」「市内及び豊橋市」「県内」の割合が7.0%となっています。



問4 主な活動目的をお聞かせ下さい。(〇はいくつでも)

「児童福祉・子育て支援」の割合が29.8%と最も高く、次いで「地域福祉活動」の割合が28.1%、「障害者支援」の割合が26.3%となっています。



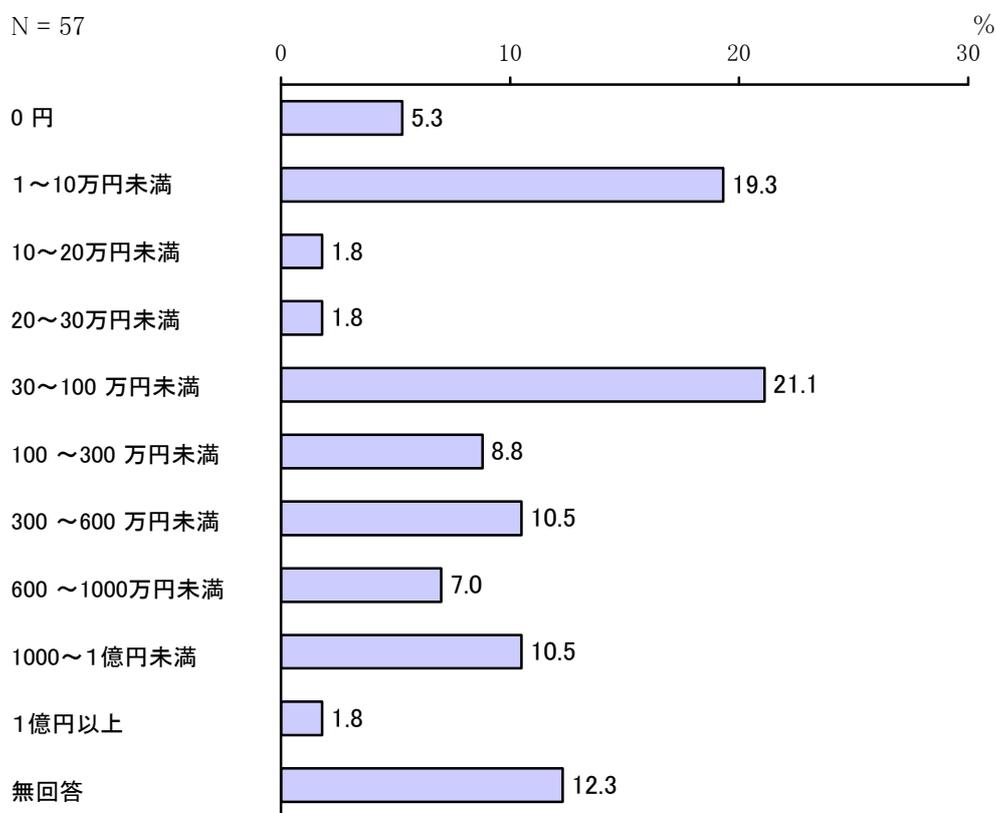
問5 あなたの団体の財政についておたずねします。

① 年間活動事業費はいくらですか。

「30～100万円未満」の割合が21.1%と最も高く、次いで「1～10万円未満」の割合が19.3%、「300～600万円未満」「1000～1億円未満」の割合が10.5%となっています。

また、活動事業費が「0円」の団体の割合が5.3%（3団体）となっており、活動資金に大きな差がみられます。

全体の年間活動事業費の平均は、団体全体では872.5万円となっています。団体の種類別でみると、医療法人・社会福祉法人、経済団体・協同組合等では3755.0万円、NPO・ボランティア・地域団体等では327.2万円となっています。



② おおよその収入と支出の内訳を構成比（パーセント）でお答えください。

(1) 収入

医療法人・社会福祉法人、経済団体・協同組合等では、会費（個人の負担金）が90～100%未満となっている団体が25.0%となっています。一方、企業等民間からの業務委託費が「0%」の企業が37.5%となっています。また、行政からの補助金が「1～10%未満」となっている団体も37.5%となっています。

NPO・ボランティア・地域団体等では、会費（個人の負担金）収入の割合が50%以上の団体が約2割となっています。一方、企業等民間からの業務委託費が「0%」の団体の割合が約3割となっています。なお、民間からの助成金、個人・法人の寄付金の回答はありませんでした。

ア 医療法人・社会福祉法人、経済団体・協同組合等

上段：実数（件）、下段：割合（%）

	全 体	0 %	1 ～ 10 % 未 満	10 ～ 30 % 未 満	30 ～ 50 % 未 満	50 ～ 70 % 未 満	70 ～ 90 % 未 満	90 ～ 100 % 未 満	100 %	無 回 答
会費（個人の負担金）収入	8 100.0	- -	2 25.0	2 25.0	1 12.5	- -	- -	2 25.0	- -	1 12.5
事業収入	8 100.0	1 12.5	1 12.5	- -	1 12.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5	- -	2 25.0
行政からの業務委託費	8 100.0	2 25.0	1 12.5	1 12.5	- -	- -	- -	- -	- -	4 50.0
企業等民間からの業務委託費	8 100.0	3 37.5	- -	1 12.5	- -	- -	- -	- -	- -	4 50.0
行政からの補助金	8 100.0	1 12.5	3 37.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5	- -	- -	- -	1 12.5
民間からの助成金、個人・法人の寄付金	8 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	8 100.0
その他	8 100.0	- -	5 62.5	2 25.0	1 12.5	- -	- -	- -	- -	- -

イ NPO・ボランティア・地域団体等

上段：実数（件）、下段：割合（％）

	全 体	0 %	1 ～ 10 % 未 満	10 ～ 30 % 未 満	30 ～ 50 % 未 満	50 ～ 70 % 未 満	70 ～ 90 % 未 満	90 ～ 100 % 未 満	100 %	無 回 答
会費（個人の負担金）収入	45 100.0	9 20.0	5 11.1	9 20.0	3 6.7	4 8.9	3 6.7	1 2.2	- -	11 24.4
事業収入	45 100.0	6 13.3	1 2.2	8 17.8	- -	3 6.7	2 4.4	3 6.7	- -	22 48.9
行政からの業務委託費	45 100.0	10 22.2	1 2.2	4 8.9	2 4.4	1 2.2	- -	- -	- -	27 60.0
企業等民間からの業務委託費	45 100.0	12 26.7	- -	3 6.7	- -	- -	- -	- -	- -	30 66.7
行政からの補助金	45 100.0	9 20.0	- -	3 6.7	1 2.2	8 17.8	- -	1 2.2	- -	23 51.1
民間からの助成金、個人・法人の寄付金	45 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	45 100.0
その他	45 100.0	4 8.9	4 8.9	5 11.1	2 4.4	1 2.2	- -	1 2.2	- -	28 62.2

ウ その他

上段：実数（件）、下段：割合（％）

	全 体	0 %	1 ～ 10 % 未 満	10 ～ 30 % 未 満	30 ～ 50 % 未 満	50 ～ 70 % 未 満	70 ～ 90 % 未 満	90 ～ 100 % 未 満	100 %	無 回 答
会費（個人の負担金）収入	3 100.0	- -	- -	- -	1 33.3	2 66.7	- -	- -	- -	- -
事業収入	3 100.0	2 66.7	1 33.3	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
行政からの業務委託費	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	- -	- -	- -	- -	- -	- -
企業等民間からの業務委託費	3 100.0	3 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
行政からの補助金	3 100.0	1 33.3	- -	2 66.7	- -	- -	- -	- -	- -	- -
民間からの助成金、個人・法人の寄付金	3 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	3 100.0
その他	3 100.0	- -	1 33.3	1 33.3	1 33.3	- -	- -	- -	- -	- -

(2) 支出

医療法人・社会福祉法人、経済団体・協同組合等では、人件費が支出の50%以上を占めている団体が多く、5割となっています。

NPO・ボランティア・地域団体等では、活動・事業経費が支出の50%以上を占める団体が多く、約4割となっています。一方、人件費、活動・事業経費の割合が「0%」の団体も多くなっています。

ア 医療法人・社会福祉法人、経済団体・協同組合等

上段：実数（件）、下段：割合（%）

	全 体	0 %	1 ～ 10 % 未 満	10 ～ 30 % 未 満	30 ～ 50 % 未 満	50 ～ 70 % 未 満	70 ～ 90 % 未 満	90 ～ 100 % 未 満	100 %	無 回 答
人件費	8 100.0	- -	- -	3 37.5	1 12.5	3 37.5	1 12.5	- -	- -	- -
事務管理費	8 100.0	- -	2 25.0	5 62.5	1 12.5	- -	- -	- -	- -	- -
活動・事業経費	8 100.0	- -	- -	4 50.0	2 25.0	1 12.5	1 12.5	- -	- -	- -
その他	8 100.0	1 12.5	5 62.5	2 25.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -

イ NPO・ボランティア・地域団体等

上段：実数（件）、下段：割合（%）

	全 体	0 %	1 ～ 10 % 未 満	10 ～ 30 % 未 満	30 ～ 50 % 未 満	50 ～ 70 % 未 満	70 ～ 90 % 未 満	90 ～ 100 % 未 満	100 %	無 回 答
人件費	45 100.0	11 24.4	2 4.4	3 6.7	4 8.9	2 4.4	1 2.2	- -	- -	22 48.9
事務管理費	45 100.0	1 2.2	7 15.6	12 26.7	4 8.9	- -	- -	- -	- -	21 46.7
活動・事業経費	45 100.0	11 24.4	- -	1 2.2	5 11.1	9 20.0	6 13.3	4 8.9	- -	9 20.0
その他	45 100.0	10 22.2	3 6.7	5 11.1	- -	2 4.4	- -	- -	- -	25 55.6

ウ その他

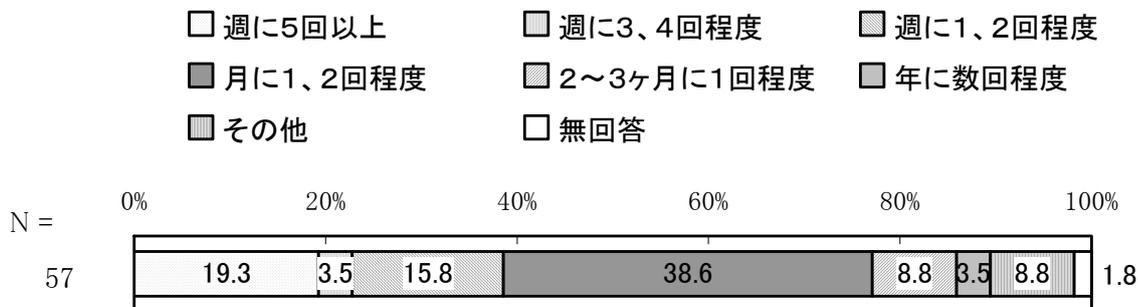
上段：実数（件）、下段：割合（%）

	全 体	0 %	1 ～ 10 % 未 満	10 ～ 30 % 未 満	30 ～ 50 % 未 満	50 ～ 70 % 未 満	70 ～ 90 % 未 満	90 ～ 100 % 未 満	100 %	無 回 答
人件費	3 100.0	2 66.7	- -	- -	1 33.3	- -	- -	- -	- -	- -
事務管理費	3 100.0	- -	1 33.3	2 66.7	- -	- -	- -	- -	- -	- -
活動・事業経費	3 100.0	- -	1 33.3	- -	- -	- -	2 66.7	- -	- -	- -
その他	3 100.0	- -	1 33.3	1 33.3	1 33.3	- -	- -	- -	- -	- -

2 団体の活動について

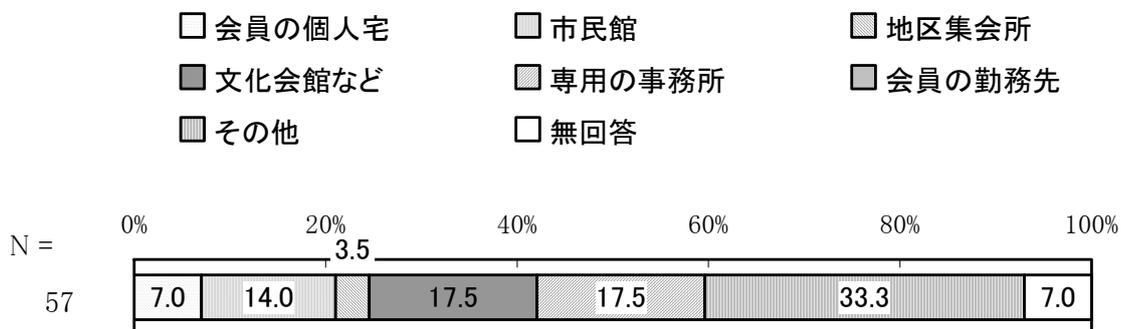
問6 団体は、どれくらいの頻度で活動していますか。(〇はひとつ)

「月に1、2回程度」の割合が38.6%と最も高く、次いで「週に5回以上」の割合が19.3%、「週に1、2回程度」の割合が15.8%となっています。



問7 事務所、会合場所、活動拠点として主にどこを利用していますか。(〇はひとつ)

「文化会館など」「専用の事務所」の割合が17.5%と最も高く、次いで「市民館」の割合が14.0%となっています。



問8 あなたの団体が行っている事業（活動）についてお聞きします。代表的な事業（活動）について具体例を2～3程度あげて、事業名、事業内容及び事業費についてご記入ください。

No	区分	内容
1	事業名	野外活動(キャンプ)
	事業内容	各単子連のリーダーが参加し、食事作り、テント張り、キャンプファイヤー、ゲームをしたり、宿泊をしたりして互いの交流をはかり、親睦を深める。
2	事業名	あいち田原登山会
	事業内容	話し合いにより決める
3	事業名	健康相談
	事業内容	田原市健康まつりにおける健康相談への医師派遣
4	事業名	あつみトレイル ハイキング教室
	事業内容	ハイキングを始めたい人や初心者に対して必要な知識を教える
5	事業名	地域福祉向上活動
	事業内容	・認知症サポート講習会、・みんなで楽しくサロン、・各施設レクリエーション支援、・町内(各)の一人暮らしの方への話し相手
6	事業名	ボランティアカット
	事業内容	福寿園に出向きボランティアカット
7	事業名	ボランティア・ガイド
	事業内容	名所・旧跡の案内・ガイド
8	事業名	子ども見守り活動
	事業内容	基本(夏休み、冬休み、春休み外)ゼロの付く日が活動強化日で、小学生の登下校の見守り活動を行う。会員は通学路で立番のように活動したり、児童と一緒に登下校をしたりと会員にできる範囲の活動を行ってもらう。(青パトパトロール含む)ゼロの日以外でも活動できる時は会員にまかせて自主活動。
9	事業名	花の会
	事業内容	年2回市から花苗をいただき各地で植え、管理
10	事業名	外国人のための日本語教室
	事業内容	毎週金曜日の19:30～21:00、日曜日の10:30～12:00。会員などのボランティアにより外国からの技能実習生などに日本語を教えている。
11	事業名	渥美商工会
	事業内容	商工会活動全般
12	事業名	器楽クラブ、大正琴クラブの指導及びふれあい
	事業内容	器楽の演奏、大正琴の演奏の練習、福寿園文化祭田原市の文化祭への参加
13	事業名	障害者支援施設蔵王苑
	事業内容	生活介護事業、施設入所支援事業、ショートステイ事業、日中一時支援事業、福祉有償運送事業
14	事業名	福祉活動ボランティア
	事業内容	歌の指導
15	事業名	西の浜クリーンアップ活動
	事業内容	毎月1回実施。田原市渥美の西の浜海岸の清掃活動。
16	事業名	あつみの郷
	事業内容	整容、抹茶接待
17	事業名	おはなし会
	事業内容	図書館内おはなしコーナーでの絵本読み聞かせ毎月第2(午後)、4(午前)土曜日 図書館まつり、クリスマス会等
18	事業名	景観美化推進事業
	事業内容	市内遊休農地の冬は菜の花6ヘクタール、夏はヒマワリの作付8.8ヘクタール、小・中・保・幼を対象として学習も
19	事業名	夜鍋の討論会
	事業内容	歴代の講師を招いて夜を徹して語らい、今後のあかばね塾の指針とする。

VI 市内団体アンケート調査

No	区分	内容
20	事業名	田んぼの学校
	事業内容	毎月1回ずつ参加する日帰り農業体験。田んぼの作業の他、自然の中での遊びを体験する
21	事業名	観音まつり
	事業内容	観音まつり行事(イベント)の中でステージ演奏会員全員が参加して30分の演奏を行なう
22	事業名	愛知県厚生農業協同組合連合会 渥美病院
	事業内容	医療事業 入院診療、外来救急診療
23	事業名	春の文協まつり
	事業内容	芸能、展覧等。すべての会員の発表の場
24	事業名	米山記念奨学事業
	事業内容	海外からの留学生に奨学金を支給するだけでなく、専属のカウンセラーを定めケアにあたります。また毎月1回はクラブ例会に参加してもらい、会員との交流を通じて日本への理解や人間としての成長を支援する。
25	事業名	ホールコンサート
	事業内容	地域に縁のある演奏家を招いてのクラシックコンサート
26	事業名	余暇支援活動(和太鼓)・啓発活動ボランティア
	事業内容	余暇 太鼓練習。啓発、ボランティア 太鼓演奏、発表。
27	事業名	里山環境保全
	事業内容	登山道、下草刈り。年に数回ほど全員にて草刈り。山頂にて初日の出を多くの人が拝みます。
28	事業名	福祉実践教室講師
	事業内容	各小中学校にて、福祉教育を実践を通して生徒、児童に福祉への心を育成する。
29	事業名	清掃活動
	事業内容	野池(公園)の周辺清掃活動
30	事業名	福祉有償運送
	事業内容	体の不自由の方の外出支援を行ないます。車イス対応の車輛もあり、料金表に沿った利用料金で田原市内を中心に活動しています。
31	事業名	シルバー歌謡まつり
	事業内容	希望者を募集し、カラオケ大会をする。
32	事業名	「声の広報たはら」「声のたはら議会だより」
	事業内容	視覚障害者のために「広報たはら」「たはら議会だより」を朗読、テープ吹き込み
33	事業名	リサイクル・ブックオフィス運営事業支援
	事業内容	田原市図書館の除籍本と、図書館への寄贈本(資料)のうち図書館で不用とする資料の販売などの支援
34	事業名	メリーゴーランド企画事業「いじめられても生きよう」
	事業内容	いじめられた経験のある方の若者の体験談。いじめのことについて参加者みんなでディスカッション。
35	事業名	里山保全活動
	事業内容	里山保全
36	事業名	日本語教室
	事業内容	日本語の読み書き会話(初級)、・月刊“あかばねひらがなしんぶん”発行

No	区分	内容
37	事業名	田原市陸上競技選手権大会
	事業内容	陸上競技
38	事業名	懇親ソフトバレーボール大会
	事業内容	各校でチームを作りソフトバレーボール大会を開催
39	事業名	健康づくり教室(フィットネス教室)
	事業内容	ストレッチ・ヨガ・エアロ・スラップ等フィットネス教室の開催
40	事業名	田原市主催防災ボランティアコーディネータ養成講座
	事業内容	防災ボランティアコーディネーター養成講座を2日間行ないます。その講師を務めています。
41	事業名	レシピの会
	事業内容	料理教室
42	事業名	高齢者・障害者等の生活介助その他の福祉サービスに関わる事業
	事業内容	高齢者・障害者等の日常生活全般に関わる生活支援や、病院、介護老人保健施設に入院、入所されている方を対象にした洗濯及び買物
43	事業名	映画会 映画製作
	事業内容	・人材の視点に立った映画の上映、・映画製作の協力
44	事業名	はまゆう植栽
	事業内容	伊良湖小学校の児童と共に恋路ヶ浜周辺のはまゆうを植える
45	事業名	ミニコンサート(あつみロビーコンサート)
	事業内容	プロの演奏家によるコンサート。
46	事業名	おもちゃ図書館の開催
	事業内容	おもちゃ広場の開設 おもちゃの貸し出し
47	事業名	ログドラムを使ったリズムあそび
	事業内容	ログドラムを叩いて楽しむ
48	事業名	田原市防災訓練
	事業内容	炊き出し訓練。アルファ化米の炊き出し(パック詰め)、・災害ボランティアを通じて被災住民(自主防災会避難テント)に配食
49	事業名	子育て支援(託児ボランティア)
	事業内容	パパママ普通救命講習会を開催する消防本部からの依頼で託児を受けています。市(他課)からの依頼
50	事業名	地域福祉活動の推進
	事業内容	住民懇談会 買い物支援バス 市民まつりの応援 地区社協の設置等
51	事業名	ちびっこ道場
	事業内容	青少年健全育成のための宿泊研修プログラム毎年開催。キャンプやオリエンテーリング等を通じての学びをメインとする。
52	事業名	早起きおにぎりキャンペーン
	事業内容	朝6時よりラジオ体操後子ども1人につき2個ずつ自分でおにぎりを作って食べます。できあがって食べながら朝食の大切さを話します。みそ汁は食改さんと健康課の方たちで作ります。
53	事業名	土地改良事業及び豊川用水施設維持管理事業
	事業内容	排水路の改修、農道の整備、農業用水管の付替改修及び農業用水の配水管理、施設の維持管理。

VI 市内団体アンケート調査

No	区分	内容
54	事業名	シデコブシ講演観察会
	事業内容	講演と観察会
55	事業名	合唱の練習
	事業内容	合唱の練習
56	事業名	親子ふれあい講座
	事業内容	親子でマッサージの仕方を学ぶ。ベビータッチの仕方。ふれ合い効果についての学習。
57	事業名	キックベース・ドッチボール大会
	事業内容	各小学校区ごとで、単子連の練習を積み、その後、校区大会で優勝チームを決め、最後に市子連主催の大会をする。どの単子連も熱心に取り組んでいる。
58	事業名	東京歩こう会、衣笠ハツラツウォーキング、童浦歩こう会
	事業内容	一定のコースを月1回散策、第1水午前7:00集合、第1木午後1:30より
59	事業名	トライアスロン伊良湖大会医務班
	事業内容	トライアスロン伊良湖大会医務班への医師派遣
60	事業名	あつみトレイル ハイキングマップ発行
	事業内容	渥美半島横断ハイキングコース【あつみトレイル】ハイキングマップを作成し、発行した
61	事業名	民生委員の地域活動支援
	事業内容	一人暮らしの方などを民生委員が集め、話し相手や「楽しい歌声」「ゲーム」を楽しむ・生活上の悩みや暮らしにくさを発信されたことの整備と相談
62	事業名	会員の福利厚生
	事業内容	会員相互の親睦を深める為の観劇、旅行の補助
63	事業名	多文化研修会
	事業内容	在住外国人に日本の文化を知っていただくために日帰りバスにより、京都や奈良を訪れる多文化研修会を毎年開催している。
64	事業名	渥美花の村ゴルフコース運営事業
	事業内容	ゴルフ(ショートコース9ホール)
65	事業名	点字クラブの指導及びふれあい
	事業内容	点字の書き方、読み方の反復
66	事業名	障害者支援施設 蔵王の杜
	事業内容	生活介護事業、施設入所支援事業、ショートステイ事業、ケアホーム事業、日中一時支援事業、相談支援事業(一般)
67	事業名	あつみの郷
	事業内容	歌の指導
68	事業名	海の環境を学ぶ会
	事業内容	海の環境について様々な角度から学ぶための体験的環境学習「スナメリ観察会」～佐久島「磯遊びの会」～宇津江海岸「スノーケリングの会」～西の浜「塩作りの会」～休暇村「タッチングプール」～休暇村「水族館学会」～鳥羽または南知多他
69	事業名	福寿園
	事業内容	衣類の補修、買い物介助

No	区分	内容
70	事業名	小学校における朝の読み聞かせ
	事業内容	朝の読書の時間に読み聞かせを行なう。8:15～8:30程度。福山小5月～3月毎月2回(8月を除く、2回で全学年)。中山小6月、10月、毎水曜4回ずつ全学年。堀切、亀山6月、10月、2月各1回全学年
71	事業名	ナタネ生産事業
	事業内容	遊休地にナタネを栽培して搾取。菜種油の田原産(たはらっこ)を販売
72	事業名	エコオリエンテーリングin赤羽根
	事業内容	オリエンテーリングをしながら海岸清掃、ウミガメ放流会
73	事業名	子ども百姓体験ツアー
	事業内容	生協が募集する子どものためのツアーを現地で企画、運営を行なう。農業体験、自然体験、食の体験を組み合わせた体験ツアー
74	事業名	福寿園納涼まつり
	事業内容	祭りの最終ステージとして毎年行なわれているボランティア演奏。
75	事業名	JA愛知厚生連 あつみの郷
	事業内容	介護事業
76	事業名	田原市文化祭
	事業内容	芸能、展覧等。すべての会員の発表の場
77	事業名	口唇口蓋裂医療支援事業
	事業内容	ボランティアで医療支援を行なっている山本医師に対し、支援援助と元米山奨学生であったベトナム留学生の協力を得て毎年続けている。年度によっては、医療器具の運搬も行なっていた。
78	事業名	田原市音楽祭
	事業内容	田原市内の中・高校吹奏楽部と、音楽団体の活動発表
79	事業名	余暇支援活動(かご作り)
	事業内容	エコクラフトのかご作り。バザー(活動費用)
80	事業名	青少年健全育成
	事業内容	亀山小学校児童たちが落ち葉ゾリを冬に学習するので山の斜面の整備などをやります。
81	事業名	要約筆記養成講座
	事業内容	要約筆記の体験を通して、必要性を学び技能を初歩から中級、上級とつなげ、県要約筆記養成講座と受験を突破できる人財を育成する。
82	事業名	コアヘルパーステーション
	事業内容	高齢者等の訪問介護
83	事業名	芸能発表大会
	事業内容	歌、詩吟、剣舞、舞踊、新体操、劇、社交ダンス、マジック、紙切等
84	事業名	「福祉のつどい」での式典及び活動発表 講演会などの司会、場内アナウンス
	事業内容	視覚障害者のために「広報たはら」「たはら議会だより」を朗読、テープ吹き込み
85	事業名	市民活動支援事業
	事業内容	図書館フレンズ田原の「田原市開館10周年事業、藪内正幸原画展『渡り鳥きぶん』」の開催支援
86	事業名	平成24年度企画事業「不登校を考えるセミナー」
	事業内容	アドラー心理学の先生による講話。黄柳野高校OBの方の体験談

VI 市内団体アンケート調査

No	区分	内容
87	事業名	文化教室
	事業内容	料理講習、・陶芸体験、・絵画制作
88	事業名	田原市スポーツフェスティバル スポーツギネス大会
	事業内容	スポーツギネス大会(10種目)、・所属団体による大会(20種目)
89	事業名	教育講演会
	事業内容	家庭教育、子育て等をテーマとした教育講演会を開催
90	事業名	田原市主催防災ボランティアコーディネーターフォローアップ講座
	事業内容	防災ボランティアコーディネーターフォローアップ講座の講師を務めています
91	事業名	託児その他の子育てサービスに関わる事業
	事業内容	障害を持つ親たちが集まる会にての子守り支援
92	事業名	研修会
	事業内容	アサーティブネストレーニング等、ドメスティック・バイオレンスについて研修会 子育て研修
93	事業名	(参考 田原市防災ボランティアコーディネータ養成講座参加)
	事業内容	市消防本部の主催する講習会に参加(今後とも参加する予定)
94	事業名	子育て支援地域活動
	事業内容	クリスマス会 小さい子と女の子は手芸・本の読み聞かせ、男の子はバタールゴルフ12月中旬、・夏休みのスポーツ応援、愛知県内の施設対抗試合応援8月、・県内学芸大会へ参加するための子どもたちの練習応援11月
95	事業名	福祉のつどい
	事業内容	ボランティア功労者表彰、ボランティア福祉協力校活動発表、講演、体験教室、展示、バザー模擬店等
96	事業名	親子料理教室
	事業内容	夏休みを利用して親子で料理をつくります。料理をつくる楽しさ、またいろいろなことを親子で考え良い1日となると思います
97	事業名	伊良湖フォーラム
	事業内容	講演会
98	事業名	演奏会
	事業内容	合唱の演奏会
99	事業名	ストレス解消ワーク
	事業内容	アロマ講座、ハイキング、お茶会。
100	事業名	田原市子ども会大会
	事業内容	各単子連の1年生から6年生が参加する。開会行事では、市子連の事業に貢献した方を表彰する。その後、ドッジビー大会、チャレンジゲームをして、交流をはかり親睦を深める。
101	事業名	会員相互の研修と懇親
	事業内容	年2回程、会員相互の情報交換と懇親
102	事業名	市民海外派遣
	事業内容	参加者を市民から募集し、アメリカ、韓国、中国、ラオスの4カ国の都市を順番に毎年1カ国ずつ訪れて交流し友好を深めている。
103	事業名	地域活性化事業(あつみ夏祭り・貝づくし渥美)
	事業内容	市民を対象とした夏まつりイベント企画・運営実施。地元飲食店と協力し地元産魚介類を使った飲食サービスの提供。

No	区分	内容
104	事業名	詩吟クラブの指導及びふれあい
	事業内容	詩吟及び短歌の朗詠、福寿園文化祭への参加
105	事業名	障害者福祉サービス事業所 田原授産所
	事業内容	生活介護事業 日中一時支援事業 相談支援事業(一般)
106	事業名	思いを伝える広報活動
	事業内容	「きれいな海を守る心を広げる」ために広報活動。毎月の活動案内、亀の子クラブ、ホームページ、また年に数回のパネル展示や活動発表
107	事業名	渥美病院
	事業内容	外来案内、入院患者に図書の貸出し
108	事業名	福江市民館行事のおはなし会
	事業内容	絵本、紙芝居の読み聞かせ
109	事業名	広報活動
	事業内容	法人の事業を広く市民にアピールするため(一部県外)
110	事業名	ウミガメの産卵・ふか調査
	事業内容	ウミガメの産卵調査を含めた環境保護活動。ウミガメのふか調査を含めた環境保護活動
111	事業名	団体向け百姓体験
	事業内容	団体に対して農業体験を企画実施する。農地での体験受け入れの他、要請に応じて県内の学校などに出張して米の脱こく体験なども行なう。
112	事業名	蔵王苑新年会
	事業内容	毎年、1月の初めに新年パーティーの内で太鼓の演奏を行なう、ボランティア活動。
113	事業名	文化教室開設
	事業内容	茶道、短歌、合唱、太極拳、菊他。市内住民の初心者を対象に開設
114	事業名	青少年育成事業
	事業内容	18歳から30歳までの青少年に対し、奉仕活動を通じ、リーダーシップや人間性の育成を助長していく。そのため、専属のカウンセラーが定められ会員との交流も数多く行なっている。
115	事業名	ジュニア合唱教室
	事業内容	小中学生を対象にした合唱教室
116	事業名	季節の行事
	事業内容	クリスマス会、もちつき
117	事業名	各種講演会の要約筆記
	事業内容	行政や社協主催の催物(講演会)の要約筆記通訳と磁気誘導ループ設置による、情報保障活動
118	事業名	視察研修旅行
	事業内容	防災施設と対策 文化施設見学
119	事業名	市民活動支援事業
	事業内容	田原市中央図書館「10歳のお誕生日おめでとう。」事業支援(図書館フレンズ田原:主催、田原図書館:共催)。①図書館お誕生日おめでとうセレモニー(30名)、②アトリウムコンサート(43名)、③絵本「おおきなかぶ」の劇あそび(58名)、④お茶会、⑤こどもしつ、宝さがしゲーム(53名)、⑥子どもが読む読みきかせ(30名)、⑦工作教室(17名)
120	事業名	教室展
	事業内容	一年間の活動内容の展示、絵画 陶芸作品と学校風景記録の展示

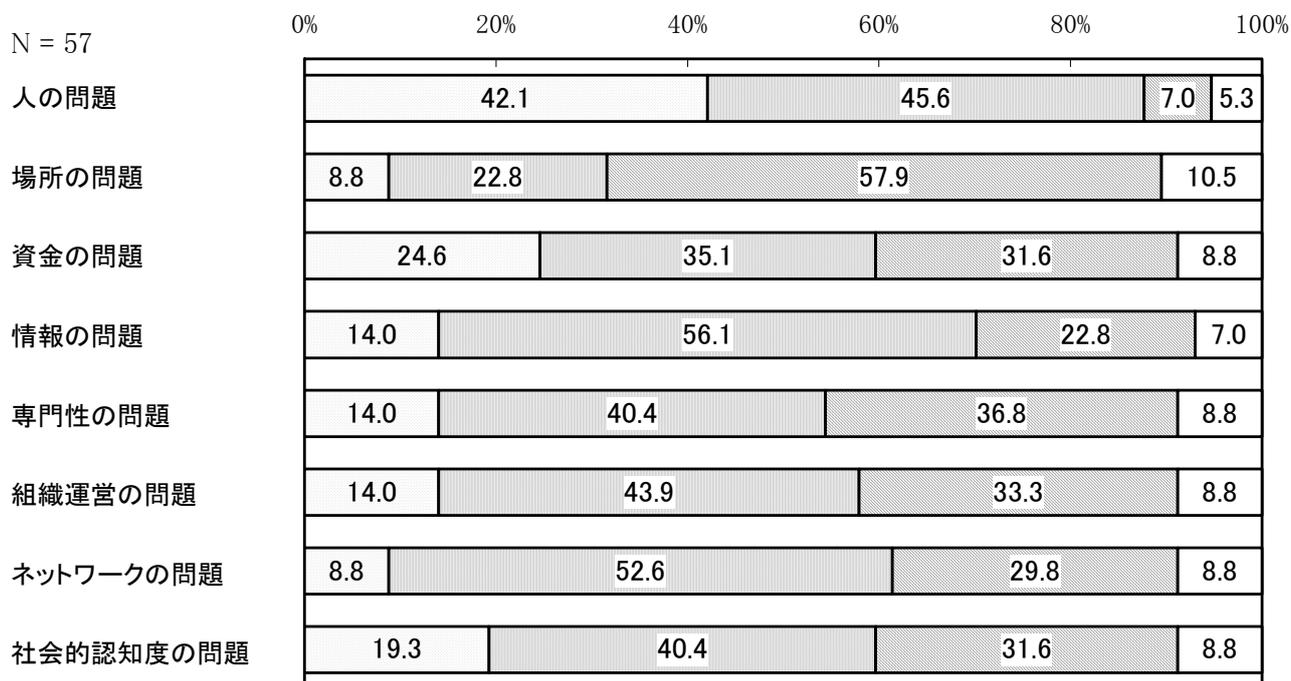
VI 市内団体アンケート調査

No	区分	内容
121	事業名	初心者スポーツ教室
	事業内容	所属団体による初心者指導教室
122	事業名	研究発表大会
	事業内容	2校に研究委託をし、その成果等を発表
123	事業名	高齢者等に対する移送サービス事業
	事業内容	移動困窮者や公共交通機関の利用が困難な高齢者等に対して、生活補助の範囲で車輛にての移動の支援
124	事業名	紙しばい作成(今まで5作品)
	事業内容	ジェンダーバイアスに気づき、個人の特性尊重をすることができる社会をつくっていく為の内容
125	事業名	(参考 田原市防災カレッジ参加)
	事業内容	市消防本部の主催する講習会に参加(今後とも参加する予定)
126	事業名	更生保護施設 智光寮へのふれあい会食づくり
	事業内容	年1回(11月)保護司とビービーエスと更女で寮生のために食事(昼食)をつくり、リクレーションをして交流をしてくる。会員から集めた支援物資も持参する。(下着、作業着、インスタント食品他)
127	事業名	介護保険等事業
	事業内容	訪問介護事業、居宅介護支援事業、デイサービスセンター事業、地域包括支援センター事業
128	事業名	おうちごはん
	事業内容	田原市に他国より嫁にきて毎日の食事にこまらないように補助するため簡単な食事作りを教えています

問9 あなたの団体が活動を進めていく上で、問題を感じたり、困っていることがありますか。(それぞれ○はひとつ)

人の問題、情報の問題で「強く問題を感じる」と「少し問題と感じる」をあわせた“問題と感じる”団体の割合が高く、特に人の問題では約9割となっています。一方、場所の問題では“問題と感じる”割合が低く、約3割となっています。

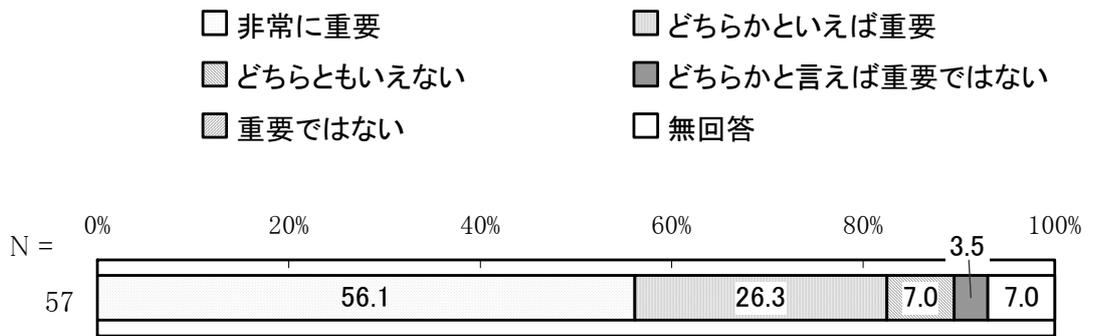
- 強く問題を感じる
- 少し問題と感じる
- 問題と感じない
- 無回答



3 市との連携・協力について

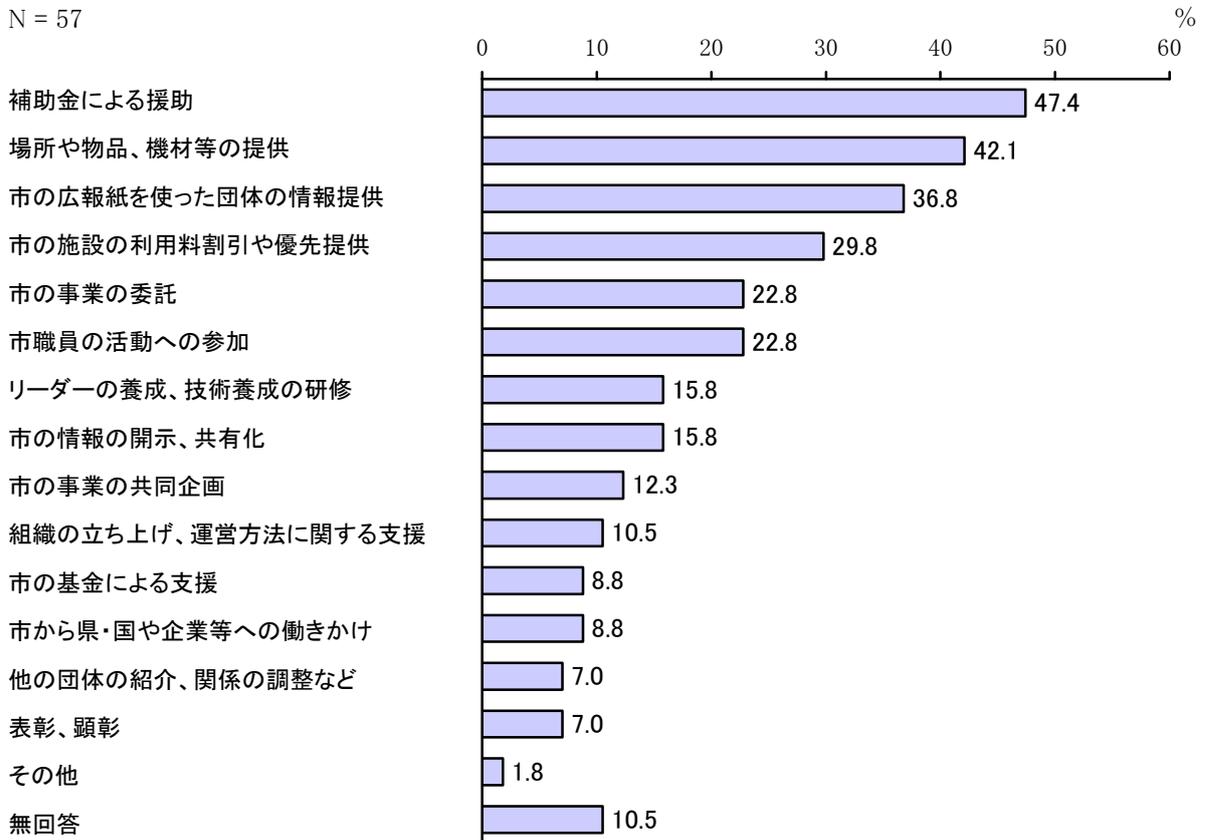
問 10 あなたの団体にとって市との連携・協力は重要ですか。(○はひとつ)

「非常に重要」と「どちらかといえば重要」をあわせた“重要”の割合が82.4%となっている一方、「どちらかと言えば重要ではない」と「重要ではない」をあわせた“重要でない”の割合が3.5%と少なくなっています。



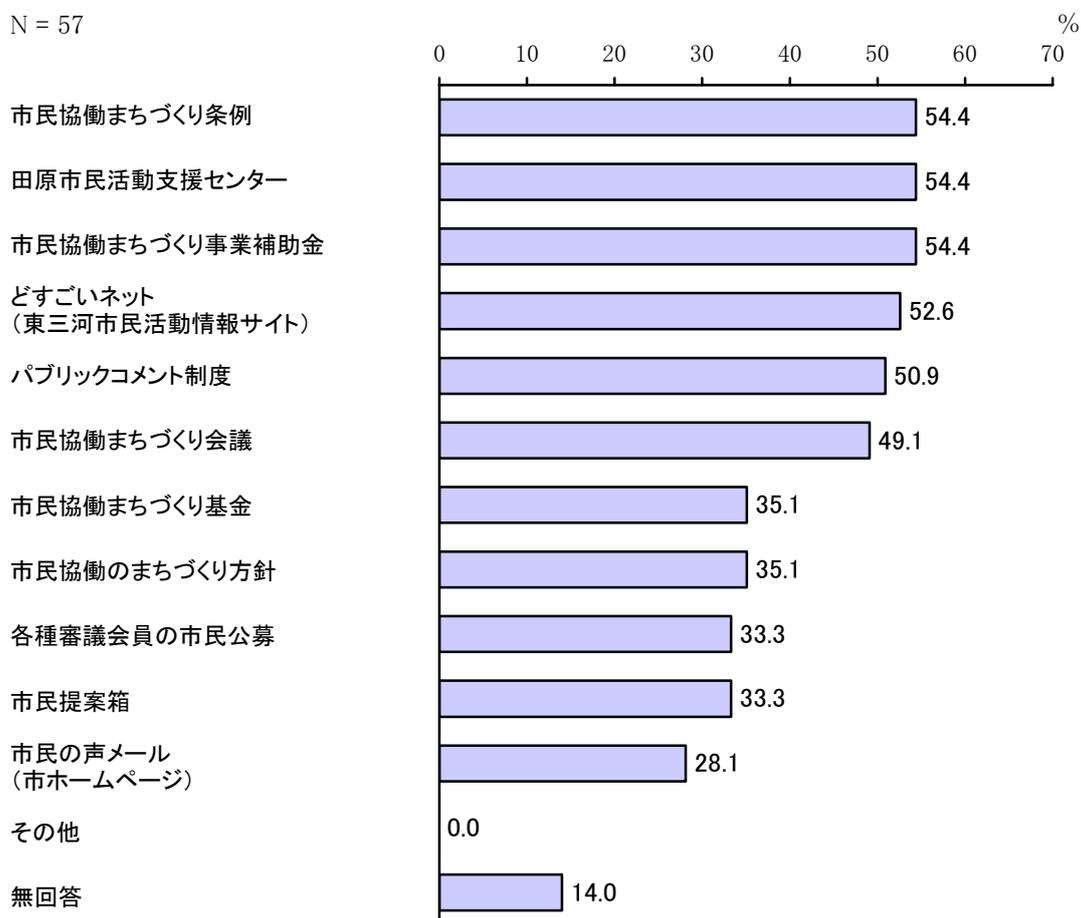
問 11 あなたの団体が活動するにあたって、どんなことを市に協力してほしいですか。(○はいくつでも)

「補助金による援助」の割合が47.4%と最も高く、次いで「場所や物品、機材等の提供」の割合が42.1%、「市の広報紙を使った団体の情報提供」の割合が36.8%となっています。



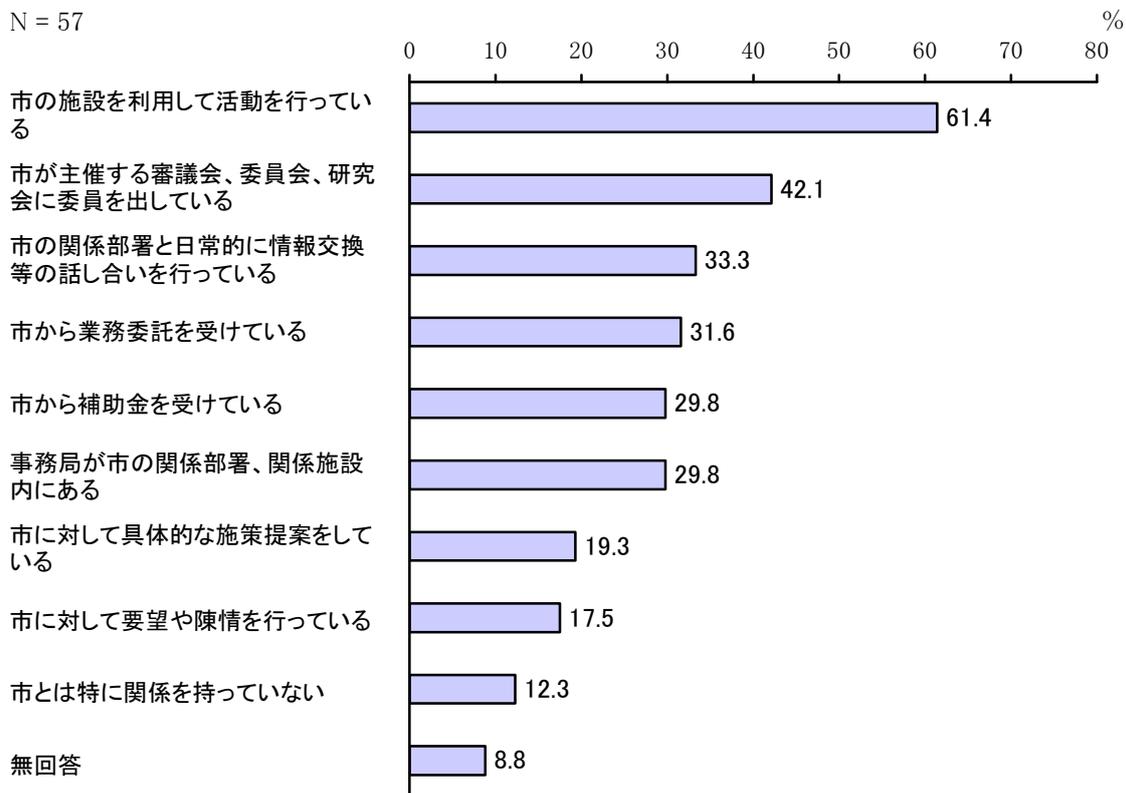
問12 市と市民活動団体の連携によるまちづくり施策として、知っているものをお答えください。(〇はいくつでも)

「市民協働まちづくり条例」「田原市民活動支援センター」「市民協働まちづくり事業補助金」の割合が54.4%と最も高くなっています。



問 13 現在、あなたの団体と市とはどのような関係にありますか。(〇はいくつでも)

「市の施設を利用して活動を行っている」の割合が 61.4%と最も高く、次いで「市が主催する審議会、委員会、研究会に委員を出している」の割合が 42.1%、「市の関係部署と日常的に情報交換等の話し合いを行っている」の割合が 33.3%となっています。

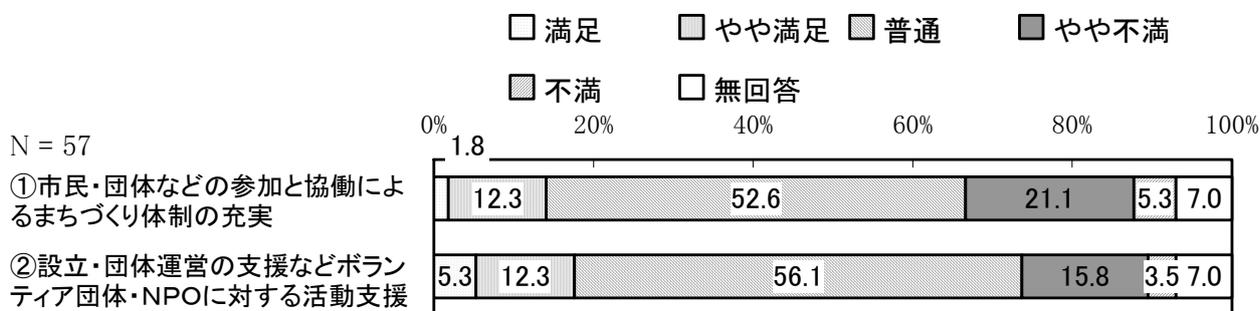


問 14 市が行っている次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。
(各問に対し「評価」「重要性」に○をひとつずつ)

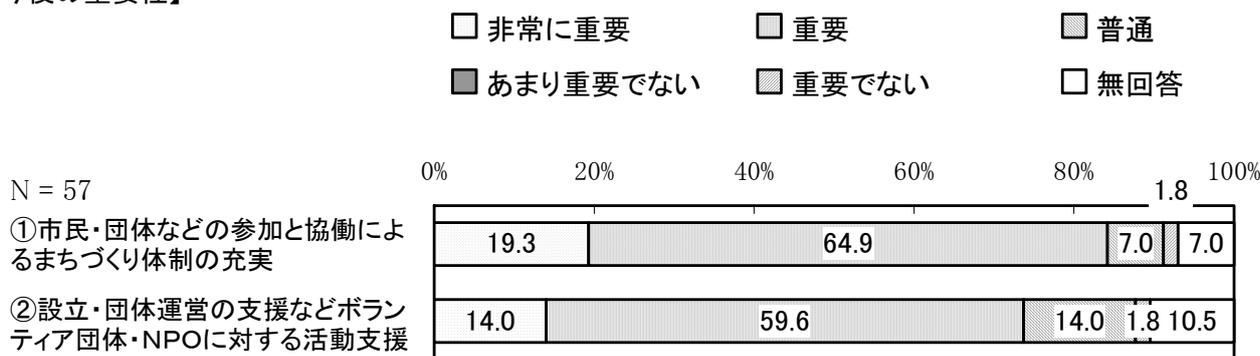
市の施策についての現在の評価は、①市民・団体などの参加と協働によるまちづくり体制の充実、②設立・団体運営の支援などボランティア団体・NPOに対する活動支援ともに、「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が2割未満となっています。また、①市民・団体などの参加と協働によるまちづくり体制の充実で「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が高く、約3割となっています。

今後の重要性については、①市民・団体などの参加と協働によるまちづくり体制の充実、②設立・団体運営の支援などボランティア団体・NPOに対する活動支援ともに、「非常に重要」と「重要」をあわせた“重要”の割合が高く、7割以上となっています。

【現在の評価】

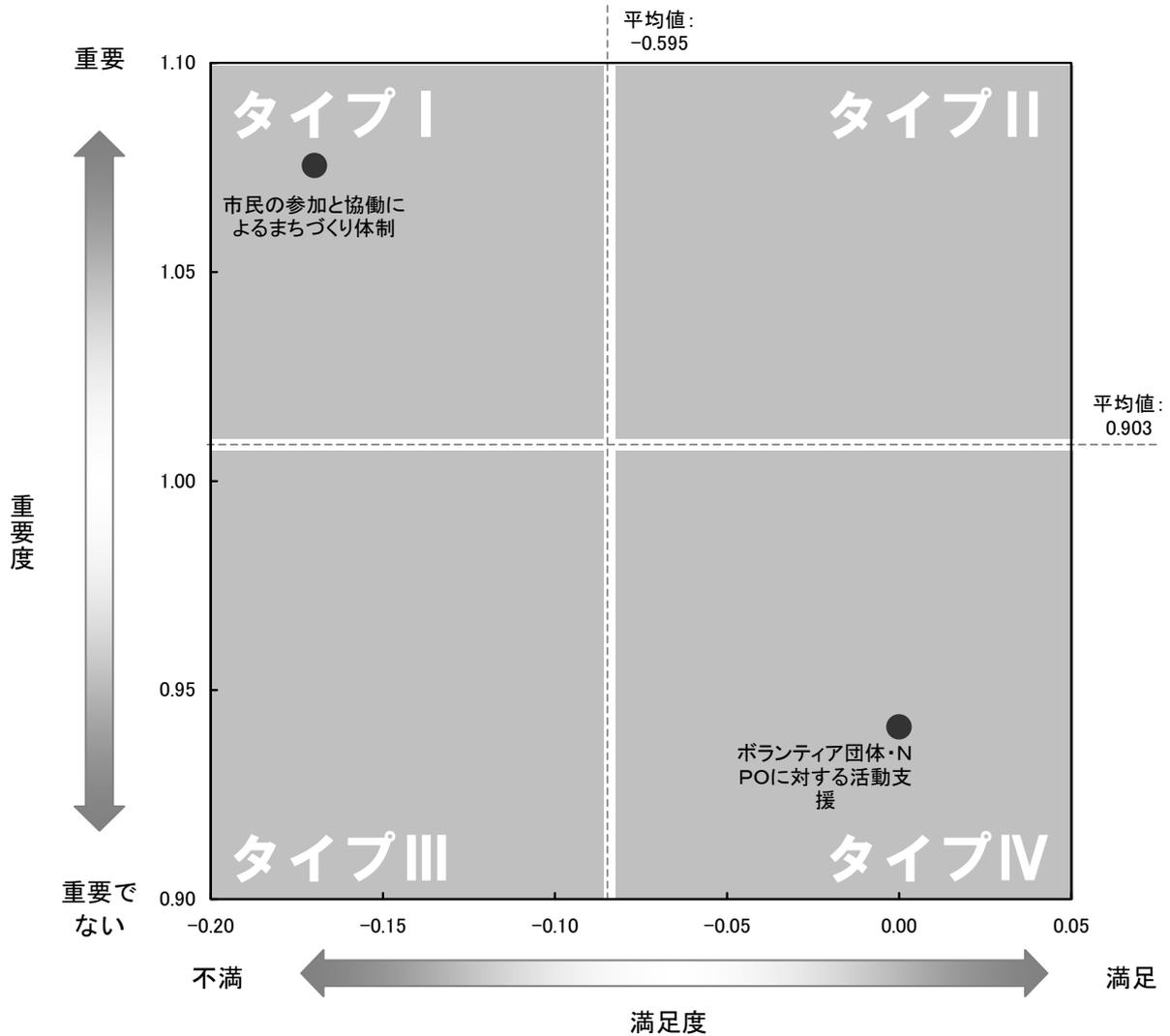


【今後の重要性】



4 市の政策の満足度と重要度によるポートフォリオ分析

ポートフォリオによる市の政策の評価については、市民・団体などの参加と協働によるまちづくり体制の充実で満足度が低く、かつ重要度が高くなっており、事業の改善が求められます。



区分	満足度	重要度
市民・団体などの参加と協働によるまちづくり体制の充実	-0.17	1.08
設立・団体運営の支援などボランティア団体・NPOに対する活動支援	0.00	0.94

○上図から分析判断できる最優先課題

市民・団体などの参加と協働によるまちづくり体制の充実

5 市と連携して実施したいこと

問 15 あなたの団体・グループは、市と連携・協力してどのようなことをしたいですか。自由なご意見をお聞かせください。

- ・参加者をつのる。(1件)
- ・渥美半島横断ハイキングコース【あつみトレイル】の案内標識や案内板また、トイレの設置。(1件)
- ・渥美半島自然博物館の建設。(1件)
- ・大山ヘリ訓練場跡地の自然公園化。(1件)
- ・地域福祉サポートシステムに参加し、コーディネーターや運営研修、経理、研究を引続き取り組みたい。(1件)
- ・田原全域での見守り活動の展開。(1件)
- ・活動している人たちを大切に思ってください。このごろ特に「必要性がない」とされているように感じる人が多いので代表者のなり手がありません。(1件)
- ・在住外国人に対する交流と支援。(1件)
- ・中小零細事業者(商工会員)への経営支援と地域活性化。(1件)
- ・福祉施設の老人たちにもっと歌等を通じて楽しくすごせるような活動の場所等があれば、グループはいつでもどこへでも出掛けていけるよう協力できるようガンバリたい。(1件)
- ・渥美の自然を活用したまちづくりのために何ができるか提案したい。市は自然環境の現状を的確に把握し、課題を見つけその解決策を作っていくことに協力したい。(1件)
- ・市の景観美化のための奉仕活動及びお花畑計画(1件)
- ・今一つ良い案が見つけれない。(1件)
- ・生涯学習講座や、ホールイベント(特にクラシックコンサート)の企画。(1件)
- ・旧渥美地区には障害者を支援する場が少ないので、今私たちの活動に対して支援をしていただけたらもっと活動がしやすくなるのでは(活動場所、人材等)と思う。(1件)
- ・行政職員の方へ要約筆記、手話、ガイドヘルプの養成講座にて、要約筆記者、手話通訳士、ガイドヘルプの資格者を配置し、いつでも障害者に対応できるよう、今回の養成講座に参加していただきたい。(1件)
- ・障害者権利として情報保障をお願いしたい。(1件)
- ・今後も、うちの活動内容等をインターネット等で多くの方々に知っていただきたいです。(1件)
- ・行事に市の職員の(特に市長など)参加を要望して、実情を知ってもらいたいのに、担当部局(長)で防ぎます。これでは日頃通じている部のやりとりで終わってしまう。(1件)
- ・図書館との連携を継続して行なっている。今後も続けたい。(1件)
- ・不登校、ひきこもりに関して広く一般市民に呼びかけるよう、団体をアピールしていきたい。大規模なイベント、講演会を行ないたい時、協力してほしいと思います。(1件)
- ・外国人経営の店舗設置。他市と比べると外国人数は少ないので、その国の人が必要とする物品購入に不便を感じているようだ。同国人同士が気軽に集える場の設定も進めたい。(1件)
- ・高齢化のためか、会員の減少が止まらない。従って予算減のため、事業維持が難しくなっている。市の協力・テコ入れがほしい。(1件)
- ・現在、田原市防災対策課の要請で防災ボランティアコーディネーター養成講座の講師を務めております。この講習会を継続していただき、万が一の災害時に活動できるコーディネーターの人数を確保したいと思っております。(1件)

VI 市内団体アンケート調査

- ・現在会員同士の交流を主としており、会員の健康管理が目的です。拡大して、とじこもり予防等に役立てればよいと思う。(1件)
- ・男女共同参画推進懇話会、自治会、防災対策課などと共催で、勉強会をしていきたい。いちおし、講義「ジェンダーと災害」講師大橋秀子氏。(1件)
- ・市の施設や、印刷機の利用、またチケット販売場所、チラシや広報たはらを通して広報。また、委託（補助金）事業として協働していくことがある。(1件)
- ・今、私自身が勉強中（日本赤十字愛知県支部で講習を受けている最中）で何をしていけばよいのか担当課と十分話し合っって今後の活動につなげていきたい。(1件)
- ・法務省は更生保護女性会に子育て、支援を一番望んでいる。私たちの団体が子育て支援（託児を受けるだけではなく）をしていく団体になることが必要。コミュニティー活動の中に入っていきうようになれば人材（会員）の確保等、地域の応援をいただけるのでしょうか。(1件)
- ・社会福祉法に規定されている地域福祉の推進を行なう団体であるので、補助金等の財源の安定的な確保に一層の理解をお願いしたい。(1件)
- ・市民参画意識や郷土愛の醸成に寄与できればと思います。(1件)
- ・市民の生きる力を親子関係から、学習させてあげる場所をもっと作る活動を、協力し合いたい。(1件)

6 自由意見

問 16 その他、普段お考えになっていること、団体の将来の展望、市に対するご意見やご要望、ご提言などがあれば、ご自由にお書き下さい。

- ・PRをよろしく。(1件)
- ・地区で開催される行政懇談会にNPO法人代表の出席を要請する。(1件)
- ・市民館使用时、校区の住民からの申込みが必要だが、使用条件の但し書に「校区民の利用を優先します」と載っている。利用に関して団体の中で同じ校区に住む会員が少ないと優先されない場合はその割合や内容を明確にしてほしい。(1件)
- ・市役所各課事業は、市民サービスを効率的に向上するには、プロジェクトチーム（各課横断）にて多角的な視点で検討する必要があると思われます。駅前再開発などは、豊鉄、市建築課、街づくり推進課、福祉課、生涯学習課など関係部署との連携が必須と思われます。(1件)
- ・市民との対話を通して、市民の声（要望）を吸い上げ、行政にすぐ活かすことが必要。(目に見える形にすること)が要求される。(1件)
- ・会員の高齢化が進み、なかなか新規会員が増えないのが現状。改善方法をいろいろと考えてはいるが困難。(1件)
- ・市の職員は一個人を大切にしてください。(1件)
- ・我々ボランティアはお茶一杯も自分で購入しなければならないし、活動場所の集合でも、集合場所、会合場所等の借場所もない。現場で集合して次の場所への日時、出席できる人等の確認等をして別れる現状である。(1件)
- ・渥美半島の先端地区は人口が急激に減っている。その人口減少を止めるためには地域の自然を生かした新たな産業を生み出し就労できる環境作りが必要である。防災（減災）対策以上に、対策をすべきではないか。(1件)
- ・市からの業務委託で遊休農地を管理していますが、成果が出てからの賃金の支払いになるので会員の作業代の支払ができない月があります。(例 菜の花を10月に蒔きました。開花は12月下旬から3月まで。結果として委託金は3月以降になります。5か月は収入0です。苦しいです。)(1件)
- ・個々の文化活動の多様化によって、若い年齢層の入会者が減少している。その上、会をリードする指導者及び会員の高齢化によって年々会員数が減り、将来の不安と対策に苦慮しているが、反面、こんなお年なのにとと思われる会員の活動も見逃せないのも事実である。(1件)
- ・今後、障害を持っている本人、家族が住みやすいまちができることを願っている。(1件)
- ・行政職員の方へ要約筆記、手話、ガイドヘルプの養成講座にて、要約筆記者、手話通訳士、ガイドヘルプの資格者を配置し、いつでも障害者に対応できるよう、今回の養成講座に参加していただきたい。障害者権利として情報保障をお願いしたい。(1件)
- ・数か所でよいので野池を子どもたちが自然や水とふれあえる遊び場、釣り場としての開放。(1件)
- ・以前に、社協さん（デイサービス）で、機械浴を買い替えるということで、今まで使用していたものがまだ使える状態であったという話をきき、安値で譲ってほしいと思っていました。リサイクルできるものがあったら話がほしいです。(1件)
- ・こうしたアンケートや市民参加の会議が事務（担当）の方針を通すための「やっている」ことに終わり、本気で改善に役立てようとしているのか、市長や担当の答弁から感ずる。立場上やむをえないかと反論はしていないが、会議やこうしたアンケートに対する無力感を禁じえない。(1件)
- ・市民館や文化会館など、一般市民がいつでも使える施設を有効活用していきたい。空き家などを上手に活用して一般市民の皆さんが気軽に利用できる場を増やしていきたい。(1件)

VI 市内団体アンケート調査

- ・研修生等で期間終了して帰国した外国人若者たちが、日本で暮らしたくて再度留学生等の名目で来日し、長野県、山梨県、富山県などにある小さな日本語学校に来ている。その後、就職・大学へと進路は様々であるが、10人程の集団で昔働いた地域へ移住して来る噂など聞いている。そうすると市内各地に外国人タウンが設立されて来ることも遠くない。そのときの構想はどうだろうか。(1件)
- ・会費の減少のみならず、市からの補助金・委託料も年々削減されてきた。昔から同じ大会補助を企画しながらの削減です。不満が出ています。活動(事業)停止の声も出ています。(1件)
- ・市の職員は(忙しいと思うが)1人の人間として活動の中に入ってきてほしい。協働は大切だが「思い」があってはじめて生きた関係となり、協働のいくつもの仕組みが活きてくる。(1件)
- ・私たち手芸クラブ員は、高齢化が進み僅か5人で活動しております。ここ2、3年体調をくずす人が多くなり、ボランティア活動ができにくくなって参りました。少しでも勉強してボランティアができることを願っていますが思うに任せません。メンバーの減少と新たな参加者がありませんので解散寸前状態になっています。(1件)
- ・渥美文化会館多目的ホールを会場として活動していますが、イス(パイプイス)が重く、すわると音がしてしまいます。軽くて音の出ないイスを備品として今後検討してもらいたいです。(1件)
- ・障害の有無、年齢等関係なく、ログドラムを楽しくたたきながら自身の開放、自分らしくいられる空間として活動を続けていければと思います。(1件)
- ・更生保護女性会と赤十字奉仕団の活動をイコールでいくのか、市全体のレベルで協議していただきたい。今、担当課で赤十字奉仕団の組織については協議していただいています。(1件)
- ・法務省は更生保護女性会に子育て、支援を一番望んでいる。私たちの団体が子育て支援(託児を受けるだけではなく)をしていく団体になることが必要。コミュニティー活動の中に入っていきよくなれば人材(会員)の確保等、地域の応援をいただけるのでしょうか。市の職員、教員等の退職をした人でボランティア意識の高い人を、私たちの団体(他のボランティア団体)にもっと入れていただけるよう希望します。(1件)
- ・地域コミュニティーの活動で福祉活動を展開する気運が今一つ低い気がします。社協という法人の知名度やこれまでの活動に問題があるのはわかるが、地域活動の担い手の育成のため、市と社協が一体となりコミュニティー活動に取り組む必要がある。(1件)
- ・青年会議所は奉仕活動を通じて自己の修練となるような、「機会と経験の場」です。20~40歳の青年のみが所属して活動できる団体で、実践的能力やリーダーシップを育むには絶好と思います。1人でも多くの若者がJCと関わることで成長に繋がってほしいと思います。(1件)
- ・排水機の管理を市で一本化(集水区域等が市所有の排水機と同じ)して、管理を行なってはどうか。(1件)
- ・市の農業基盤に対する職員の充実。(1件)
- ・マスコミ受けを追求せず、自然科学的な真実、最新の知見に基づいた政策づくり、市政の施策を行なっていただきたい。(1件)
- ・(学校給食など)食べ物やワクチン接種など危険なのに、認識されていない事が多い。学校からワクチンの摂取をして下さいとチラシ配布されたり、保健室に集合させたり、子どもへの配慮にかけていると思います。学習会を開きたい。(協同で)(1件)

■付録

付録 調査票

田原市市民意識調査

アンケート調査へのご協力をお願い

日頃は市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

「田原市市民意識調査」は、改定版第1次田原市総合計画で定めた「みんなが幸福を実現できるまち」の理念のもと、将来都市像「うらおいと活力のあるガーデンシティ」の実現を目指し、市民の皆様から、「幸福感」や「まちの住みよさ」、「各施策の満足度・重要度」に関するご意見をお伺いし、市政へ反映するための基礎資料として活用するもので、3年に一度実施しています。

この調査は、田原市にお住まいの20歳以上の方の中から無作為に3,500人の方を選ばせていただきました。ご回答の内容は、全て統計的に処理し、プライバシーの保護はもとより、他の目的に利用することは一切ございません。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年7月

田原市長 鈴木 克幸

ご記入にあたって

○このアンケート調査は、できるだけ封筒の宛名のご本人様がお答えいただくようお願いいたします。なお、ご本人様が記入できない場合は、ご本人様とご相談のうえご家族の方が記入していただくと幸いです。

○設問への回答について、特に記載のない場合は、該当する項目を選んで、番号に○印を付けてください。

○ご記入いただいたアンケート用紙は、7月22日(月)までに同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、ポストに投函してください。

○このアンケートについて、ご不明な点がございましたら下記へお問い合わせください。

田原市役所 政策推進部政策推進課(担当:平井・牧野) 電話 0531-23-3507(直通)

1 あなたのことについて

問1 あなた自身の平成25年7月1日現在の状況についてうかがいます。
(あてはまるもの1つに○)

(1) あなたの性別	1 男性	2 女性			
(2) あなたの年齢	1 20歳代	2 30歳代	3 40歳代		
	4 50歳代	5 60歳代	6 70歳以上		
(3) あなたの職種など	1 会社経営者・役員				
	2 自営業(農林漁業)				
	3 自営業(商工業自営など)				
	4 自由業(医師・弁護士・会計士・税理士・作家・画家など)				
	5 自由業の手伝い				
	6 会社員・公務員・団体職員				
	7 パート・アルバイト				
	8 専業主事従事者(主婦など)				
	9 学生				
	10 無職(年金生活含む)				
	11 その他()				
(4) お住まいの地区(小学校区別)	1 六連	2 神戸	3 大草		
	4 田原東部	5 田原南部	6 竜浦		
	7 田原中部	8 衣笠	9 野田		
	10 高松	11 赤羽根	12 若戸		
	13 和地	14 製切	15 伊良湖		
	16 龜山	17 中山	18 福江		
	19 清田	20 泉			
	校区が分からない場合町名を記入()				
	(5) お住まいの住宅の種類	1 一戸建住宅	2 分譲マンション		
		3 一戸建借家	4 民間賃貸住宅(マンション・アパート)		
		5 社宅・寮・官公舎	6 公団・公営住宅		
		7 その他()			
		(6) 田原市での居住年数	1 1年未満	2 1年以上～3年未満	
			3 3年以上～5年未満	4 5年以上～10年未満	
			5 10年以上～20年未満	6 20年以上	

1

2 あなたの幸福感について

問2 現在、あなたはどの程度幸せですか、「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。[いづれかの数字を1つだけ○]

とても不幸											とても幸せ
0点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10点	

問3 あなたが「幸せ」であるために、重要だと思う事項は何ですか。

(あてはまるもの3つに○)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 経済的なゆとり | 2 就業状況(仕事の有無・安定) |
| 3 自分や家族の健康 | 4 自由な時間・趣味・充実した余暇 |
| 5 やりがいのある仕事 | 6 積極的な社会貢献・生涯学習活動 |
| 7 良好な人間関係(家族) | 8 良好な人間関係(友人) |
| 9 良好な人間関係(職場) | 10 良好な人間関係(隣近所・地域) |
| 11 良好な子育て環境 | 12 良好な教育環境 |
| 13 良好な居住環境 | 14 安心・安全に暮らせる環境 |
| 15 追い求める夢や理想があること | |

問4 あなたの幸福感をさらに高めるために、今足りていない(さらに高めたい)と思う事項は何ですか。(あてはまるもの3つに○)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 経済的なゆとり | 2 就業状況(仕事の有無・安定) |
| 3 自分や家族の健康 | 4 自由な時間・趣味・充実した余暇 |
| 5 やりがいのある仕事 | 6 積極的な社会貢献・生涯学習活動 |
| 7 良好な人間関係(家族) | 8 良好な人間関係(友人) |
| 9 良好な人間関係(職場) | 10 良好な人間関係(隣近所・地域) |
| 11 良好な子育て環境 | 12 良好な教育環境 |
| 13 良好な居住環境 | 14 安心・安全に暮らせる環境 |
| 15 追い求める夢や理想があること | |

2

問5 あなたの状況について伺います。

(下表の欄に、項目ごとに評価し該当する番号に○をつけてください。)

状 況	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足
<記入例>	①	2	3	4	5
(1) 経済的なゆとり(生活に必要な所得)	1	2	3	4	5
(2) 就業状況(仕事の有無・安定)	1	2	3	4	5
(3) 自由な時間・趣味・充実した余暇	1	2	3	4	5
(4) 仕事のやりがい	1	2	3	4	5
(5) 社会貢献・生涯学習活動の状況(あなた自身の取り組み状況)	1	2	3	4	5
状 況	良い	おおよそ良い	普通	少し悪い	悪い
(6) 自分や家族の健康状況	1	2	3	4	5
(7) 家族との人間関係	1	2	3	4	5
(8) 友人との人間関係	1	2	3	4	5
(9) 職場での人間関係	1	2	3	4	5
(10) 地域での人間関係(隣近所・地域住民・地域コミュニティ)	1	2	3	4	5
(11) 子育て環境(あなたが子どもや孫を育てる環境)	1	2	3	4	5
(12) 教育環境(あなたの子どもや孫、あなた自身の教育環境)	1	2	3	4	5
(13) 居住環境(住居、生活環境、自然環境)	1	2	3	4	5
(14) 安心・安全に暮らせる環境(交通安全、防災対策、自然災害への備え)	1	2	3	4	5
(15) 夢や理想を追い求めることができる環境(夢や理想を追い求めるための環境が整っているか)	1	2	3	4	5

3

問6 あなたは、あなた自身の「幸せ」や、あなたの周囲の人などの「幸せ」を高めることについて、どの程度意識し、どの程度取り組みを行なっていますか。
 [下表の欄に、項目ごとに評価し該当する番号に○をつけてください。]

質問事項	1 全くしていない	2 ややしていない	3 あまりしていない	4 していない	5 わからない
<記入例> (1) ○○○○	①	2	3	4	5
(1) あなたは、普段から自分にとっての「幸せ」とは何かを考えていますか。	1	2	3	4	5
(2) あなたは、普段から自分が「幸せ」になるための努力をしていますか。	1	2	3	4	5
(3) あなたは、普段から自分だけでなく周囲が「幸せ」になるよう意識していますか。 (家族の笑顔を増やすことで、家族を幸せにしている) (美味しい野菜を作って、消費者を幸せにしている) など	1	2	3	4	5
(4) あなたは、あなたが行なう仕事や活動、普段の生活などを通じて、周囲を「幸せ」にする取り組みを行なっていますか。	1	2	3	4	5

問7 あなたの幸福感を高めるために有効な手立ては何ですか。
 [あなたの考えに最も近いもの2つまでに○]

1 あなた自身の努力	2 家族との助け合い
3 友人や仲間との助け合い	4 社会（地域住民、NPO等）の助け合い
5 職場からの支援	6 国や県、市からの支援

4

3 田原市の住みよさについて

問8 田原市は住みよさだと思いますか。[あてはまるもの1つに○]

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 住みやすい | 2 どちらかといえば住みやすい |
| 3 どちらかといえば住みにくい | 4 住みにくい |

問9 ここ数年の間に、住みごころに変化がありましたか。[あてはまるもの1つに○]

- | | |
|----------------|-----------|
| 1 以前より住みやすくなった | 2 特に変化はない |
| 3 以前より住みにくくなった | |

問10 田原市が優れていると感じることは何ですか。[あてはまるもの3つに○]

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 海・山などの自然環境 | 2 街並みなどの都市景観 |
| 3 農業の発達 | 4 工業の発達 |
| 5 買い物などの生活の利便性 | 6 雇用機会の充実 |
| 7 各種公共施設の整備状況 | 8 交通の利便性 |
| 9 住宅確保のしやすさ | 10 住環境の快適さ |
| 11 余暇を楽しむ機会や場所 | 12 歴史や文化 |
| 13 学校など教育環境 | 14 医療・福祉の充実 |
| 15 環境共生への取り組み | 16 消防・防災の充実 |
| 17 子育てのしやすさ | 18 人の温かさ |
| 19 隣近所の助け合い | 20 その他（ ） |

5

問11 田原市に欠けていると感じることは何ですか。[あてはまるもの3つに○]

1 海・山などの自然環境	2 街並みなどの都市景観
3 農業の発達	4 工業の発達
5 買い物などの生活の利便性	6 雇用機会の充実
7 各種公共施設の整備状況	8 交通の利便性
9 住宅確保のしやすさ	10 住環境の快適さ
11 余暇を楽しむ機会や場所	12 歴史や文化
13 学校など教育環境	14 医療・福祉の充実
15 環境共生への取り組み	16 消防・防災の充実
17 子育てのしやすさ	18 人の温かさ
19 隣近所の助け合い	20 その他（ ）

問12 あなたは、友人や知人などが訪ねてきたとき、田原市のどこを案内してあげたいですか。[あてはまるもの3つに○]

1 伊良湖岬・志路ヶ浜周辺	2 伊良湖海水浴場
3 一色の磯・太平洋ロングビーチ	4 道の駅あかばねロケーション・ココパーク
5 白谷浜公園	6 仁崎海水浴場・キャンプ場
7 汐川干潟	8 初立池公園
9 赤羽根文化広場・文化の森	10 サンテパルクたはら
11 蔵王山展望台・権現の森	12 瀬頭公園
13 緑が茶公園	14 瀬ノ原公園・つばき公園
15 田原市博物館・田原城跡周辺	16 田原まつり会館
17 藤七原・黒河・塩のシゲコブシ	18 吉胡貝塚・シュルマよしご
19 菜の花畑	20 道の駅伊良湖クリスタルボルト
21 道の駅田原めっくんはうす	22 セントファレー・はなとき通り商店街
23 風力発電	24 臨海工業地帯
25 図書館	
26 その他（ ）	

6

4 田原市からの情報提供について

問13 あなたは、市政に関する情報を十分得ていると思いますか。
 [あてはまるもの1つに○]

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 思う | 2 どちらかといえば思う |
| 3 どちらかといえば思わない | 4 思わない |

問14 あなたは、市政に関する情報を主に何から得ていますか。
 [あてはまるもの3つに○]

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1 広報たはら | 2 田原市ホームページ |
| 3 ケーブルテレビ | 4 議会だより |
| 5 新聞（地方紙） | 6 各種パンフレット |
| 7 図書館（地域資料コーナー） | 8 その他（ ） |
| 9 情報は得ていない | |

問15 あなたは、「広報たはら」を読んでいますか。[あてはまるもの1つに○]

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1 ほとんどの記事を読む | 2 必要・関心のあるものだけを読む |
| 3 見だしや写真を見る程度 | 4 ほとんど読まない |
| 5 まったく読まない | |

問16 「広報たはら」の発行回数は月に何回が良いと思いますか。
 [あてはまるもの1つに○]

- | | |
|------------|---------------------|
| 1 月1回が良い | 2 月2回が良い |
| 3 月3回以上が良い | 4 月1回でときどき増刊号があると良い |
| 5 その他（ ） | |

7

5 各分野での市の取り組みについて

問17 あなたは、現状の田原市の取り組みに対しどの程度満足していますか。
 (下表の「満足度」の欄に、項目ごとに評価し、該当する番号に○をつけてください。
 また、今後、行政がどの程度重点的に取り組みを講じる必要があると思いますか。
 (下表の「重要度」の欄に、項目ごとに評価し、該当する番号に○をつけてください。)

施策	満足度				重要度					
	満足	やや満足	普通	やや不満足	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない		
<記入例> (1) ○○○○ ×××の推進、△△△の充実	1	2	3	④	①	2	3	4	5	
市民環境分野について										
(1) 参加と協働の推進 地域コミュニティ・NPO・ボランティア団体などと連携・役割分担による協働のまちづくり、男女が良きパートナーとして共に活動できる環境づくり(男女共同参画)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2) 地域防災・交通安全の推進 地域防災パトロール・地区防犯灯の設置補助・啓発活動、交通安全指導員の配置・施設整備・啓発活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(3) 環境共生まちづくり 節電や省エネルギーに関する意識啓発、太陽光発電設備補助等省エネルギーの導入促進による環境負荷の少ない地域づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(4) 環境保全の推進 水質保全・悪臭防止等生活環境の保全、合併処理浄化槽の設置補助	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(5) 衛生対策の推進 畜舎・ペット火葬場の運営、食中毒予防や狂犬病予防接種等感染症対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(6) 資源循環の推進 ごみの減量化・資源化促進の取り組み、県生類・処分場等ごみ処理施設の運営	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
健康福祉分野について										
(7) 健康づくりの推進 健康づくり、乳幼児健診等母子保健の推進、予防接種等感染症予防	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(8) 医療の充実 休日や平日夜間の医療体制の確保、医師確保に向けた取り組み、公的病院支援、国民健康保険の運営、福祉医療の給付	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

8

施策	満足度				重要度					
	満足	やや満足	普通	やや不満足	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない		
(9) 地域福祉の充実 福祉センター運営、地域福祉活動の推進、結婚相談、児童虐待防止等取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(10) 児童福祉の充実 保育園の運営、耐震化等保育施設整備、児童手当支給、児童館・児童クラブの運営	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(11) 障がい者福祉の充実 障害者手当支給・身体障害者補具給付等各種支援、障害者生活支援センター運営	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(12) 高齢者福祉の充実 介護保険の運営、介護予防の推進、高齢者福祉タクシー・バス料助成、高齢者施設の充実、老人クラブ活動等支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(13) 社会保障の充実 国民年金事務、生活保護費支給による被保護世帯の自立促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
産業経済分野について										
(14) 農業の振興 農地の保全・活用取り組み、営農支援センター運営、サテライト運営、農畜産物のブランド化、環境保全型農業の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(15) 水産業の振興 稚魚・稚魚の放流による水産資源確保、水産物PR・ブランド化支援、漁港管理	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(16) 工業の振興 企業誘致活動、本地企業のサポート活動、三河産産物に向けた利用促進の取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(17) 商賣の振興 中小企業活性化支援、農工商連携の促進、まちなか賑わいづくり、商工活動支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(18) 観光の振興 観光振興、各種観光施設運営・整備、観光イベント開催支援、観光ユーザー支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(19) 労働環境・消費生活の充実 勤労者支援、雇用促進に向けた取り組み、消費者トラブルの予防啓発や相談事業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
都市整備分野について										
(20) 交通基盤の整備 広域幹線道路・幹線道路・橋梁等の整備、生活道路の改良、道路舗装、清掃・草刈等道路維持管理、三河田原駅・駅周辺整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

9

施策	満足度				重要度					
	満足	やや満足	普通	やや不満足	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない		
(21) 公共交通の整備 地方バス路線支援、ぐるりんバスの運行、公共交通の充実に向けた取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(22) 港湾・河川・海岸の整備 泉涌・那波津の整備・管理、河川・排水路の整備・管理、海岸施設の保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(23) 市街地の整備 市街地整備、田原・赤羽根・福江地区のまちづくり、土地区画整理事業支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(24) 地域・住環境の整備 農村部等の整備、表出地域の整備促進、居住環境の整備、市営住宅の管理、定住促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(25) 上下水道の整備 水道施設の整備・管理、水道事業経営、公共下水道・農業集落排水・し尿処理施設の整備・管理運営	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(26) 自然環境の保全 里山の保全、森林病虫害防除、有害鳥獣・有害植物・特定外来生物の駆除活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(27) 緑と景観の保全 良好な街並み景観の形成、緑化推進、緑化センターの運営、公園・緑地の整備・管理	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
教育文化分野について										
(28) 学校教育の充実 教育環境向上に向けた取り組み、小中学校整備・管理運営、中学生海外交流、給食センター運営、田原福祉専門学校支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(29) 生涯学習の充実 市民館運営、図書館の運営、江比間野外活動センター運営、生涯学習講座等開催	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(30) スポーツの振興 各種スポーツ施設の管理運営、体育協会・スポーツ少年団活動支援、学校施設開放	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(31) 青少年健全育成 青少年健全育成活動、子供会活動支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

10

施策	満足度				重要度					
	満足	やや満足	普通	やや不満足	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない		
(32) 芸術文化の振興 田原文化広場・表羽根・湖美文化会館運営、文化ホール事業の実施、能ヶ原会館運営	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(33) 文化財の継承 文化財保護・活用、文化の継承、博物館・吉原貝塚公園運営、農業郷土資料館管理	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
消防防災分野について										
(34) 消防・救急体制の充実 消防活動、救急活動、消防団の活動支援、消防車両・消火栓・防火水栓等設置・管理、救急講習等の開催	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(35) 防災・減災体制の充実 災害対策の取り組み、自主防災活動支援、防災設備等整備・管理、建築物耐震化補助	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
行財政分野について										
(36) 国際化の推進 姉妹・友好都市との国際交流、多文化共生に向けた環境整備、ボランティア団体支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(37) 情報体制の充実 広報等発行、ホームページ管理、シティセールスの取り組み、地域情報化の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(38) 広域連携の推進 東三河各市町村との連携、広域の取り組み、菅田村・阿南町との交流、大学等との連携	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(39) 水資源の確保 設楽ダム整備促進に向けた取り組み、設楽野との交流、グリーンメッセージの運営	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(40) 行財政運営 窓口サービス、施策の推進・調整、行政改革、統括事務、職員管理、財政運営、民務事務、庁舎・財産等管理、議会運営支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問18 問17の(1)～(40)の施策のうち、あなたが特に重要だと思う施策の番号を3つご記入ください。

<記入例>			
8			

11

6 市民活動への参画について

問 19 あなたは、今までに地域活動やボランティア活動の経験がありますか。
〔あてはまるもの1つに○〕

- 1 現在活動している
- 2 現在は活動していないが過去に活動の経験がある
- 3 全く経験がない

問 20 問 19 で「1 現在活動している」、「2 現在は活動していないが過去に活動の経験がある」と答えた方にお聞きします。どのような活動を行っています(いました)か。
〔あてはまるもの全てに○〕

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 自治会活動 | 2 自然・環境保護に関する活動 |
| 3 生涯学習活動の指導・支援 | 4 社会福祉に関する活動 |
| 5 国際交流(協力)に関する活動 | 6 地域青少年育成活動 |
| 7 スポーツ・文化に関する活動 | 8 まちづくりに関する活動 |
| 9 自主防災活動や災害援助活動 | 10 その他() |

問 21 問 19 で「2 現在は活動していないが過去に活動の経験がある」、「3 全く経験がない」と答えた方にお聞きします。今後、活動を行いたいと思いませんか。
〔あてはまるもの1つに○〕

- 1 積極的に活動していきたい
- 2 機会があれば活動したい
- 3 活動したいが余裕がない
- 4 活動したくない

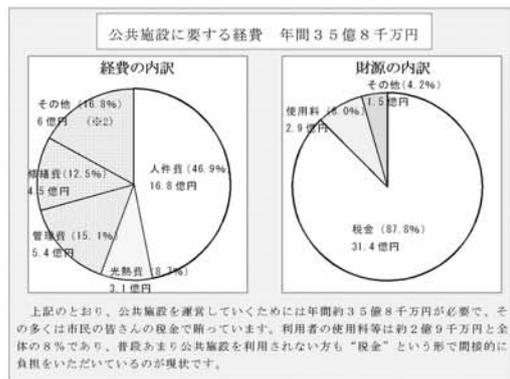
7 公共施設の利用について

問 22 あなたは、過去1年間に田原市の体育館や文化施設、図書館、市民館など、公共施設を利用されましたか。〔あてはまるもの1つに○〕

- 1 定期的に利用した
- 2 1回または数回利用した
- 3 利用しなかった

下記の資料をご覧ください。どう思われたかお尋ねします。

平成23年度分 施設調査(第1)



問 23 田原市の一人当たり公共施設延べ床面積は、人口が同規模の自治体の中で最も多くなっています。(田原市：5.97㎡/人、全国平均：3.42㎡/人)
あなたは、田原市のどのような施設が多い、または少ないと感じますか。
〔施設種別ごとに詳述し、該当する番号に○をつけてください。〕

※【 1.多い 2.普通 3.少ない 】

<記入例>	1・2・3	(9)文化施設 〔図書館、文化会館等〕	1・2・3
(1)庁舎 〔本庁、支所、市民センター〕	1・2・3	(10)文化財施設 〔博物館、民権資料館等〕	1・2・3
(2)消防施設 〔本署、分署、駐所等〕	1・2・3	(11)スポーツ施設 〔体育館、運動公園等〕	1・2・3
(3)保健・福祉施設 〔福祉センター、デイサービスセンター、児童センター等〕	1・2・3	(12)市営住宅〔13箇所〕	1・2・3
(4)ゴミ処理施設 〔資源化センター等〕	1・2・3	(13)観光施設 〔道の駅、展望台等〕	1・2・3
(5)衛生施設 〔斎場、ペット火葬場等〕	1・2・3	(14)市民館	1・2・3
(6)保育園〔21園〕	1・2・3	(15)その他()	1・2・3
(7)小学校〔20校〕	1・2・3	その他()	1・2・3
(8)中学校〔7校〕	1・2・3	その他()	1・2・3

問 24 施設の老朽化により今後30年間で726億円程度(年平均24億円)の維持費用が必要となってくる見込みです。また、少子高齢化による収減も予想され、全ての施設を維持することが難しくなる考えます。
あなたは、公共施設を維持していくためには、今後どのようにしたらよいと思いませんか。〔あてはまるもの1つに○〕

- 1 施設を現状維持し、他の行政サービスの低下も仕方ない
- 2 施設使用料を上げて対応する
- 3 他の行政サービスを維持するため、施設の廃廃合があっても仕方ない
- 4 その他()

8 市政に対するご意見

問 25 市政に対するご意見、ご要望がありましたらご自由にお書き下さい。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。

田原市市民意識調査(市内事業者アンケート)

アンケート調査へのご協力のお願ひ

日頃は、市政につきましても多大なご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

田原市では市政へ市民意向を反映するため、3年に一度、市民意識調査を実施しております。

この調査は、改定版第1次田原市総合計画で定めた「みんなが幸福を実現できるまち」の理念のもと、将来都市像「うるおいと活力のあるガーデンシティ」の実現を目指すための基礎資料として、田原市に事業所を有する事業者の皆様からご意見をお伺いするものです。

調査票については、個別に公表することはありません。また、回答者を特定するような調査結果の利用は一切ありませんので、あなた(あるいは、あなたが見た会社、事業所、工場)のご意見をお聞かせください。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ぜひ調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年7月

田原市長 鈴木 克孝

ご記入にあたって

- 質問は、選択式(○をつけるもの)と記述式から構成されています。それぞれの質問の指示に従ってご回答ください。
- 各項目について、率直に思ったことをご回答ください。
- ご記入いただきました調査票は、7月22日(月)までに同封の返信用封筒に入れて、投函していただきますようお願いいたします。
- このアンケートについてご不明な点がございましたら下記へお問い合わせください。

田原市役所 政策推進部政策推進課 (担当: 平井、牧野) 電話 0531-23-3507 (直通)

1 あなたの会社(事業所)について

問1 あなたの会社(事業所)についてお答えください。

企業形態 (○は1つ)	1 個人企業(個人経営) 2 株式会社 3 有限会社 4 合名・合資会社 5 その他()
本社・事業所区分 (○は1つ)	1 本社(事業所・工場併設の本社) 2 支社・支店・事業所 3 本社以外の分工場 4 チェーン直営店もしくは加盟店 5 その他()
資本金 (○は1つ)	1 個人企業であるため資本金はない 2 1,000万円未満 3 1,000万円以上3,000万円未満 4 3,000万円以上1億円未満 5 1億円以上
業種 (○は1つ)	1 鉱業 2 建設業 3 製造業 4 電気・ガス・熱供給・水道業 5 情報通信業 6 運輸業 7 卸売・小売業 8 金融・保険業 9 不動産業 10 飲食店・宿泊業 11 医療・福祉 12 教育・学習支援業 13 サービス業 14 その他()
従業員数 (B5.4.1時点)	総数(人)うち田原市在住(人) 内訳 正社員(人) 派遣社員(人) パート(人) アルバイト(人) 期間従業員(人) その他(人)
あなたの事業所(工場)の従業員の居住先の概ねの比率 (各項目に数値を記入)	1 市内 (%) 2 豊橋市 (%) 3 愛知県内 (%) ※田原市、豊橋市を除く 4 愛知県外 (%)
田原市での事業年数 (○は1つ)	1 1年未満 2 1年以上～3年未満 3 3年以上～5年未満 4 5年以上～10年未満 5 10年以上～20年未満 6 20年以上

1

2 田原市の事業環境について

問2 田原市は、あなた(会社)にとって事業をしやすいまちだと思いますか。

(○はひとつ)

- 1 はい 2 いいえ 3 どちらともいえない

問3 田原市で事業を行う環境について

(1) 田原市で事業を行う環境は、5年前と比べて全体的にどうなったとお考えですか。(○はひとつ)

- 1 良くなった 2 きびしくなった
3 変わらない 4 5年前は事業をしていない

(2) 田原市で事業を行う環境について、良くなった点、きびしくなった点などについて、具体的にお聞かせください。

.....

.....

.....

3 あなたの会社(事業所)の事業について

問4 あなたの会社(事業所)の5年前の売上高を1.0とした場合、それに対する直近の売上高の割合はどのくらいですか。(○はひとつ)

- 1 約0.5倍未満 2 約0.5倍～約0.8倍未満
3 約0.8倍～約1.0倍未満 4 約1.0倍～約1.2倍未満
5 約1.2倍～約1.5倍未満 6 約1.5倍～2倍未満
7 約2.0倍以上 8 5年前は事業をしていない

2

問5 あなたの会社(事業所)の5年前の経常利益(所得)を1.0とした場合、それに対する直近の経常利益(所得)の割合はどのくらいですか。(○はひとつ)

- 1 約0.5倍未満 2 約0.5倍～約0.8倍未満
3 約0.8倍～約1.0倍未満 4 約1.0倍～約1.2倍未満
5 約1.2倍～約1.5倍未満 6 約1.5倍～2倍未満
7 約2.0倍以上 8 5年前は事業をしていない

問6 あなたの会社(事業所)が、現在の事業を行う上で、経営上の問題点はどこにあるとお考えですか。(○は3つまで)

- 1 売上額の減少 2 利幅の縮小
3 物産・在庫コストの増大 4 人件費の増加
5 資金調達が困難になっている 6 相続税、固定資産税等の税金対策
7 大手企業との競争激化 8 同業者との競争激化
9 取引先減少、業績不振 10 国際競争激化
11 コストダウン要求の強まり 12 市場の成熟、縮小
13 その他()

問7 あなたの会社(事業所)の、今後重視する経営課題はどのようなものですか。(○は3つまで)

- 1 新分野への進出 2 新技術や新商品の開発
3 情報化の推進 4 国際化への対応
5 経営組織の見直し 6 企業間ネットワークの推進
7 人材の確保・育成 8 マーケティングや販路・市場開拓
9 資金調達の円滑化 10 後継者の育成
11 事業の再構築 12 外部経営資源の活用
13 その他経営方針の見直し 14 その他()

3

田原市民意識調査（農業者アンケート）

アンケート調査へのご協力をお願い

日頃は、市政につきまして多大なご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

田原市では市政へ市民の皆様意向を反映するため、3年に一度、市民意識調査を実施しています。

この調査は、改定版第1次田原市総合計画で定めた「みんなが幸福を実現できるまち」の理念のもと、将来都市像「うるおいと活力のあるガーデンシティ」の実現を目指すための基礎資料として、市内の農業者の皆様から「農業のしやすさ」「農業に関する市の施策に対する満足度」などをお伺いするものです。

回答者を特定するような形での調査結果の利用は一切ありませんので、ご意見をお気軽にお願いいたします。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ぜひ調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年7月

田原市長 鈴木 克幸

ご記入にあたって

○質問は、選択式(○をつけるもの)と記述式から構成されています。それぞれの質問の指示に従ってご回答ください。

○各項目について、正直に思ったことをお答えください。

○ご記入いただきました調査票は、7月22日(月)までに同封の返信用封筒に入れて、投函していただきますようお願いいたします。

○このアンケートについてご不明な点がありましたら下記へお問い合わせください。

田原市役所 政策推進部政策推進課（担当：平井、牧野） 電話 0531-23-3507（直通）

1 あなたの事業について

問1 あなたの事業についてお聞きます。(○はひとつ)

専業・兼業の別	1 専業 2 兼業
農業に従事している人数	1 常時農業に従事している (男性 人 女性 人) 2 臨時に農業に従事する (男性 人 女性 人)
おおよその耕地面積 (1ha=10,000㎡)	1 耕地面積 () ha 2 不耕作地 () ha
主な農作物	① ----- ② ----- ③ -----
おおよその農業所得	() 万円
田原市での就農年数 (○は1つ)	1 1年未満 2 1年以上～3年未満 3 3年以上～5年未満 4 5年以上～10年未満 5 10年以上～20年未満 6 20年以上

1

2 田原市の農業全般について

問2 田原市は、農業がしやすいまちだと思いますか。(○はひとつ)

1 はい 2 いいえ 3 どちらともいえない

問3 田原市で農業を行う環境は、5年前と比べて全体的にどうなったとお考えですか。(○はひとつ)

1 良くなった 2 きびしくなった 3 変わらない
4 5年前は農業していない

問4 あなたは、農業産出額日本一である田原市が、今後さらに農業を発展させるためには何が重要だと思いますか。(○は3つまで)

- 1 耕作放棄地の解消
- 2 優良農地の確保と保全、ほ場(田や畑)の整備
- 3 耕作放棄地などの農地情報の共有化
- 4 市民農園・滞在型市民農園の整備などによる都市住民との交流
- 5 食を学ぶ取り組み(食育の推進)
- 6 地域ブランド化の推進
- 7 農商工連携・6次産業化の推進
- 8 消費者の視点に立った安心・安全な農産物の生産・供給
- 9 販路拡大(海外への輸出推進)
- 10 新鮮で多彩な農産物を迅速かつ安定的に消費者に届ける流通システムの整備
- 11 経費削減や環境に配慮した技術の導入
- 12 野菜・畜産物など多彩で豊かな農産物の生産拡大
- 13 農業の担い手の育成
- 14 農休日の普及
- 15 悪臭・臭気など環境に配慮した環境保全型農業の推進
- 16 農業イメージの向上のための営業活動
- 17 農業経営への法人参入
- 18 最先端技術を導入した農業生産
- 19 労働力の確保
- 20 農業ヘルパー派遣制度の充実
- 21 その他(具体的に:)

2

3 あなたの農業経営について

問5 あなたの5年前の売上高を1.0とした場合、それに対する直近の売上高の割合はどのくらいですか。(○はひとつ)

1 約0.5倍未満	2 約0.5倍～0.8倍未満
3 約0.8倍～約1.0倍未満	4 約1.0倍～約1.2倍未満
5 約1.2倍～約1.5倍未満	6 約1.5倍～約2.0倍未満
7 約2.0倍以上	8 5年前は営業していない

問6 あなたの5年前の所得を1.0とした場合、それに対する直近の所得の割合はどのくらいですか。(○はひとつ)

1 約0.5倍未満	2 約0.5倍～0.8倍未満
3 約0.8倍～約1.0倍未満	4 約1.0倍～約1.2倍未満
5 約1.2倍～約1.5倍未満	6 約1.5倍～約2.0倍未満
7 約2.0倍以上	8 5年前は農業をしていない

問7 あなたは、これから農業経営をどのようにしていきたいとお考えですか。(○はひとつ)

1 規模を拡大していきたい	2 現状のままでいきたい
3 規模を縮小していきたい	4 やめたい
5 その他(具体的に:)	

問8 あなたは、自分の農業経営に満足していますか。(○はひとつ)

1 満足している	2 やや満足している
3 どちらともいえない	4 やや不満足である
5 不満足である	6 わからない

問9 あなた自身の農業経営で、重要と考えられることはどれですか。(○は3つまで)

1 自分の才覚	2 行政の支援
3 農協の指導	4 作物の選択
5 規模の拡大	6 販売・流通対策
7 後継者の育成	8 農産物価格の安定
9 労働力の確保	10 先端技術の導入
11 設備投資	
12 その他(具体的に:)	

3

4 農地の保全・活用について

問 10 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。
 (各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○をひとつずつ付ける)

	現在の評価					今後の重要性				
	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない
①遊休農地の解消の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

現在の評価を1～5の中から1つ選んで○を付けて下さい。
 今後の重要性を1～5の中から1つ選んで○を付けて下さい。

問 11 あなたは、農地の保全・活用についてどうお考えですか。あなたの考えに一番近いものを次の中から選んでください。(○はひとつ)

- 1 食料の供給や緑地空間の提供など重要な機能を有するので、積極的に保全する
- 2 住宅問題も食料問題も共に重要であるので、計画的な土地利用を図る
- 3 住宅事情を考え、宅地化を優先すべきである
- 4 宅地化するが保全する場合は土地所有者に任せるべきである
- 5 その他(具体的に:)

5 農業基盤の整備について

問 12 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。
 (各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○をひとつずつ付ける)

	現在の評価					今後の重要性				
	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない
①農道・用排水路整備、農地区画改良の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

4

6 交流・食育の推進について

問 13 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。
 (各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○をひとつずつ付ける)

	現在の評価					今後の重要性				
	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない
①市民農園・滞在型市民農園の整備などによる都市住民との交流の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
②戸ヶ池農業公園(サンデーパーク)運営	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③食を学ぶ取り組み(食育の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

7 農業経営の活性化について

問 14 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。
 (各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○をひとつずつ付ける)

	現在の評価					今後の重要性				
	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない
①産地ブランド化の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
②消費者の視点に立った安心安全な農作物供給対策の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③農業活性化資金貸付・利子補給などによる農業者・団体支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④販路拡大の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

5

8 担い手づくりの推進について

問 15 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。
 (各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○をひとつずつ付ける)

	現在の評価					今後の重要性				
	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない
①認定農業者制度や営農支援による担い手の育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
②農地の輪転などによる担い手の確保	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③花嫁・花婿対策の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④外国人労働環境の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 16 農業の担い手を確保・育成するために何が必要だとお考えですか。
 (○はひとつ)

- 1 農家の後継者やU1ターナー者に対する支援の充実
- 2 新規就農しやすい環境の整備
- 3 意欲ある農業者への融資制度等の充実や企業的経営手法の指導
- 4 その他(具体的に:)

問 17 外国人研修生を受け入れていますか。(○はひとつ)

- 1 受け入れている 2 過去受け入れていた 3 受け入れていない

「1」受け入れている、「2」過去受け入れていた」と答えた方にお聞かせします。
 受け入れて良かったこと、困ったことなどがあればお聞かせください。

6

9 環境保全型農業の推進について

問 18 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。
 (各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○をひとつずつ付ける)

	現在の評価					今後の重要性				
	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない
①適切な糞尿処理と堆肥の供給が円滑に行われる体制の確立	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
②環境問題に配慮した農業の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 19 あなたは悪臭・景観などに配慮して農業経営を行っていますか。

- 1 はい 2 いいえ 3 どちらともいえない

10 市政に対するご意見

問 20 今後原市の農業はどうかあるべきか。また、普段お考えになっていること、何でも結構ですので、ご意見やご提言などがあれば、ご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。

7

田原市民意識調査（漁業者アンケート）

アンケート調査へのご協力をお願い

日頃は、市政につきまして多大なご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

田原市では市政へ市民の皆様のご意向を反映するため、3年に一度、市民意識調査を実施しています。

この調査は、改定版第1次田原市総合計画で定めた「みんなが幸福を実現できるまち」の理念のもと、将来都市像「うるおいと活力のあるガーデンシティ」の実現を目指すための基礎資料として、市内の漁業者の皆様から「漁業のしやすさ」「漁業に関する市の施策に対する満足度」などをお伺いするものです。

回答者を特定するような形で調査結果の利用は一切ありませんので、ご意見をお気軽にお聞かせください。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ぜひ調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 25 年 7 月

田原市長 鈴木 克幸

ご記入にあたって

- 質問は、選択式(○をつけるもの)と記述式から構成されています。それぞれの質問の指示に従ってご回答ください。
 - 各項目について、率直に思ったことをお答えください。
 - ご記入いただきました調査票は、7月22日(火)までに同封の返信用封筒に入れて、投函していただきますようお願いいたします。
 - このアンケートについてご不明な点がありましたら下記へお問い合わせください。
- 田原市役所 政策推進部政策推進課（担当：平井、牧野） 電話 0531-23-3507（直通）

2 田原市の漁業全般について

問2 田原市は、漁業がしやすいまちだと思いますか。(○はひとつ)

1 はい	2 いいえ	3 どちらともいえない
------	-------	-------------

問3 田原市で漁業を行う環境は、5年前と比べて全体的にどうなったとお考えですか。(○はひとつ)

1 良くなった	2 きびしくなった
3 変わらない	4 5年前は漁業をしていない

3 あなたの漁業経営について

問4 あなたの5年前の売上高を1.0とした場合、それに対する直近の売上高の割合はどのくらいですか。(○はひとつ)

1 約0.5倍未満	2 約0.5倍～0.8倍未満
3 約0.8倍～約1.0倍未満	4 約1.0倍～約1.2倍未満
5 約1.2倍～約1.5倍未満	6 約1.5倍～約2.0倍未満
7 約2.0倍以上	8 5年前は漁業をしていない

問5 あなたの5年前の経常利益(所得)を1.0とした場合、それに対する直近の経常利益(所得)の割合はどのくらいですか。(○はひとつ)

1 約0.5倍未満	2 約0.5倍～0.8倍未満
3 約0.8倍～約1.0倍未満	4 約1.0倍～約1.2倍未満
5 約1.2倍～約1.5倍未満	6 約1.5倍～約2.0倍未満
7 約2.0倍以上	8 5年前は漁業をしていない

1 あなたの事業について

問1 あなたの事業についてお伺いします。

専業・兼業の別 (○はひとつ)	1 専業	2 兼業	
漁業に従事している人数	1 常時漁業に従事している (男性 人 女性 人) 2 臨時に漁業に従事する (男性 人 女性 人)		
主な漁獲物	① _____ ② _____ ③ _____		
おおよその漁業所得	〔 _____ 〕万円		
田原市での就漁年数 (○はひとつ)	1 1年未満 2 1年以上～3年未満 3 3年以上～5年未満 4 5年以上～10年未満 5 10年以上～20年未満 6 20年以上		

1

問6 あなたは、これから漁業経営をどのようにしていきたいとお考えですか。(○はひとつ)

1 もっと力をいれたい	2 現状のままでいきたい
3 規模を縮小していきたい	4 やめたい
5 その他(具体的に: _____)	

問7 あなたは、自分の漁業経営に満足していますか。(○はひとつ)

1 満足している	2 やや満足している
3 どちらともいえない	4 やや不満足である
5 不満足である	6 わからない

問8 あなたの漁業経営で、重要と考えられることはどれですか。(○は3つまで)

1 自分の才覚	2 行政の支援
3 漁協の指導	4 漁場や養殖対象の選択
5 規模の拡大	6 販売・流通対策
7 後継者の育成	8 価格の安定
9 船や道具などの設備投資	10 その他(_____)

3

4 水産資源の確保について

問9 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。（各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○をひとつずつ付ける）

	現在の評価					今後の重要性				
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない
① ありげ稚貝やクロダイなどの稚魚の放流による水産資源確保の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 漁業環境の改善、動植物保護関係の研修などを目的とした漁場クリーンアップ事業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 環境問題に配慮した事業の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

現在の評価を1～5の中から1つ選んで○を付けて下さい。
 今後の重要性を1～5の中から1つ選んで○を付けて下さい。

問10 あなたは環境問題に配慮して漁業経営を行っていますか。（○はひとつ）

1 はい	2 いいえ	3 どちらともいえない
------	-------	-------------

4

5 漁業経営の活性化について

問11 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。（各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○をひとつずつ付ける）

	現在の評価					今後の重要性				
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない
① 漁業近代化資金貸付・利子補助などによる漁業者・団体の支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 水産物ブランド化の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 若い手づくりの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問12 漁業経営を活性化するためにはどのような取り組みが必要だと考えますか。理由もあればご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

5

問13 漁業の担い手を確保・育成するためには、何が重要だとお考えですか。

（○はひとつ）

1 後継者やU1Jターン者に対する支援の充実
2 漁業以外の新規参入者が就漁しやすい環境の整備
3 意欲ある者への融資制度等の充実や企業の経営手法の指導
4 後継者や漁業希望者への技術指導
5 その他（具体的に： _____）

6 水産施設の充実について

問14 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。（各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○をひとつずつ付ける）

	現在の評価					今後の重要性				
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない
① 漁場の整備管理など水産施設の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

6

7 市政に対するご意見

問15 今後田原市の漁業はどうあるべきか。また、普段お考えになっていること、何でも結構ですので、市政に対するご意見やご提言などがあれば、ご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。

7

田原市市民意識調査(市内団体アンケート)

アンケート調査へのご協力をお願い

日頃は、市政につきまして多大なご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

田原市では市政へ市民の皆様様の意向を反映するため、3年に一度、市民意識調査を実施しております。

この調査は、改定版第1次田原市総合計画で定めた「みんなが幸福を実現できるまち」の理念のもと、将来都市像「うるおいと活力のあるガーデンシティ」の実現を目指すための基礎資料として、各種団体のご意見をお伺いするためのものです。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ぜひ調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年7月

田原市長 鈴木 克幸

ご記入にあたって

- 質問は、選択式(○をつけるもの)と記述式から構成されています。それぞれの質問の指示に従ってご回答ください。
 - 各項目について、率直に思ったことをお答えください。
 - ご記入いただきました調査票は、7月22日(月)までに同封の返信用封筒に入れて、投函していただきますようお願いいたします。
 - このアンケートについてご不明な点がありましたら下記へお問い合わせください。
- 田原市役所 政策推進部政策推進課 (担当:平井、牧野) 電話 0531-23-3507 (直通)

1 団体の概要について

問1 あなたの団体の概要についておたずねします。各項目にご記入ください。

団体名:	
設立年: 明治・大正・昭和・平成 年 月	
所在地: 田原市	
電話番号: () FAX番号: ()	
代表者氏名:	
記入者氏名:	

問2 あなたの団体の組織体制についておたずねします。

(1) 下の一覧表の該当する欄に、数字(いない場合には「0(ゼロ)」と記入。④については、どちらかに○をつけてください。

① 理事		人
② 運営メンバー		
・常勤(フルタイム) 空		人
・非常勤(パートタイム・アルバイト)		人
・その他(具体的に:)		人
③ 会員・社員構成		
・活動する人・正会員		人・会員
・支援者・賛助会員		人・会員
・その他(具体的に:)		人・会員
④ 規則・会則・定款	(あり ・ なし)	

※おおよそ週30時間以上働いていることを常勤の目安とします

(2) あなたの団体は次のどの分類にあたりますか。

1 NPO法人(認定取得済)	2 ボランティア・市民活動団体
3 医療法人・社会福祉法人・社団法人	4 地域団体
5 経済団体・協同組合等	6 その他()

(3) 活動する人・正会員の男女比はどれくらいですか。(○はひとつ)

1 ほとんど男性	2 やや男性が多い	3 ほぼ同じ
4 やや女性が多い	5 ほとんど女性	

(4) 活動する人・正会員の年齢では、どの年代が多いですか。(○はふたつ)

1 10歳代	2 20歳代	3 30歳代	4 40歳代
5 50歳代	6 60歳以上	7 特に特徴はない	

問3 活動の地域は、主にどこですか。(○はひとつ)

1 小学校区内	2 中学校区内	3 市内
4 市内及び豊橋市	5 県内	6 全国・国際

問4 主な活動目的をお聞かせ下さい。(○はいくつでも)

1 地域コミュニティ	2 男女共同参画	3 地域防犯
4 交通安全	5 環境共生	6 環境保全
7 資源循環	8 健康づくり	9 地域福祉活動
10 児童福祉・子育て支援	11 障害者支援	12 高齢者支援
13 農水産業	14 商工業	15 観光
16 雇用・労働	17 消費者対策	18 市南地整備
19 居住環境整備	20 自然環境整備	21 里山保全
22 景観整備	23 学校教育	24 生涯学習
25 スポーツ	26 青少年健全育成	27 芸術文化
28 消防・防災	29 国際交流・多文化共生	30 災害復興支援
31 その他()		

問5 あなたの団体の財政についておたずねします。

(1) 年間活動事業費はいくらですか。()万円程度

(2) おおよその収入と支出の内訳を構成比(パーセント)でお答えください。

収 入		支 出	
会費(個人の負担金)収入	%	人件費	%
事業収入	%	事務管理費	%
行政からの業務委託費	%	活動・事業経費	%
企業等民間からの業務委託費	%	その他	%
行政からの補助金	%		
民間からの助成金、個人・法人の寄付金	%		
その他	%		
合 計	100%	合 計	100%

2 団体の活動について

問6 団体は、どれくらいの頻度で活動していますか。(○はひとつ)

1 週に5回以上	2 週に3、4回程度
3 週に1、2回程度	4 月に1、2回程度
5 2~3ヶ月に1回程度	6 年に数回程度
7 その他(具体的に:)	

問7 事務所、会場場所、活動拠点として主にどこを利用していますか。(○はひとつ)

1 会員の個人宅	2 市民館
3 地区集会所	4 文化会館など
5 専用の事務所	6 会員の勤務先
7 その他(具体的に:)	

問 8 あなたの団体がやっている事業(活動)についてお聞きします。代表的な事業(活動)について具体例を2〜3程度あげて、事業名、事業内容及び事業費についてご記入ください。

事業名①	
活動場所	
参加・対象人数	人
事業内容	
事業費	円
事業名②	
活動場所	
参加・対象人数	人
事業内容	
事業費	円
事業名③	
活動場所	
参加・対象人数	人
事業内容	
事業費	円

4

問 9 あなたの団体が活動を進めていく上で、問題を感じたり、困っていることがありますか。(それぞれ○はひとつ)

(A) 人の問題 ・活動に参加する人が少ない、活動に積極的な人材がいない、リーダーになれる人が少ない、会員の高齢化など	1 強く問題を感じる 2 少し問題を感じる 3 問題と感しない
(B) 場所の問題 ・事務所スペースや、活動拠点などが確保しにくいなど	1 強く問題を感じる 2 少し問題を感じる 3 問題と感しない
(C) 資金の問題 ・寄付金や会費などの活動資金が足りないなど	1 強く問題を感じる 2 少し問題を感じる 3 問題と感しない
(D) 情報の問題 ・活動に必要な情報を収集したり、活動をPRする力が弱いなど	1 強く問題を感じる 2 少し問題を感じる 3 問題と感しない
(E) 専門性の問題 ・活動をすすめていくための専門的な知識や能力不足など	1 強く問題を感じる 2 少し問題を感じる 3 問題と感しない
(F) 組織運営の問題 ・活動グループの調整や役員会の運営など	1 強く問題を感じる 2 少し問題を感じる 3 問題と感しない
(G) ネットワークの問題 ・他団体との交流や連携など	1 強く問題を感じる 2 少し問題を感じる 3 問題と感しない
(H) 社会的認知度の問題 ・地域、家庭、職場、行政、企業など理解が得られないなど	1 強く問題を感じる 2 少し問題を感じる 3 問題と感しない

3 市との連携・協力について

問 10 あなたの団体にとって市との連携・協力は重要ですか。(○はひとつ)

1 非常に重要	2 どちらかといえば重要
3 どちらともいえない	4 どちらかと言えば重要ではない
5 重要ではない	

5

問 11 あなたの団体が活動するにあたって、どんなことを市に協力してほしいですか。(○はいくつでも)

1 補助金による援助	2 場所や物品、機材等の提供
3 市の広報紙を使った団体の情報提供	4 他の団体の紹介、関係の調整など
5 リーダーの養成、技術養成の研修	6 市の施設の利用料割引や優先提供
7 市の情報の開示、共有化	8 市の基金による支援
9 市の事業の共同企画	10 市の事業の委託
11 市から駅・国や企業等への働きかけ	12 表彰、顕彰
13 組織の立ち上げ、運営方法に関する支援	14 市職員の活動への参加
15 その他(具体的に:)	

問 12 市と市民活動団体の連携によるまちづくり施策として、知っているものをお答えください。(○はいくつでも)

1 市民協働まちづくり条例	2 市民協働まちづくり基金
3 市民協働まちづくり会議	4 市民協働のまちづくり方針
5 田原市民活動支援センター	6 市民協働まちづくり事業補助金
7 パブリックコメント制度	8 各種審議会員の市民公募
9 市民の声メール(市ホームページ)	10 市民提案箱
11 どすごいネット(東三河市民活動情報サイト)	
12 その他()	

問 13 現在、あなたの団体と市とはどのような関係にありますか。(○はいくつでも)

1 市から補助金を受けている
2 市から業務委託を受けている
3 市が主催する審議会、委員会、研究会に委員を出している
4 市の関係部署と日常的に情報交換等の話し合いを行っている
5 市に対して要望や陳情を行っている
6 市に対して具体的な施策提案をしている
7 事務局が市の関係部署、関係施設内にある
8 市の施設を利用して活動を行っている
9 市とは特に関係を持っていない

6

問 14 市が行っている次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。(各問に対し「評価」「重要性」に○をひとつずつ)

	現在の評価					今後の重要性				
	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない
① 市民・団体などの参加と協働によるまちづくり体制の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 設立・団体運営の支援などボランティア団体・NPOに対する活動支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 15 あなたの団体・グループは、市と連携・協力してどのようなことをしたいですか。自由なご意見をお聞かせください。

.....

.....

.....

4 市政に対するご意見

問 16 その他、普段お考えになっていること、団体の将来の展望、市に対するご意見やご要望、ご提言などがあれば、ご自由にお書き下さい。

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。

7

田原市市民意識調査報告書

発行年月 平成25年12月

発行 愛知県田原市 政策推進部政策推進課
〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場 30 番地 1

T E L : (0531)22-1111(代表)

F A X : (0531)23-0696

e-mail: seisaku@city.tahara.aichi.jp